

令和5（2023）年度  
栃木県観光動態調査

報告書

令和6（2024）年3月  
栃木県産業労働観光部観光交流課



## 目次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的及び方法	1
(1) 調査目的	1
(2) 調査概要	1
(3) アンケート回答状況	2
2. 調査報告書の見方	3
(1) 調査地域区分	3
(2) 集計内容	4
(3) 集計対象サンプル数	6
(4) 集計値の誤差について	6
第2章 観光客調査 調査結果	7
1. 日帰り客	7
(1) 県全体	7
①令和5（2023）年度調査結果	7
②過去調査との比較	14
③栃木県の魅力が1位だと感じるもの	17
(2) エリア別	18
i. 日光エリア	18
ii. 那須エリア	25
iii. 県央エリア	32
iv. 県南エリア	39
v. 県東エリア	46
2. 宿泊客	53
(1) 県全体	53
①令和5（2023）年度調査結果	53
②過去調査との比較	60
③栃木県の魅力が1位だと感じるもの	64
(2) エリア別	65
i. 日光エリア	65
ii. 那須エリア	72
iii. 県央エリア	79
iv. 県南エリア	86
v. 県東エリア	93







## 第1章 調査の概要

### 1. 調査の目的及び方法

#### (1) 調査目的

栃木県を訪れる旅行客の流動実態について、観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準」、  
「観光入込客統計に関する共通基準調査要領」等に基づき、栃木県を訪れる観光客に対するアンケートを行  
い、その観光実態を把握し、観光動向を分析する。

#### (2) 調査概要

##### ① 観光地点調査

調査手法：県内の観光地点（15カ所）にて調査員が聞き取り

調査地点：

エリア	調査観光地点名
日光エリア 計3カ所	①二社一寺（日光東照宮）
	②華厳滝（県営華厳の滝第二駐車場）
	③東武ワールドスクウェア
那須エリア 計3カ所	④道の駅 那須高原友愛の森
	⑤那須ガーデンアウトレット
	⑥アグリパル塩原
県央エリア 計3カ所	⑦大谷資料館
	⑧道の駅 きつれがわ
	⑨道の駅 ばとう
県南エリア 計3カ所	⑩足利学校
	⑪佐野プレミアム・アウトレット
	⑫いちごの里
県東エリア 計3カ所	⑬道の駅 もてぎ
	⑭陶芸メッセ・益子
	⑮道の駅 はが

##### ② 調査対象

調査地点を訪れるすべての方（日本人のみ）

##### ③ 調査時期

第1回：令和5（2023）年6月

第2回：令和5（2023）年9月

第3回：令和5（2023）年12月

第4回：令和6（2024）年1月

(3) アンケート回答状況

①有効サンプル数：3,656 件

	第1回調査	第2回調査	第3回調査	第4回調査	合計
観光地点調査	930 件	903 件	917 件	906 件	3,656 件

②調査地点別回収結果

エリア	調査観光地点名	回収数	合計
日光エリア	①二社一寺（日光東照宮）	251	713
	②華厳滝（県営華厳の滝第二駐車場）	215	
	③東武ワールドスクウェア	247	
那須エリア	④道の駅 那須高原友愛の森	244	738
	⑤那須ガーデンアウトレット	242	
	⑥アグリパル塩原	252	
県央エリア	⑦大谷資料館	252	752
	⑧道の駅 きつれがわ	250	
	⑨道の駅 ばとう	250	
県南エリア	⑩足利学校	240	720
	⑪佐野プレミアム・アウトレット	241	
	⑫いちごの里	239	
県東エリア	⑬道の駅 もてぎ	241	733
	⑭陶芸メッセ・益子	241	
	⑮道の駅 はが	251	

## 2. 調査報告書の見方

本調査では、構成比などの数値は、原則として単位未満四捨五入で表記しており、合計や積算などの計算値は、紙面上に表記された数値による計算値と一致しないことがある。

### (1) 調査地域区分

今回の調査では、調査対象の観光地点の地域を以下のとおり区分した。

- ・日光、那須、県央、県南、県東の5エリア

なお、各観光地点に対する周辺地域の考え方は〈表1〉のとおり。

観光地点調査における調査地点と周辺地域の考え方

〈表1〉 調査観光地点周辺地域

観光地点 エリア	観光地点名	周辺地域の範囲
日光エリア	①二社一寺（日光東照宮）	日光市
	②華厳滝（県営華厳の滝第二駐車場）	
	③東武ワールドスクウェア	
那須エリア	④道の駅 那須高原友愛の森	那須町
	⑤那須ガーデンアウトレット	那須塩原市
	⑥アグリパル塩原	
県央エリア	⑦大谷資料館	宇都宮市
	⑧道の駅 きつれがわ	さくら市、那須烏山市、高根沢町 那珂川町
	⑨道の駅 ばとう	那須烏山市、那珂川町
県南エリア	⑩足利学校	足利市
	⑪佐野プレミアム・アウトレット	佐野市
	⑫いちごの里	小山市、栃木市
県東エリア	⑬道の駅 もてぎ	真岡市、益子町、茂木町、市貝町、芳賀町
	⑭陶芸メッセ・益子	益子町
	⑮道の駅 はが	真岡市、益子町、茂木町、市貝町、芳賀町

## (2) 集計内容

集計項目	集計方法	備考
お住まい	県全体 エリア別	回答者の住所を都道府県単位で集計し、栃木県を含む関東7都県及び福島県を表示し、それ以外を「その他」として集計。
性別・年代別	県全体 エリア別	回答者の性別及び年代を集計。なお、性別は男性、女性の2区分、年代は以下の5区分。 10・20代、30代、40代、50代、60代以上
旅行の主要目的	県全体	県外客が栃木県を訪れた主要目的を集計。区分は次の4区分。ビジネス、観光、帰省・知人訪問、その他
栃木県での滞在時間	県全体 エリア別 エリア比較	栃木県内の最初の「目的地」から最終「目的地」を離れるまでの時間を集計。なお、区分は以下の6区分。 2時間未満 2時間～4時間未満 4時間～6時間未満 6時間～8時間未満 8時間～10時間未満 10時間以上
宿泊旅程	県全体	宿泊の種別を集計。なお、区分は次の2区分。 県内のみの宿泊、県外を含む宿泊
栃木県内での宿泊日数	県全体 エリア別	今回の旅行（居住地を出てから居住地に戻るまで）の栃木県内での宿泊数を集計。なお、区分は以下の5区分。 1泊、2泊、3泊、4泊、5泊以上
栃木県内での宿泊施設数	県全体	今回の旅行（居住地を出てから居住地に戻るまで）の宿泊した施設の数を集計。なお、区分は以下の2区分。 1施設、2施設
栃木県内での利用宿泊施設	県全体	宿泊施設の分類を集計。なお、区分は10区分（具体的な項目は調査票参照）。
旅行先に選んだ理由	県全体 エリア別	調査地点の周辺地域を旅行先に選んだ理由を集計。なお、区分は15区分（具体的な項目は調査票参照）。
同行者数	県全体 エリア別	今回の旅行の回答者を含む同行人数を集計。なお、区分は以下の8区分。 1人、2人、3人、4人、5人、6～10人、11～30人、31人以上
同行者の関係	県全体 エリア別	今回の旅行の同行者の関係を集計。なお、区分は8区分（具体的な項目は調査票参照）。
県外客の栃木県への来訪回数	県全体	栃木県への来訪回数を集計。なお、区分は以下の5区分。 初めて、2回目、3回目、4回目、5回目以上
調査地域周辺への来訪回数	エリア別	調査地域周辺への来訪回数を集計。現在地周辺とは調査地点の「周辺地域」を指し、観光地点調査の各観光地点に対する周辺地域の考え方はP.3〈表1〉の区分のとおり。
利用交通機関	県全体 エリア別	今回の旅行で利用した交通機関を集計。なお、区分は12区分（具体的な項目は調査票参照）。 選択肢で示した交通機関を利用したかしないかで集計。旅程内で一度でも利用すれば集計の対象とし、二度以上使った場合も1として集計。

集計項目	集計方法	備考
立ち寄り観光施設数	県全体	今回の旅行での立ち寄り先（これからの予定も含む）の合計数を集計。 ここで対象としている観光施設（地点数）は栃木県作成の『観光地点等名簿に掲載の観光地点等名』を参照している。そのため栃木県外の観光地点や下記のような観光施設とみなさない場所、不明確な場所は対象外としている。 ・ 宿泊施設、実家、友人の家 ・ コンビニ、飲食店 ・ 鉄道の駅、高速道路のサービスエリア ・ 宇都宮、日光、鬼怒川、那須などの地名 なお、調査に回答した観光地点はその数には含まない。 ※調査地点以外に立ち寄りがない場合は0地点と表す。
立ち寄り観光施設	エリア別	今回の旅行での立ち寄り先（これからの予定も含む）。上記「立ち寄り観光施設数」と同様、ここで対象としている観光施設は栃木県作成の『観光地点等名簿に掲載の観光地点等名』を参照している。
旅行先に選んだ情報源	県全体 エリア別	調査地点の周辺地域を旅行先として選んだ際の情報源を集計。なお、区分は12区分（具体的な項目は調査票参照）。
旅行先を選んだ“決め手”となった情報源	県全体 (年代別) エリア別	調査地点の周辺地域を旅行先として選んだ際の情報源のうち“決め手”となったものを集計。なお、区分は12区分（具体的な項目は調査票参照）。
消費支出（平均）	県全体 エリア別	栃木県内で消費した支出の総額及びその内訳を集計。 内訳として表示する項目は以下の6項目。 県内交通費、宿泊費、土産代、飲食費、入場料、その他 なお、内訳項目のうちひとつでも記入がある場合には、それを総額とする。 県内交通費については、以下の考え方により集計。 回答者の回答がある場合：回答を集計。 県外交通費のみの回答がある場合：居住県より県内外の距離を按分し集計。
調査地域の総合満足度／再来訪意向	県全体 エリア別	総合的な満足度：調査地点の周辺地域への訪問後の総合満足度を5段階で回答。 また訪れたいか：調査地点の周辺地域への再来訪意向を5段階で回答。 ※「県全体」ではグラフの下に各項目の加重平均を表示。 加重平均：肯定意見「大いに（大変）～」を+2、「やや（ほぼ）～」を+1に、中間意見「どちらでもない」を0、否定意見「あまり（やや）～ない」を-1、「全く（大変）～ない」を-2に置き換えて算出した平均値で、+の数値で肯定的、-の数値で否定的な度合いとなる。 なお、同設問に無回答である場合には、満足度・再来訪意向のn数からは除外。

1. 日帰り客 (1) 県全体

集計項目	集計方法	備考
項目別満足度 (加重平均値)	県全体 エリア別	県全体・調査地域に対する15の項目別の「満足度」についてまとめて表示。また、グラフの1行目には比較用として「調査地域の総合満足度」を表示し、グラフ右側には加重平均を表示。 なお、無回答の項目がある場合には、それぞれの項目のn数から除外。
調査地域の総合満足度・再来訪意向 (季節別/年代別)	県全体 エリア別	調査地域の総合満足度と再来訪意向を加重平均値で表示。季節別、年代別に調査地域の総合満足度と再来訪意向を加重平均値で表示。

(3) 集計対象サンプル数

調査区分	アンケート 回収状況	集計区分	
		日帰り客	宿泊客(県内)
全体	3,656	2,432	1,211
日光エリア	713	243	469
那須エリア	738	369	368
県央エリア	752	534	213
県南エリア	720	616	98
県東エリア	733	670	63

※日帰り客・宿泊客(県内)については無回答の回答者がいたため、日帰り客と宿泊客(県内)の和が回収件数とはならない。

(4) 集計値の誤差について

- 集計値は小数点第2位を四捨五入とする。したがって、数値の合計が100.0%にならない場合がある。
- 基数となるべき実数はnとして表示した。その比率は、nを100.0%として算出した。

## 第2章 観光客調査 調査結果

### 1. 日帰り客

#### (1) 県全体

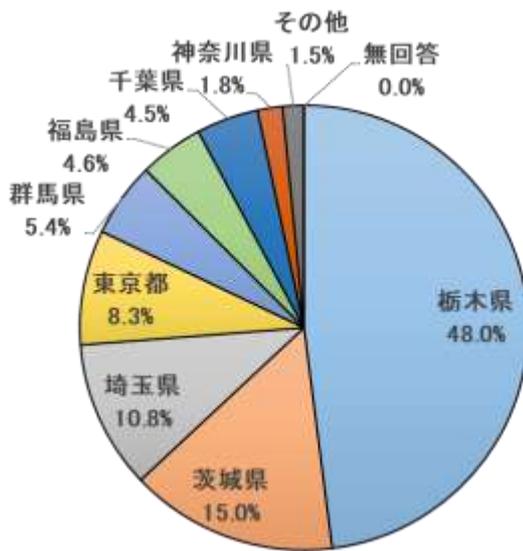
##### ①令和5（2023）年度調査結果

お住まいは「栃木県」が48.0%で最も多く、次いで「茨城県」が15.0%、「埼玉県」が10.8%であった。

性別は、「男性」が50.8%、「女性」が46.9%であった。

年代は、男女ともに「60代以上」が最も多く、男性34.8%、女性31.6%であった。

お住まい (n=2,432)



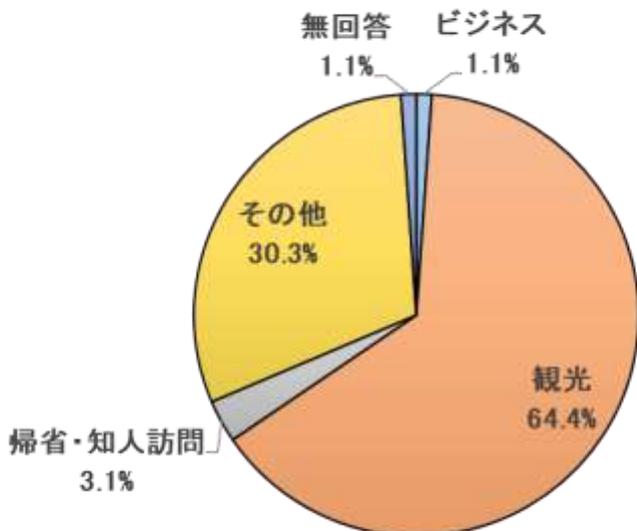
性別・年代 (n=2,432)



※年代別については性別が無回答のものを除外して集計しており、  
ここでの無回答は年代が無回答の割合を指す。

旅行の主要目的は、「観光」が64.4%と6割半ばであった。

旅行の主要目的 (n=1,565)



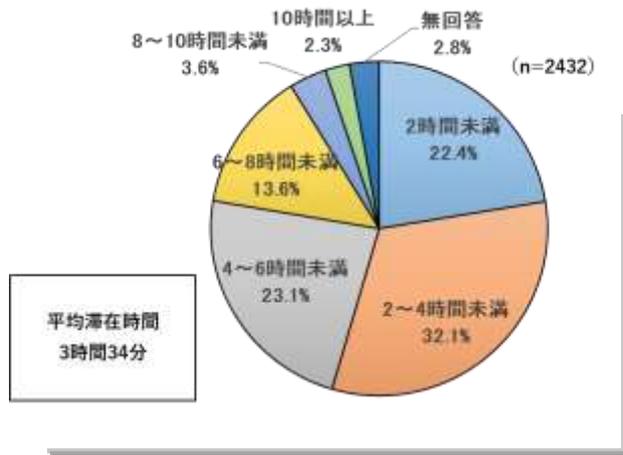
1. 日帰り客 (1) 県全体

栃木県での滞在時間は、県全体では、「2時間～4時間未満」が32.1%で最も多く、次いで「4時間～6時間未満」が23.1%となり、合わせると『2時間～6時間未満』が55.2%となった。平均滞在時間は3時間34分であった。

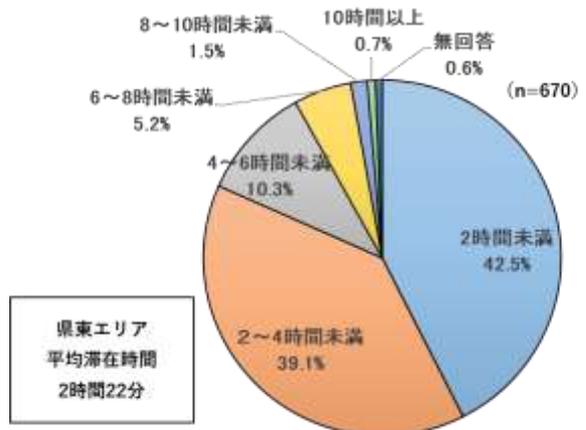
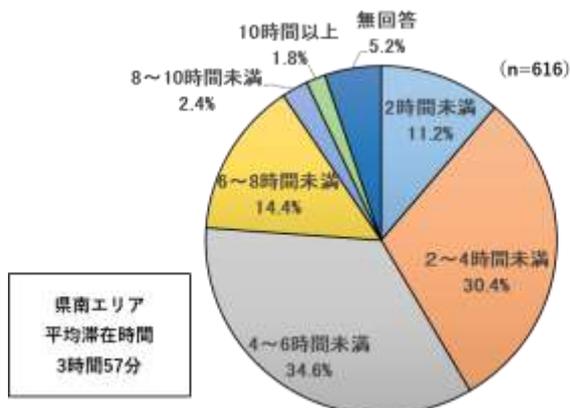
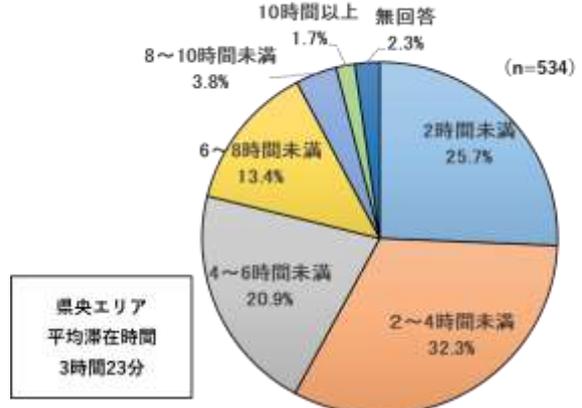
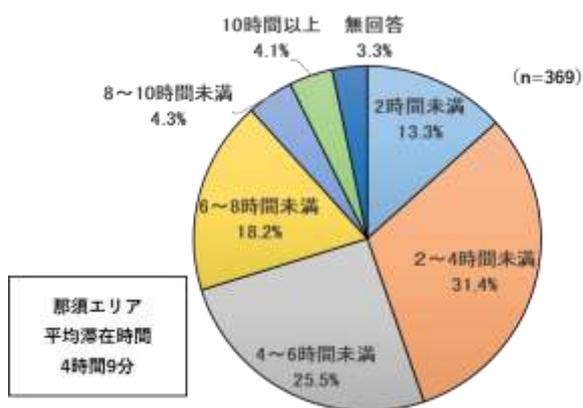
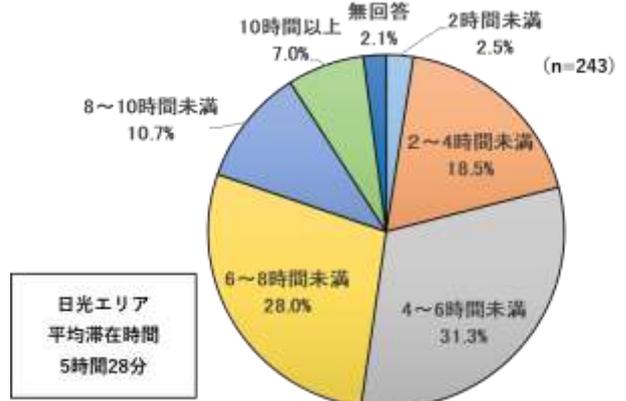
エリアごとにみると平均滞在時間は、日光が5時間28分で最も長く、県東が2時間22分で最も短かった。また、「10時間以上」は日光が7%以上、那須が4%以上と、他のエリアより多かった。

栃木県での滞在時間

【県全体】

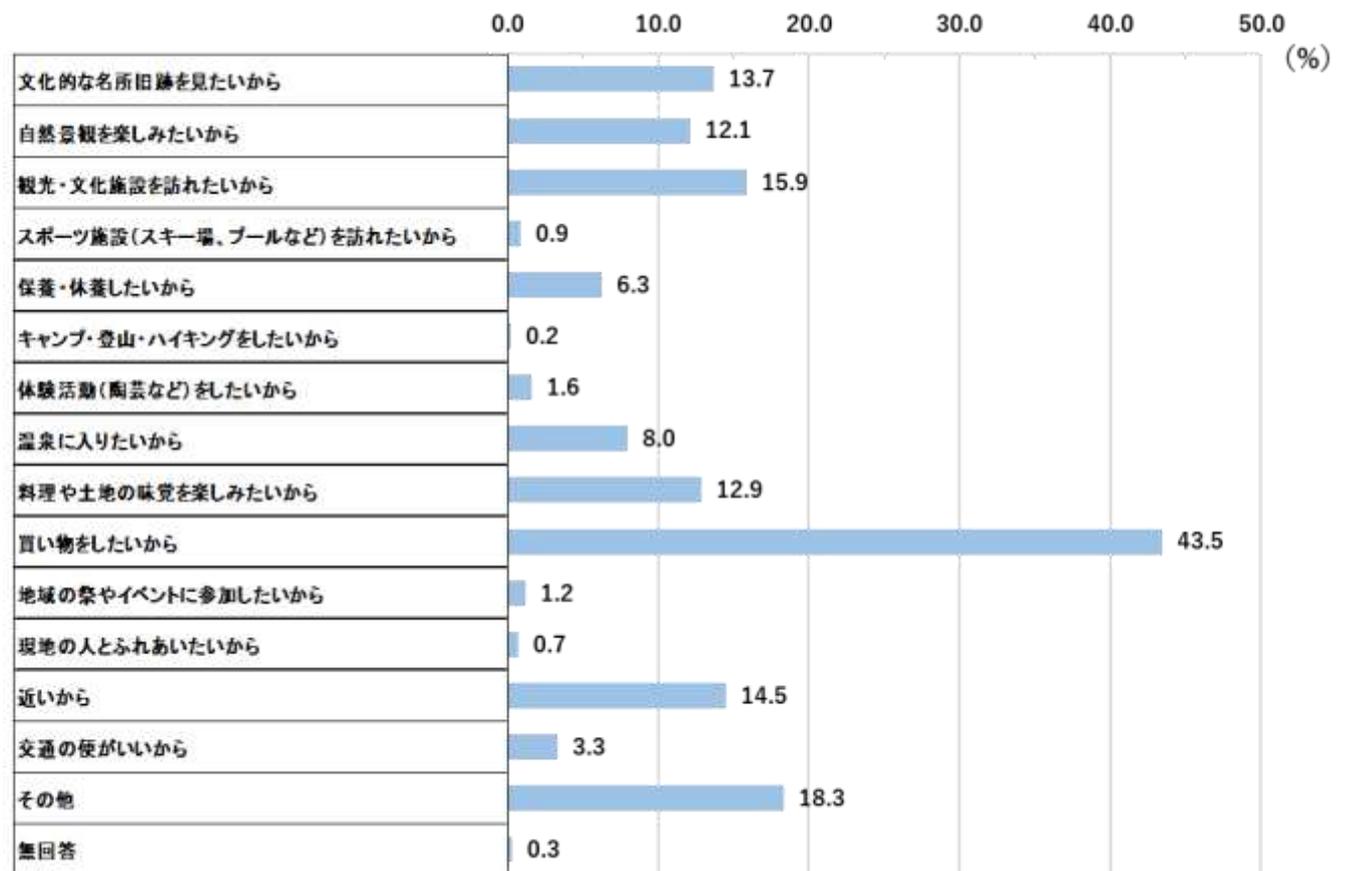


【エリア別】



旅行先に選んだ理由は、「買い物をしたいから」が43.5%で最も多く、次いで「その他」が18.3%、「観光・文化施設を訪れたいから」が15.9%、「近いから」が14.5%であった。

旅行先に選んだ理由（複数回答）（n=2,432）

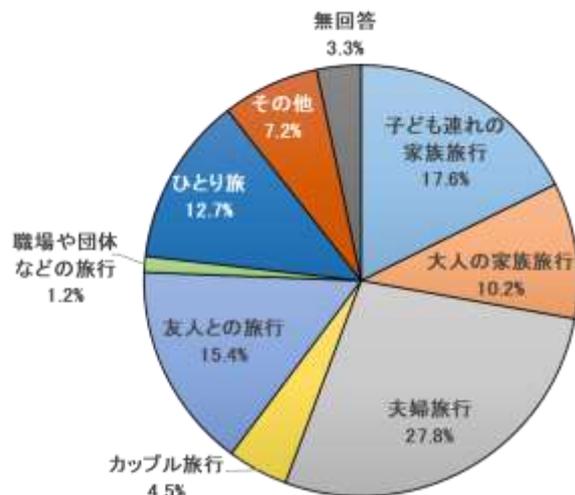
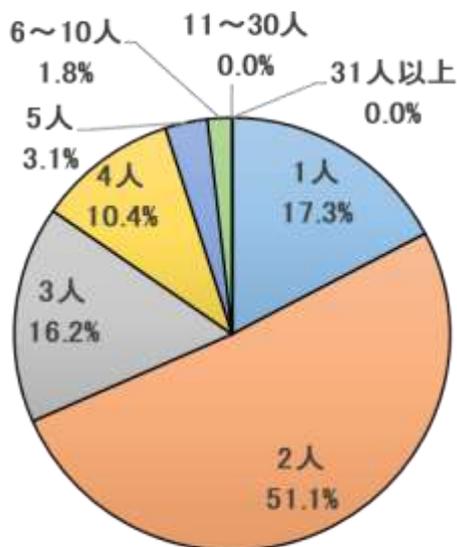


回答者を含む同行者数は、「2人」が51.1%で最も多く、次いで「1人」が17.3%、「3人」が16.2%であった。

同行者の関係は、「夫婦旅行」が27.8%で最も多く、次いで「子ども連れの家族旅行」が17.6%、「友人との旅行」が15.4%、「ひとり旅」が12.7%、「大人の家族旅行」が10.2%であった。

同行者数 ※回答者を含む（n=2,432）

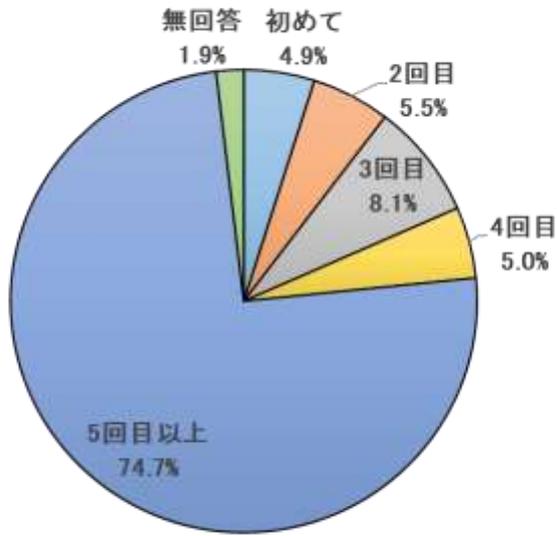
同行者の関係（n=2,432）



1. 日帰り客 (1) 県全体

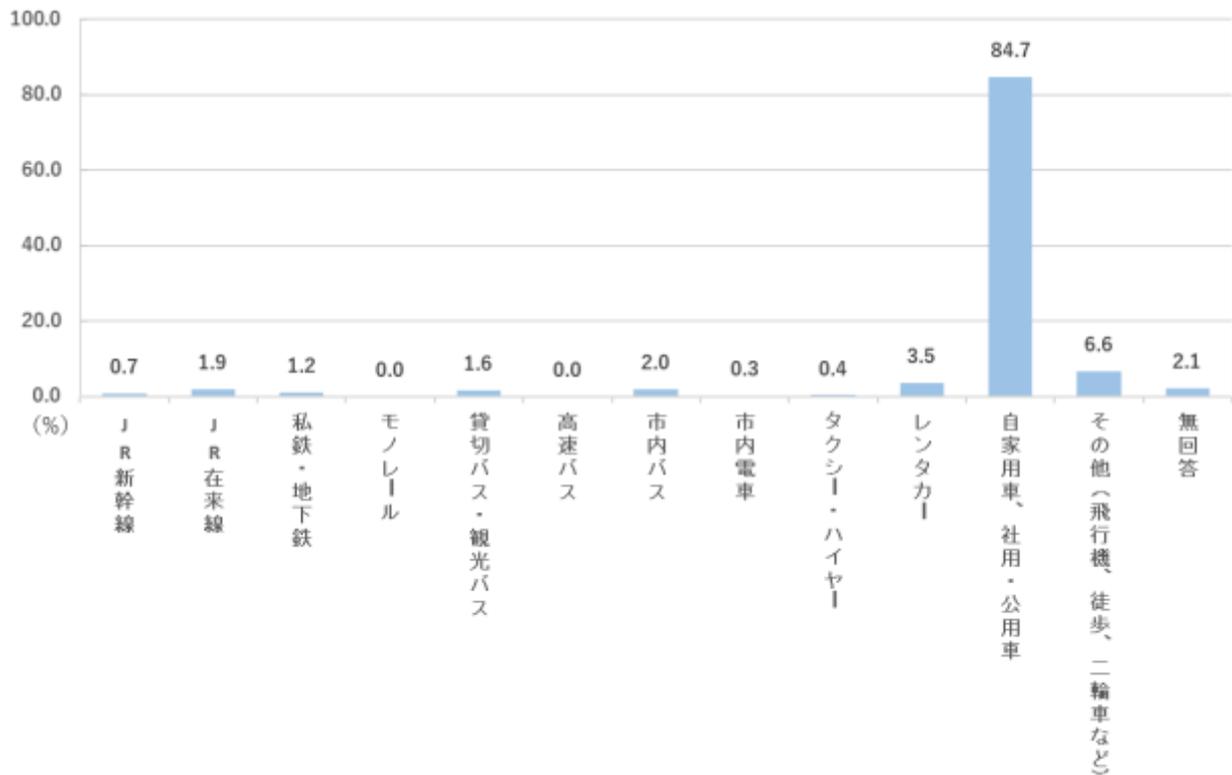
県外客の栃木県への来訪回数は、「5回目以上」が74.7%と7割半ばであった。一方、「初めて」は4.9%であった。

県外客の栃木県への来訪回数 (n=1,265)

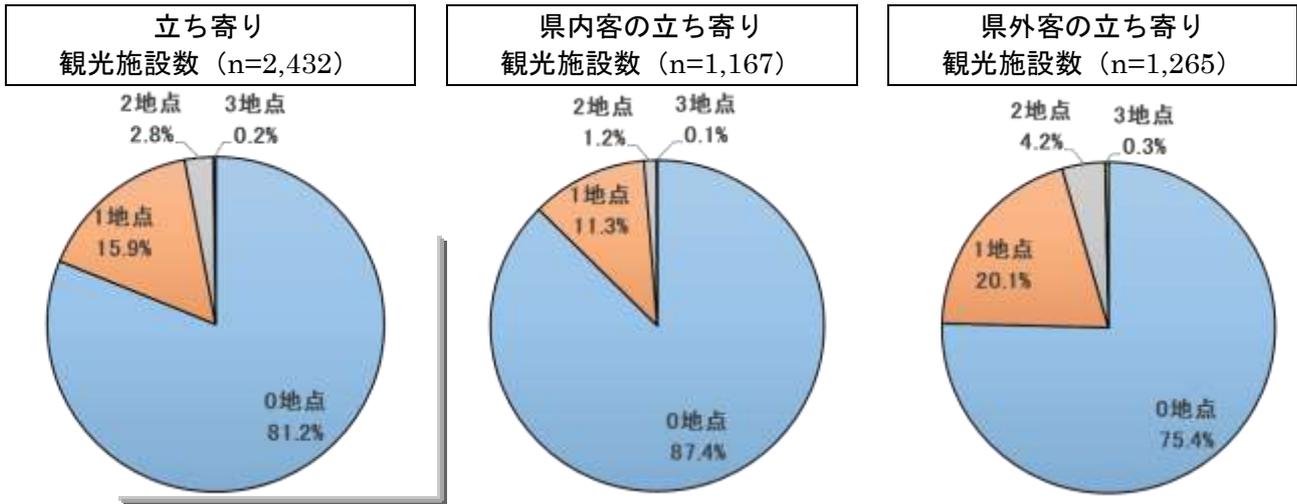


利用交通機関は、「自家用車、社用・公用車」が84.7%で大半を占めた。その他の交通機関としては「その他（飛行機、徒歩、二輪車等）」が6.6%、「レンタカー」が3.5%、「JR在来線」が1.9%であった。

利用交通機関（複数回答） (n=2,432)



立ち寄り観光施設は、「0 地点（調査地点以外立ち寄りなし）」が 81.2%で最も多く、次いで「1 地点」が 15.9%、「2 地点」が 2.8%であった。



旅行先に選んだ情報源は、「以前来訪した際の自身の経験」が 62.8%で最も多く、次いで「家族や友人知人からの紹介・推奨」が 19.8%であった。

“決め手”となった情報源は、旅行先に選んだ情報源と同様に「以前来訪した際の自身の経験」が 55.9%で最も多く、次いで「家族や友人知人からの紹介・推奨」が 12.5%であった。



第2章 観光客調査 調査結果

1. 日帰り客 (1) 県全体

旅行先を選んだ“決め手”となった情報源 年代別

※全体で回答数の多い順（「無回答」を除く）

(%)

NO.	全体(n=2432)	
1	以前来訪した際の自身の経験	55.9
2	家族や友人知人からの紹介・推奨	12.5
3	X(旧ツイッター)、インスタグラムなどのSNS	7.6
4	テレビや映画での紹介、ロケ地情報	5.4
5	地域や施設の公式webサイトの情報	5.3
6	自分の意志外(団体・ビジネス・帰省など)	0.9
7	個人のブログ	0.7
8	旅行会社の旅行パンフレット	0.7
9	宿泊予約サイト	0.4
10	割引券や優待券	0.3
11	旅行会社の店員からの勧め	0.1
12	その他	7.7

NO.	10代・20代(n=272)	
1	以前来訪した際の自身の経験	36.0
2	家族や友人知人からの紹介・推奨	21.0
3	X(旧ツイッター)、インスタグラムなどのSNS	16.2
4	地域や施設の公式webサイトの情報	8.1
5	テレビや映画での紹介、ロケ地情報	6.3
6	自分の意志外(団体・ビジネス・帰省など)	1.8
7	個人のブログ	1.1
8	旅行会社の旅行パンフレット	0.7
9	割引券や優待券	0.4
10	宿泊予約サイト	0.0
11	旅行会社の店員からの勧め	0.0
12	その他	5.9

NO.	30代(n=369)	
1	以前来訪した際の自身の経験	48.8
2	家族や友人知人からの紹介・推奨	14.6
3	X(旧ツイッター)、インスタグラムなどのSNS	14.4
4	地域や施設の公式webサイトの情報	5.1
5	テレビや映画での紹介、ロケ地情報	4.9
6	個人のブログ	1.1
7	自分の意志外(団体・ビジネス・帰省など)	0.5
8	宿泊予約サイト	0.3
9	旅行会社の旅行パンフレット	0.3
10	割引券や優待券	0.3
11	旅行会社の店員からの勧め	0.0
12	その他	6.8

NO.	40代(n=460)	
1	以前来訪した際の自身の経験	54.8
2	家族や友人知人からの紹介・推奨	10.9
3	地域や施設の公式webサイトの情報	8.3
4	X(旧ツイッター)、インスタグラムなどのSNS	7.2
5	テレビや映画での紹介、ロケ地情報	5.4
6	自分の意志外(団体・ビジネス・帰省など)	1.7
7	個人のブログ	1.1
8	旅行会社の旅行パンフレット	0.4
9	旅行会社の店員からの勧め	0.2
10	割引券や優待券	0.2
11	宿泊予約サイト	0.0
12	その他	7.0

NO.	50代(n=491)	
1	以前来訪した際の自身の経験	55.8
2	家族や友人知人からの紹介・推奨	12.2
3	テレビや映画での紹介、ロケ地情報	7.9
4	X(旧ツイッター)、インスタグラムなどのSNS	7.1
5	地域や施設の公式webサイトの情報	5.1
6	個人のブログ	0.8
7	宿泊予約サイト	0.8
8	旅行会社の旅行パンフレット	0.6
9	割引券や優待券	0.2
10	旅行会社の店員からの勧め	0.0
11	自分の意志外(団体・ビジネス・帰省など)	0.0
12	その他	7.7

NO.	60代以上(n=808)	
1	以前来訪した際の自身の経験	67.0
2	家族や友人知人からの紹介・推奨	9.5
3	テレビや映画での紹介、ロケ地情報	3.8
4	地域や施設の公式webサイトの情報	2.8
5	X(旧ツイッター)、インスタグラムなどのSNS	2.2
6	旅行会社の旅行パンフレット	1.0
7	自分の意志外(団体・ビジネス・帰省など)	0.9
8	宿泊予約サイト	0.5
9	割引券や優待券	0.4
10	個人のブログ	0.1
11	旅行会社の店員からの勧め	0.1
12	その他	9.2

※全体 (n=2, 432) には年代無回答の方が含まれているため、各年代の合計と一致しない。

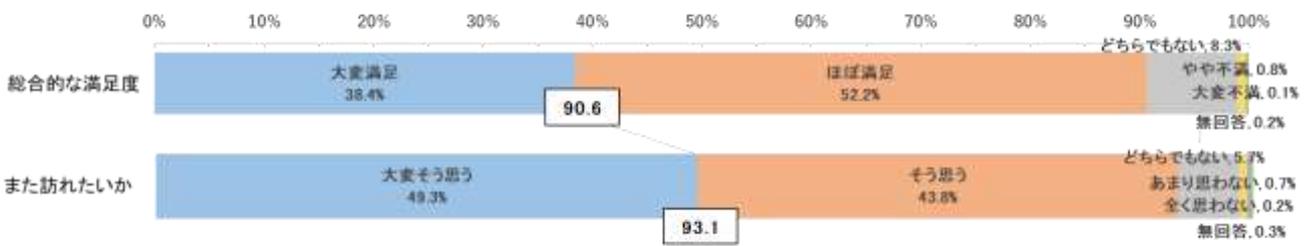
日帰り客一人当たりの消費支出の平均は、総額で7,670円であった。  
内訳は、「土産代」が1,932円で最も多く、次いで「飲食費」が1,893円であった。

消費支出（平均）



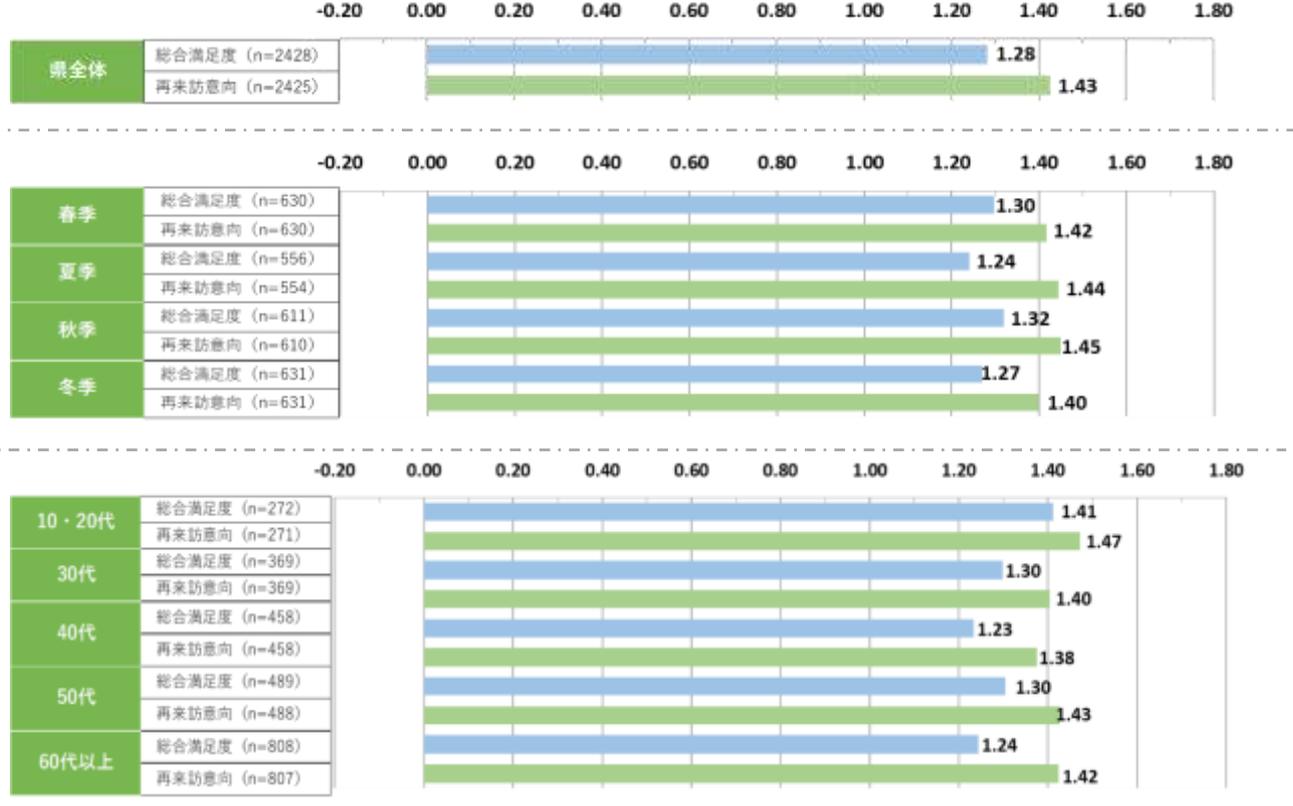
調査地域への総合的な満足度は、「大変満足」と「ほぼ満足」をあわせた【満足層】が90.6%であった。また訪れたいかは、「大変そう思う」「そう思う」をあわせた【再来訪意向層】が93.1%であった。

調査地域の総合満足度／再来訪意向 (n=2,432)



調査地域の総合満足度／再来訪意向（季節別・年代別）

総合満足度を季節別にみると、「秋季」が1.32で最も高かった。再来訪意向についても「秋季」が1.45で最も高かった。  
年代別にみると、総合満足度は「10・20代」が1.41で最も高かった。また、再来訪意向も「10・20代」が1.47で最も高かった。



## 第2章 観光客調査 調査結果

### 1. 日帰り客 (1) 県全体

#### ②過去調査との比較

栃木県での滞在時間は、「2～4 時間未満」が最も多く、令和 5（2023）年度調査では 32.1%であった。「4～6 時間未満」は令和 4（2022）年度調査では 32.3%、令和 5（2023）年度調査では 23.1%と 9.2 ポイント減少し、また「2 時間未満」の割合が、令和 4（2022）年度調査では 7.7%、令和 5（2023）年度調査では 22.4%と 14.7 ポイント増加した。

そして平均滞在時間は、令和 4（2022）年度調査では 4 時間 10 分に対し、令和 5（2023）年度調査では、3 時間 34 分と 36 分短くなった。

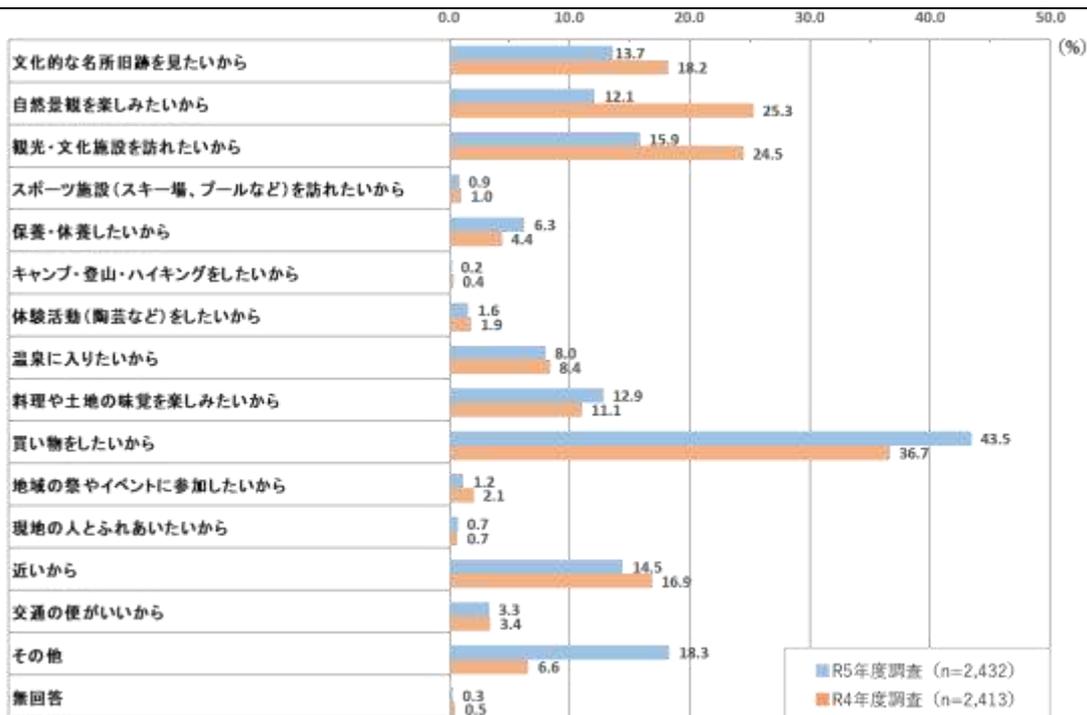
栃木県での滞在時間



R5 平均滞在時間：3 時間 34 分  
R4 平均滞在時間：4 時間 10 分

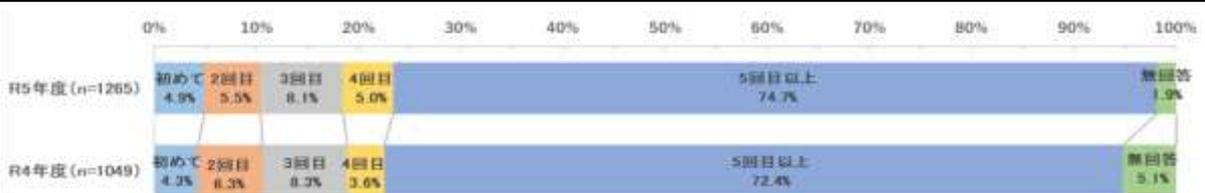
旅行先に選んだ理由として最も多かった「買い物をしたいから」は、令和 4（2022）年度調査では 36.7%、令和 5（2023）年度調査では 43.5%と、6.8 ポイント増加した。一方、「自然景観を楽しみたいから」は、令和 4（2022）年度調査では 25.3%、令和 5（2023）年度調査では 12.1%と、13.2 ポイント減少した。

旅行先に選んだ理由（複数回答）



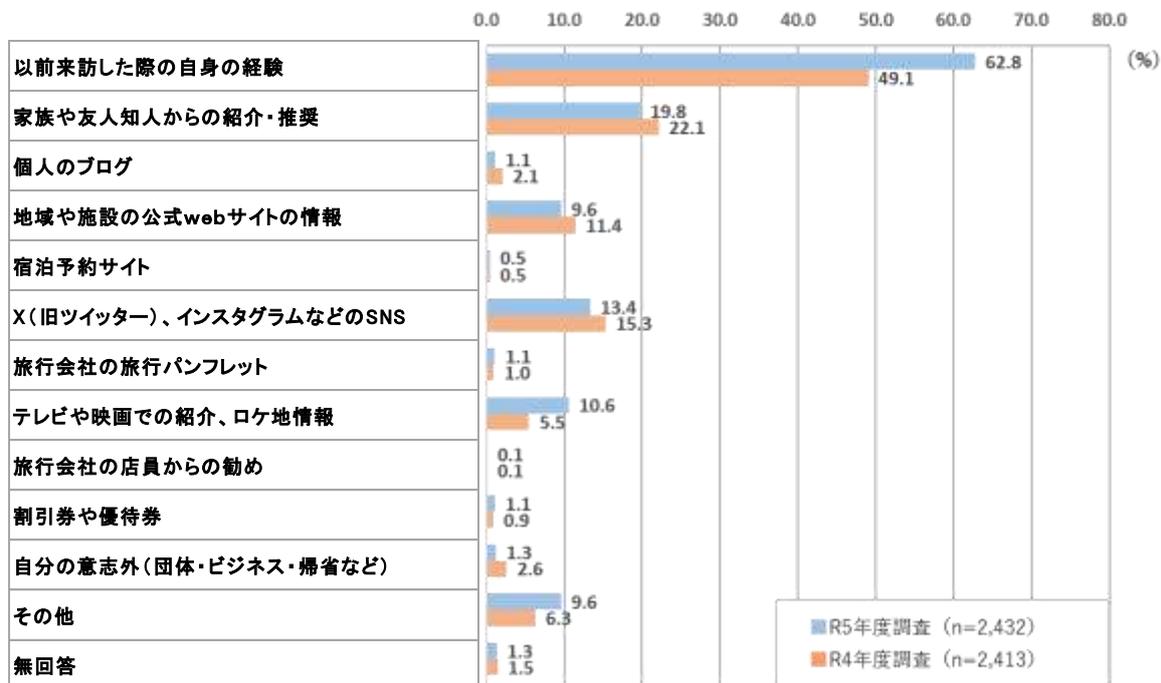
県外客の栃木県への来訪回数として最も多かった「5 回目以上」は、令和 4（2022）年度調査では 72.4%、令和 5（2023）年度調査では 74.7%と、2.3 ポイント増加した。

県外客の栃木県への来訪回数



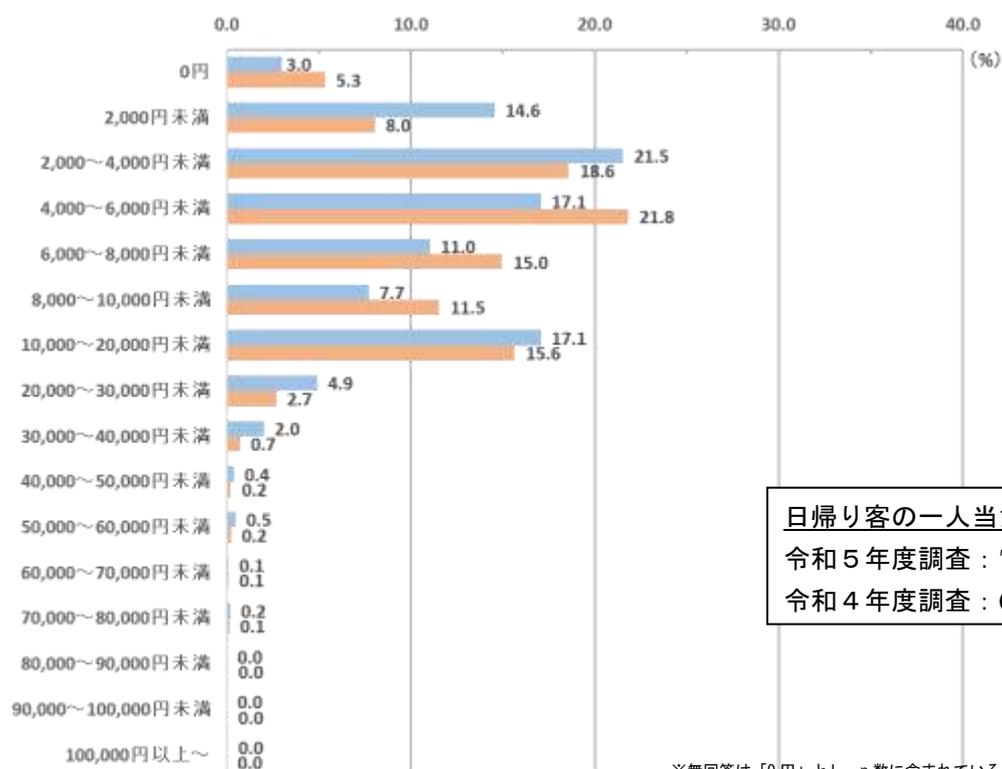
旅行先に選んだ情報源として最も多かった「以前来訪した際の自身の経験」は、令和4（2022）年度調査では49.1%、令和5（2023）年度調査では62.8%と、13.7ポイント増加した。一方、「家族や友人知人からの紹介・推奨」「X（旧ツイッター）、インスタグラムなどのSNS」は、令和4（2022）年度調査と比べて2ポイント前後減少した。

旅行先に選んだ情報源（複数回答）



消費支出の総額は、「2,000～4,000円未満」が令和4（2022）年度調査の18.6%に対し、令和5（2023）年度調査は21.5%と2.9ポイント増加した。同時に、「10,000円～80,000円未満」の高額消費が増加傾向にあり、一人当たり平均は令和4（2022）年度調査では6,801円であったが、令和5（2023）年度調査では7,670円に増加した。

消費支出（総額）



日帰り客の一人当たり平均  
 令和5年度調査：7,670円  
 令和4年度調査：6,801円

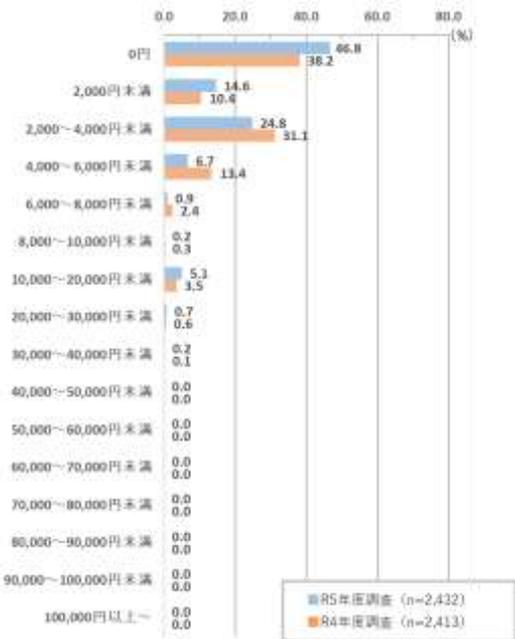
※無回答は「0円」とし、n数に含まれている。以下同様。

第2章 観光客調査 調査結果

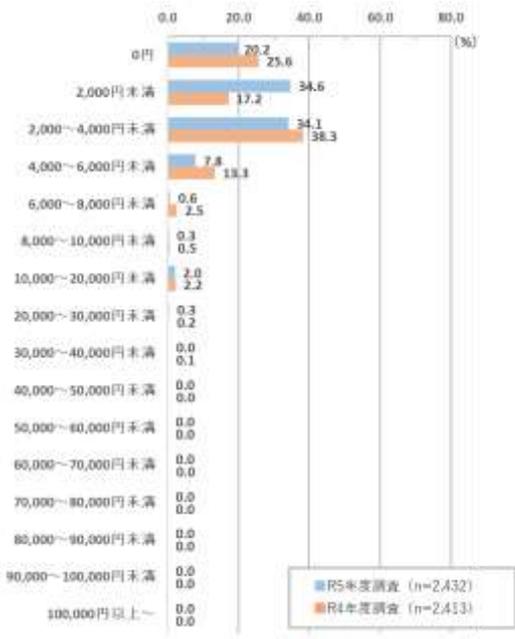
1. 日帰り客 (1) 県全体

土産代は、「2,000円未満」が令和4（2022）年度調査の10.4%に対し、令和5（2023）年度調査は14.6%と4.2ポイント増加した。また、高額支出層の10,000円～20,000円未満も1.6ポイントの増加となった。飲食費は「2,000円未満」が令和4（2022）年度調査の17.2%に対し、令和5（2023）年度調査は34.6%と17.4ポイント増加したが。一方、「0円」は5.4ポイント減少した。

消費支出 土産代



消費支出 飲食費



総合満足度は、令和5（2023）年度調査では、令和4（2022）年度調査同様1.28となった。満足度を項目別にみると、令和4（2022）年度調査では「食」が1.41と最も高かったが、令和5（2023）年度調査では「自然景観 自然景観や雰囲気」が1.38と最も高くなった。次いで「観光施設 体験活動」が1.32であった。

項目別満足度（加重平均値）



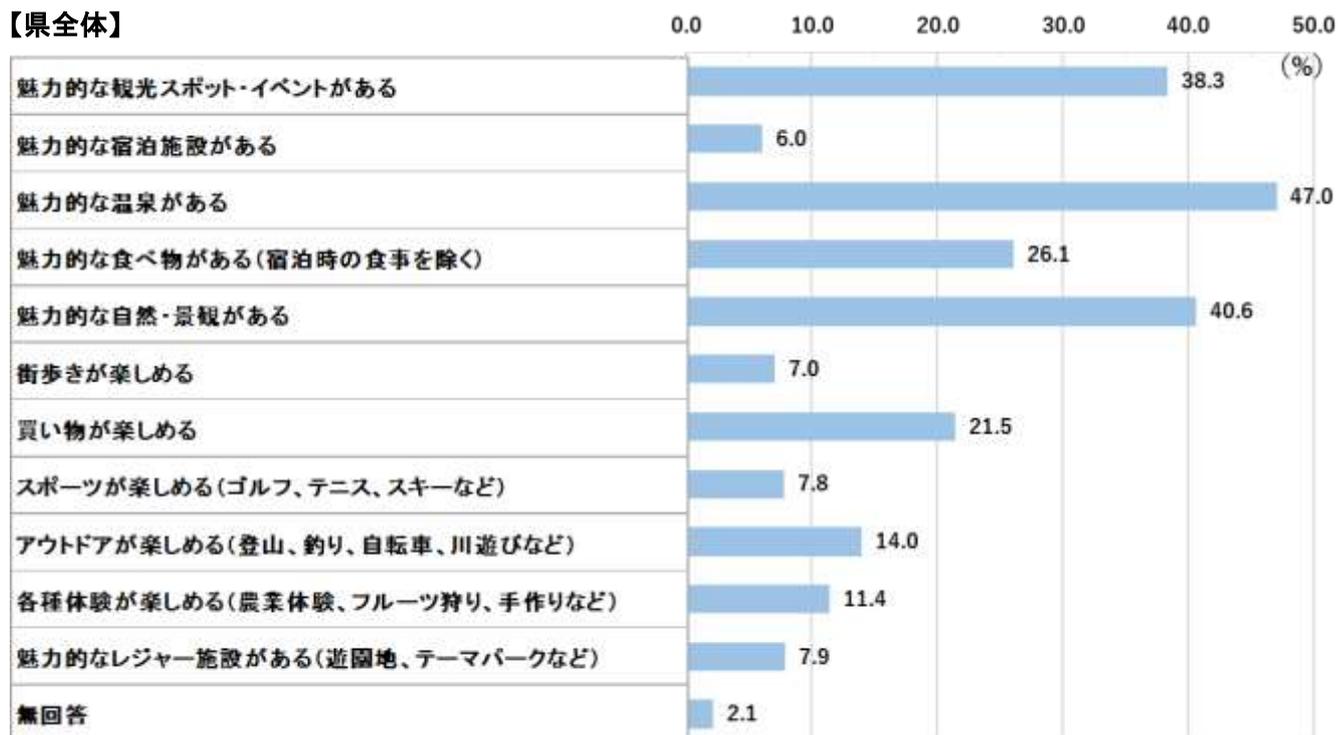
③栃木県の魅力が1位だと感じるもの

◇「魅力的な温泉がある」が最も多く5割弱となった。

栃木県の魅力が1位だと感じるものについて、県全体では「魅力的な温泉がある」が47.0%で最も多く、次いで「魅力的な自然・景観がある」が40.6%、「魅力的な観光スポット・イベントがある」が38.3%であった。

エリアごとにみると、「魅力的な温泉がある」は那須で51.5%、県央で54.3%、県東で49.1%とそれぞれのエリアで最も多い。日光及び県南では「魅力的な観光スポット・イベントがある」がそれぞれ68.3%と40.7%で最も多かった。

【県全体】



【エリア別】 ※上位5項目

NO.	全体(n=2432)		日光(n=243)		那須(n=369)	
	魅力を感じるもの	割合 (%)	魅力を感じるもの	割合 (%)	魅力を感じるもの	割合 (%)
1	魅力的な温泉がある	47.0	魅力的な観光スポット・イベントがある	68.3	魅力的な温泉がある	51.5
2	魅力的な自然・景観がある	40.6	魅力的な自然・景観がある	49.8	買い物を楽しめる	43.6
3	魅力的な観光スポット・イベントがある	38.3	魅力的な温泉がある	38.3	魅力的な自然・景観がある	41.5
4	魅力的な食べ物がある(宿泊時の食事を除く)	26.1	魅力的な食べ物がある(宿泊時の食事を除く)	18.1	魅力的な観光スポット・イベントがある	27.6
5	買い物を楽しめる	21.5	街歩きが楽しめる	11.1	魅力的な食べ物がある(宿泊時の食事を除く)	22.2

NO.	県央(n=534)		県南(n=616)		県東(n=670)	
	魅力を感じるもの	割合 (%)	魅力を感じるもの	割合 (%)	魅力を感じるもの	割合 (%)
1	魅力的な温泉がある	54.3	魅力的な観光スポット・イベントがある	40.7	魅力的な温泉がある	49.1
2	魅力的な自然・景観がある	42.5	魅力的な温泉がある	39.3	魅力的な自然・景観がある	45.7
3	魅力的な観光スポット・イベントがある	36.5	魅力的な自然・景観がある	29.4	魅力的な観光スポット・イベントがある	32.5
4	魅力的な食べ物がある(宿泊時の食事を除く)	29.0	魅力的な食べ物がある(宿泊時の食事を除く)	28.2	魅力的な食べ物がある(宿泊時の食事を除く)	26.9
5	アウトドアが楽しめる(登山、釣り、自転車、川遊びなど)	15.5	各種体験が楽しめる(農業体験、フルーツ狩り、手作りなど)	22.9	買い物を楽しめる	21.6

(2) エリア別

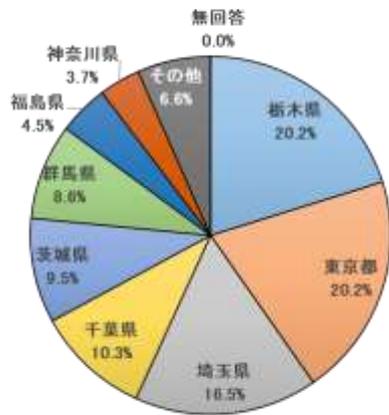
i. 日光エリア

① 令和5 (2023) 年度調査結果

日帰り客 (日光エリア) サンプル数 : 243

お住まいは「栃木県」と「東京都」が最も多く 20.2%、次いで「埼玉県」が 16.5%、「千葉県」が 10.3%であった。  
 年代は、男性では「40代」が 23.3%で最も多く、女性では「10代・20代」と「60代以上」が 23.7%で最も多かった。  
 調査地域周辺への来訪回数は、「5回目以上」が 30.5%で最も多かった。  
 同行者数は「2人」が 51.9%で最も多く、同行者の関係は「夫婦旅行」が 23.5%、「友人との旅行」が 21.8%となっている。

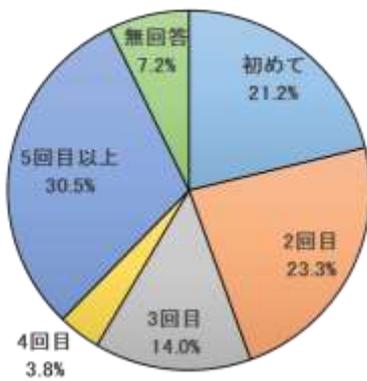
お住まい (n=243)



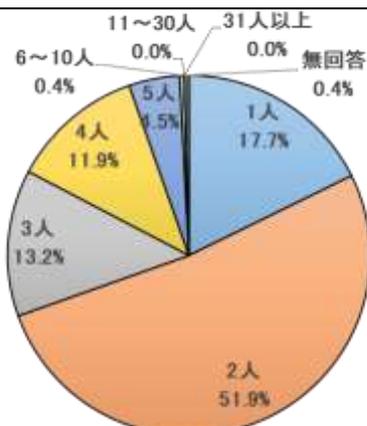
性別・年代 (n=243)



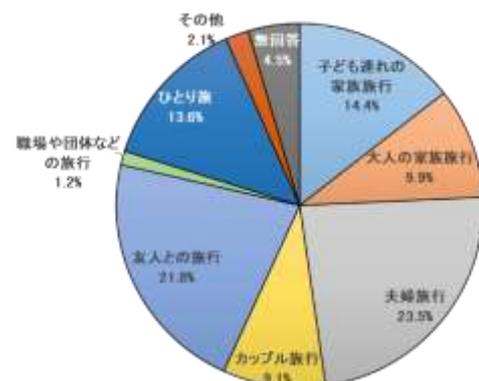
調査地域周辺への来訪回数 (n=236)



同行者数 ※回答者を含む (n=243)

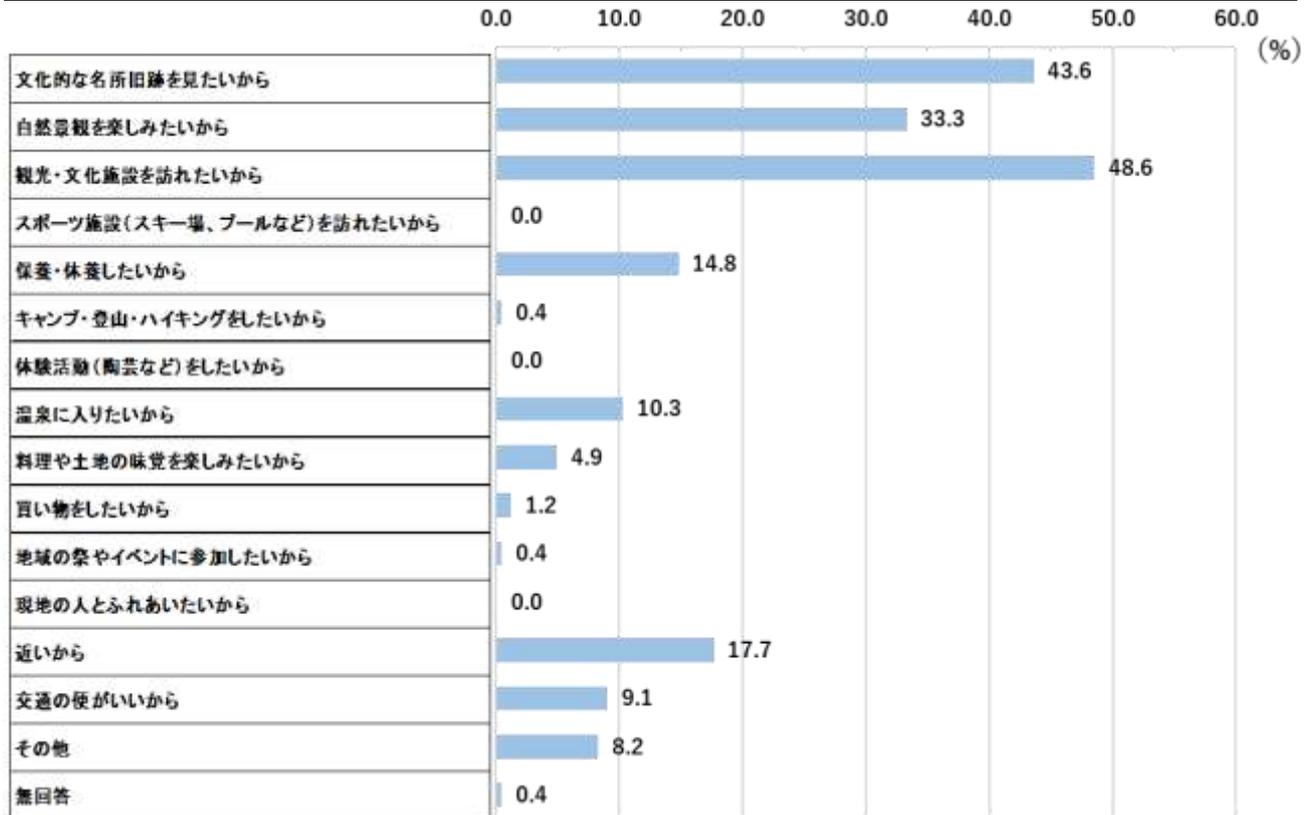


同行者の関係 (n=243)



旅行先に選んだ理由は「観光・文化施設を訪れたいから」が48.6%で最も多く、次いで「文化的な名所旧跡を見たいから」が43.6%であった。旅行先に選んだ情報源は「以前来訪した際の自身の経験」が50.2%で最も多く、“決め手”となった情報源も「以前来訪した際の自身の経験」が40.7%で最も多かった。

旅行先に選んだ理由（複数回答）（n=243）



旅行先に選んだ情報源（複数回答）（n=243）

“決め手”となった情報源（単一回答）（n=243）

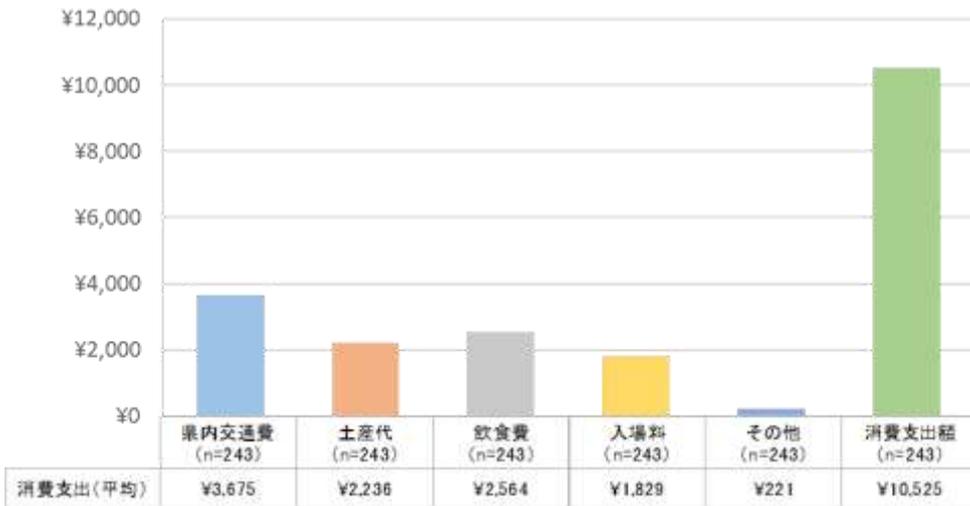


第2章 観光客調査 調査結果

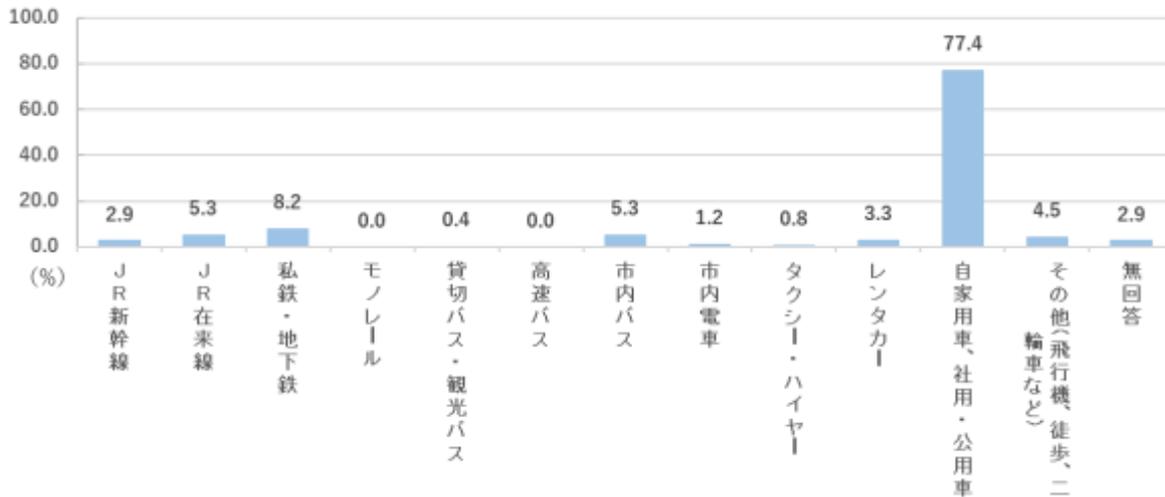
1. 日帰り客 (2) エリア別 i. 日光エリア

消費支出の平均は、総額で 10,525 円であった。内訳は、「県内交通費」が 3,675 円で最も多く、次いで「飲食費」が 2,564 円であった。利用交通機関は、「自家用車、社用・公用車」が 77.4%で最も多かった。  
立ち寄り観光施設は、「二社一寺」が 31 人で最も多く、次いで「中禅寺湖」が 18 人であった。

消費支出 (平均)



利用交通機関 (複数回答) (n=243)

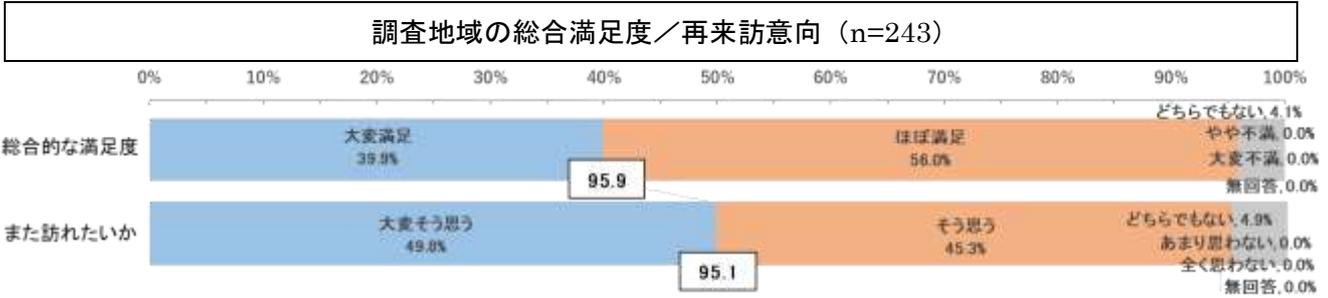


立ち寄り観光施設 (n=243) ※ ( ) 内は施設に立ち寄った人数

日光	二荒山神社中宮祠(3)	那須
二社一寺(31)	日光街道ニコニコ本陣(3)	那須ガーデンアウトレット(1)
中禅寺湖(18)	湯滝・湯の湖(2)	県央
華厳ノ滝(15)	龍王峡(2)	大谷資料館(3)
鬼怒川温泉(14)	とりっくあーとぴあ日光(1)	道の駅ばとう(1)
霧降の滝(4)	おさるランド&アタウン日光さる軍団(1)	県南
戦場ヶ原・小田代原(4)	日光田母沢御用邸記念公園(1)	あしかがフラワーパーク(1)
日光湯元温泉(3)	EDO WONDERLAND日光江戸村(1)	
明智平(3)	足尾銅山観光(1)	

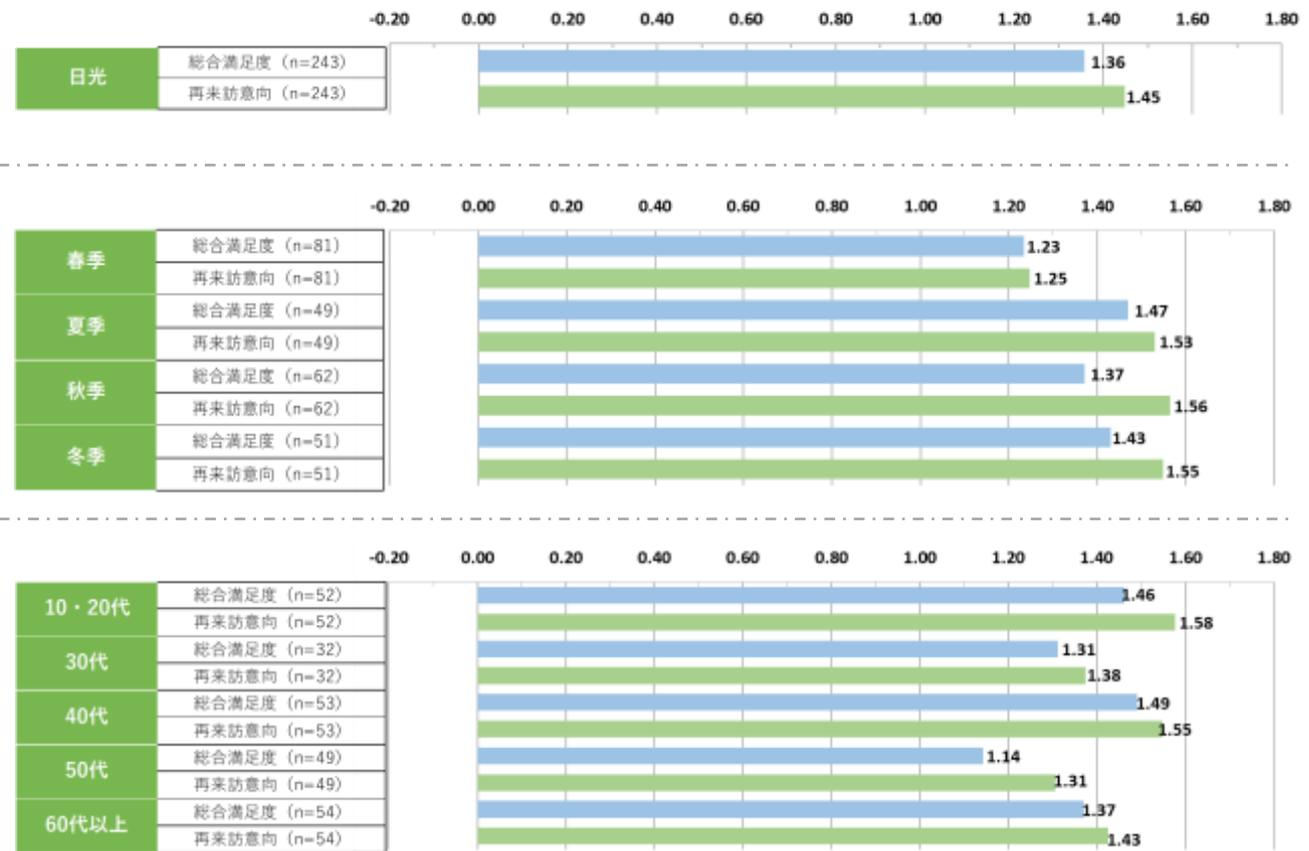
※対象者が現在いる地点(調査地点)は立ち寄り観光施設にカウントしない。  
二社一寺 (3)

調査地域の総合的な満足度は、「大変満足」と「ほぼ満足」をあわせた【満足層】が95.9%であった。また訪れたいかは、「大変そう思う」と「そう思う」をあわせた【再来訪意向層】が95.1%であった。



調査地域の総合満足度／再来訪意向 (季節別・年代別)

総合満足度を季節別にみると、「夏季」が1.47で最も高く、「春季」が1.23で最も低かった。また、再来訪意向は「秋季」が1.56で最も高く、「春季」が1.25で最も低かった。  
年代別にみると、総合満足度は「40代」で1.49と最も高く、「50代」で1.14と最も低かった。また、再来訪意向は「10代・20代」で1.58と最も高く、「50代」で1.31と最も低かった。



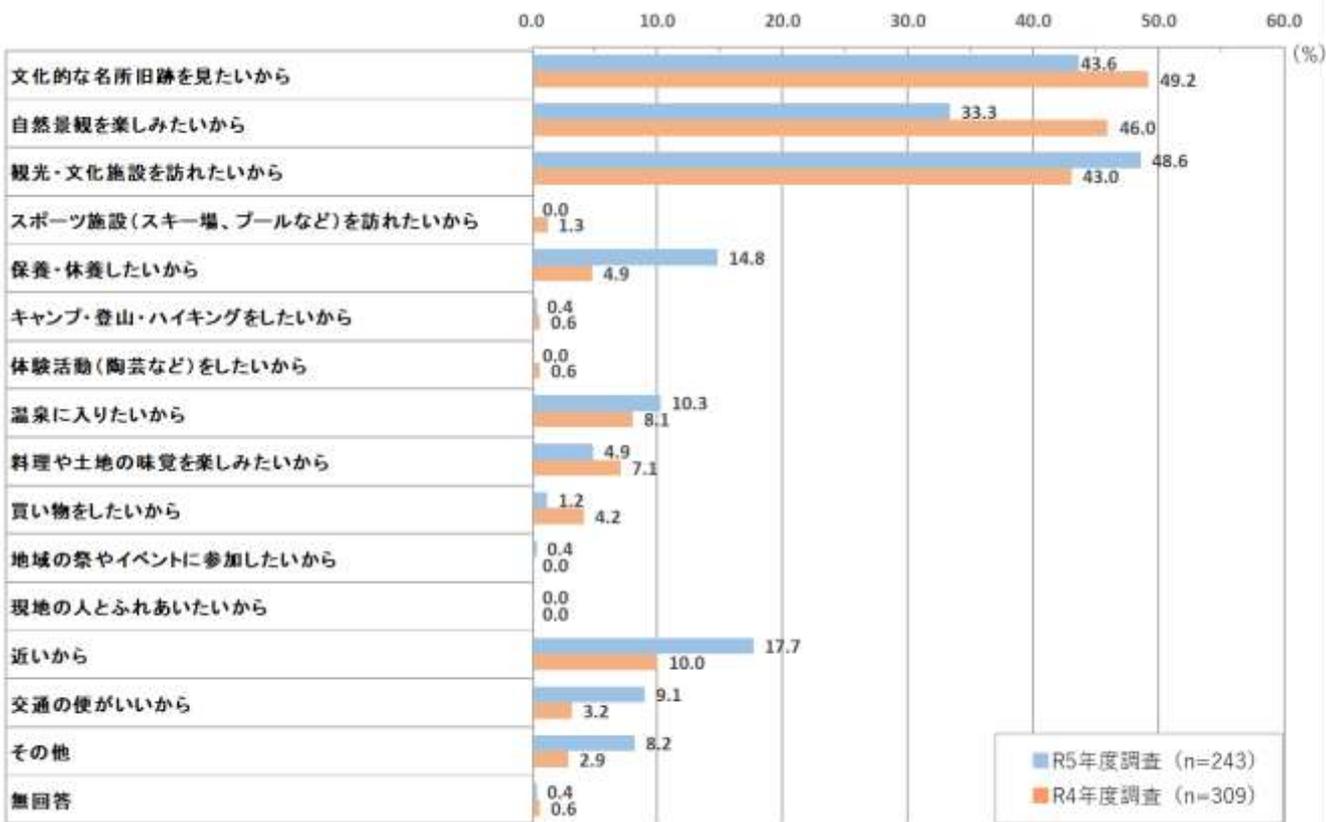
第2章 観光客調査 調査結果

1. 日帰り客 (2) エリア別 i. 日光エリア

②過去調査との比較

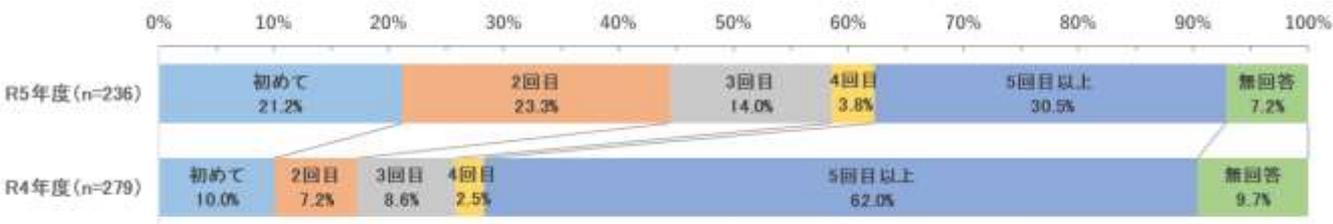
旅行先に選んだ理由は、「観光・文化施設を訪れたいから」が最も多く、令和4（2022）年度調査では43.0%、令和5（2023）年度調査では48.6%と5.6ポイント増加した。また、次いで多かった「文化的な名所旧跡を見たいから」は令和4（2022）年度調査では49.2%、令和5（2023）年度調査では43.6%と5.6ポイント減少した。

旅行先に選んだ理由（複数回答）



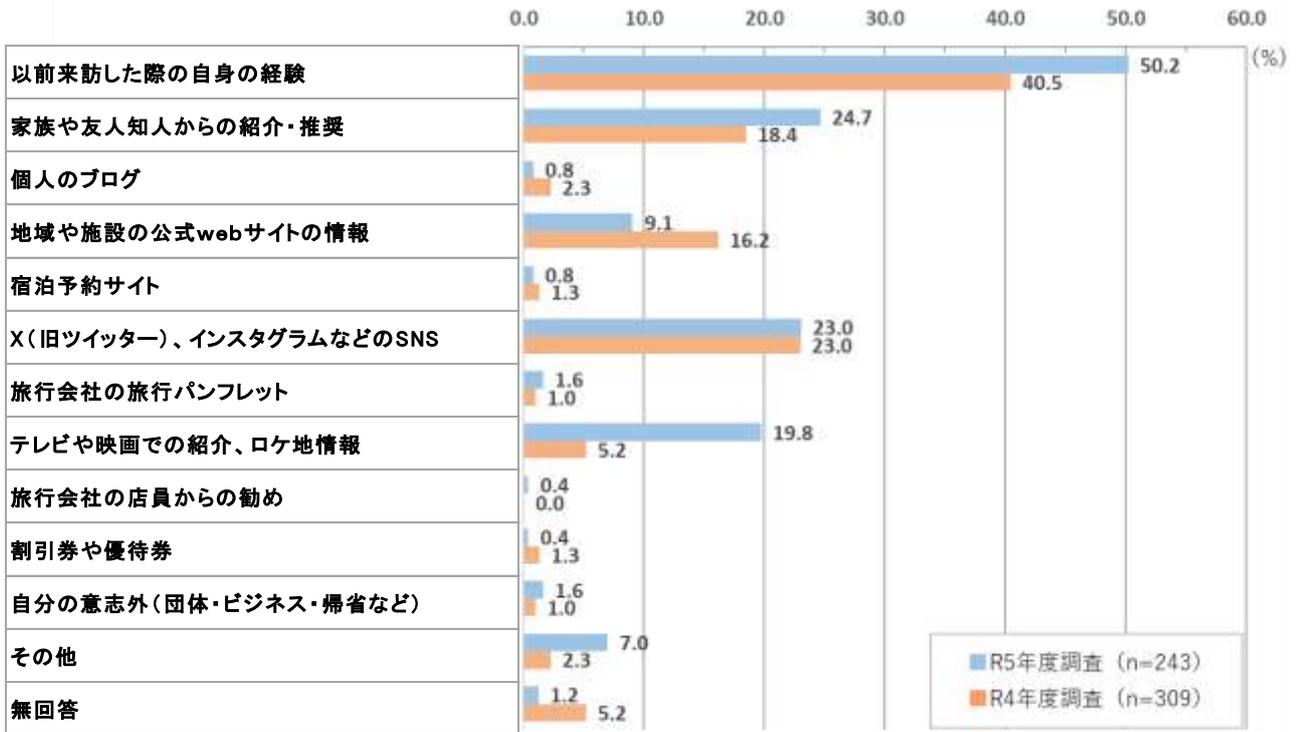
調査地域周辺への来訪回数は、「5回目以上」が令和4（2022）年度調査では62.0%、令和5（2023）年度調査では30.5%と31.5ポイント減少したものの最も多かった。一方、「初めて」は令和4（2022）年度調査では10.0%、令和5（2023）年度調査では21.2%と11.2ポイント増加した。

調査地域周辺への来訪回数 ※周辺住民を除く



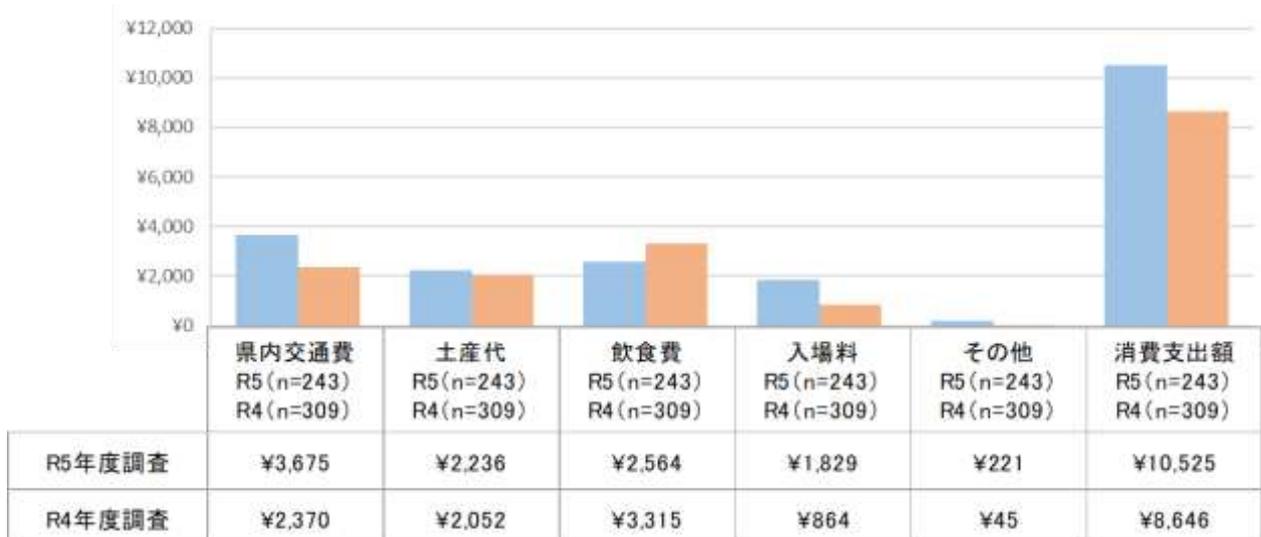
旅行先に選んだ情報源として最も多かった「以前来訪した際の自身の経験」は、令和4（2022）年度調査では40.5%、令和5（2023）年度調査では50.2%と9.7ポイント増加した。また、「家族や友人知人からの紹介・推奨」は、令和4（2022）年度調査では18.4%、令和5（2023）年度調査では24.7%と6.3ポイント増加した。

旅行先に選んだ情報源（複数回答）



消費支出の総額は、令和4（2022）年度調査では8,646円であったが、令和5（2023）年度調査では10,525円に増加した。

消費支出（総額）

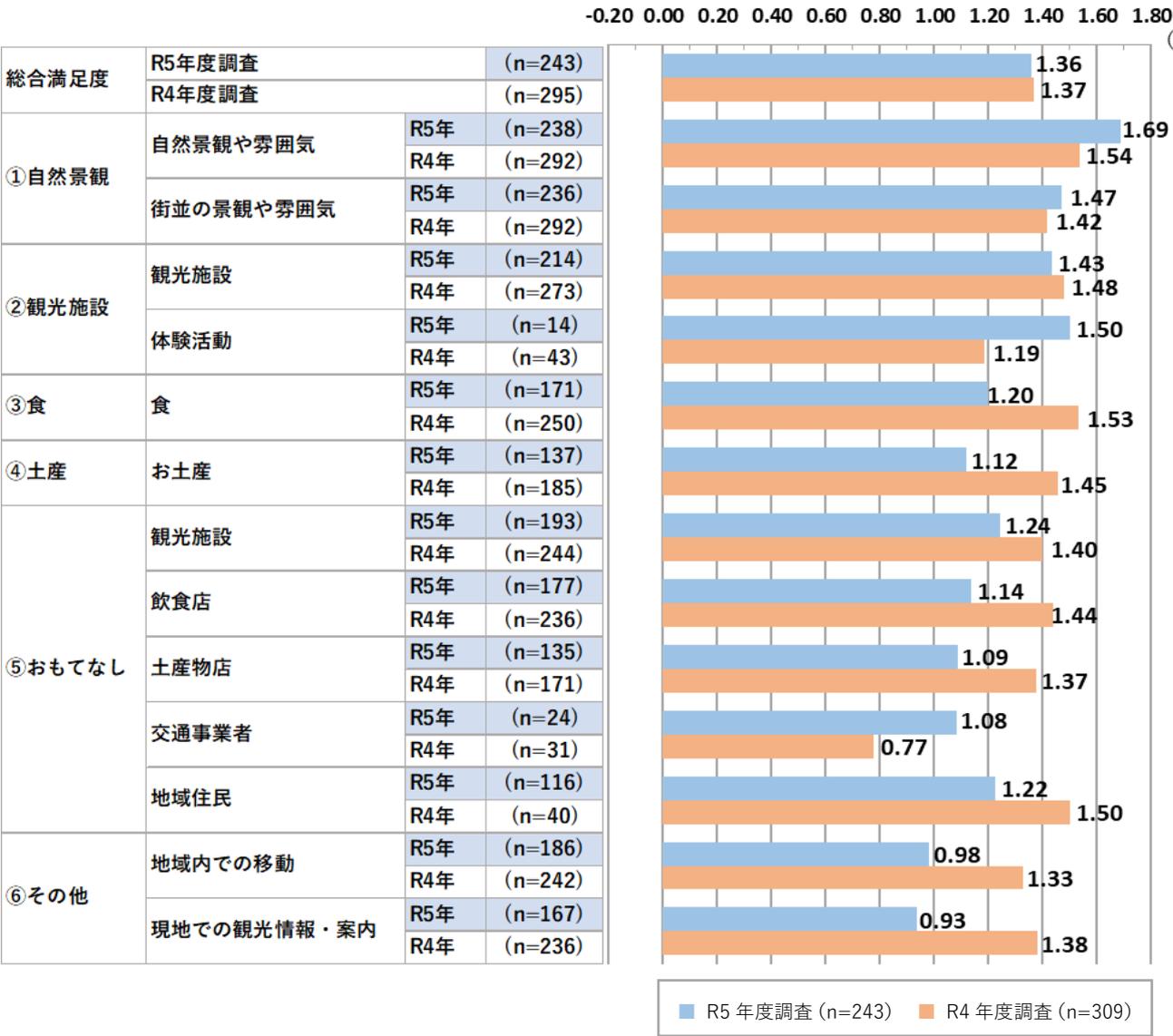


第2章 観光客調査 調査結果

1. 日帰り客 (2) エリア別 i. 日光エリア

総合満足度は、令和5（2023）年度調査で1.36となり、令和4（2022）年度調査から微減した。満足度を項目別にみると、「自然景観 自然景観や雰囲気」は1.69、次いで「観光施設 体験活動」が1.50であった。

項目別満足度（加重平均値）



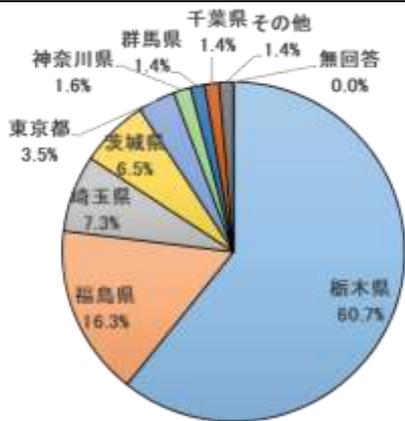
## ii. 那須エリア

### ① 令和5（2023）年度調査結果

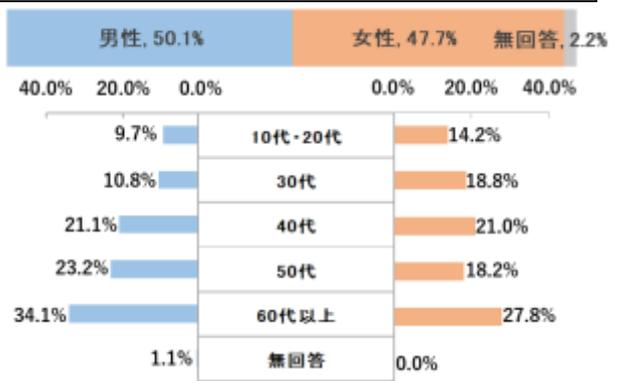
日帰り客（那須エリア） サンプル数：369

お住まいは「栃木県」が最も多く60.7%、次いで「福島県」が16.3%、「埼玉県」が7.3%であった。  
年代は、男性では「60代以上」が34.1%で最も多く、女性も「60代以上」が27.8%で最も多かった。  
調査地域周辺への来訪回数は、「5回目以上」のリピーターが50.0%で最も多かった。  
同行者数は「2人」が49.9%で最も多く、同行者の関係は「夫婦旅行」が29.5%で最も多かった。

お住まい (n=369)



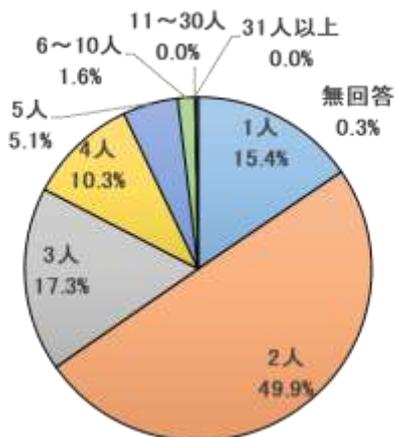
性別・年代 (n=369)



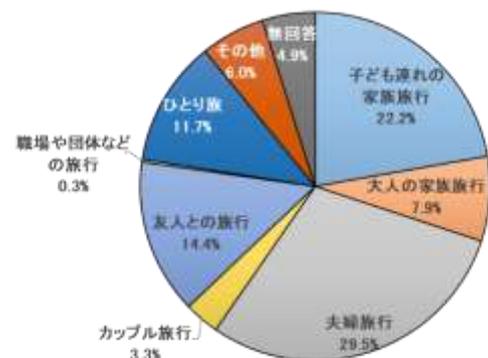
調査地域周辺への来訪回数 (n=286)



同行者数 ※回答者を含む (n=369)



同行者の関係 (n=369)

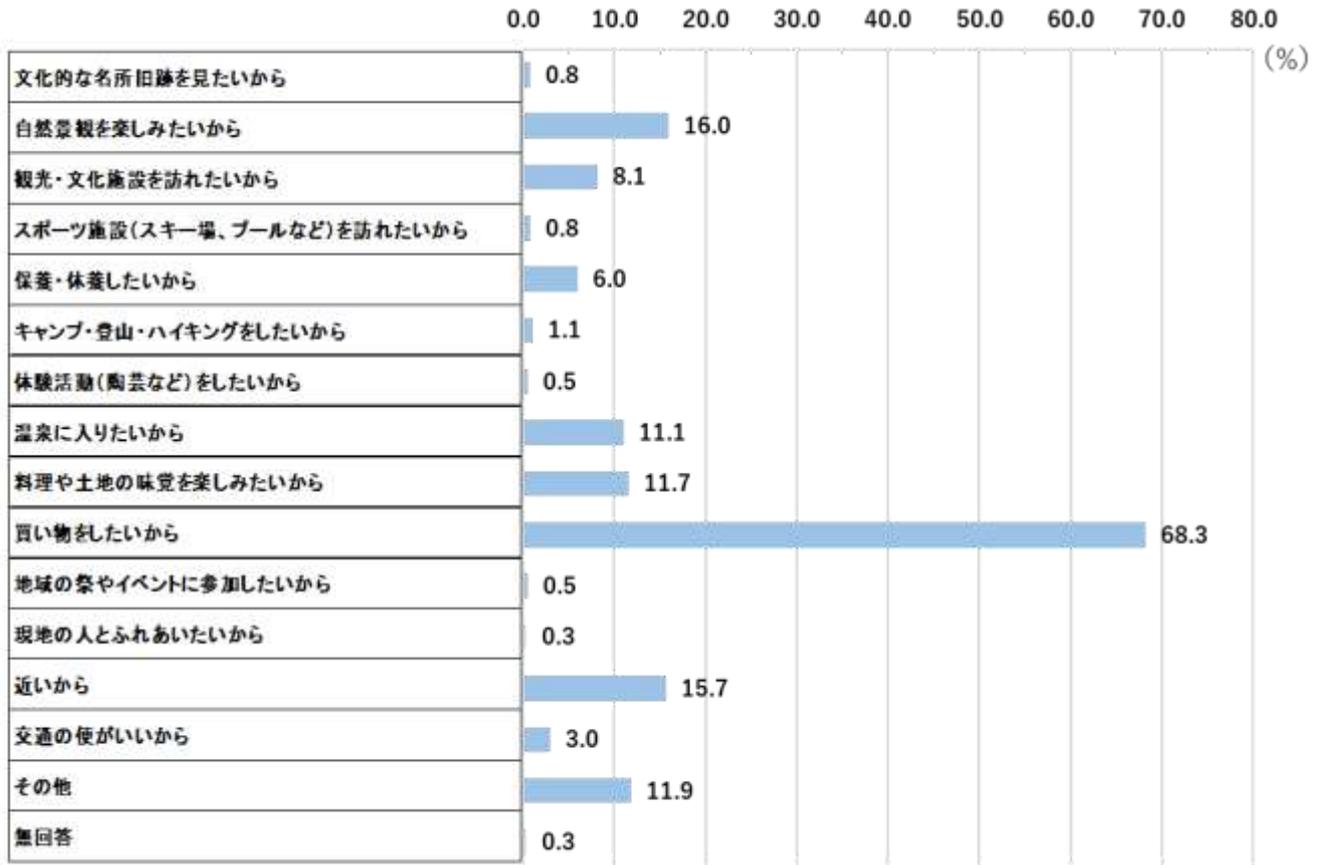


第2章 観光客調査 調査結果

1. 日帰り客 (2) エリア別 ii. 那須エリア

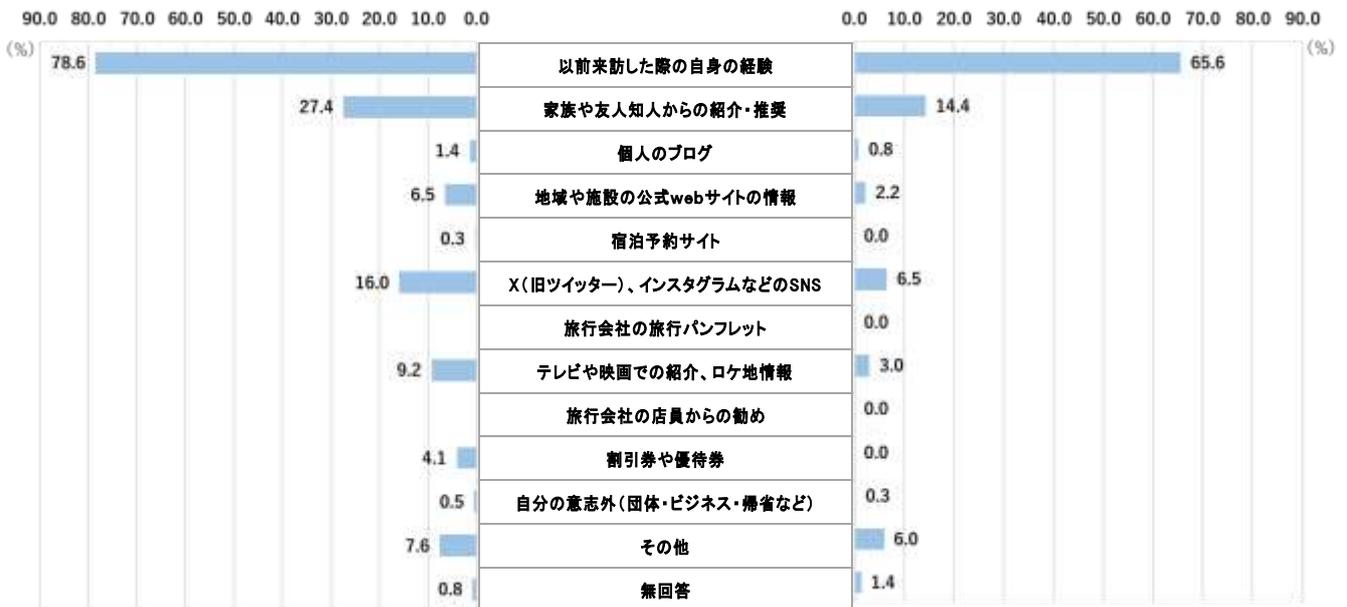
旅行先に選んだ理由は「買い物をしたいから」が68.3%で最も多く、次いで「自然景観を楽しみたいから」が16.0%であった。旅行先に選んだ情報源は「以前来訪した際の自身の経験」が78.6%で最も多く、“決め手”となった情報源も「以前来訪した際の自身の経験」が65.6%で最も多かった。

旅行先に選んだ理由 (複数回答) (n=369)



旅行先に選んだ情報源 (複数回答) (n=369)

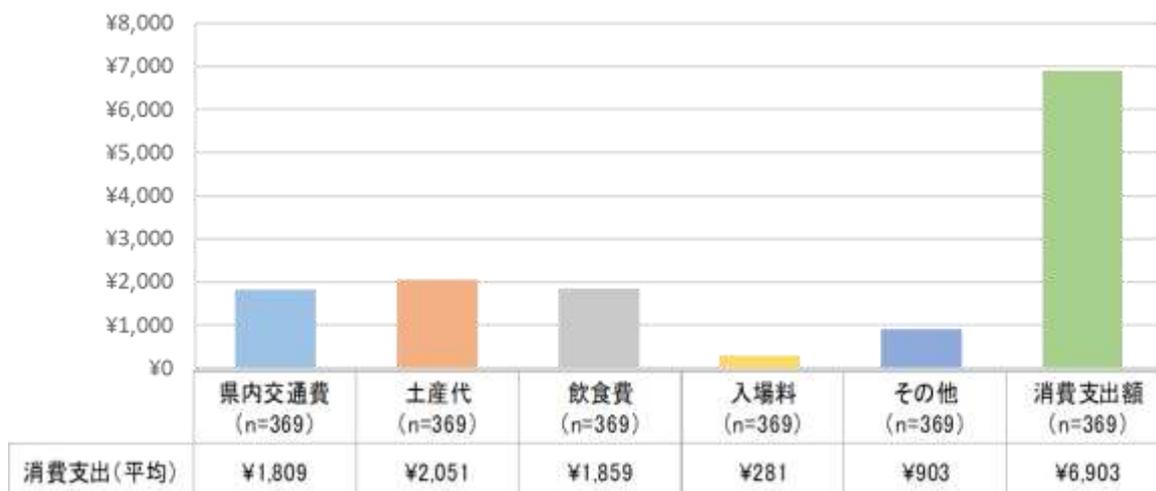
“決め手”となった情報源 (単一回答) (n=369)



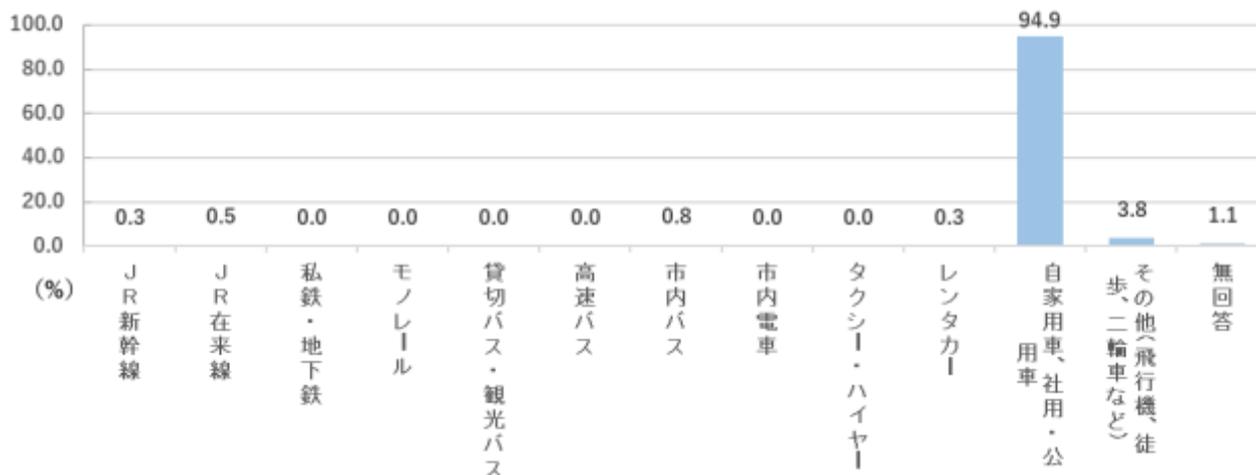
消費支出の平均は、総額で 6,903 円であった。内訳は、「土産代」が 2,051 円で最も多く、次いで「飲食費」が 1,859 円であった。利用交通機関は、「自家用車、社用・公用車」が 94.9%であった。

立ち寄り観光施設は、「那須ガーデンアウトレット」が 23 人で最も多く、次いで「千本松牧場」と「南ヶ丘牧場」が 9 人であった。

消費支出（平均）



利用交通機関（複数回答）（n=369）



立ち寄り観光施設（n=369）※（ ）内は施設に立ち寄った人数

那須	道の駅「湧水の郷しおや」(1)	県央
那須ガーデンアウトレット(23)	那須高原友愛の森(1)	白鷺神社(1)
千本松牧場(9)	那須ハイランドパーク(1)	清流の郷かすお(1)
南ヶ丘牧場(9)	那須アルパカ牧場(1)	大谷資料館(1)
那須どうぶつ王国(3)	日光	馬頭温泉郷(1)
塩原温泉湯っ歩の里(2)	鬼怒川温泉(3)	
藤城清治美術館(2)	二社一寺(2)	
道の駅やいた(1)	EDO WONDERLAND日光江戸村(1)	

※対象者が現在いる地点（調査地点）と立ち寄り観光施設に重複はなかった。

第2章 観光客調査 調査結果

1. 日帰り客 (2) エリア別 ii. 那須エリア

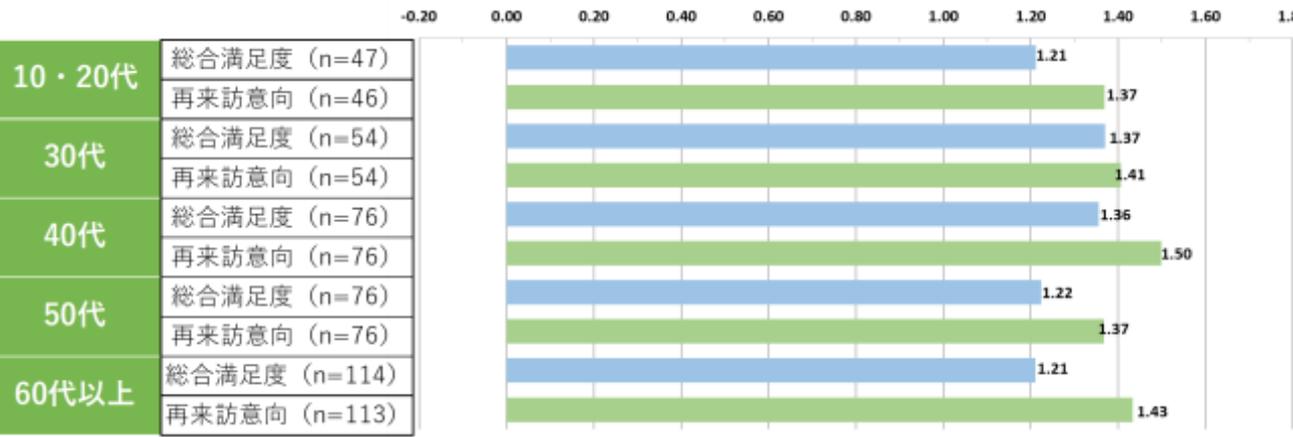
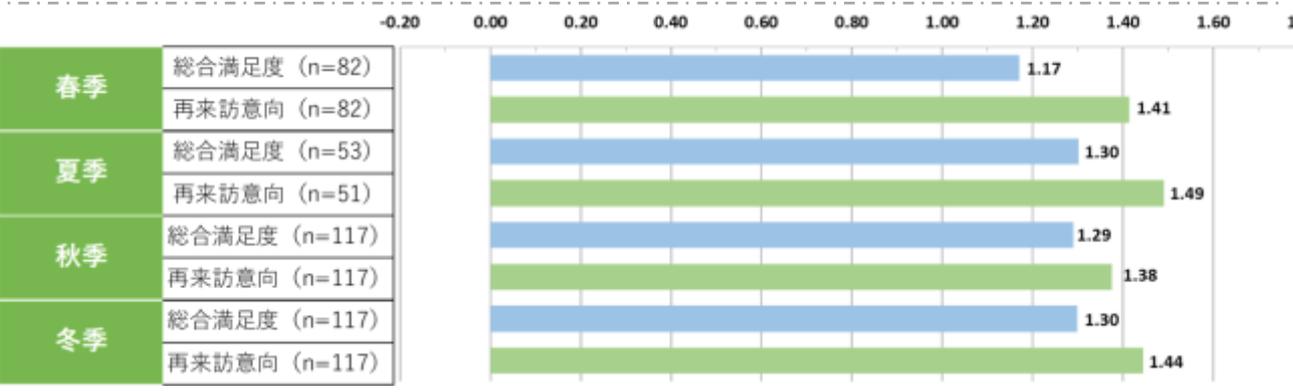
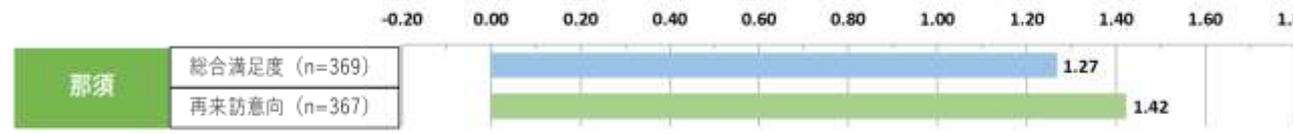
調査地域の総合的な満足度は、「大変満足」と「ほぼ満足」をあわせた【満足層】が91.3%であった。また訪れたいかは、「大変そう思う」と「そう思う」をあわせた【再来訪意向層】が94.4%であった。

調査地域の総合満足度／再来訪意向 (n=369)



調査地域の総合満足度／再来訪意向 (季節別・年代別)

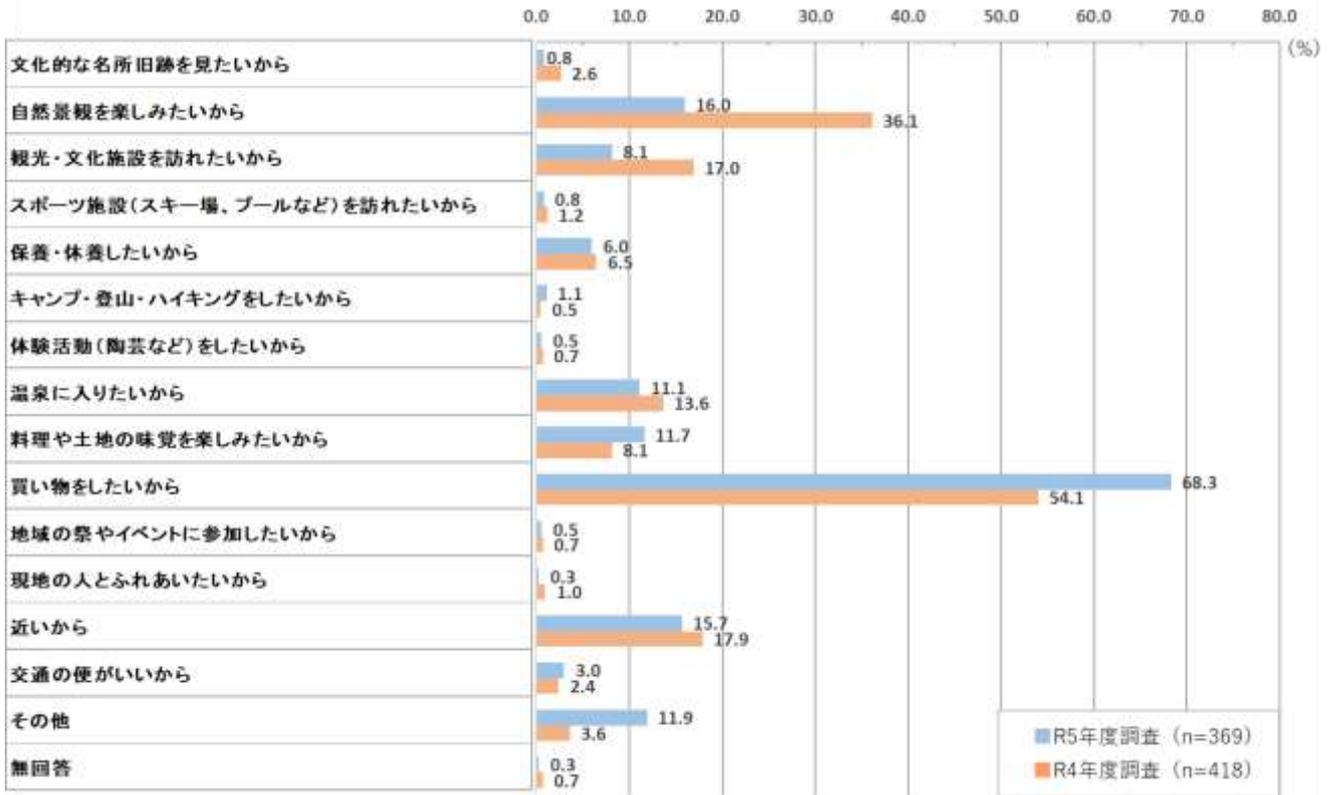
総合満足度を季節別にみると、「夏季」と「冬季」が1.30で最も高く、「春季」が1.17で最も低かった。再来訪意向についても「夏季」が1.49で最も高く、「秋季」が1.38で最も低かった。  
 年代別にみると、総合満足度は「30代」が1.37で最も高く、「10代・20代」と「60代以上」が1.21で最も低かった。再来訪意向は、「40代」が1.50で最も高く、「10代・20代」と「50代以上」が1.37で最も低かった。



② 過去調査との比較

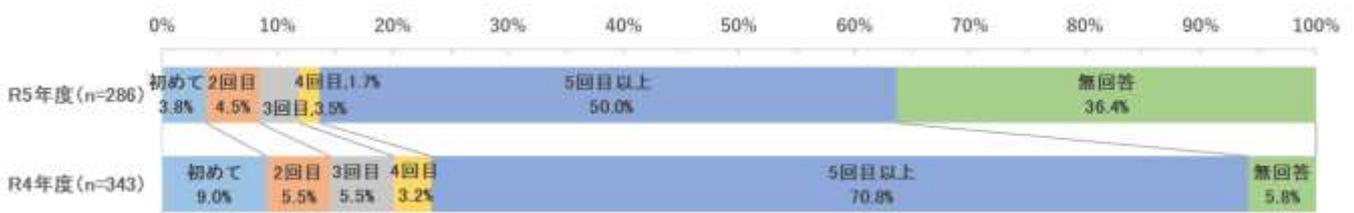
旅行先に選んだ理由は、「買い物をしたいから」が最も多く、令和4（2022）年度調査では54.1%、令和5（2023）年度調査では68.3%と14.2ポイント増加した。また、次いで多かった「自然景観を楽しみたいから」は、令和4（2022）年度調査では36.1%、令和5（2023）年度調査では16.0%と20.1ポイント減少した。

旅行先に選んだ理由（複数回答）



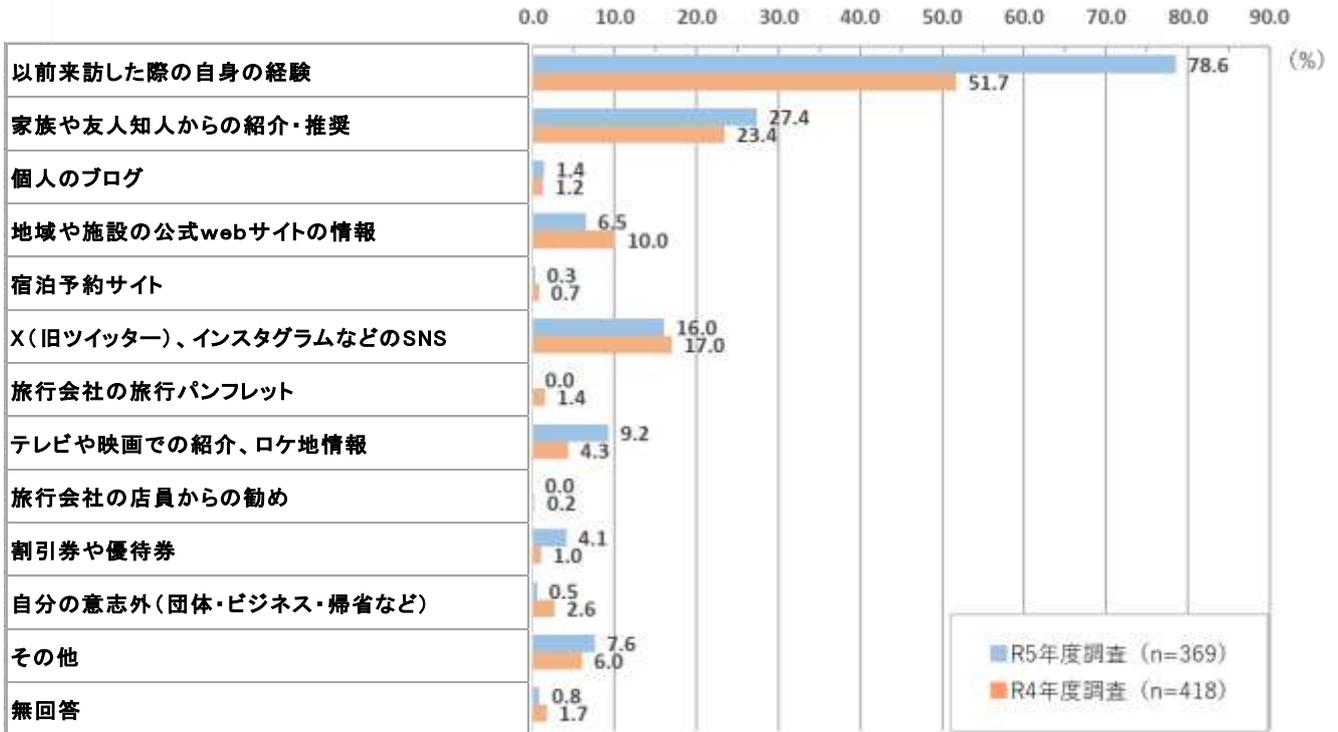
地域周辺への来訪回数は、「5回目以上」が令和4（2022）年度調査では70.8%、令和5（2023）年度調査では50.0%と、20.8ポイント減少した。また、「初めて」は令和4（2022）年度調査では9.0%、令和5（2023）年度調査では3.8%と5.2ポイント減少した。

調査地域周辺への来訪回数 ※周辺住民を除く



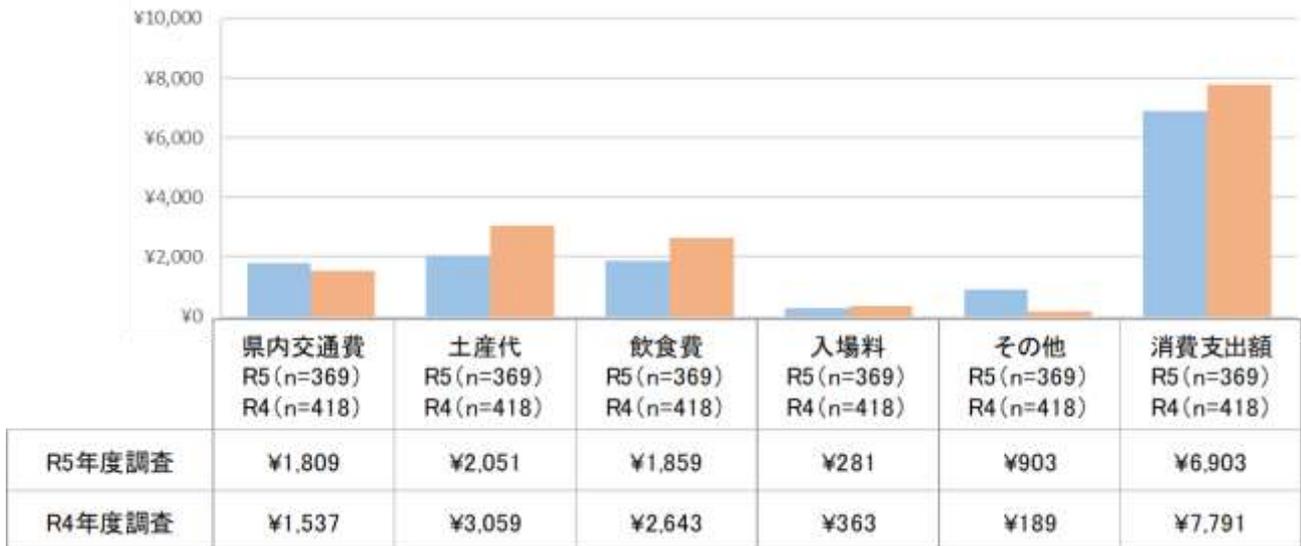
旅行先に選んだ情報源として最も多かった「以前来訪した際の自身の経験」は、令和4（2022）年度調査では51.7%、令和5（2023）年度調査では78.6%と26.9ポイント増加した。また、「家族や友人知人からの紹介・推奨」も27.4%と、令和4（2022）年度調査と比べて4.0ポイント増加した。

旅行先に選んだ情報源（複数回答）



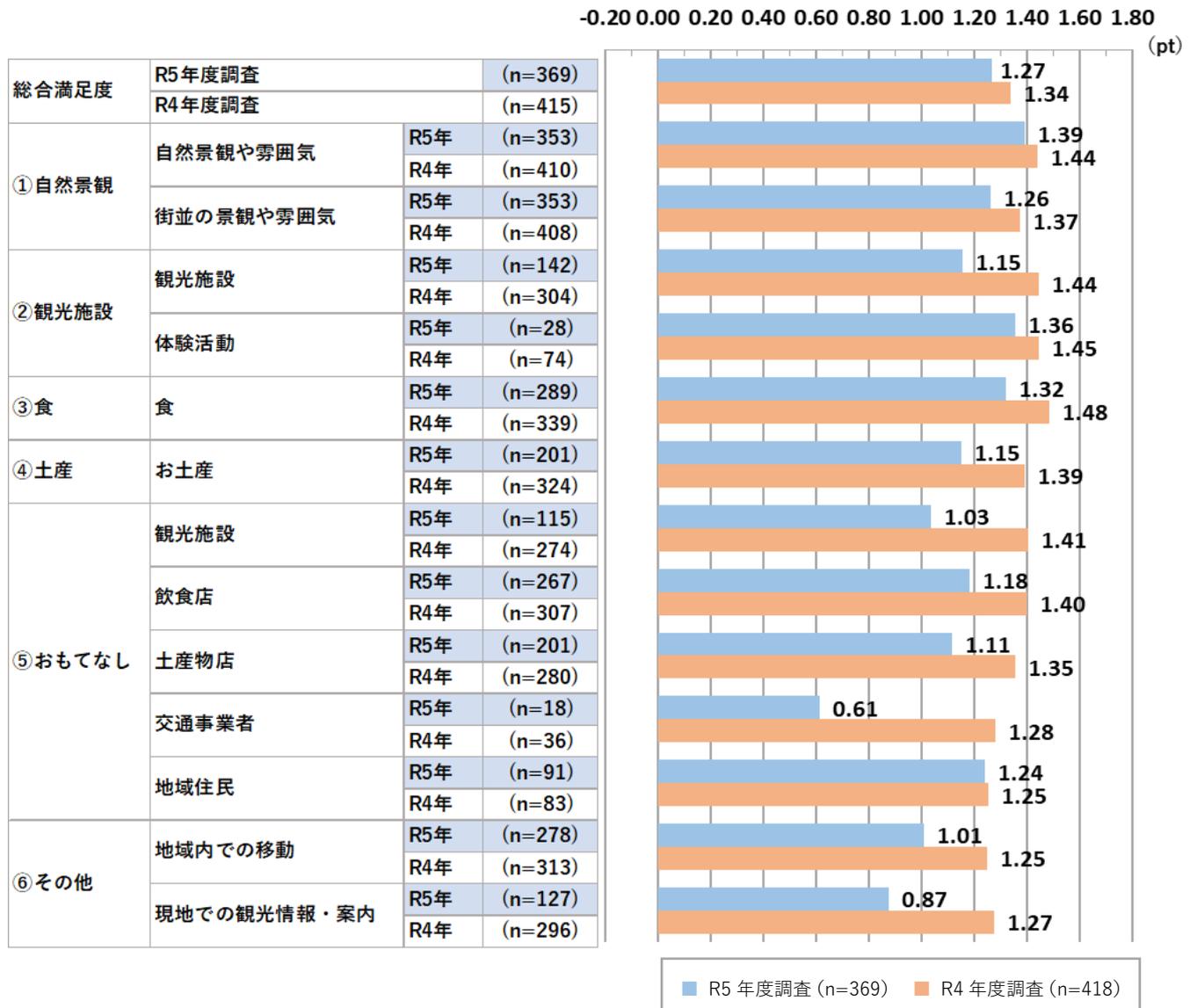
消費支出の総額は、令和4（2022）年度調査では7,791円であったが、令和5（2023）年度調査では6,903円に減少した。

消費支出（総額）



総合満足度は、令和4（2022）年度調査では1.34であったが、令和5（2023）年度調査では1.27と0.07ポイント減少した。満足度を項目別にみると「自然景観 自然景観や雰囲気」が1.39と最も高かったが、令和4（2022）年度調査の1.44からやや減少した。

項目別満足度（加重平均値）



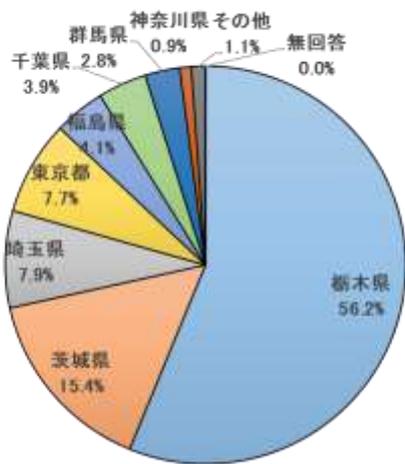
iii. 県央エリア

①令和5(2023)年度調査結果

日帰り客(県央エリア) サンプル数: 534

お住まいは「栃木県」が最も多く56.2%、次いで「茨城県」が15.4%、「埼玉県」が7.9%であった。  
 年代は、男女ともに「60代以上」が最も多く、「男性」が41.9%、「女性」が35.8%であった。  
 調査地域周辺への来訪回数は、「初めて」の方が30.0%で最も多かった。  
 同行者数は「2人」が53.2%で最も多く、同行者の関係は「夫婦旅行」が31.3%で最も多かった。

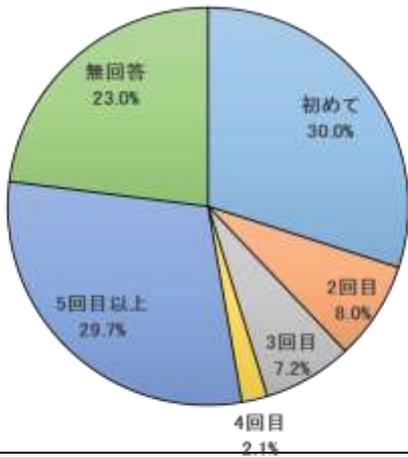
お住まい (n=534)



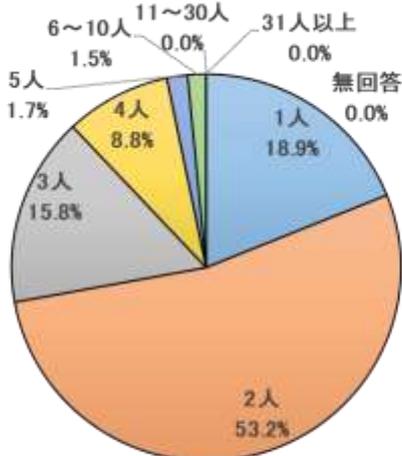
性別・年代 (n=534)



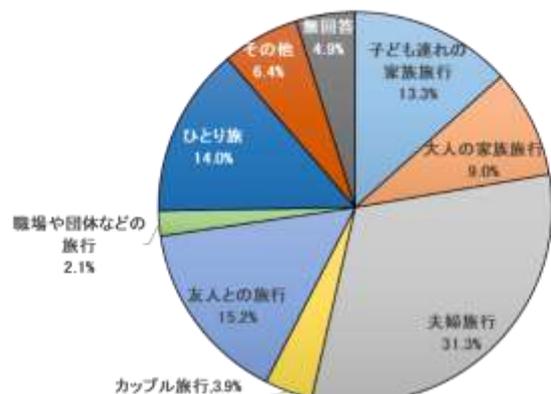
調査地域周辺への来訪回数 (n=387)



同行者数 ※回答者を含む (n=534)

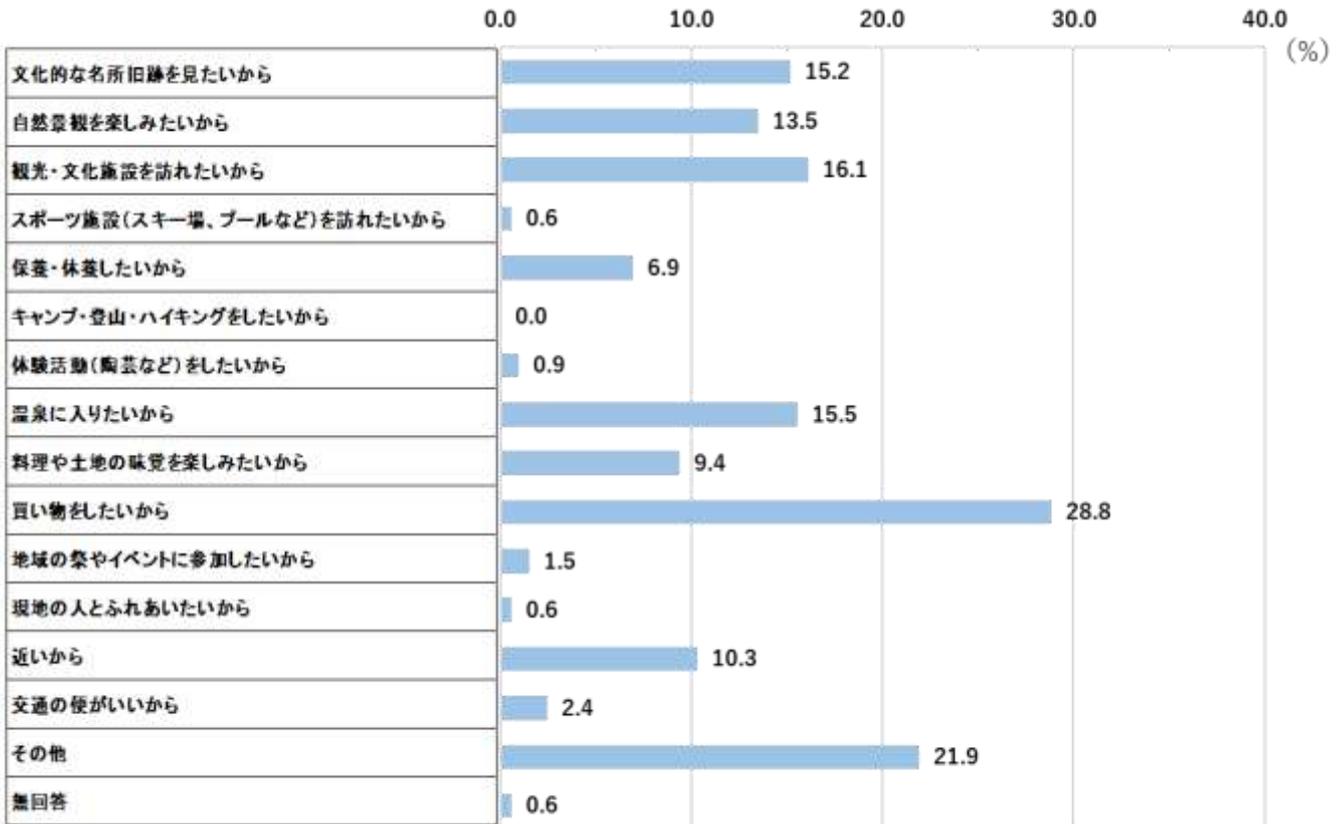


同行者の関係 (n=534)



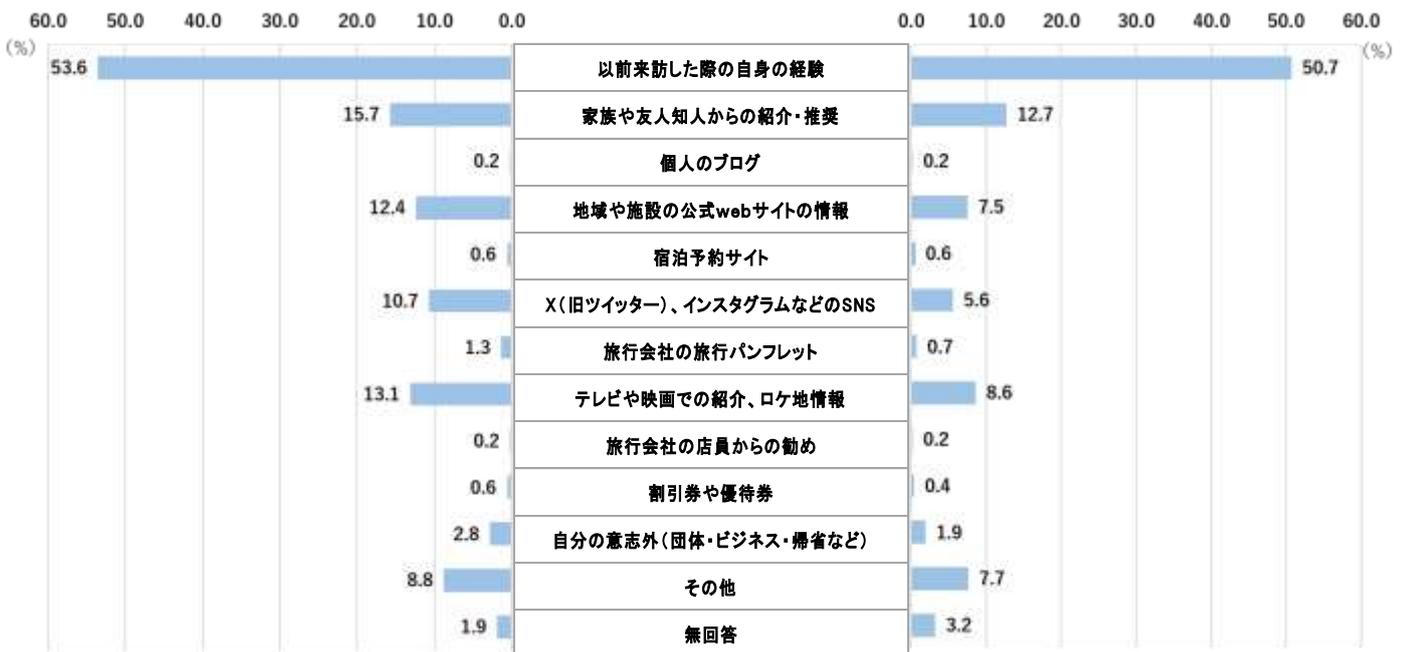
旅行先に選んだ理由は「買い物をしたいから」が28.8%で最も多く、次いで「その他」が21.9%であった。旅行先に選んだ情報源は「以前来訪した際の自身の経験」が53.6%で最も多く、“決め手”となった情報源も「以前来訪した際の自身の経験」が50.7%で最も多かった。

旅行先に選んだ理由（複数回答）(n=534)



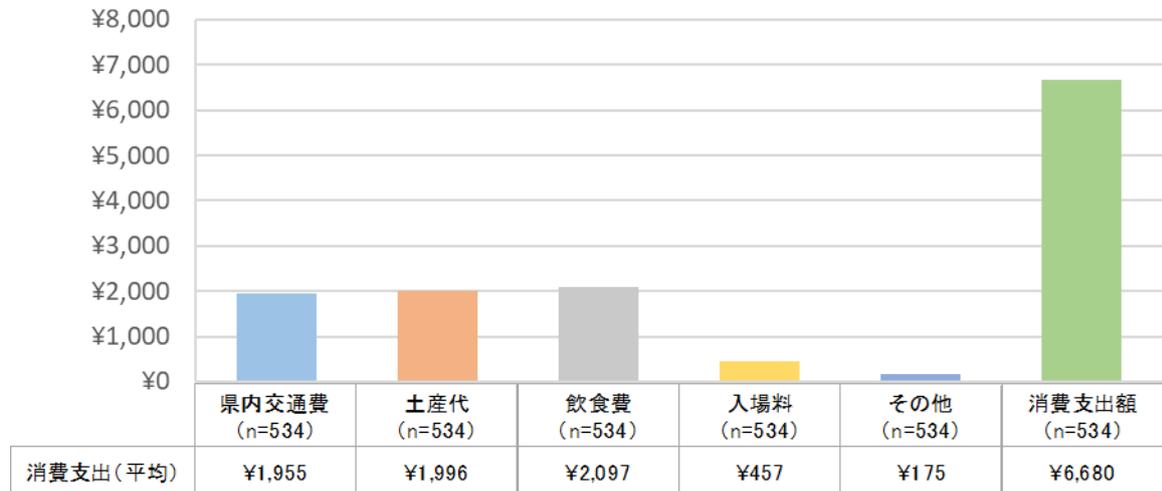
旅行先に選んだ情報源（複数回答）(n=534)

“決め手”となった情報源（単一回答）(n=534)

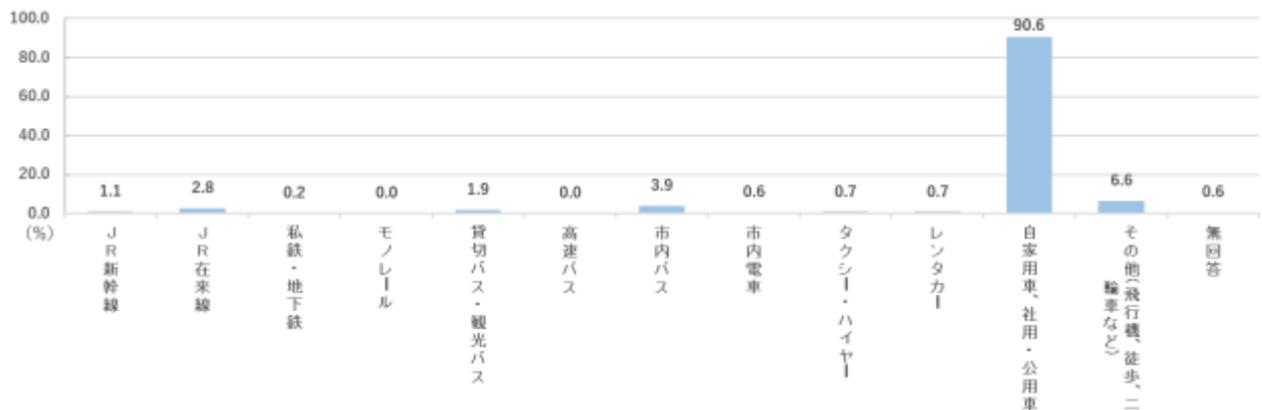


消費支出の平均は、総額で 6,680 円であった。内訳は、「飲食費」が 2,097 円で最も多く、次いで「土産代」が 1,996 円であった。利用交通機関は、「自家用車、社用・公用車」が 90.6%で最も多かった。  
立ち寄り観光施設は、「華厳の滝」が 13 人で最も多く、次いで「二社一寺」、「馬頭温泉郷」、「ろまんちっく村」がそれぞれ 9 人であった。

消費支出（平均）



利用交通機関（複数回答）（n=534）



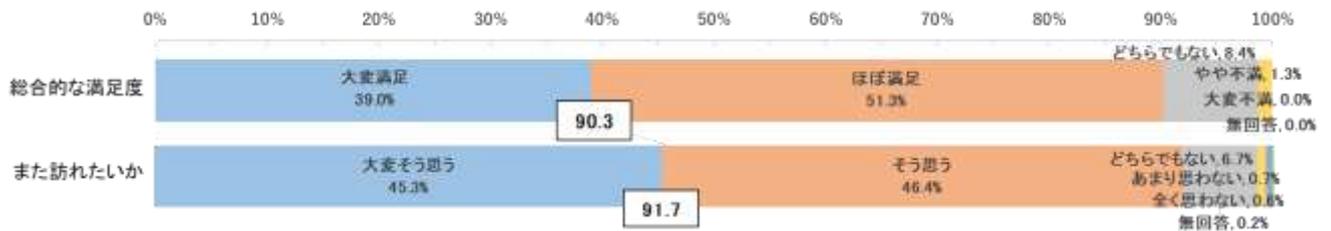
立ち寄り観光施設（n=534）※（ ）内は施設に立ち寄った人数

県央	戦場ヶ原・小田代原(3)	黒羽城址公園(1)
馬頭温泉郷(9)	湯滝・湯の湖(2)	千本松牧場(1)
ろまんちっく村(9)	日光湯元温泉(2)	東山道伊王野(1)
道の駅きつねがわ(5)	霧降の滝(2)	県南
道の駅たかねざわ元気あっぷむら(3)	鬼怒川温泉(2)	鏝阿寺(1)
馬頭広重美術館(2)	龍王峡(2)	史跡足利学校(1)
道の駅ばとう(2)	二荒山神社中宮祠(1)	いちごの里(1)
早乙女温泉(1)	とりっくあーとぴあ日光(1)	道の駅 しもつけ(1)
まほろばの湯湯親館(1)	日光街道ニコニコ本陣(1)	グリムの森・グリムの館(1)
宇都宮動物園(1)	おさるランド&アニタウン日光さる軍団(1)	あしかがフラワーパーク(1)
日光	那須	県東
華厳ノ滝(13)	栃木県なかがわ水遊園(6)	道の駅もてぎ(2)
二社一寺(9)	道の駅那須与一の郷(2)	益子焼(1)
中禅寺湖(5)	那須ガーデンアウトレット(2)	道の駅にのみや(1)
明智平(3)	芦野温泉(1)	道の駅ましこ(1)

※対象者が現在いる地点（調査地点）は立ち寄り観光施設にカウントしない。  
大谷資料館（15）

調査地域の総合的な満足度は、「大変満足」と「ほぼ満足」をあわせた【満足層】が90.3%であった。また訪れたいかは、「大変そう思う」と「そう思う」をあわせた【再来訪意向層】が91.7%であった。

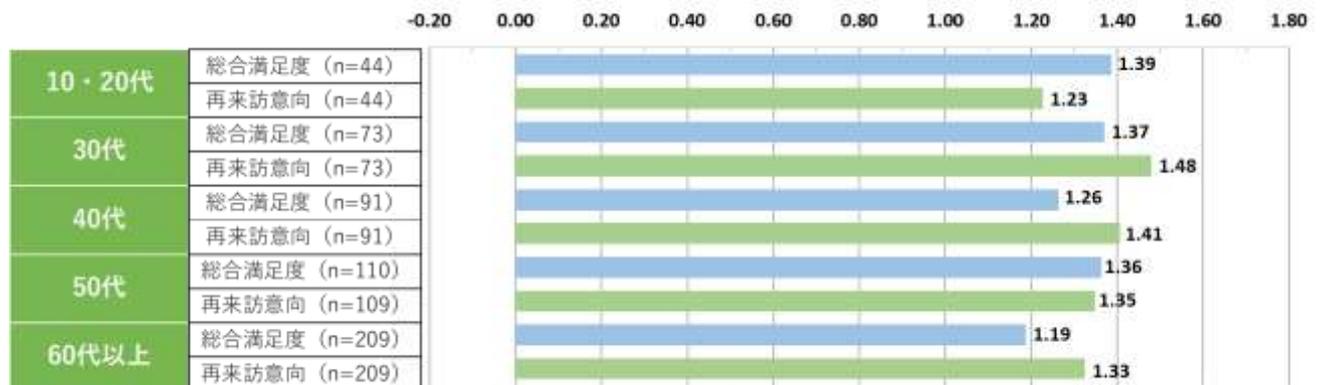
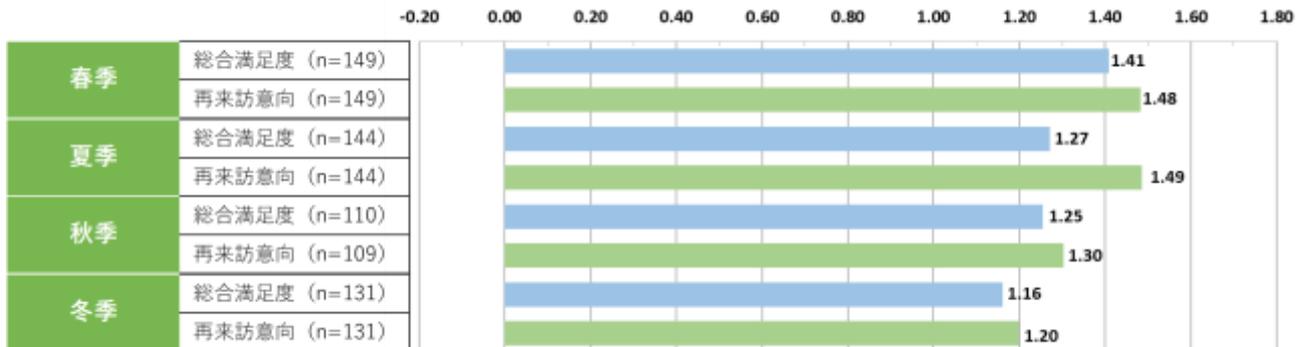
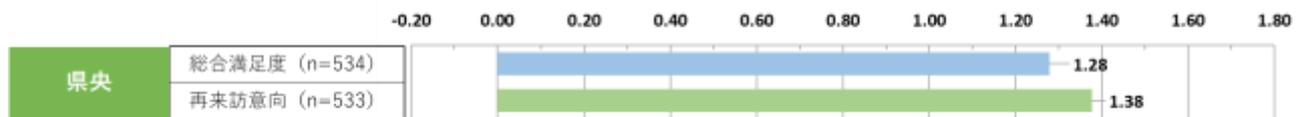
調査地域の総合満足度／再来訪意向 (n=534)



調査地域の総合満足度／再来訪意向 (季節別・年代別)

総合満足度を季節別にみると、「春季」が1.41で最も高く、「冬季」が1.16で最も低かった。再来訪意向については、「夏季」が1.49で最も高く、「冬季」が1.20で最も低かった。

年代別にみると、総合満足度は「10代・20代」が1.39と最も高く、「60代以上」が1.19と最も低かった。再来訪意向については「30代」が1.48で最も高く、「10代・20代」が1.23で最も低かった。



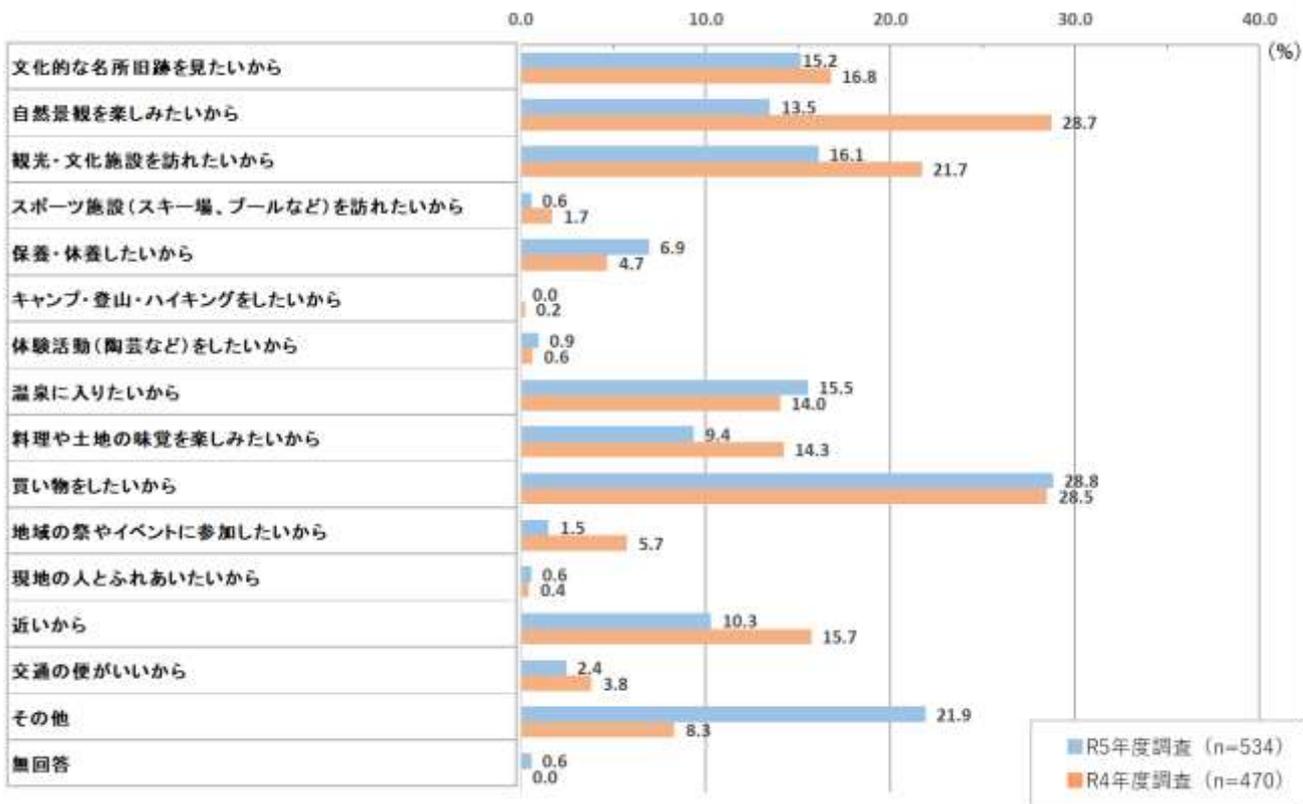
第2章 観光客調査 調査結果

1. 日帰り客 (2) エリア別 iii. 県央エリア

③ 過去調査との比較

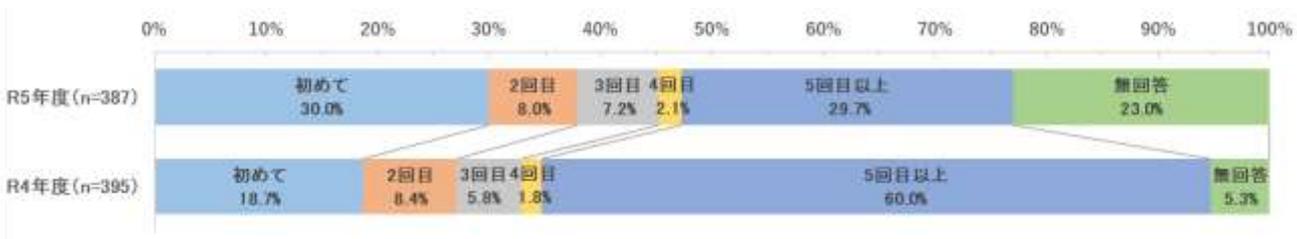
旅行先に選んだ理由は「買い物をしたいから」が最も多く、令和4（2022）年度では28.5%、令和5（2023）年度調査では28.8%と0.3ポイント増加した。一方、「自然景観を楽しみたいから」は令和4（2022）年度調査では28.7%、令和5（2023）年度調査では13.5%と15.2ポイント減少した。

旅行先に選んだ理由（複数回答）



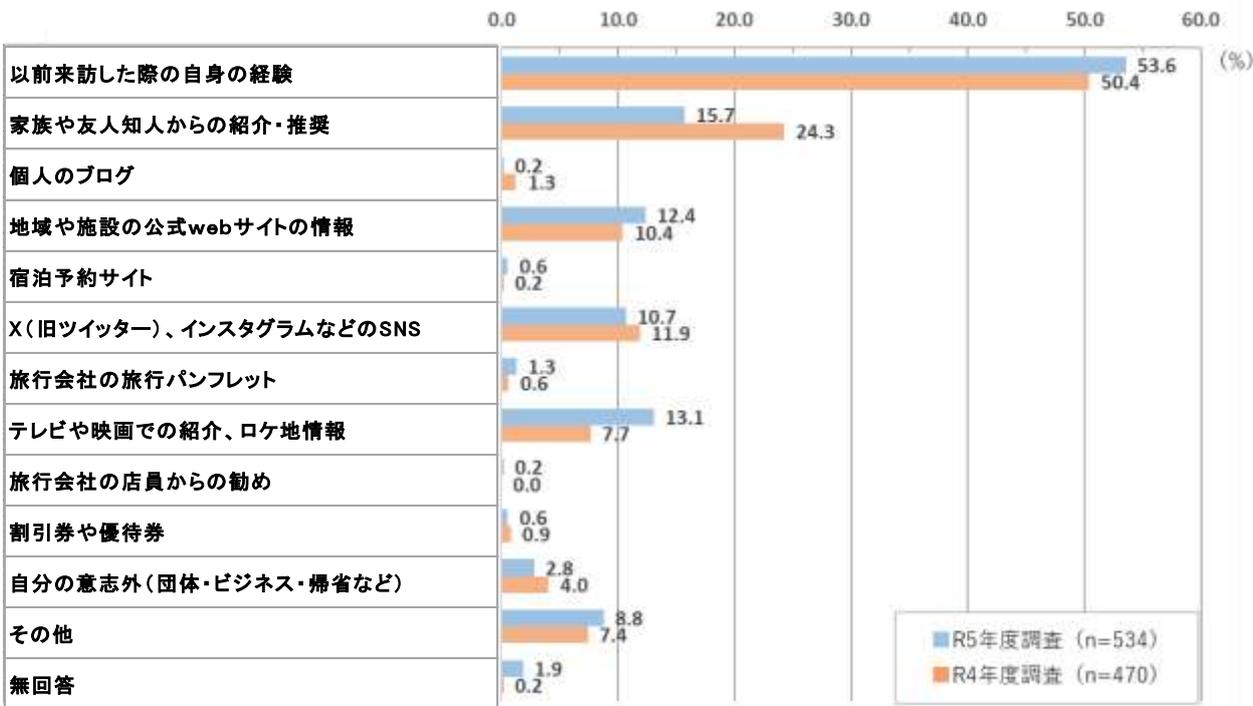
調査地域周辺への来訪回数は、令和4（2022）年度調査では「5回目以上」が60.0%であったが、令和5（2023）年度調査では29.7%と30.3ポイント減少した。一方、「初めて」は令和4（2022）年度調査時の18.7%から令和5（2023）年度調査では30.0%と、11.3ポイント増加した。

調査地域周辺への来訪回数 ※周辺住民を除く



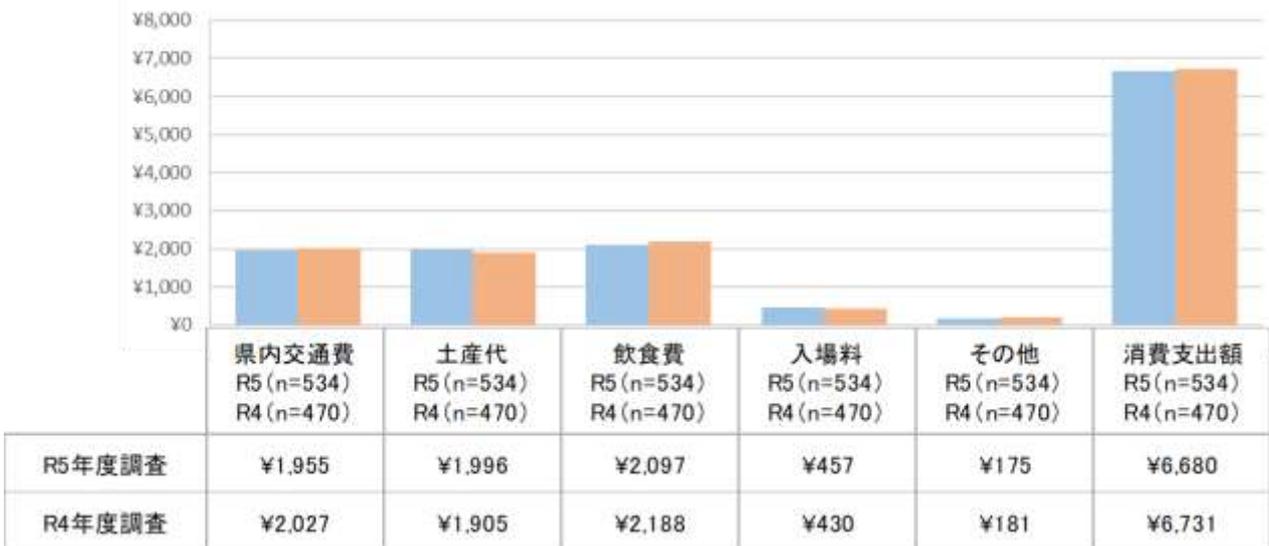
旅行先に選んだ情報源として最も多かった「以前来訪した際の自身の経験」は、令和4（2022）年度調査では50.4%、令和5（2023）年度調査では53.6%と3.2ポイント増加した。一方、「家族や友人知人からの紹介・推奨」については、令和4（2022）年度調査と比べて8.6ポイント減少した。

旅行先に選んだ情報源（複数回答）



消費支出の総額は、令和4（2022）年度調査では6,731円であったが、令和5（2023）年度調査では6,680円に減少した。

消費支出（総額）

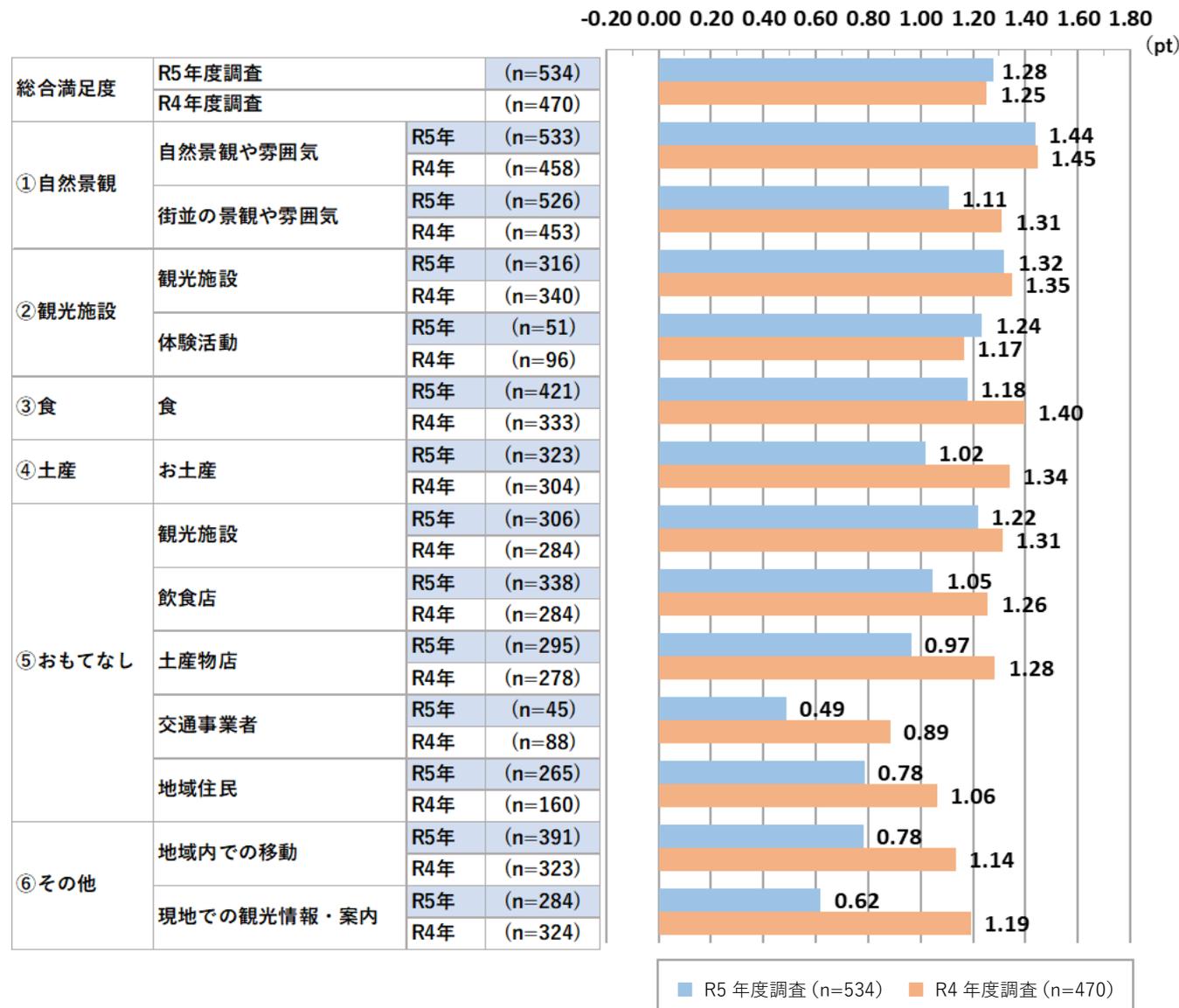


第2章 観光客調査 調査結果

1. 日帰り客 (2) エリア別 iii. 県央エリア

総合満足度は、令和4（2022）年度調査では1.25、令和5（2023）年度調査では1.28とやや増加した。満足度を項目別にみると、「自然景観 自然景観や雰囲気」が令和4（2022）年度調査では1.45、令和5（2023）年度調査では1.44とそれぞれ最も高くなった。

項目別満足度（加重平均値）



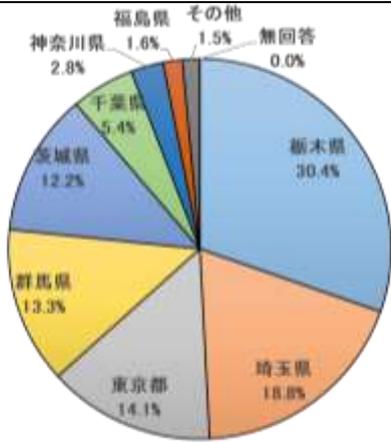
#### iv. 県南エリア

##### ①令和5（2023）年度調査結果

日帰り客（県南エリア） サンプル数：616

お住まいは「栃木県」が最も多く 30.4%、次いで「埼玉県」が 18.8%、「東京都」が 14.1%であった。年代は、男女ともに「40代」が最も多く、男性では 27.0%、女性では 22.9%であった。  
調査地域周辺への来訪回数は、「5回目以上」のリピーターが 44.1%で最も多く、次いで「初めて」が 20.9%であった。  
同行者数は「2人」が 46.8%で最も多く、同行者の関係は「子ども連れの家族旅行」が 21.8%で最も多かった。

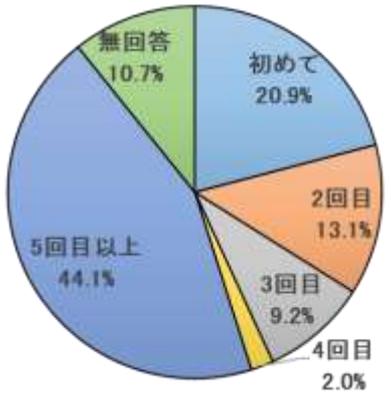
お住まい (n=616)



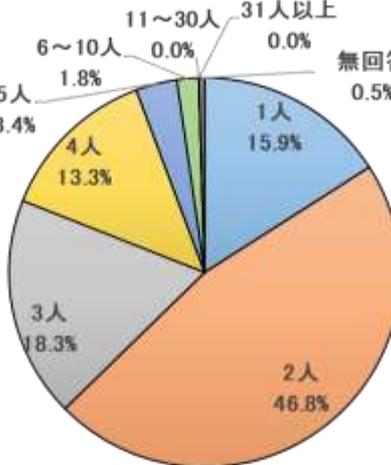
性別・年代 (n=616)



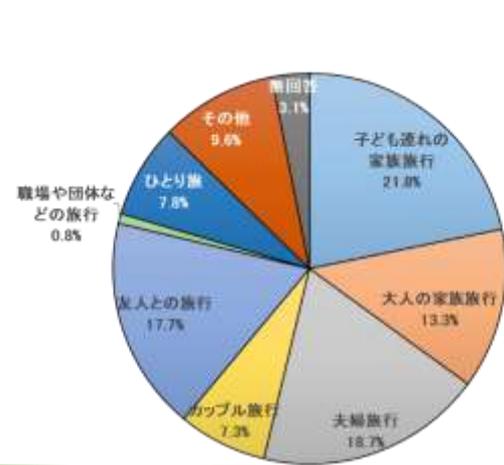
調査地域周辺への来訪回数 (n=512)



同行者数 ※回答者を含む (n=616)



同行者の関係 (n=616)

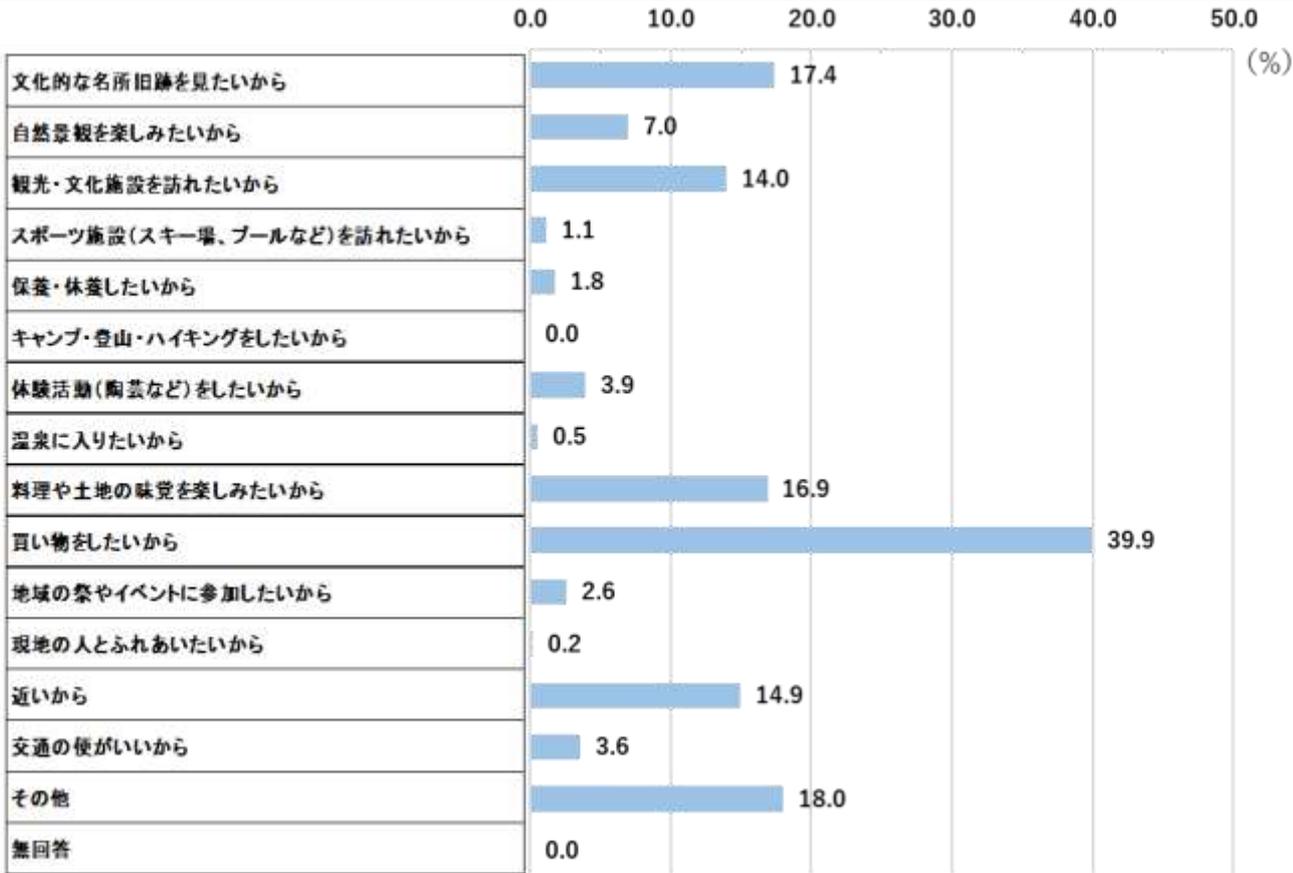


第2章 観光客調査 調査結果

1. 日帰り客 (2) エリア別 iv. 県南エリア

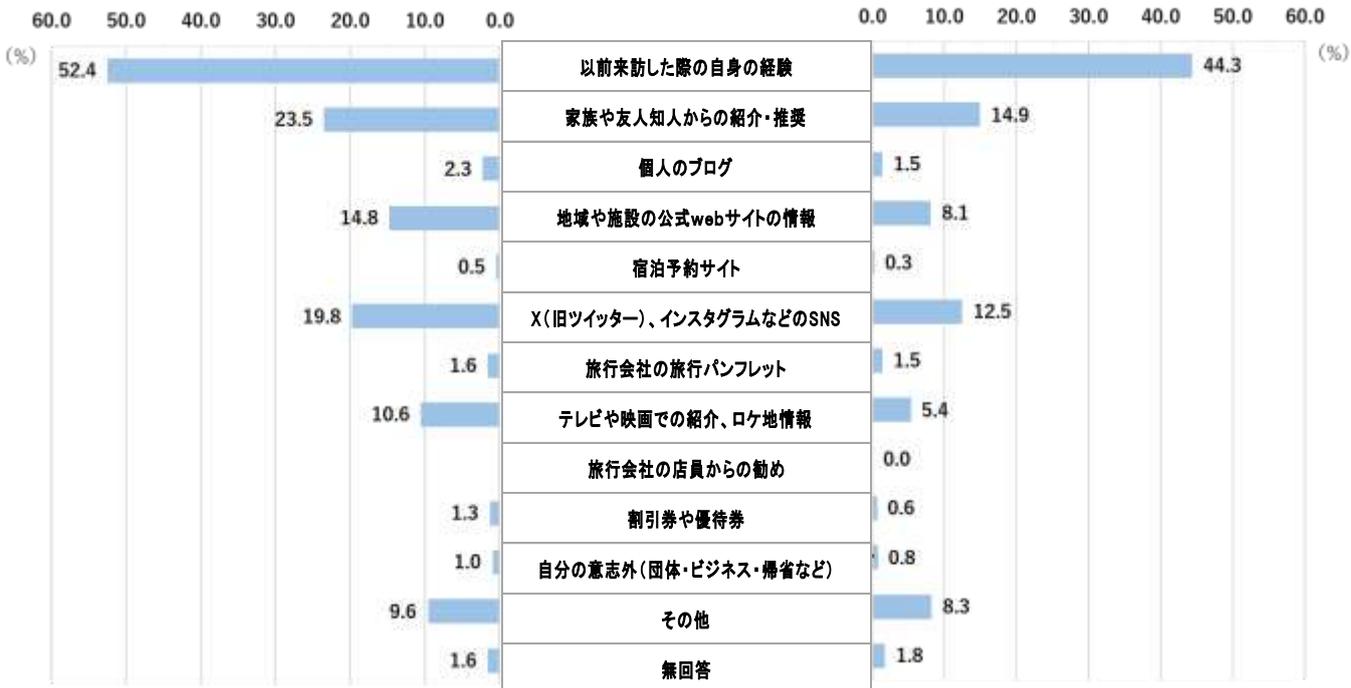
旅行先に選んだ理由は「買い物をしたいから」が39.9%で最も多く、次いで「その他」が18.0%であった。旅行先に選んだ情報源は「以前来訪した際の自身の経験」が52.4%で最も多く、“決め手”となった情報源も「以前来訪した際の自身の経験」が44.3%で最も多かった。

旅行先に選んだ理由 (複数回答) (n=585)



旅行先に選んだ情報源 (複数回答) (n=585)

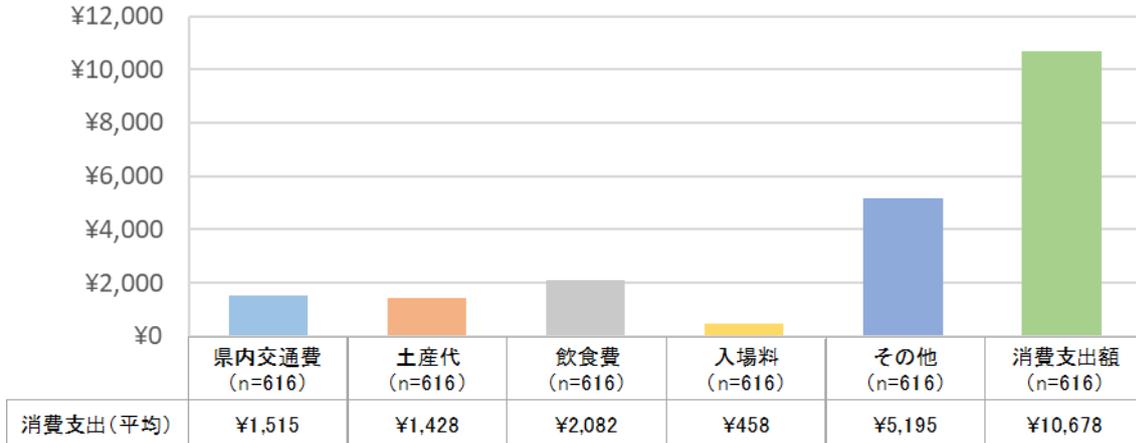
“決め手”となった情報源 (単一回答) (n=585)



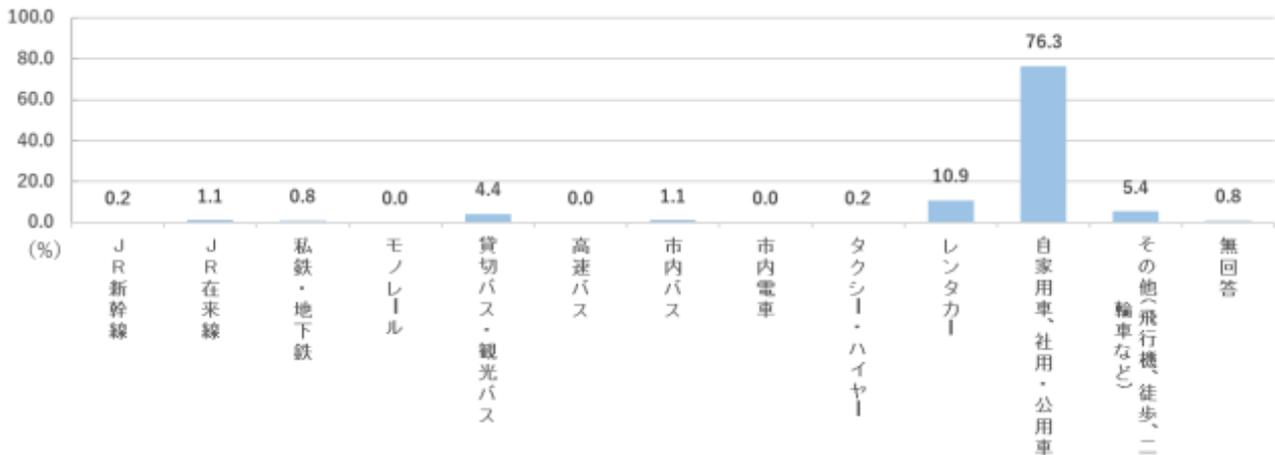
消費支出の平均は、総額で10,678円であった。内訳は、「その他」が5,195円で最も多かった。利用交通機関は、「自家用車、社用・公用車」が76.3%であった。

立ち寄り観光施設は、「佐野プレミアム・アウトレット」が45人で最も多く、次いで「あしかがフラワーパーク」が33人であった。

消費支出（平均）



利用交通機関（複数回答）(n=585)



立ち寄り観光施設 (n=585) ※ ( ) 内は施設に立ち寄った人数

県南	東武藤が丘カントリークラブ(1)	那須
佐野プレミアム・アウトレット(45)	織姫公園(1)	那須高原友愛の森(1)
あしかがフラワーパーク(33)	渡良瀬遊水地 (藤岡渡良瀬運動公園)(1)	県央
いちごの里(10)	県営みかも山公園(1)	おもちゃ博物館(2)
道の駅どまんかたぬま(6)	佐野市こどもの国(1)	県東
佐野厄よけ大師(3)	日光	真岡鐵道(1)
道の駅思川(3)	二社一寺(4)	道の駅にのみや(1)
道の駅みかも(2)	鬼怒川温泉(2)	
岩下の新生姜ミュージアム(2)	足尾銅山観光(1)	

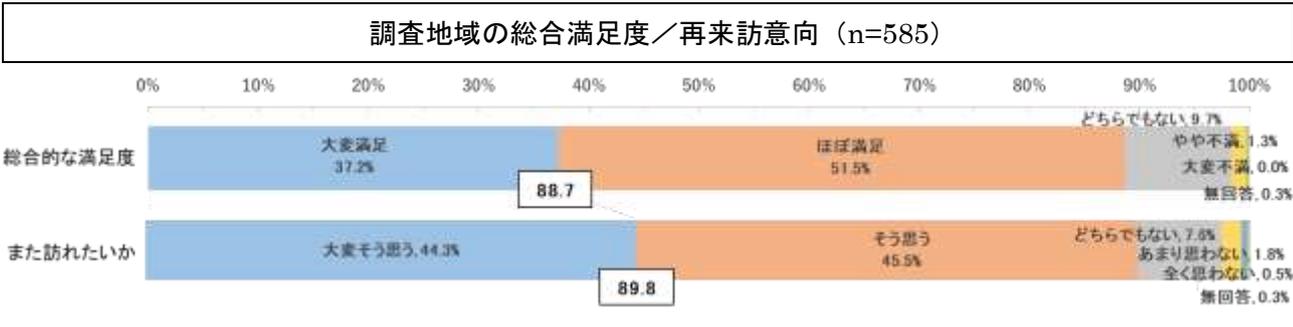
※対象者が現在いる地点（調査地点）は立ち寄り観光施設にカウントしない。

いちごの里 (5)

第2章 観光客調査 調査結果

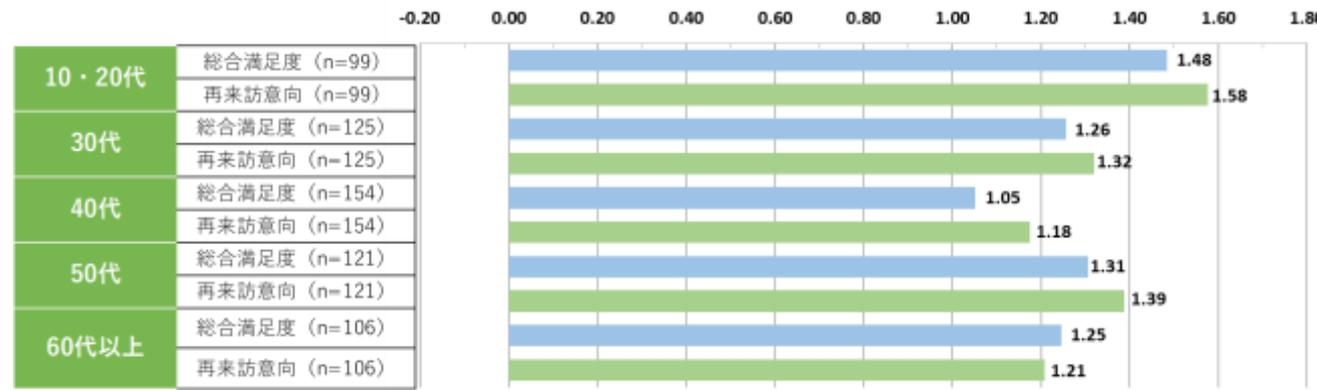
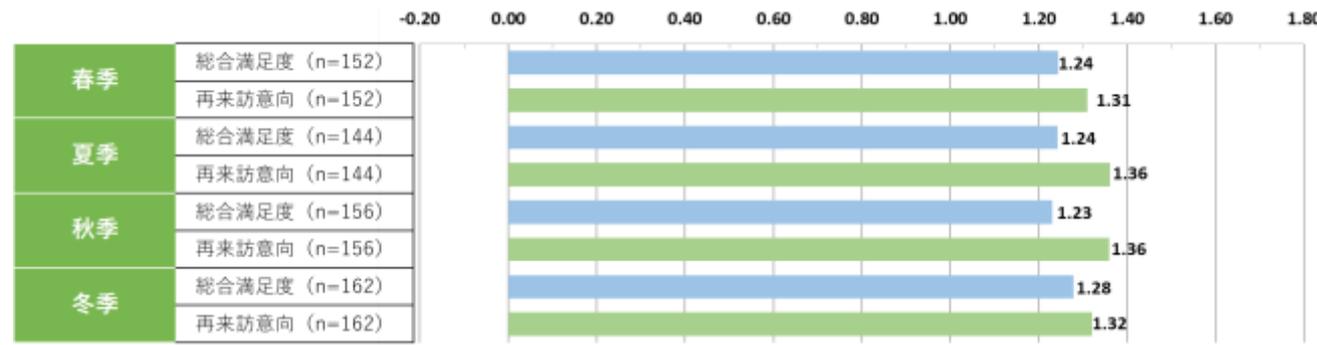
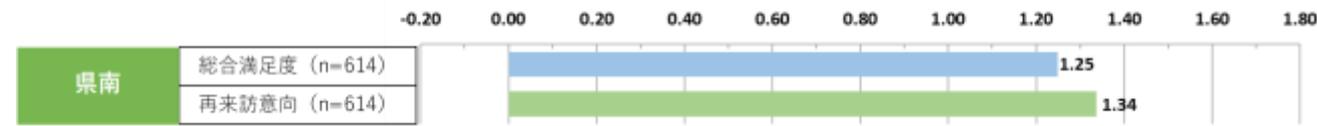
1. 日帰り客 (2) エリア別 iv. 県南エリア

調査地域の総合的な満足度は、「大変満足」と「ほぼ満足」をあわせた【満足層】が88.7%であった。また訪れたいかは、「大変そう思う」と「そう思う」をあわせた【再来訪意向層】も89.8%であった。



調査地域の総合満足度／再来訪意向 (季節別・年代別)

総合満足度を季節別にみると、「冬季」が1.28で最も高く、「秋季」が1.23で最も低かった。また、再来訪意向については「夏季」と「秋季」が1.36で最も高く、「春季」が1.31で最も低かった。  
 年代別にみると、総合満足度は「10・20代」が1.48と最も高く、「40代」が1.05と最も低かった。再来訪意向についても「10代・20代」が1.58と最も高く、「40代」が1.18と最も低かった。



②過去調査との比較

旅行先に選んだ理由として最も多かった「買い物をしたいから」は、令和4（2022）年度調査では34.7%、令和5（2023）年度調査では39.9%と5.2ポイント増加した。一方、「観光・文化施設を訪れたいから」は、令和4（2022）年度調査では31.3%、令和5（2023）年度調査では14.0%と17.3ポイント減少した。

旅行先に選んだ理由（複数回答）



調査地域周辺への来訪回数は、「5回目以上」が令和4（2022）年度調査では47.2%であったが、令和5（2023）年度調査では44.1%と3.1ポイント減少した。また、「初めて」も令和4（2022）年度調査では25.9%であったが、令和5（2023）年度調査では20.9%と5.0ポイント減少した。

調査地域周辺への来訪回数 ※周辺住民を除く

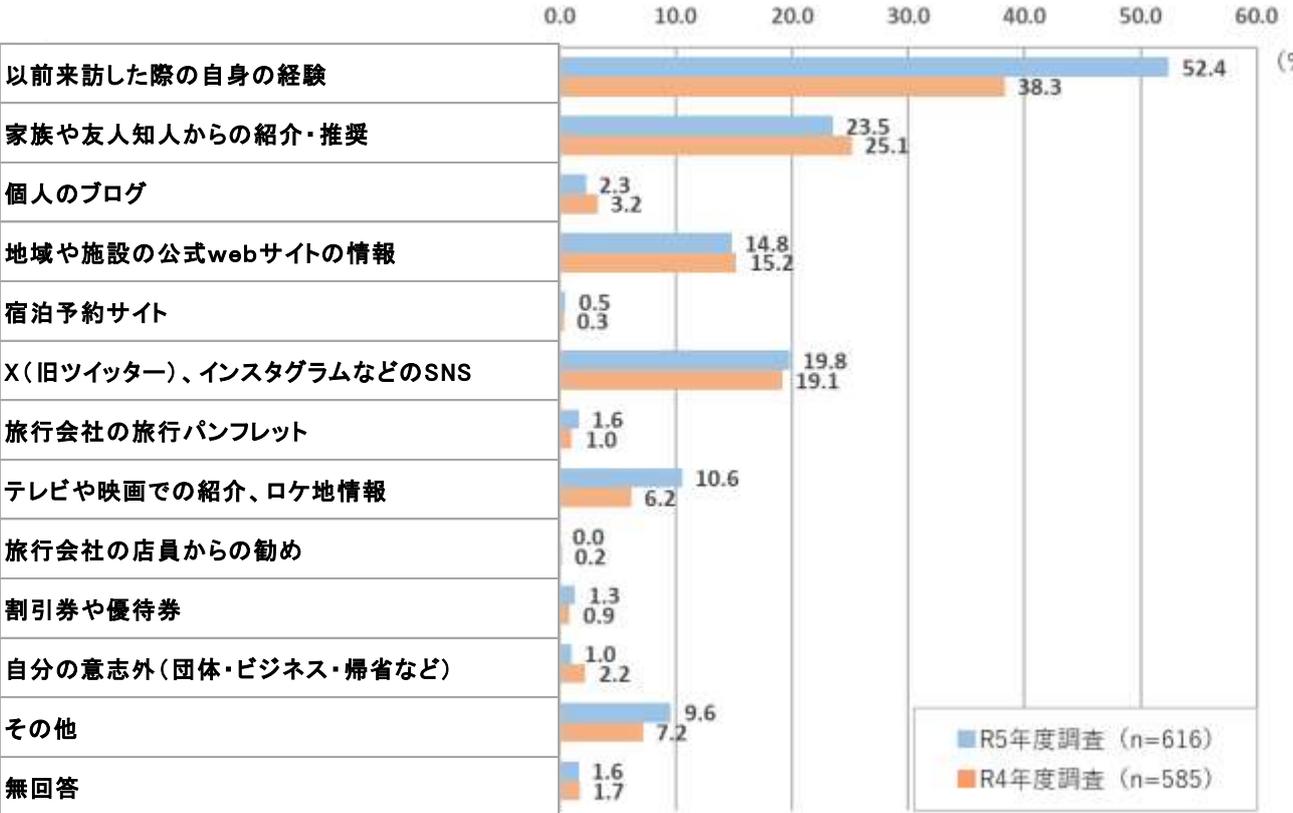


第2章 観光客調査 調査結果

1. 日帰り客 (2) エリア別 iv. 県南エリア

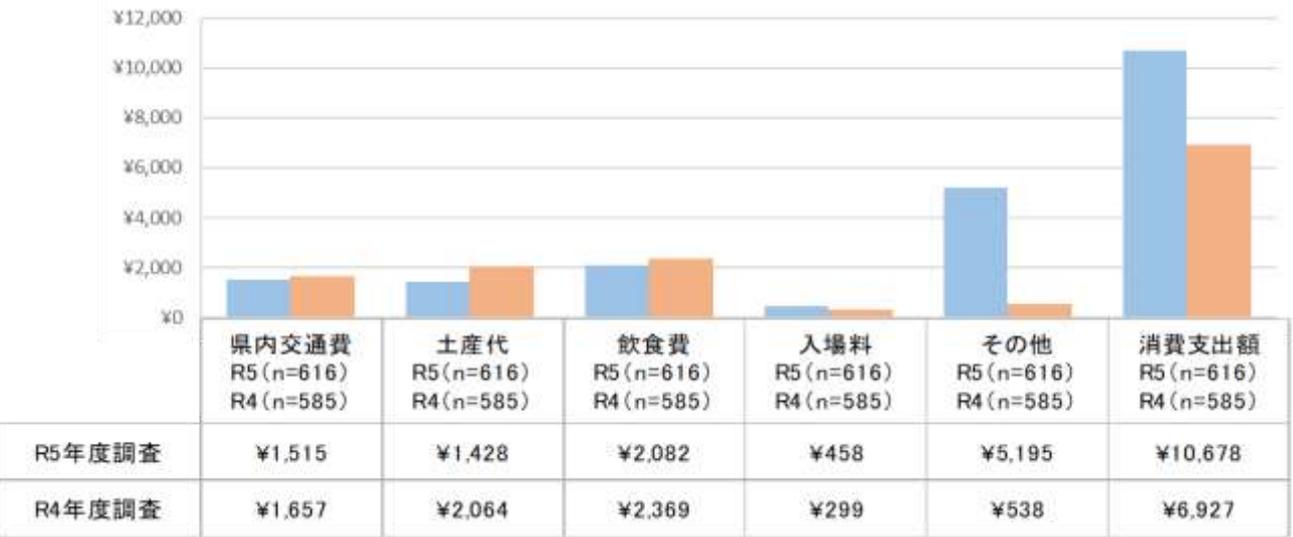
旅行先に選んだ情報源として最も多かった「以前来訪した際の自身の経験」は、令和4（2022）年度調査では38.3%、令和5（2023）年度調査では52.4%と14.1ポイント増加した。一方で、「家族や友人知人からの紹介・推奨」については令和4（2022）年度調査と比べてやや減少した。

旅行先に選んだ情報源（複数回答）



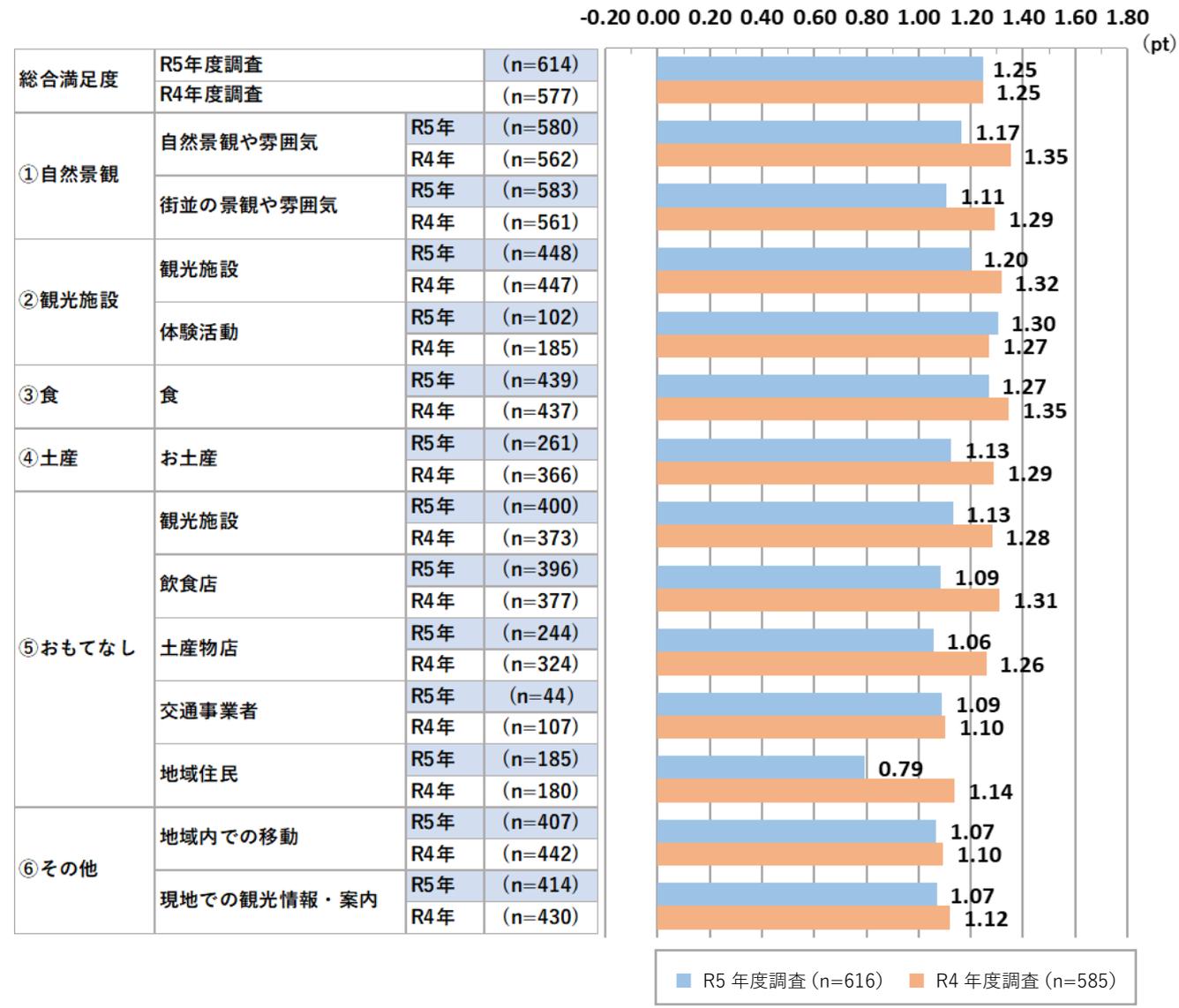
消費支出の総額は、令和4（2022）年度調査では6,927円であったが、令和5（2023）年度調査では10,678円に増加した。

消費支出（総額）



総合満足度は、令和4（2022）年度調査と令和5（2023）年度調査ともに1.25であった。満足度を項目別にみると、令和4（2022）年度調査では「食」と「自然景観 自然景観や雰囲気」がともに1.35と最も高かったが、令和5（2023）年度調査では「観光施設 体験活動」が1.30で最も高くなった。

項目別満足度（加重平均値）



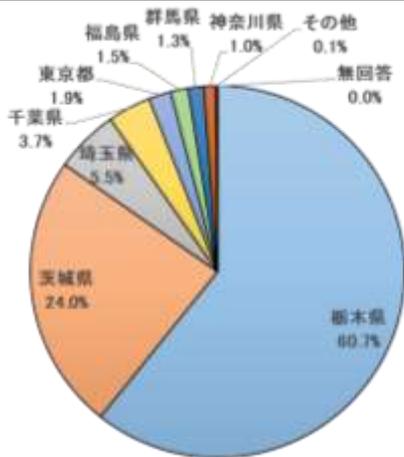
v. 県東エリア

①令和5 (2023) 年度調査結果

日帰り客 (県東エリア) サンプル数 : 670

お住まいは「栃木県」が最も多く 60.7%、次いで「茨城県」が 24.0%、「埼玉県」が 5.5%であった。  
 年代は、男女ともに「60代以上」が最も多く、「男性」が 49.5%、「女性」が 48.1%であった。  
 調査地域周辺の来訪回数は、「5回目以上」のリピーターが 61.6%で最も多かった。  
 同行者数は「2人」が 53.4%で最も多く、同行者の関係は「夫婦旅行」が 34.2%で最も多かった。

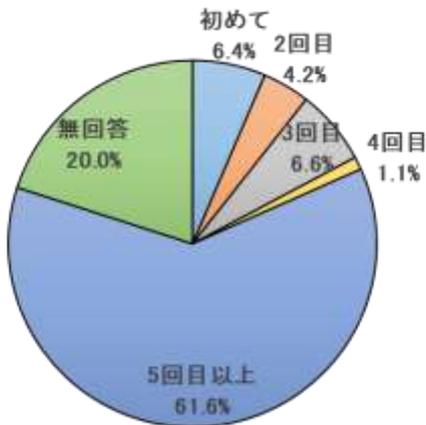
お住まい (n=670)



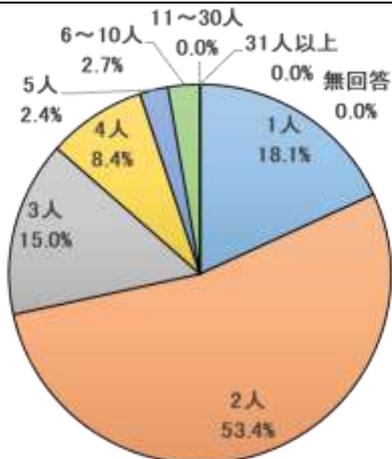
性別・年代 (n=670)



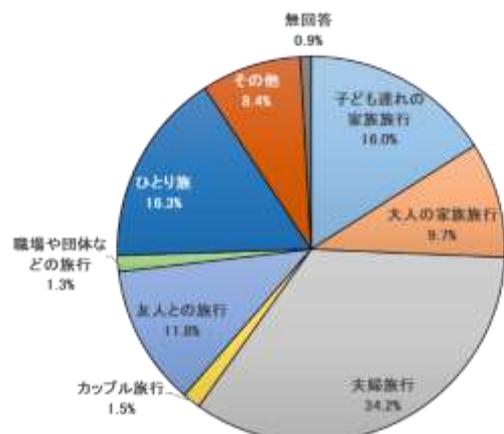
調査地域周辺への来訪回数 (n=529)



同行者数 ※回答者を含む (n=670)

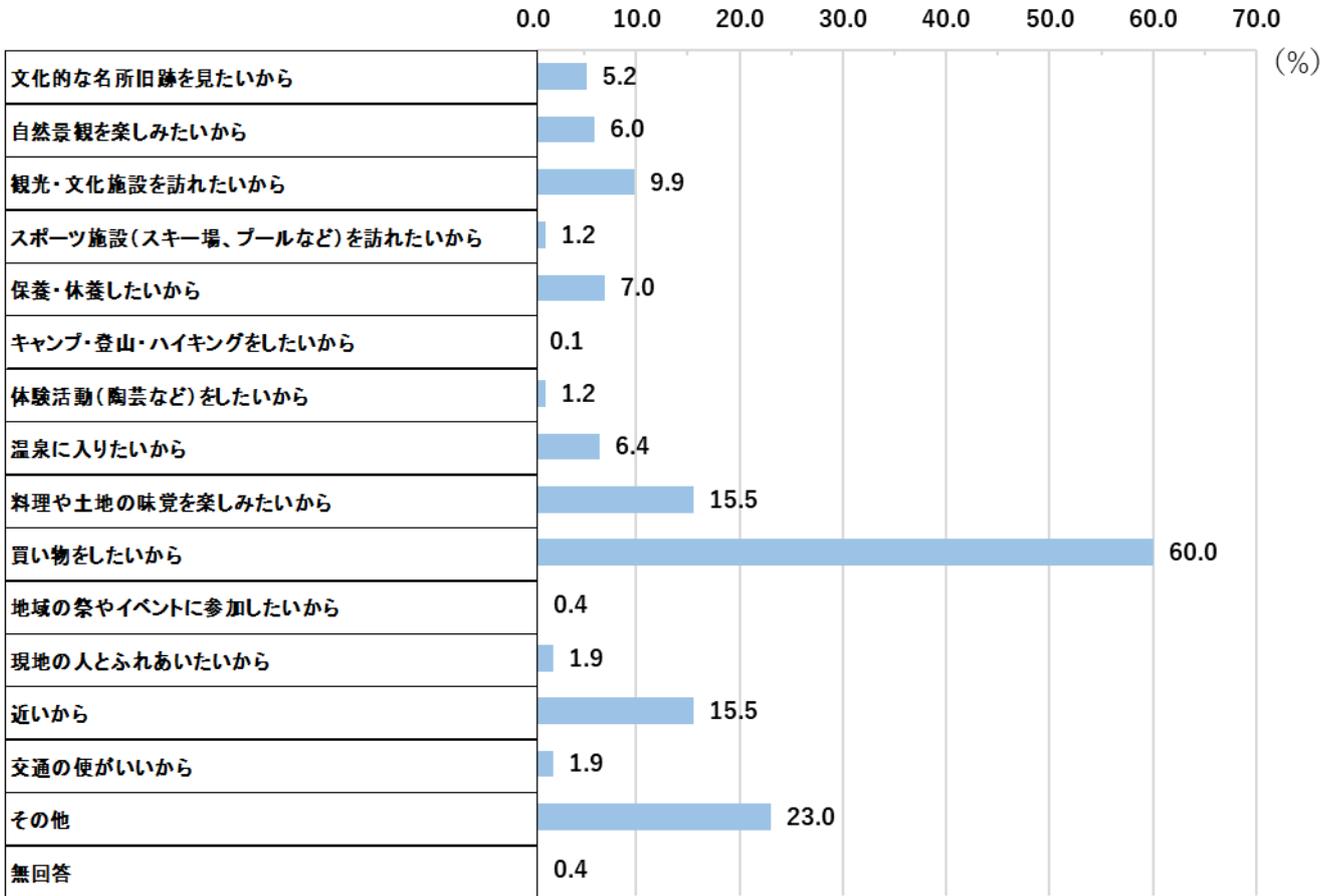


同行者の関係 (n=670)



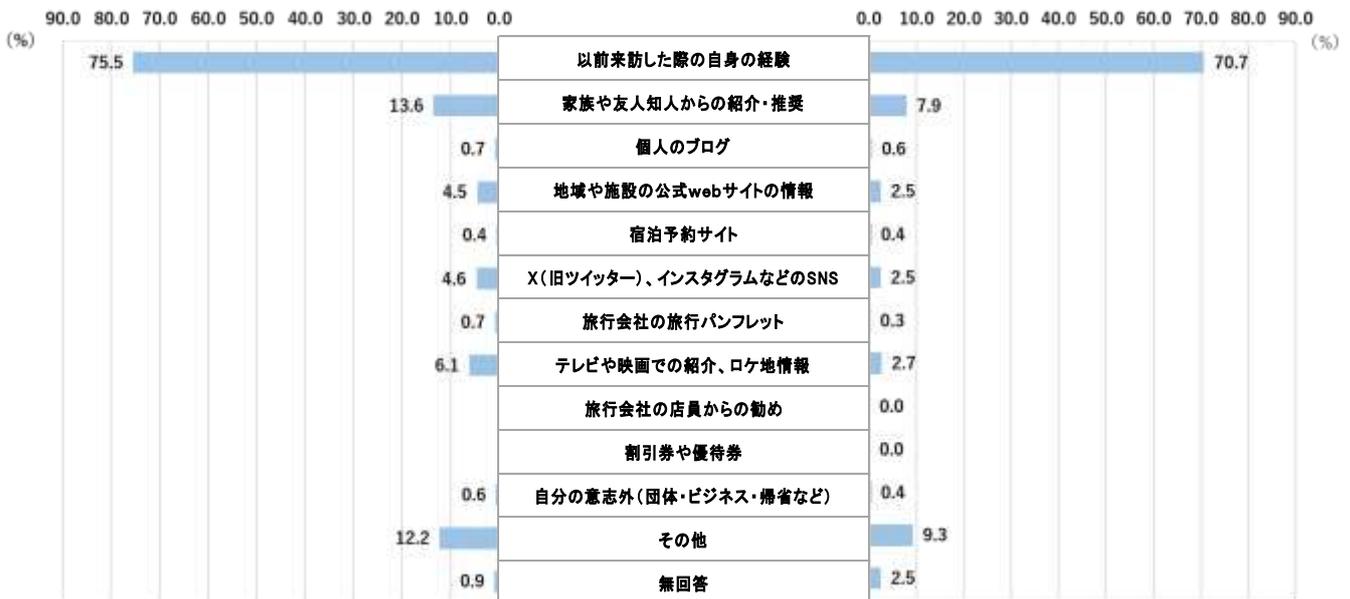
旅行先に選んだ理由は「買い物をしたいから」が60.0%で最も多く、次いで「その他」が23.0%と多かった。旅行先に選んだ情報源は「以前来訪した際の自身の経験」が75.5%で最も多く、“決め手”となった情報源も「以前来訪した際の自身の経験」が70.7%で最も多かった。

旅行先に選んだ理由（複数回答）(n=670)



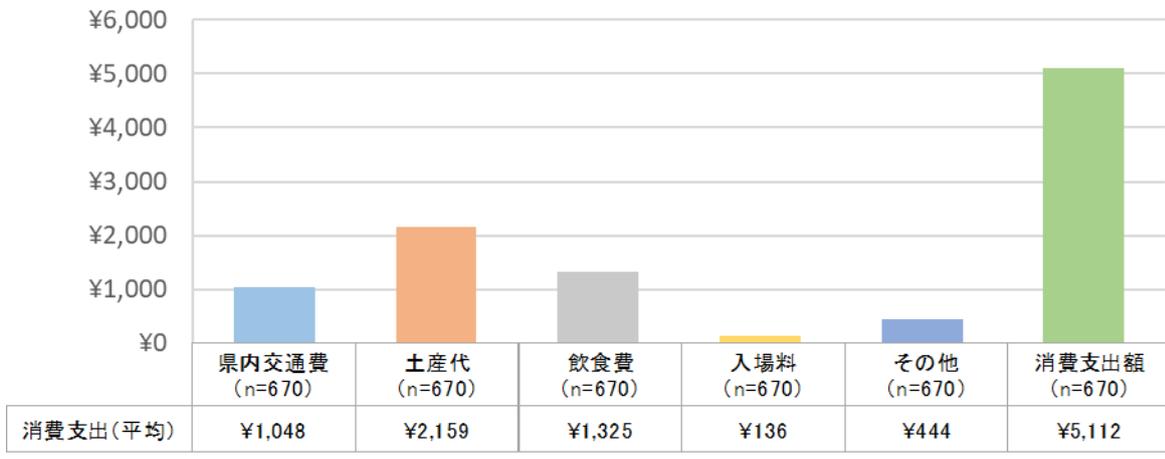
旅行先に選んだ情報源（複数回答）(n=670)

“決め手”となった情報源（単一回答）(n=670)

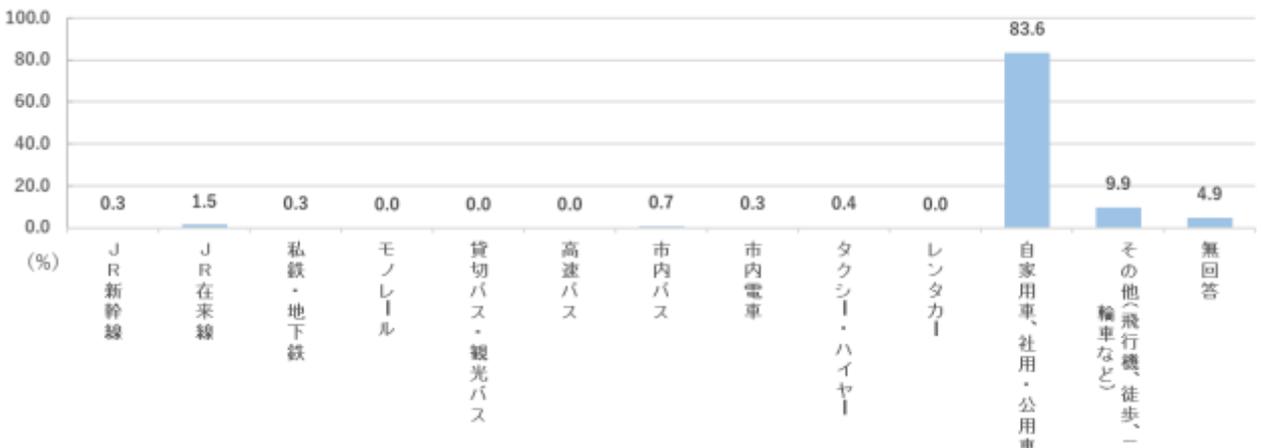


消費支出の平均は、総額で 5,112 円であった。内訳は、「土産代」が 2,159 円で最も多く、次いで「飲食費」が 1,325 円であった。利用交通機関は、「自家用車、社用・公用車」が 83.6%で最も多かった。  
立ち寄り観光施設は、「二社一寺」が 34 人で最も多く、次いで「中禅寺湖」が 18 人であった。

消費支出（平均）



利用交通機関（複数回答）(n=670)



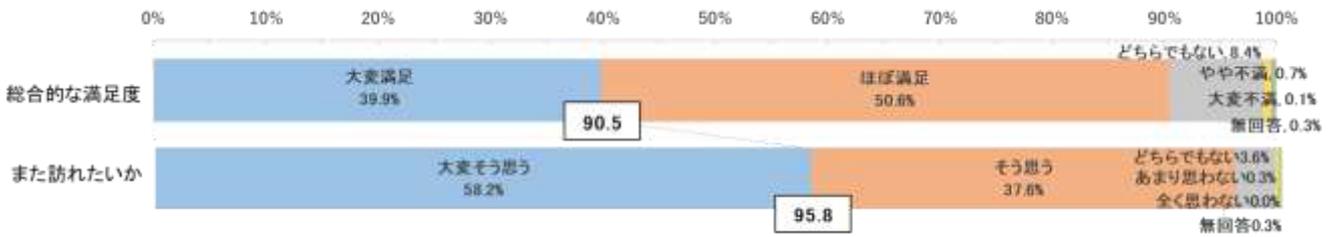
立ち寄り観光施設 (n=670) ※ ( ) 内は施設に立ち寄った人数

県東	華厳ノ滝 (15)	那須
井頭公園 (13)	鬼怒川温泉 (14)	那須ガーデンアウトレット (14)
道の駅ましこ (12)	東武ワールドスクウェア (6)	東山道伊王野 (2)
益子焼 (11)	霧降の滝 (4)	県央
SLキューロク館 (10)	戦場ヶ原・小田代原 (4)	大谷資料館 (3)
道の駅にのみや (9)	日光湯元温泉 (3)	ろまんちっく村 (1)
真岡井頭温泉 (8)	明智平 (3)	道の駅きつれがわ (1)
道の駅もてぎ (1)	二荒山神社中宮祠 (3)	県南
道の駅サシバの里いちかい (1)	日光街道ニコニコ本陣 (3)	おやまゆうえんハーヴェストウォーク harvset plaza (7)
芳賀温泉ロマンの湯 (1)	湯滝・湯の湖 (2)	佐野プレミアム・アウトレット (5)
日光	龍王峡 (2)	岩下の新生姜ミュージアム (4)
二社一寺 (34)	とりつくあーとぴあ日光 (1)	あしががフラワーパーク (3)
中禅寺湖 (18)	おさるランド&アニタウン日光さる軍団 (1)	道の駅みかも (1)

※対象者が現在いる地点（調査地点）は立ち寄り観光施設にカウントしない。  
陶芸メッセ・益子 (1)

調査地域の総合的な満足度は、「大変満足」と「ほぼ満足」をあわせた【満足層】が90.5%であった。また訪れたいかは、「大変そう思う」と「そう思う」をあわせた【再来訪意向層】が95.8%であった。

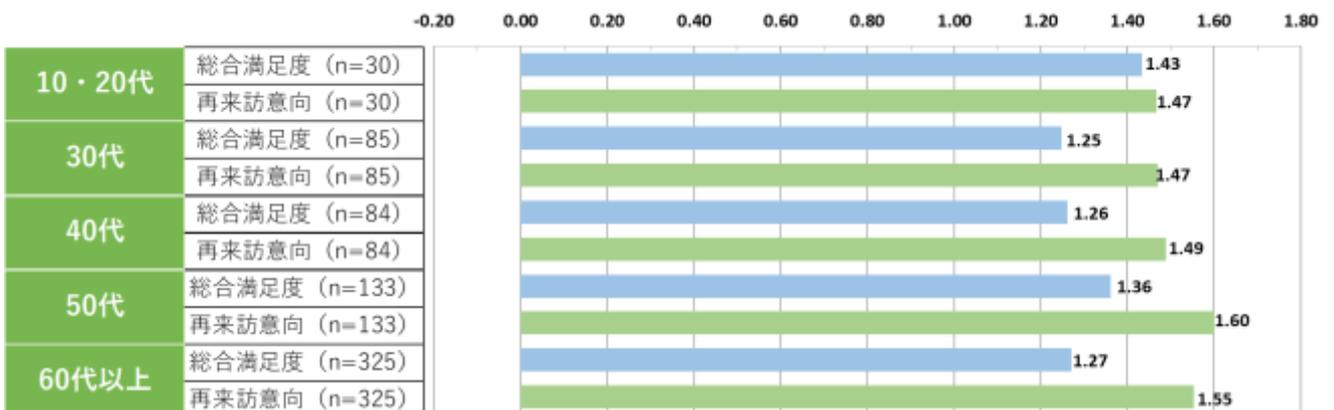
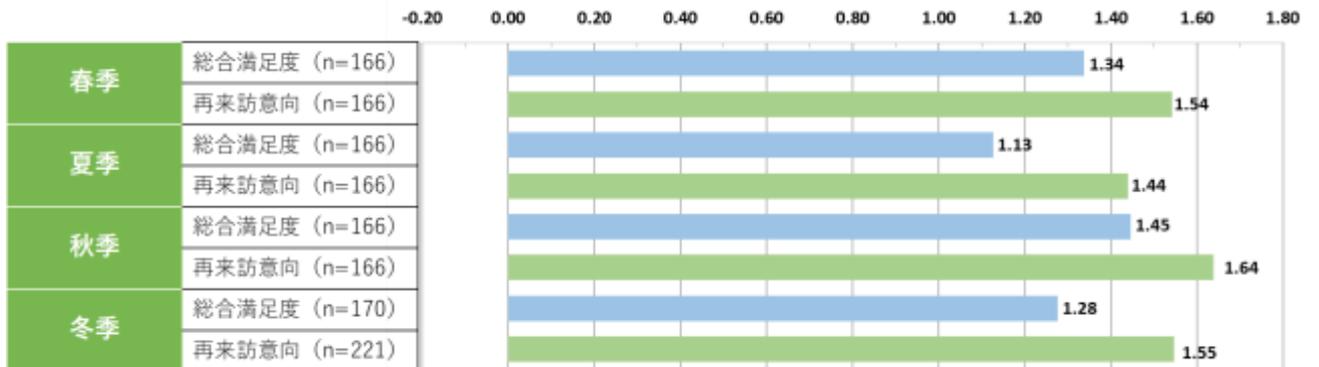
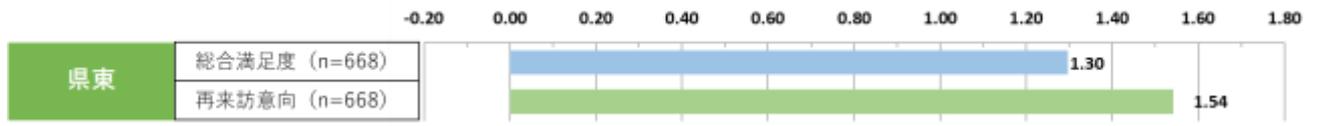
調査地域の総合満足度／再来訪意向 (n=670)



調査地域の総合満足度／再来訪意向 (季節別・年代別)

総合満足度を季節別にみると、「秋季」が1.45で最も高く、「夏季」が1.13で最も低かった。再来訪意向についても、「秋季」が1.64で最も高く、「夏季」が1.44で最も低かった。

年代別にみると、総合満足度は「10代・20代」が1.43で最も高く、「30代」が1.25で最も低かった。再来訪意向については、「50代」が1.60で最も高く、「10代・20代」と「30代」が1.47で最も低かった。



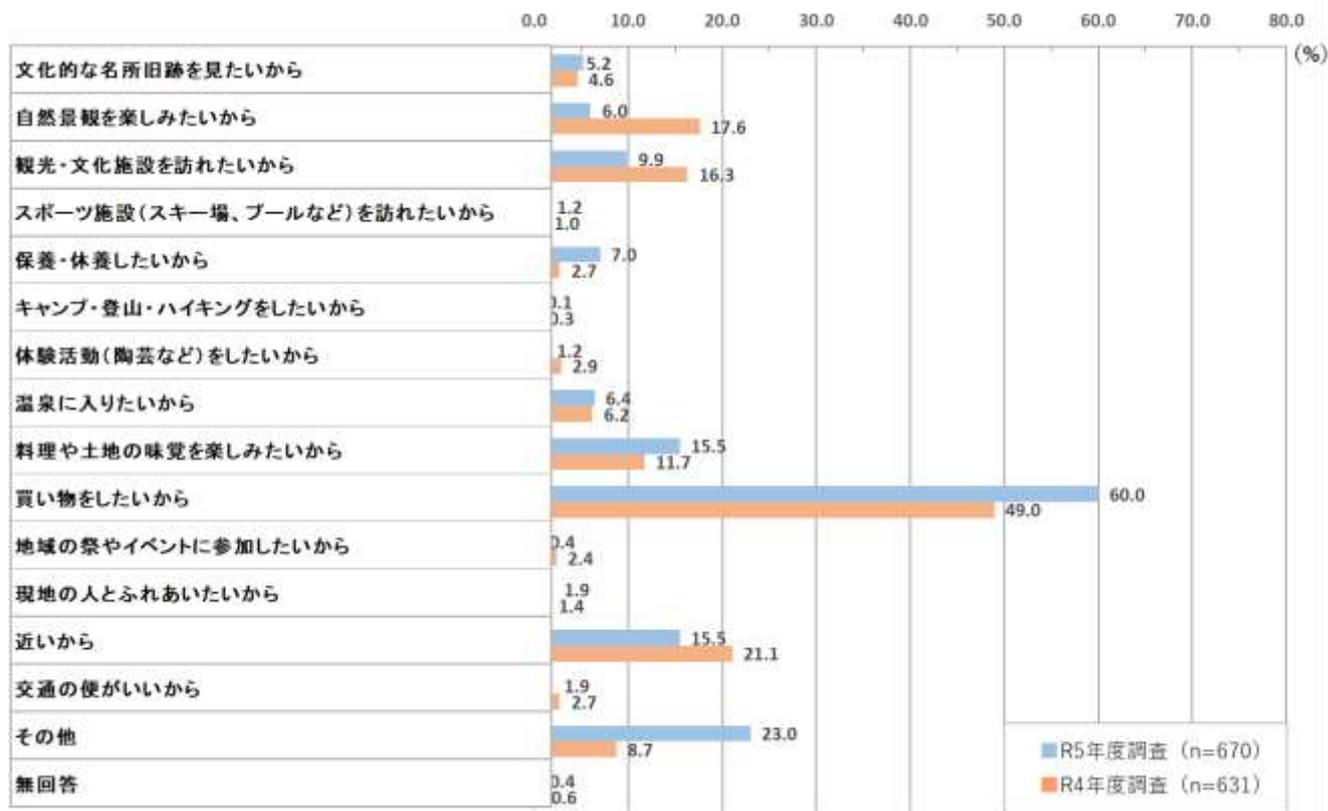
第2章 観光客調査 調査結果

1. 日帰り客 (2) エリア別 v. 県東エリア

②過去調査との比較

旅行先に選んだ理由は、「買い物をしたから」が最も多く、令和4（2022）年度調査では49.0%、令和5（2023）年度調査では60.0%であった。また、次いで多かった「その他」は令和4（2022）年度調査では8.7%、令和5（2023）年度調査では23.0%と大幅に増加した。

旅行先に選んだ理由（複数回答）



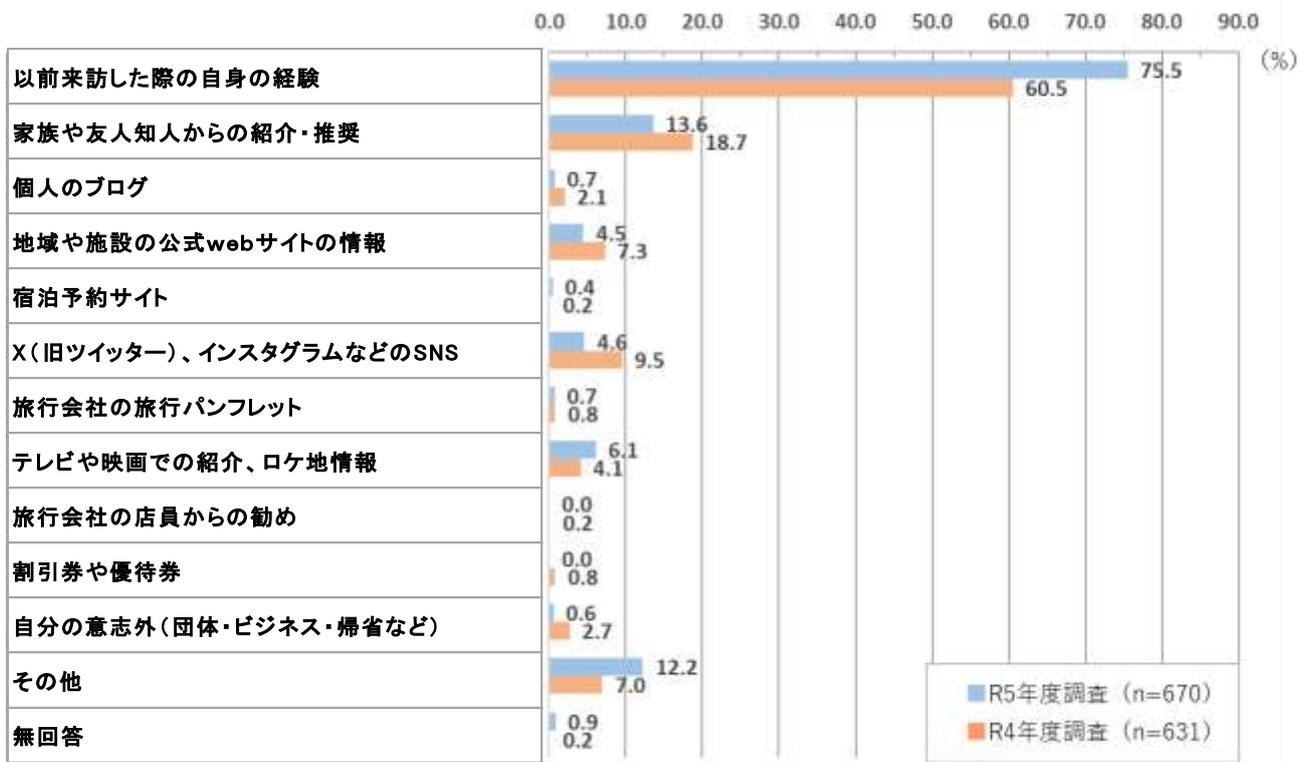
調査地域周辺への来訪回数は、「5回目以上」が令和4（2022）年度調査では71.7%、令和5（2023）年度調査では61.6%と10.1ポイント減少した。

調査地域周辺への来訪回数※周辺住民を除く



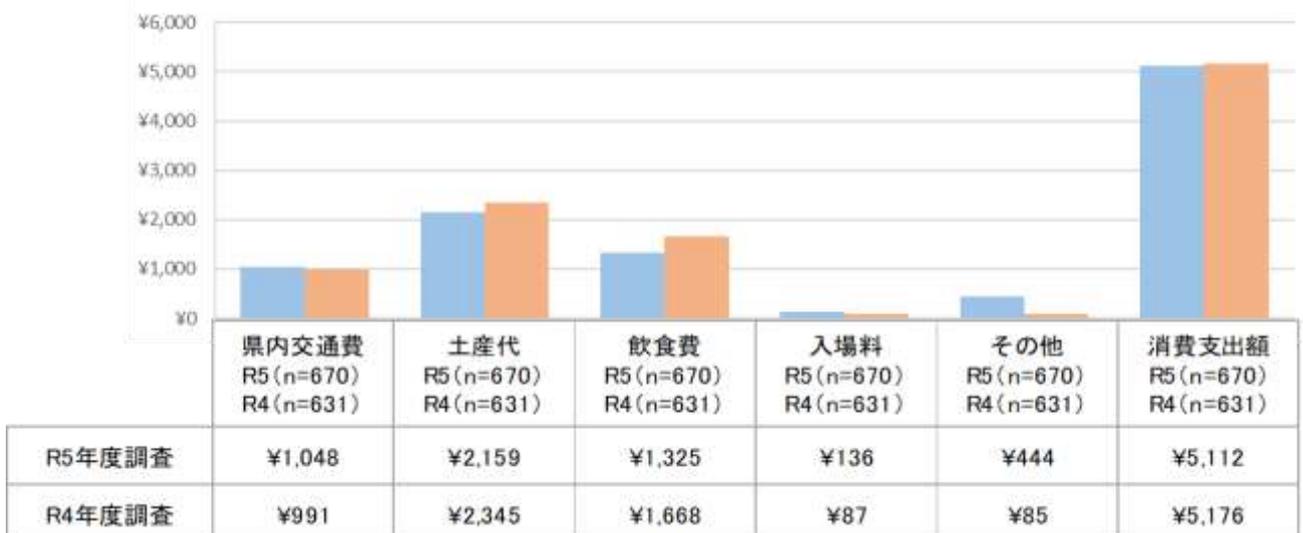
旅行先に選んだ情報源として最も多かった「以前来訪した際の自身の経験」は、令和4（2022）年度調査では60.5%、令和5（2023）年度調査では75.5%と15.0ポイント増加した。また、次いで多かった「家族や友人知人からの紹介・推奨」については、令和4（2022）年度調査では18.7%、令和5（2023）年度調査では13.6%と5.1ポイント減少した。

旅行先に選んだ情報源（複数回答）



消費支出の総額は、令和4（2022）年度調査では5,176円であったが、令和5（2023）年度調査では5,112円に減少した。

消費支出（総額）

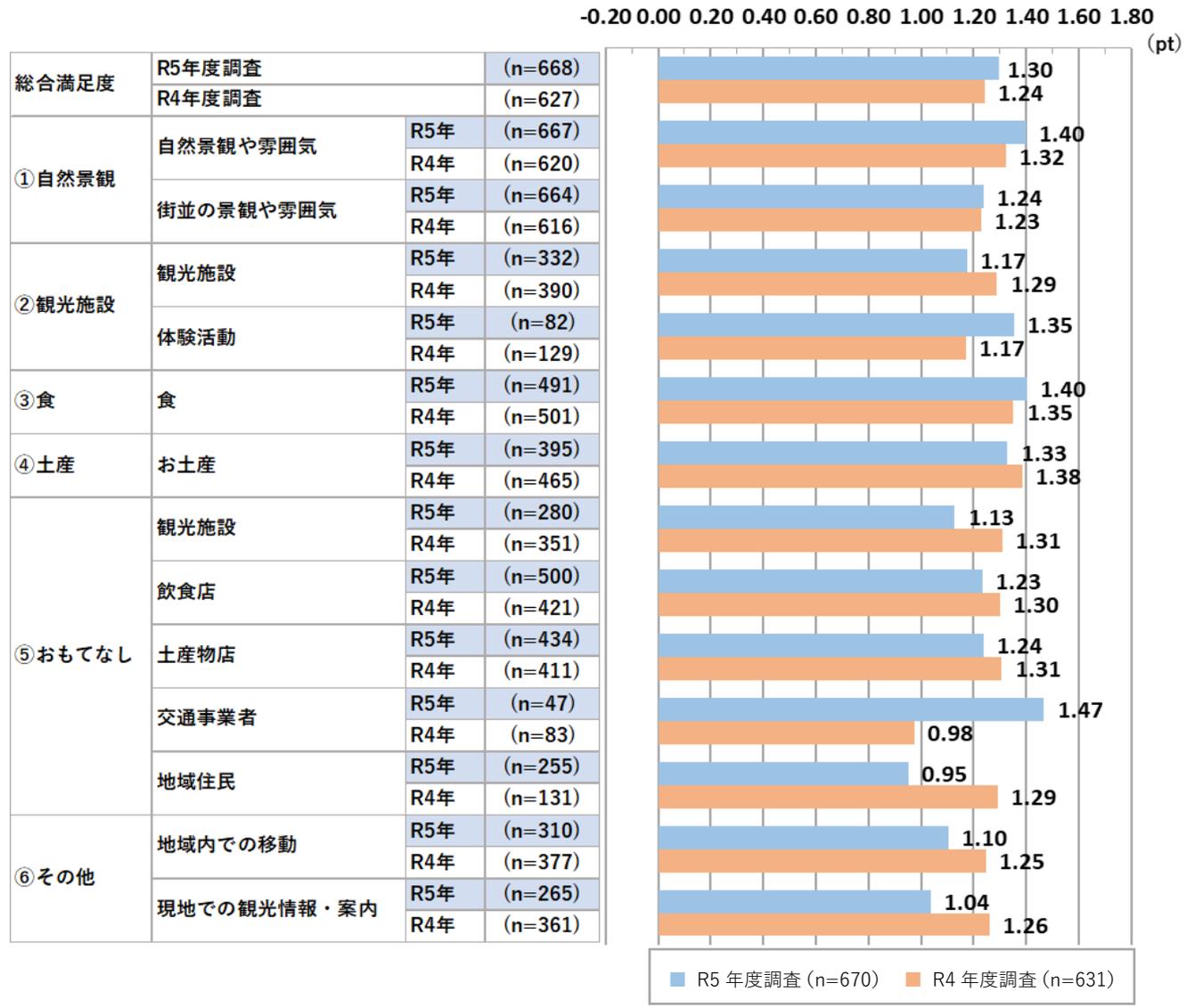


第2章 観光客調査 調査結果

1. 日帰り客 (2) エリア別 v. 関東エリア

総合満足度は、令和4（2022）年度調査では1.24、令和5（2023）年度調査では1.30と0.06ポイント増加した。満足度を項目別にみると、令和4（2022）年度調査では「お土産」が1.38と最も高いが、令和5（2023）年度調査では「おもてなし 交通事業者」が1.47と最も高くなっている。

項目別満足度（加重平均値）



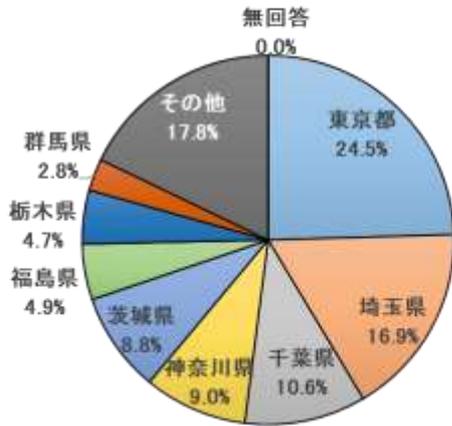
## 2. 宿泊客

### (1) 県全体

#### ①令和5（2023）年度調査結果

お住まいは「東京都」が24.5%で最も多く、次いで「埼玉県」が16.9%、「千葉県」が10.6%であった。  
性別は、「男性」が53.3%、「女性」が44.7%であった。  
年代は、男性は「60代以上」が35.2%で最も多く、女性も「60代以上」が28.7%で最も多かった。

お住まい (n=1,211)

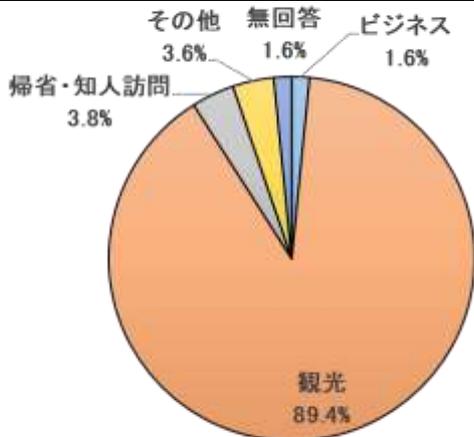


性別・年代 (n=1,211)

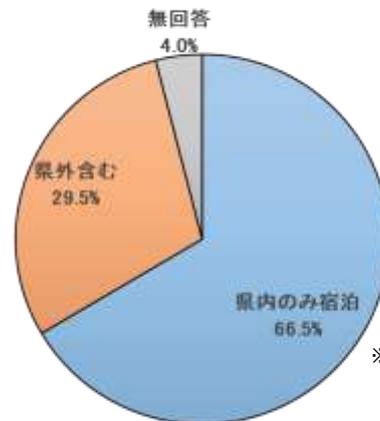


旅行の主要目的は、「観光」が89.4%と約9割となった。  
宿泊旅程は、「県内のみ宿泊」が66.5%と6割半ばであった。

旅行の主要目的 (n=1,083)



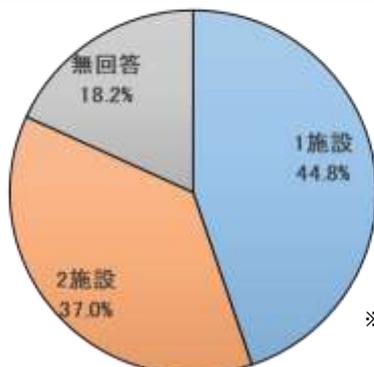
宿泊旅程 (n=200)



※今回の旅行の宿泊日数（県内に限らない）が2泊以上の方のみ集計。

県内に2泊以上した方の宿泊施設数は、「1施設」が44.8%、「2施設」が37.0%となった。

栃木県内の宿泊施設数 (n=154)

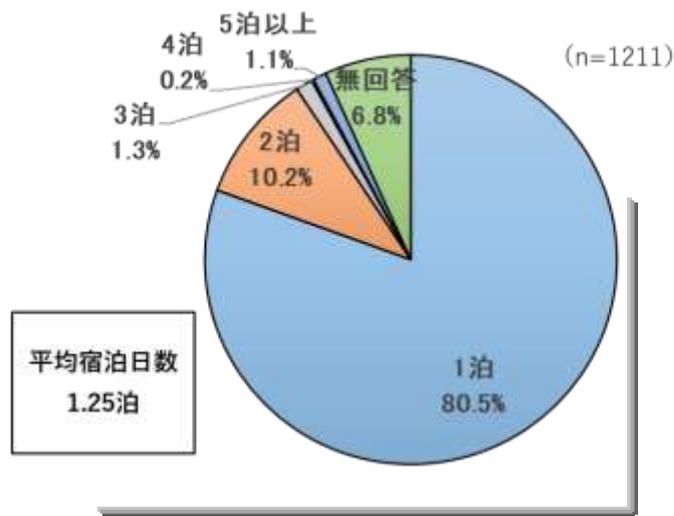


※1泊目と2泊目で同じ宿泊施設に宿泊した場合は1施設としてカウントしている。

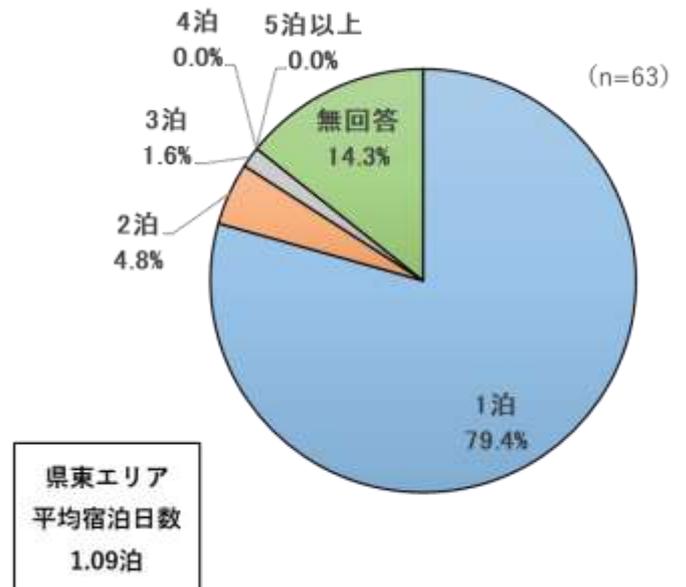
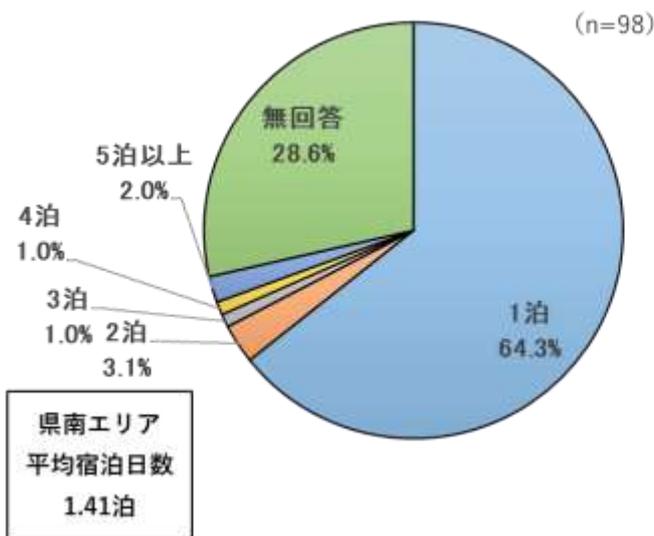
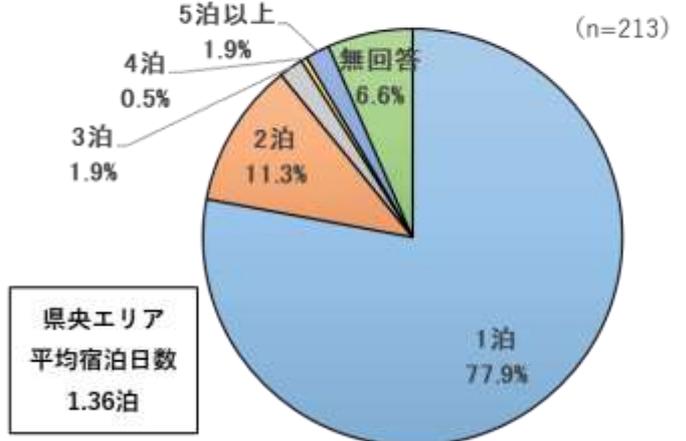
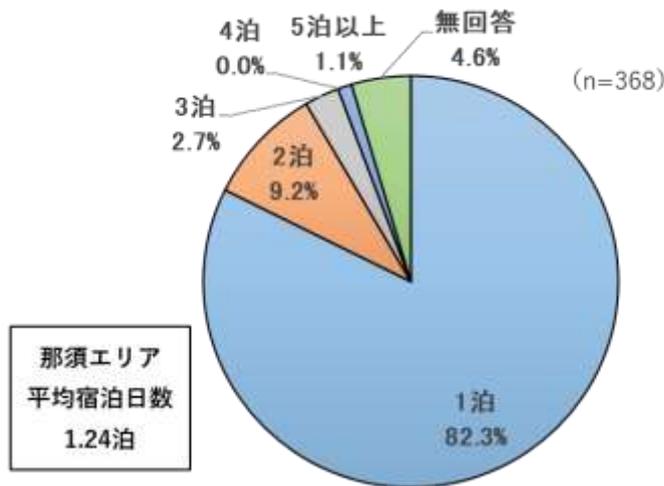
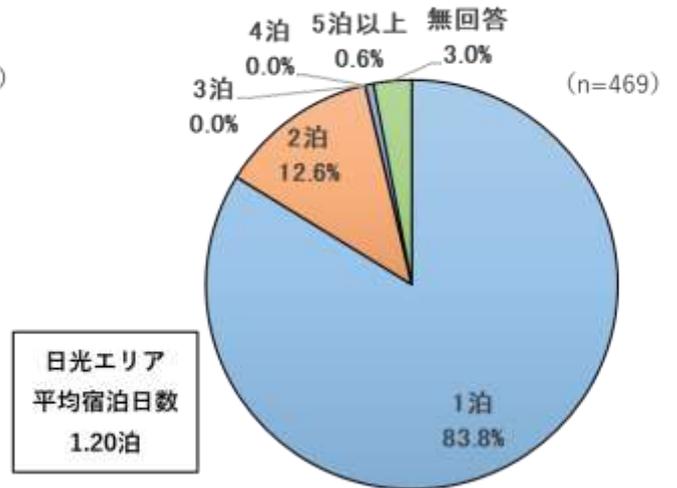
2. 宿泊客 (1) 県全体

県内での宿泊日数は、「1泊」が全てのエリアで最も多く、日光と那須エリアでは8割を超えた。  
 平均宿泊日数をエリア別にみると、県南エリアで1.41泊と他のエリアと比較して多かった。

【県全体】

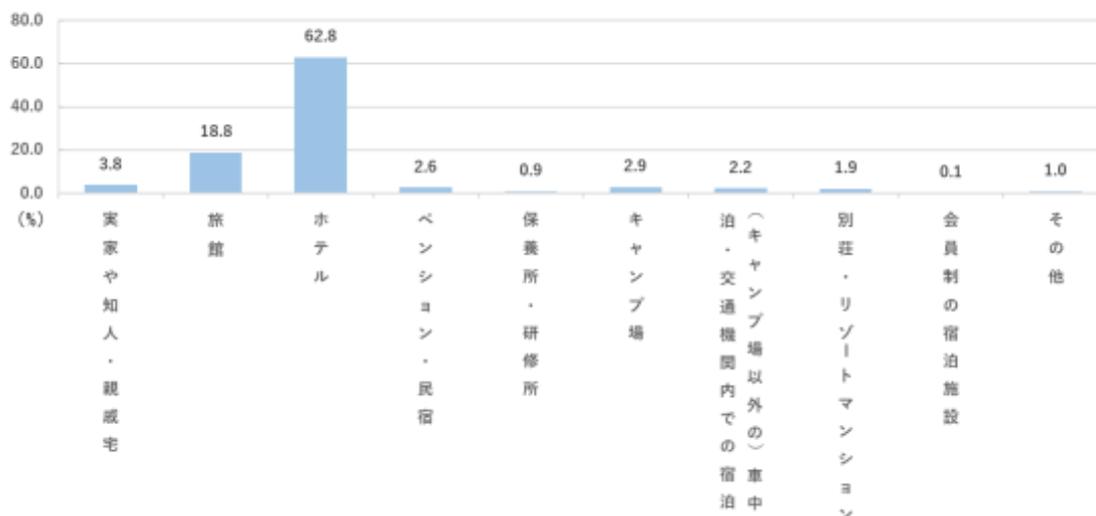


【エリア別】



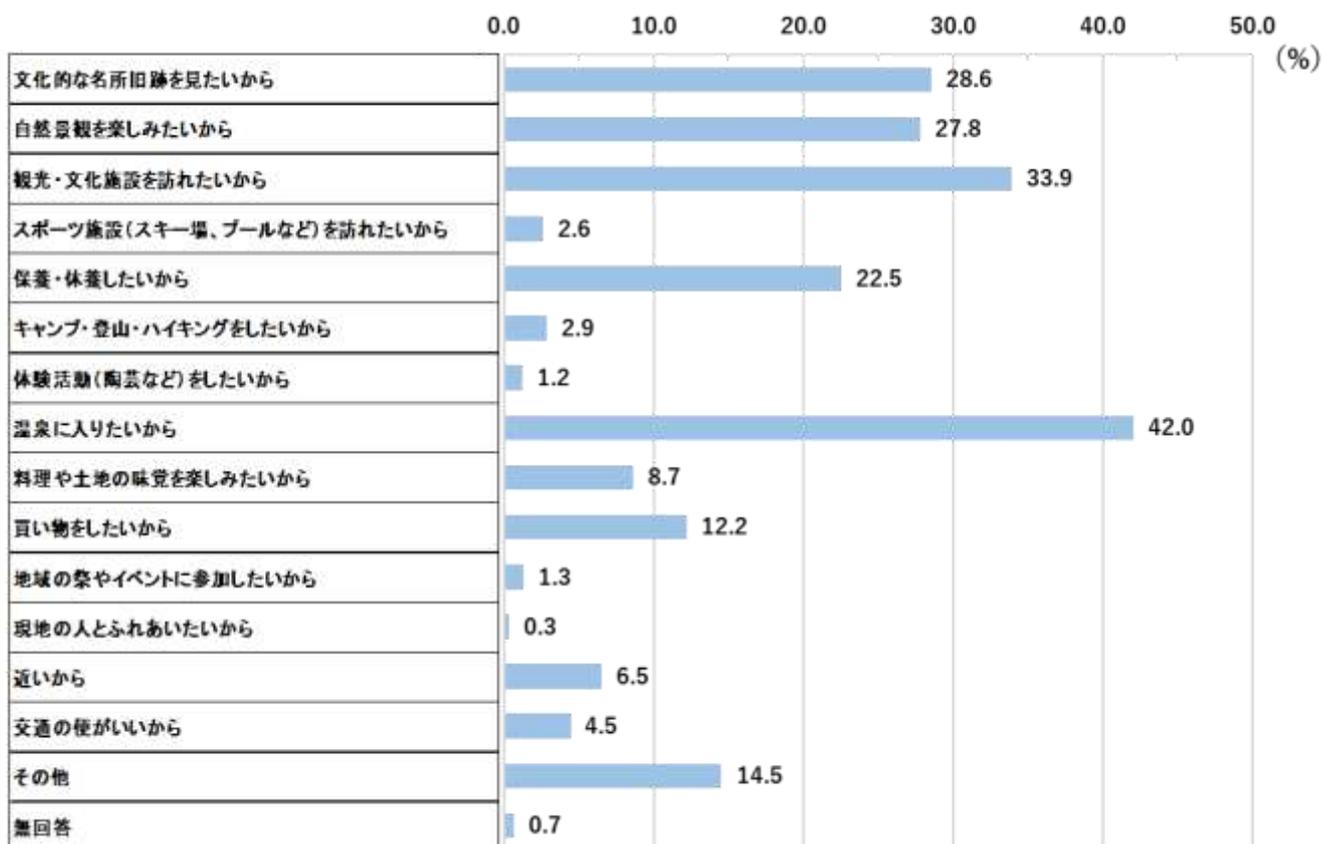
県内での利用宿泊施設は「ホテル」が62.8%で最も多く、次いで「旅館」が18.8%であった。

栃木県内での利用宿泊施設（複数回答）（n=1,211）



旅行先に選んだ理由は、「温泉に入りたいから」が42.0%で最も多く、次いで「観光・文化施設を訪れたいから」が33.9%、「文化的な名所旧跡を見たいから」が28.6%、「自然景観を楽しみたいから」が27.8%であった。

旅行先に選んだ理由（複数回答）（n=1,211）

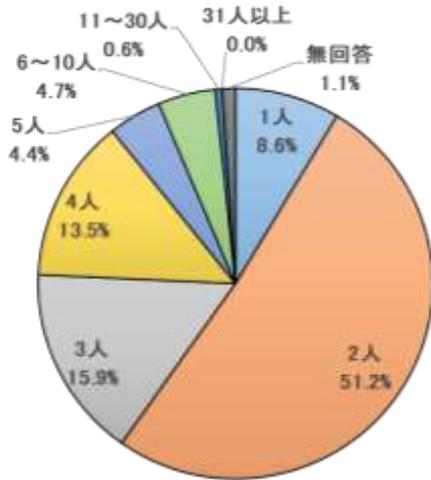


2. 宿泊客 (1) 県全体

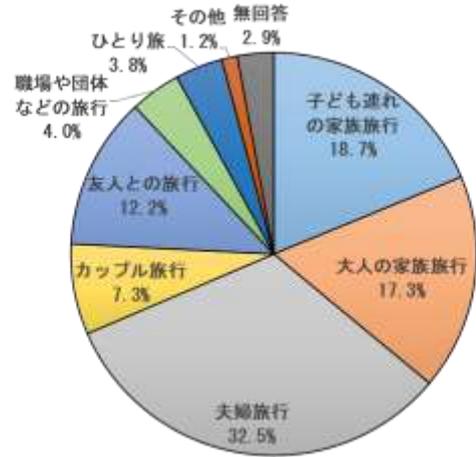
回答者を含む同行者数は、「2人」が51.2%で最も多く、次いで「3人」が15.9%、「4人」が13.5%であった。

同行者の関係は、「夫婦旅行」が32.5%で最も多く、次いで「子ども連れの家族旅行」が18.7%であった。

同行者数 ※回答者を含む (n=1,211)

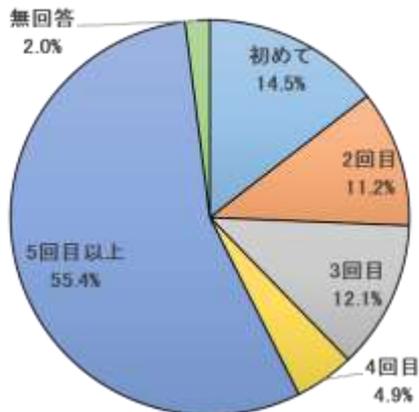


同行者の関係 (n=1,211)



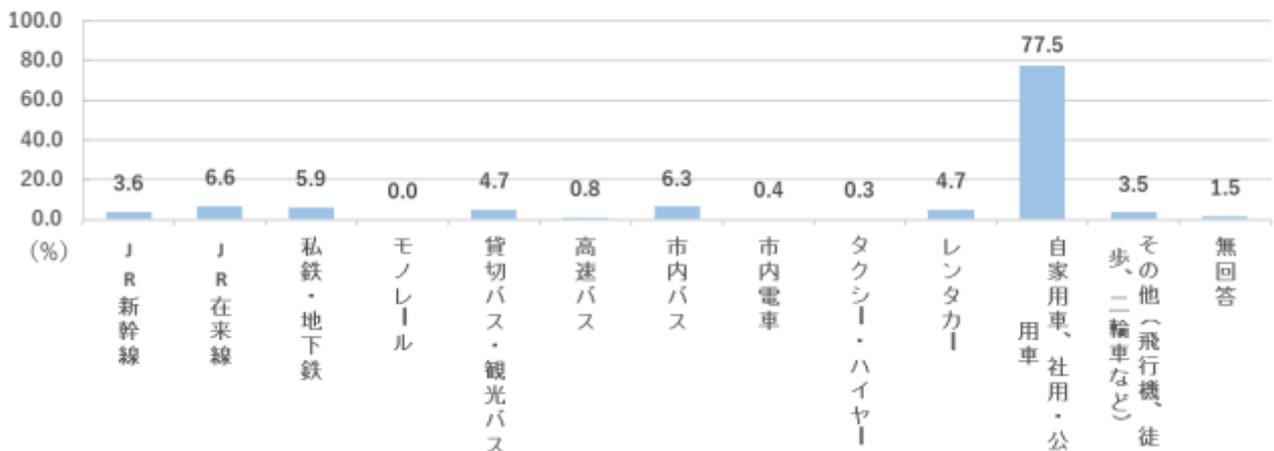
県外客の栃木県への来訪回数は、「5回目以上」が55.4%と5割半ばであった。次いで「初めて」が14.5%であった。

県外客の栃木県への来訪回数 (n=1,154)



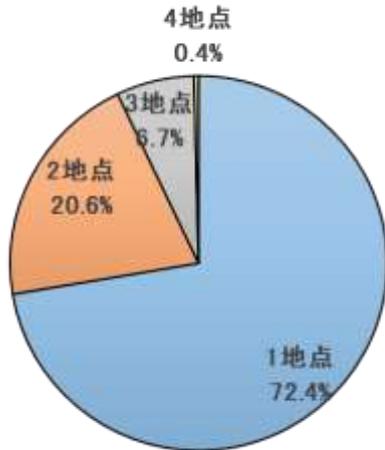
利用交通機関は、「自家用車、社用・公用車」が77.5%で大半を占めた。その他の交通機関としては「JR在来線」が6.6%、「市内バス」が6.3%、「私鉄・地下鉄」が5.9%であった。

利用交通機関 (複数回答) (n=1,211)



立ち寄り観光施設数は、「1地点」が72.4%で最も多く、次いで「2地点」が20.6%であった。

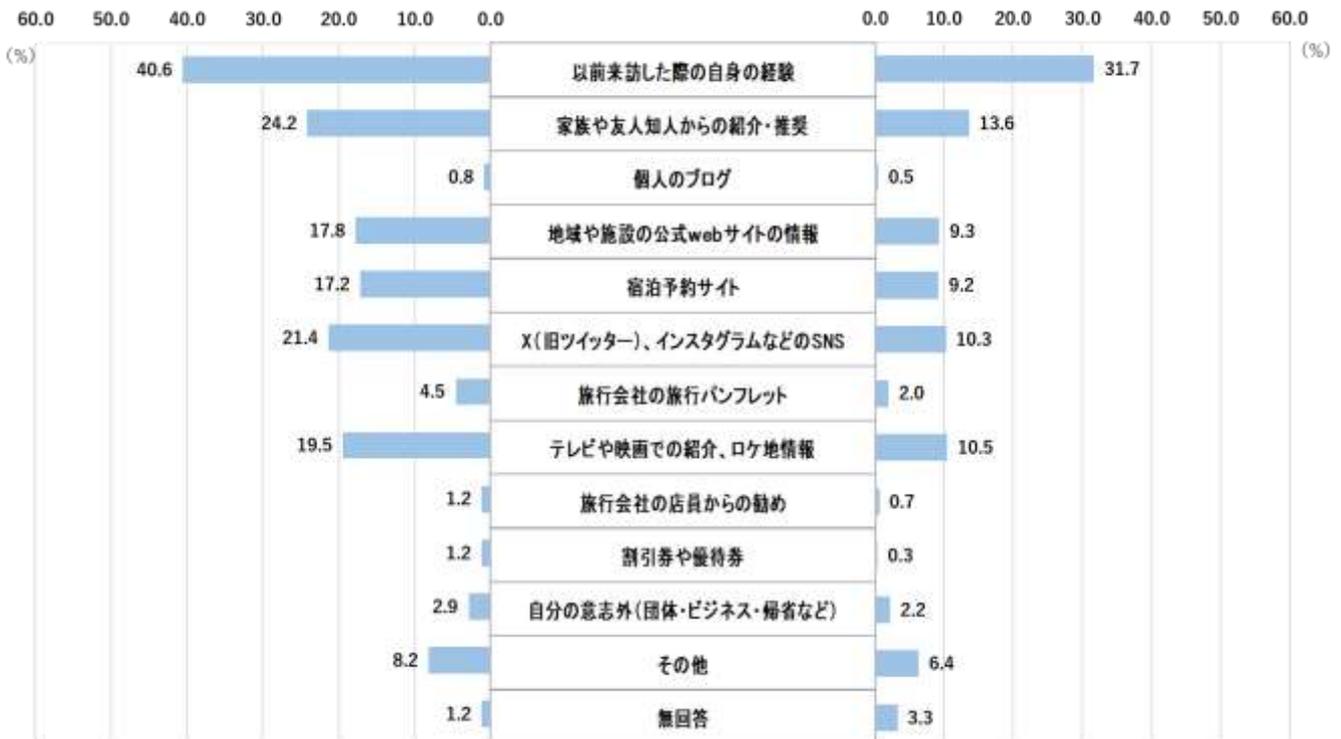
立ち寄り観光施設数 (n=510)  
※「0地点(調査地点以外立ち寄りなし)」を除く



旅行先に選んだ情報源は、「以前来訪した際の自身の経験」が40.6%で最も多く、次いで「家族や友人知人からの紹介・推奨」が24.2%であった。  
“決め手”となった情報源も、「以前来訪した際の自身の経験」が31.7%で最も多く、次いで「家族や友人知人からの紹介・推奨」が13.6%であった。

旅行先に選んだ情報源  
(複数回答) (n=1,211)

“決め手”となった情報源  
(単一回答) (n=1,211)



## 旅行先を選んだ“決め手”となった情報源 年代別

※全体で回答数の多い順（「無回答」を除く）

(%)

NO.	全体(n=1211)	
1	以前来訪した際の自身の経験	31.7
2	家族や友人知人からの紹介・推奨	13.6
3	テレビや映画での紹介、ロケ地情報	10.5
4	X(旧ツイッター)、インスタグラムなどのSNS	10.3
5	地域や施設の公式webサイトの情報	9.3
6	宿泊予約サイト	9.2
7	自分の意志外(団体・ビジネス・帰省など)	2.2
8	旅行会社の旅行パンフレット	2.0
9	旅行会社の店員からの勧め	0.7
10	個人のブログ	0.5
11	割引券や優待券	0.3
12	その他	6.4

NO.	10代・20代(n=138)	
1	X(旧ツイッター)、インスタグラムなどのSNS	21.0
2	以前来訪した際の自身の経験	19.6
3	家族や友人知人からの紹介・推奨	19.6
4	地域や施設の公式webサイトの情報	14.5
5	宿泊予約サイト	6.5
6	テレビや映画での紹介、ロケ地情報	5.1
7	自分の意志外(団体・ビジネス・帰省など)	2.2
8	個人のブログ	0.7
9	旅行会社の旅行パンフレット	0.0
10	旅行会社の店員からの勧め	0.0
11	割引券や優待券	0.0
12	その他	8.7

NO.	30代(n=147)	
1	以前来訪した際の自身の経験	26.5
2	家族や友人知人からの紹介・推奨	16.3
3	X(旧ツイッター)、インスタグラムなどのSNS	15.0
4	宿泊予約サイト	12.9
5	地域や施設の公式webサイトの情報	9.5
6	テレビや映画での紹介、ロケ地情報	8.2
7	個人のブログ	1.4
8	割引券や優待券	1.4
9	自分の意志外(団体・ビジネス・帰省など)	1.4
10	旅行会社の旅行パンフレット	0.7
11	旅行会社の店員からの勧め	0.7
12	その他	2.7

NO.	40代(n=245)	
1	以前来訪した際の自身の経験	27.8
2	家族や友人知人からの紹介・推奨	13.9
3	X(旧ツイッター)、インスタグラムなどのSNS	12.2
4	宿泊予約サイト	11.4
5	地域や施設の公式webサイトの情報	10.2
6	テレビや映画での紹介、ロケ地情報	9.8
7	自分の意志外(団体・ビジネス・帰省など)	2.0
8	旅行会社の旅行パンフレット	1.6
9	旅行会社の店員からの勧め	1.2
10	割引券や優待券	0.8
11	個人のブログ	0.0
12	その他	5.3

NO.	50代(n=272)	
1	以前来訪した際の自身の経験	30.9
2	テレビや映画での紹介、ロケ地情報	14.0
3	家族や友人知人からの紹介・推奨	11.4
4	X(旧ツイッター)、インスタグラムなどのSNS	9.9
5	地域や施設の公式webサイトの情報	9.6
6	宿泊予約サイト	8.5
7	自分の意志外(団体・ビジネス・帰省など)	2.6
8	旅行会社の旅行パンフレット	2.2
9	個人のブログ	0.0
10	旅行会社の店員からの勧め	0.0
11	割引券や優待券	0.0
12	その他	7.7

NO.	60代以上(n=389)	
1	以前来訪した際の自身の経験	41.1
2	家族や友人知人からの紹介・推奨	11.3
3	テレビや映画での紹介、ロケ地情報	11.3
4	宿泊予約サイト	8.2
5	地域や施設の公式webサイトの情報	6.2
6	X(旧ツイッター)、インスタグラムなどのSNS	4.4
7	旅行会社の旅行パンフレット	3.3
8	自分の意志外(団体・ビジネス・帰省など)	2.6
9	旅行会社の店員からの勧め	1.0
10	個人のブログ	0.5
11	割引券や優待券	0.0
12	その他	6.9

※全体 (n=1,211) には年代無回答の方が含まれているため、各年代の合計と一致しない。

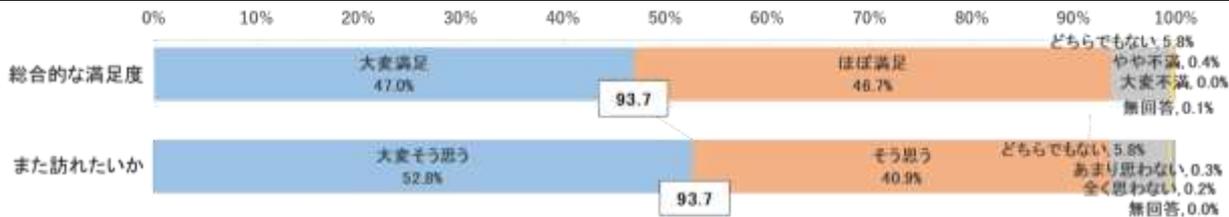
宿泊客一人当たりの消費支出の平均は、総額で 37,122 円であった。  
内訳は、「宿泊費」が 17,703 円で最も多く、次いで「県内交通費」が 5,923 円であった。

消費支出（平均）



調査地域への総合的な満足度は、「大変満足」と「ほぼ満足」をあわせた【満足層】が 93.7%であった。そして、また訪れたいかは、「大変そう思う」「そう思う」をあわせた【再来訪意向層】も 93.7%であった。

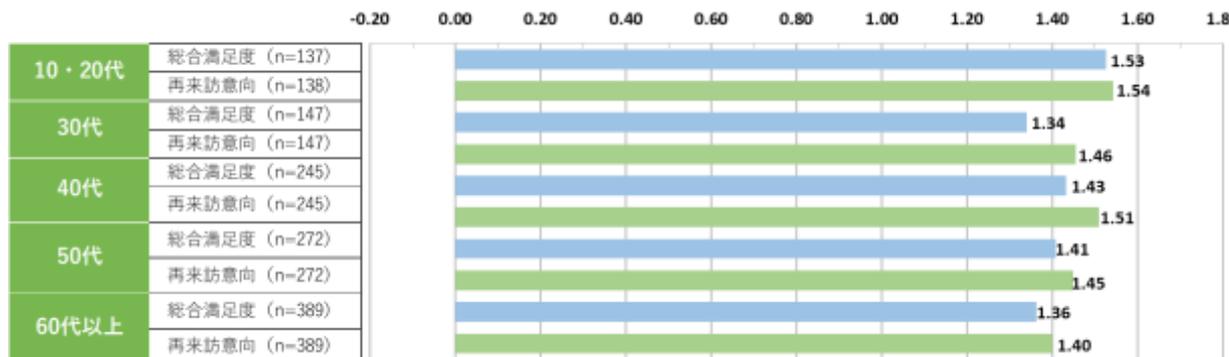
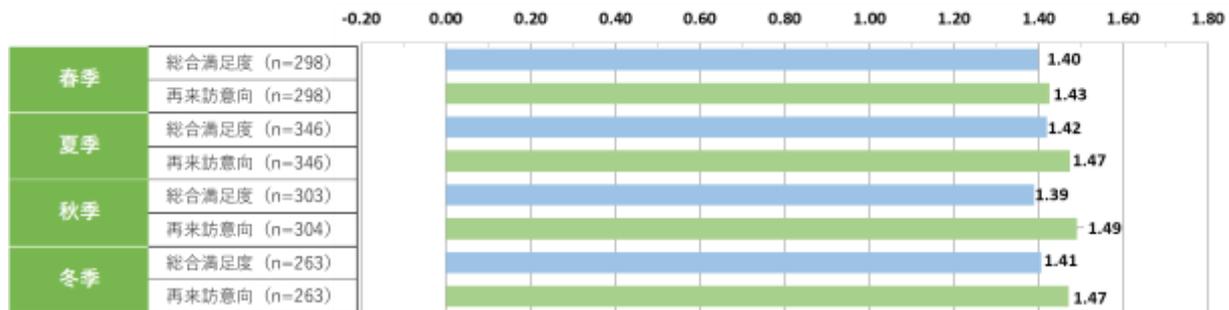
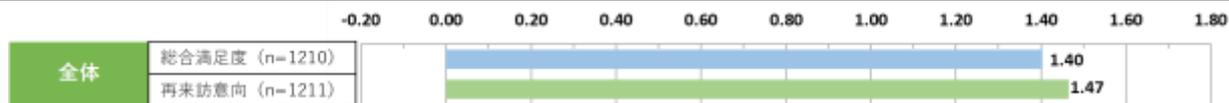
調査地域の総合満足度／再来訪意向 (n=1,211)



調査地域の総合満足度／再来訪意向（季節別・年代別）

総合満足度を季節別にみると、「夏季」が 1.42 で最も高かった。再来訪意向は、「秋季」が 1.49 で最も高かった。

年代別にみると、総合満足度は「10代・20代」が 1.53 で最も高かった。再来訪意向も、「10代・20代」が 1.54 で最も高かった。

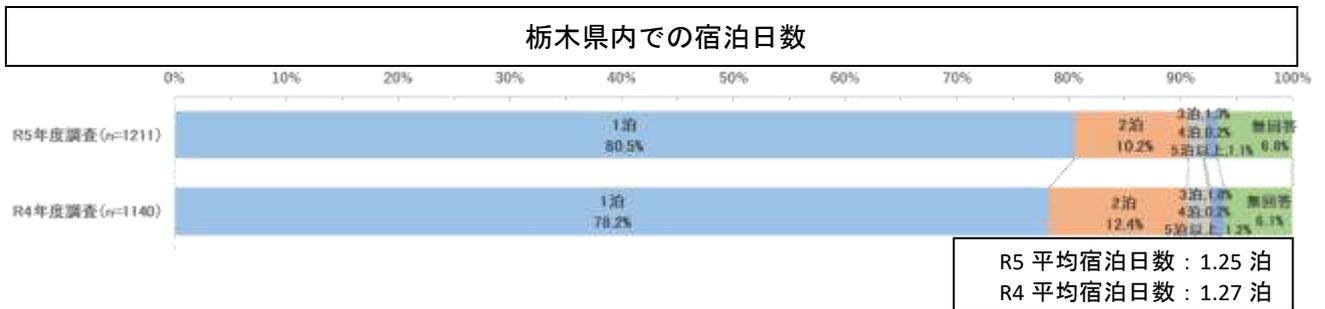


第2章 観光客調査 調査結果

2. 宿泊客 (1) 県全体

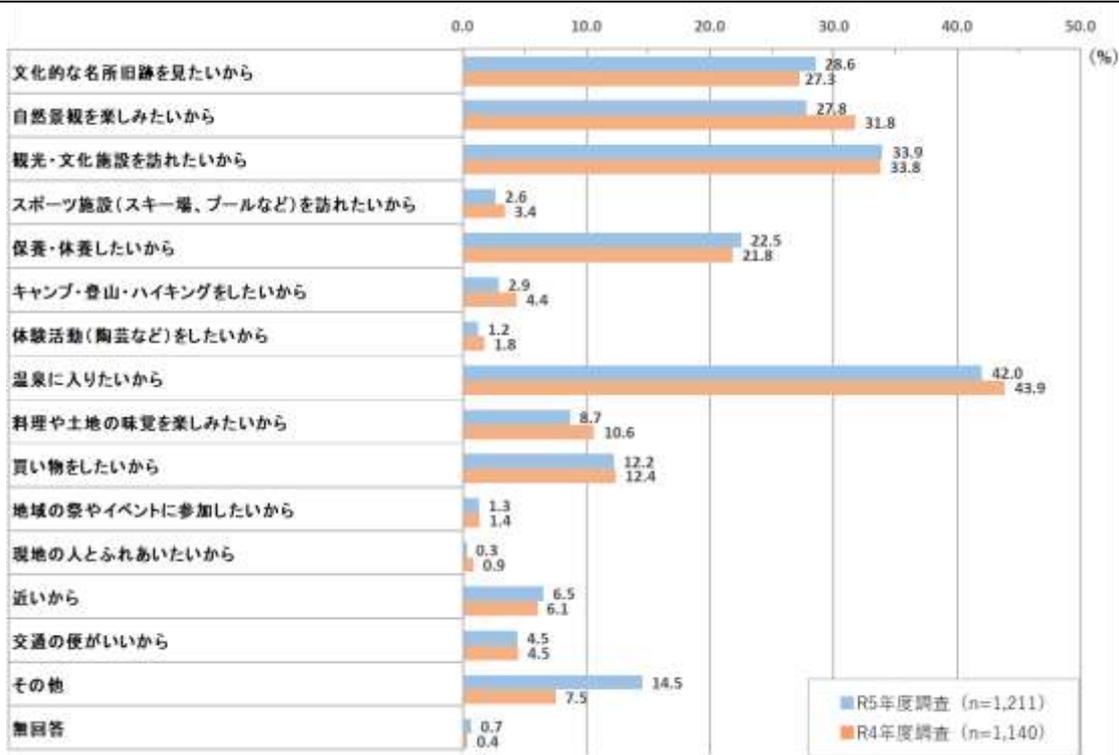
②過去調査との比較

栃木県内での宿泊日数は、「1泊」が令和4（2022）年度調査では78.2%だったが、令和5（2023）年度は80.5%と2.3ポイント増加した。一方、2泊以上の宿泊者の割合は令和4（2022）年度調査と比較して2.8ポイント減少した。平均宿泊日数は、令和4（2022）年度は1.27泊であったが、令和5（2023）年度は1.25泊と減少した。



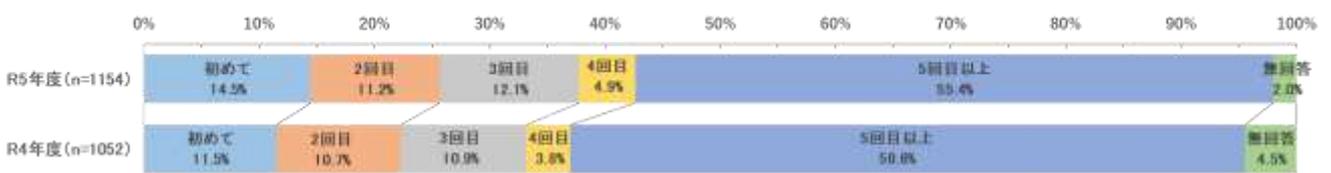
旅行先に選んだ理由は、最も多かった「温泉に入りたいから」が、令和4（2022）年度調査では43.9%、令和5（2023）年度調査では42.0%と大差はみられなかった。また、次いで多かった「観光・文化施設を訪れたいから」が令和4（2022）年度調査では33.8%、令和5（2023）年度調査では33.9%とやや増加した。

**旅行先に選んだ理由（複数回答）**



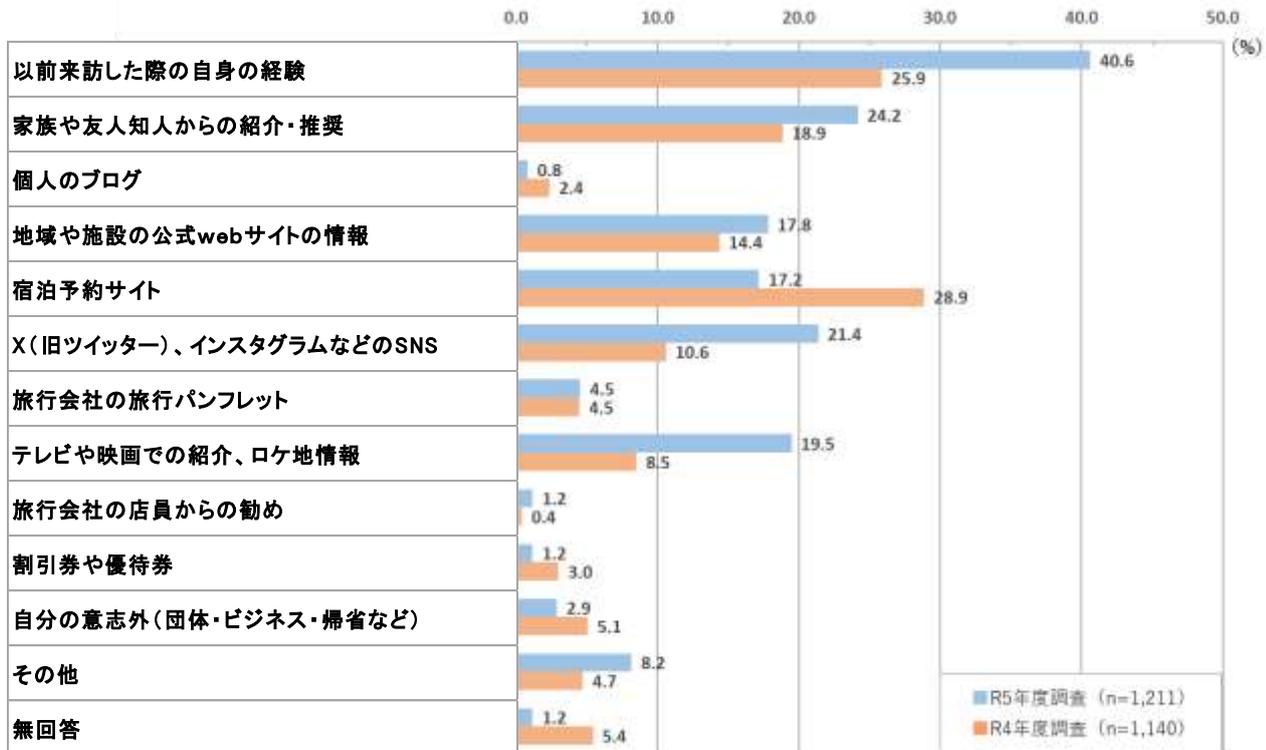
県外客の栃木県への来訪回数は、「5回目以上」が令和4（2022）年度調査では58.6%であったが、令和5（2023）年度調査では55.4%と3.2ポイント減少した。一方、「初めて」は令和4（2022）年度調査の11.5%に対し、令和5（2023）年度調査では14.5%と3.0ポイント増加した。

**県外客の栃木県への来訪回数**



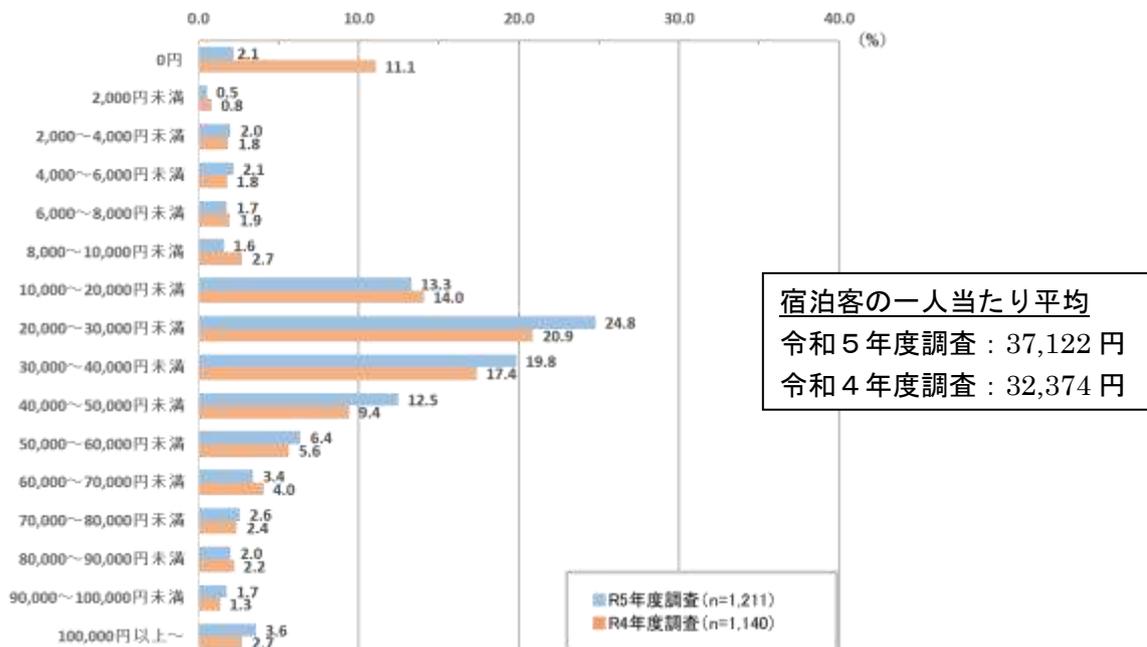
旅行先に選んだ情報源は、令和5（2023）年度調査では「以前来訪した際の自身の経験」が40.6%と最も多く、令和4（2022）年度調査の25.9%に対し、14.7ポイント増加した。また、次いで多かった「家族や友人知人からの紹介・推奨」は、令和4（2022）年度調査の18.9%に対し、令和5（2023）年度調査では24.2%と、5.3ポイント増加した。

旅行先に選んだ情報源（複数回答）



消費支出の総額は、「30,000～40,000円未満」が令和4（2022）年度調査の17.4%に対し、令和5（2023）年度調査では19.8%と2.4ポイント増加した。また、「40,000～50,000円未満」は令和4（2022）年度調査の9.4%に対し、令和5（2023）年度調査では12.5%と3.1ポイント増加した。宿泊客の一人当たり平均は、令和4（2022）年度調査では32,374円であったが、令和5（2023）年度調査では37,122円と増加した。

消費支出（総額）

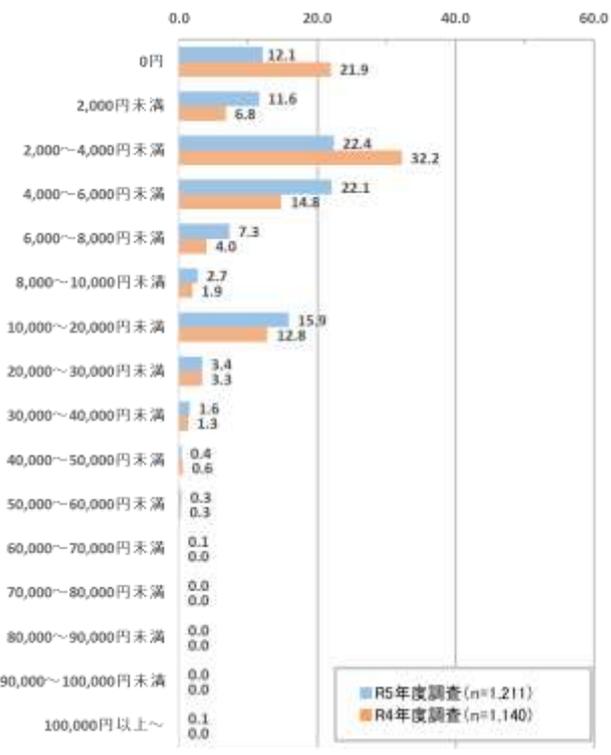


第2章 観光客調査 調査結果

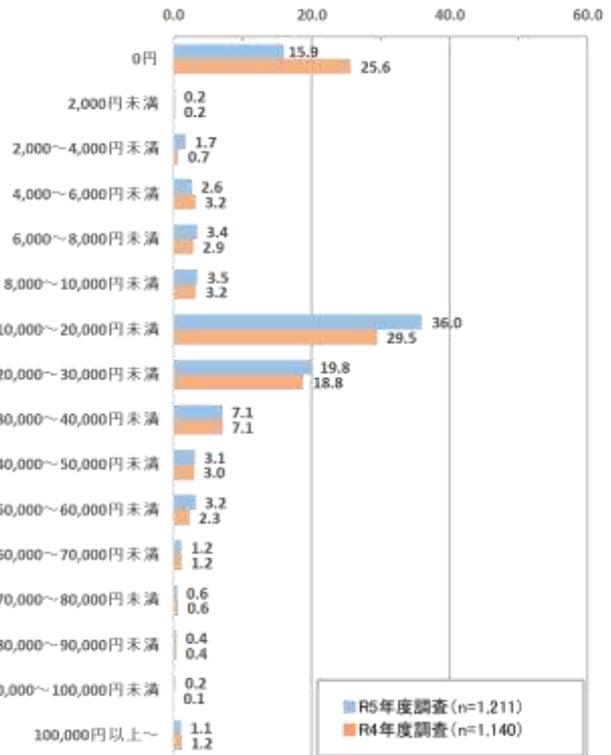
2. 宿泊客 (1) 県全体

県内交通費は、「2,000～4,000円未満」が令和4（2022）年度調査の32.2%に対し、令和5（2023）年度調査は22.4%と9.8ポイント減少した。また、宿泊費は「10,000～20,000円未満」が令和4（2022）年度調査の29.5%に対し、令和5（2023）年度調査では36.0%と6.5ポイント増加した。

消費支出 県内交通費

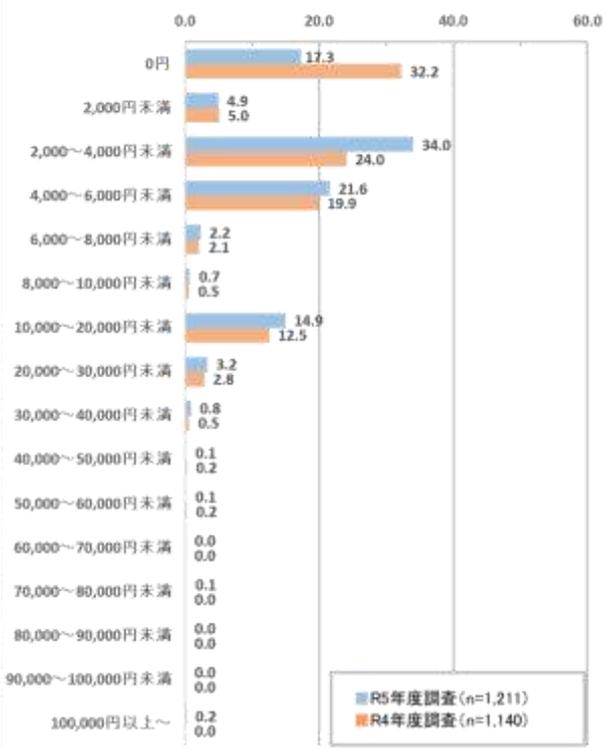


消費支出 宿泊費

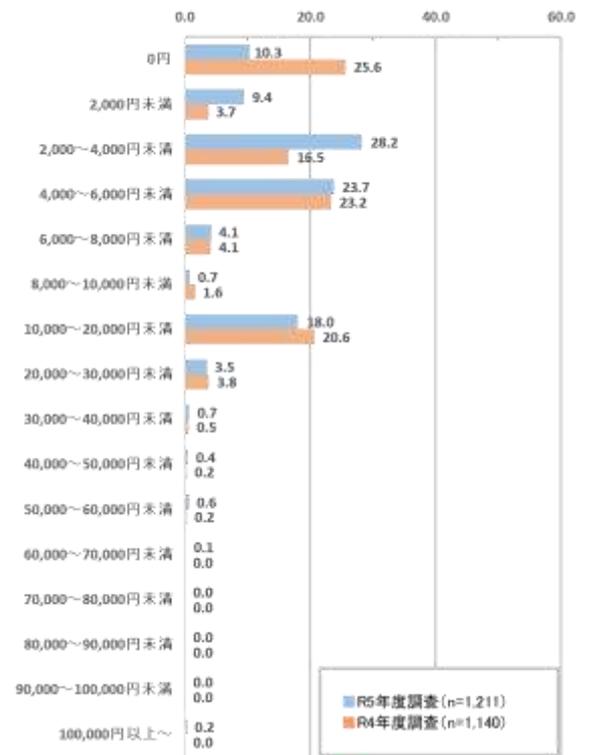


土産代は、「2,000～4,000円未満」が令和4（2022）年度調査の24.0%に対し、令和5（2023）年度調査では34.0%と10.0ポイント増加した。飲食費は、「2,000～4,000円未満」が令和4（2022）年度調査の16.5%に対し、令和5（2023）年度調査では28.2%と11.7ポイント増加した。

消費支出 土産代

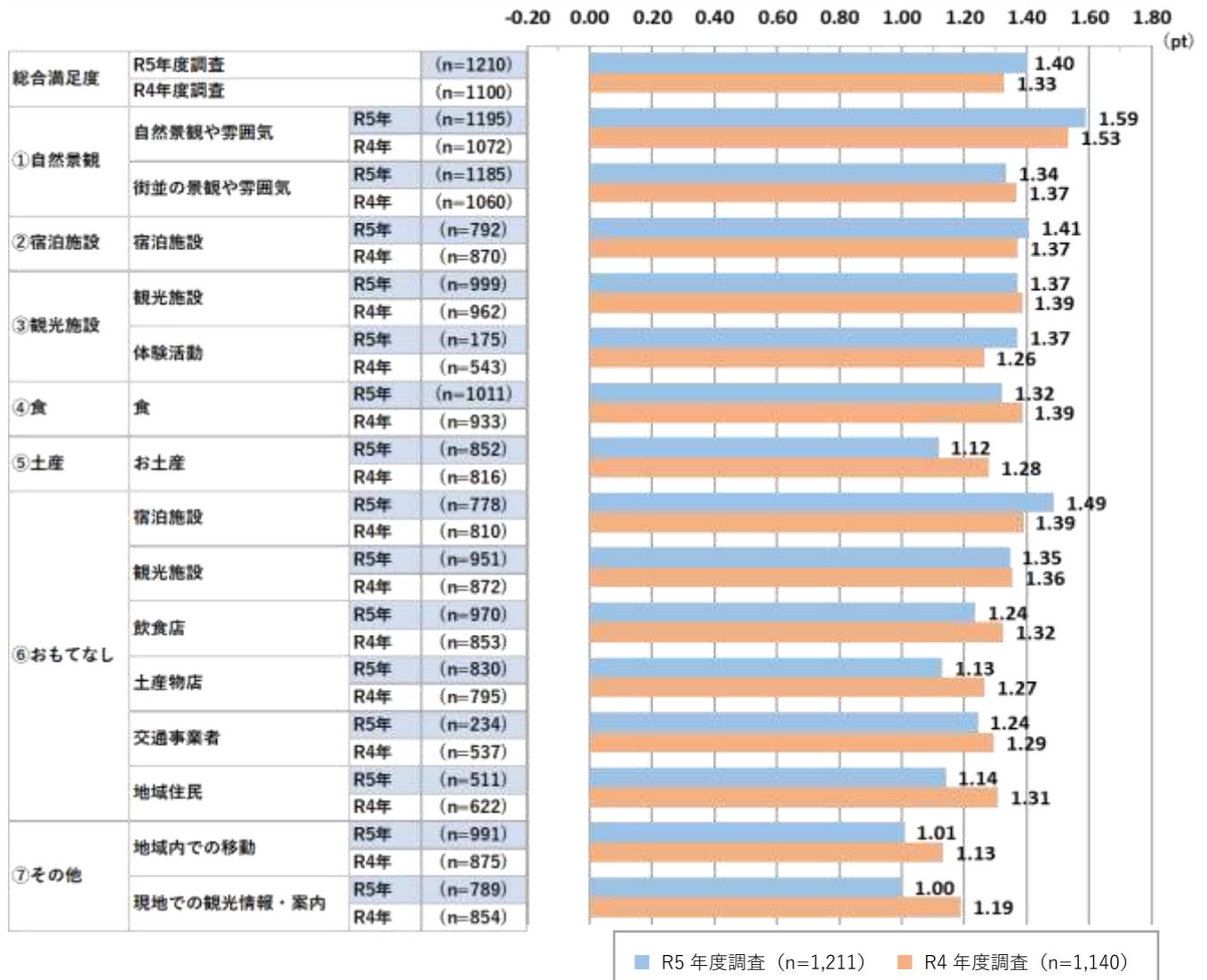


消費支出 飲食費



総合満足度は、令和5（2023）年度調査では1.40となり、令和4（2022）年度調査の1.33と比較して0.07ポイント増加した。満足度を項目別にみると、令和4（2022）年度調査、令和5（2023）年度調査ともに「自然景観 自然景観や雰囲気」が最も高く、令和4（2022）年度調査では1.53、令和5（2023）年度調査では1.59であった。

項目別満足度（加重平均値）



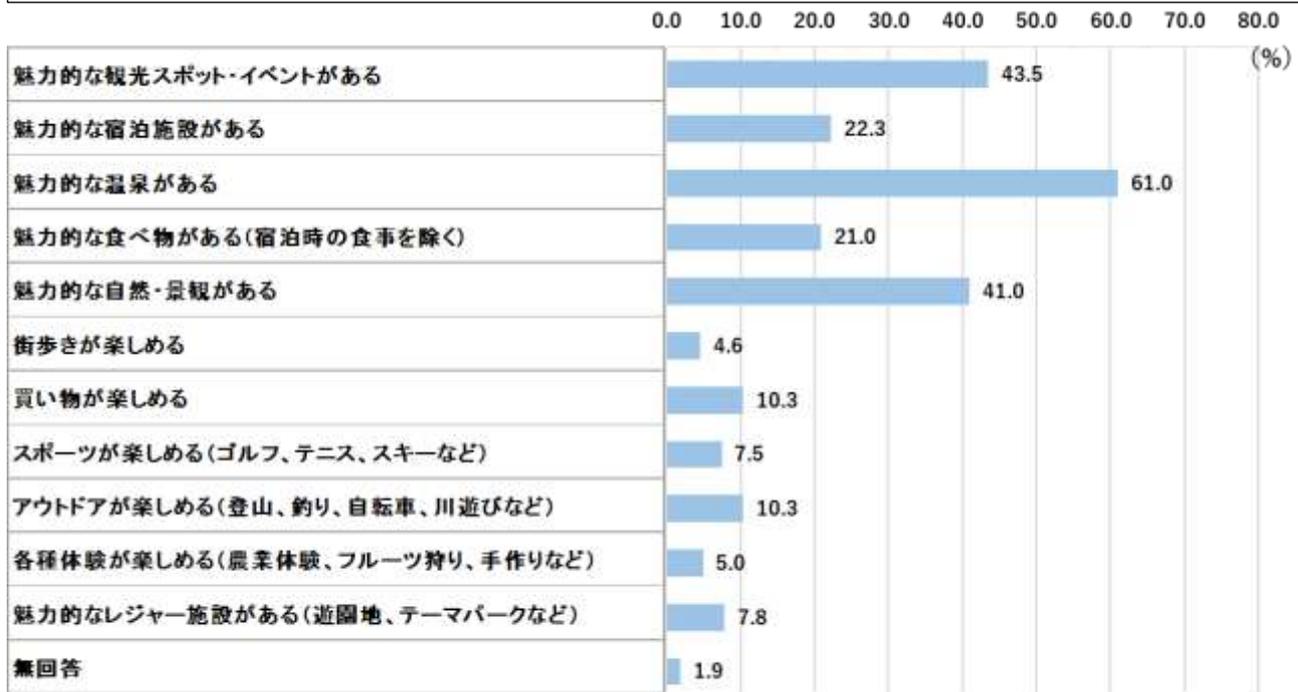
### ③栃木県の魅力が1位だと感じるもの

◇「魅力的な温泉がある」が最も多く6割を超えた。

#### 【県全体】

栃木県の魅力が1位だと感じるものについて、県全体では「魅力的な温泉がある」が61.0%で最も多く、次いで「魅力的な観光スポット・イベントがある」が43.5%、「魅力的な自然・景観がある」が41.0%であった。

エリアごとに見ると、「魅力的な温泉がある」は日光で59.3%、那須で64.1%、県央で58.2%、県南で68.4%、県東で54.0%とそれぞれのエリアで最も多い。



#### 【エリア別】※上位5項目

(%)

NO.	全体(n=1211)	日光(n=469)	那須(n=368)
1	魅力的な温泉がある 61.0	魅力的な温泉がある 59.3	魅力的な温泉がある 64.1
2	魅力的な観光スポット・イベントがある 43.5	魅力的な観光スポット・イベントがある 50.7	魅力的な自然・景観がある 39.1
3	魅力的な自然・景観がある 41.0	魅力的な自然・景観がある 45.8	魅力的な観光スポット・イベントがある 36.1
4	魅力的な宿泊施設がある 22.3	魅力的な宿泊施設がある 21.3	魅力的な宿泊施設がある 26.4
5	魅力的な食べ物がある(宿泊時の食事を除く) 21.0	魅力的な食べ物がある(宿泊時の食事を除く) 14.5	魅力的な食べ物がある(宿泊時の食事を除く) 19.6

NO.	県央(n=213)	県南(n=98)	県東(n=63)
1	魅力的な温泉がある 58.2	魅力的な温泉がある 68.4	魅力的な温泉がある 54.0
2	魅力的な自然・景観がある 36.2	魅力的な観光スポット・イベントがある 60.2	魅力的な観光スポット・イベントがある 36.5
3	魅力的な観光スポット・イベントがある 34.7	魅力的な宿泊施設がある 37.8	魅力的な自然・景観がある 36.5
4	魅力的な食べ物がある(宿泊時の食事を除く) 30.5	魅力的な自然・景観がある 37.8	魅力的な食べ物がある(宿泊時の食事を除く) 27.0
5	アウトドアが楽しめる(登山、釣り、自転車、川遊びなど) 14.1	スポーツが楽しめる(ゴルフ、テニス、スキーなど) 35.7	買い物を楽しめる 12.7

(2) エリア別

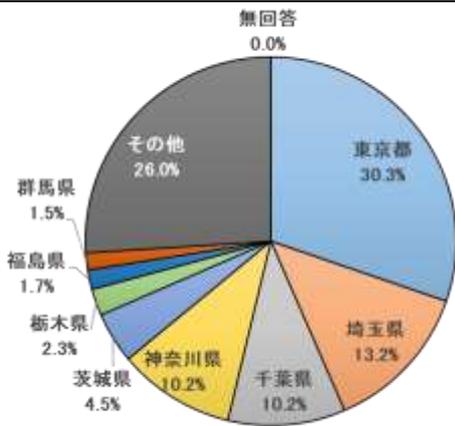
i. 日光エリア

① 令和5(2023)年度調査結果

宿泊客(日光エリア) サンプル数: 469

お住まいは「東京都」が最も多く 30.3%、次いで「埼玉県」が 13.2%、「千葉県」と「神奈川県」が 10.2%であった。年代は、男女ともに「60代以上」が最も多く、男性は 33.1%、女性は 24.4%となった。調査地域周辺への来訪回数は、「初めて」が 33.3%で最も多かった。同行者数は「2人」が 54.2%で最も多く、同行者の関係は「夫婦旅行」が 31.8%で最も多かった。

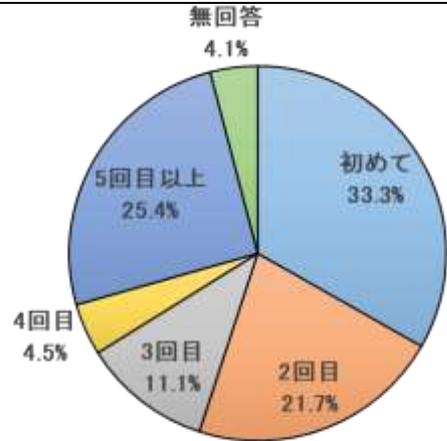
お住まい (n=469)



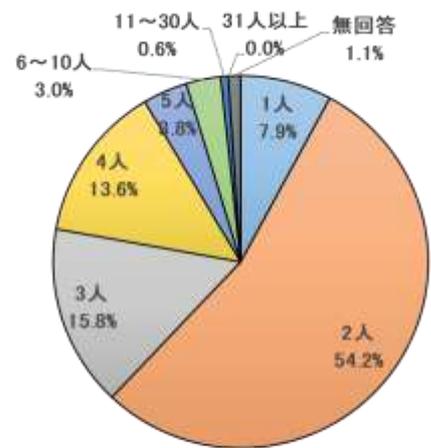
性別・年代 (n=469)



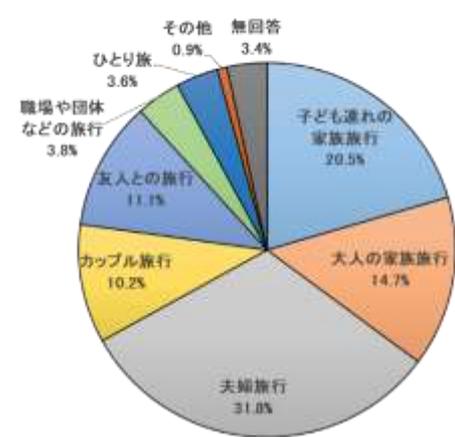
調査地域周辺への来訪回数 (n=469)



同行者数 ※回答者を含む (n=469)

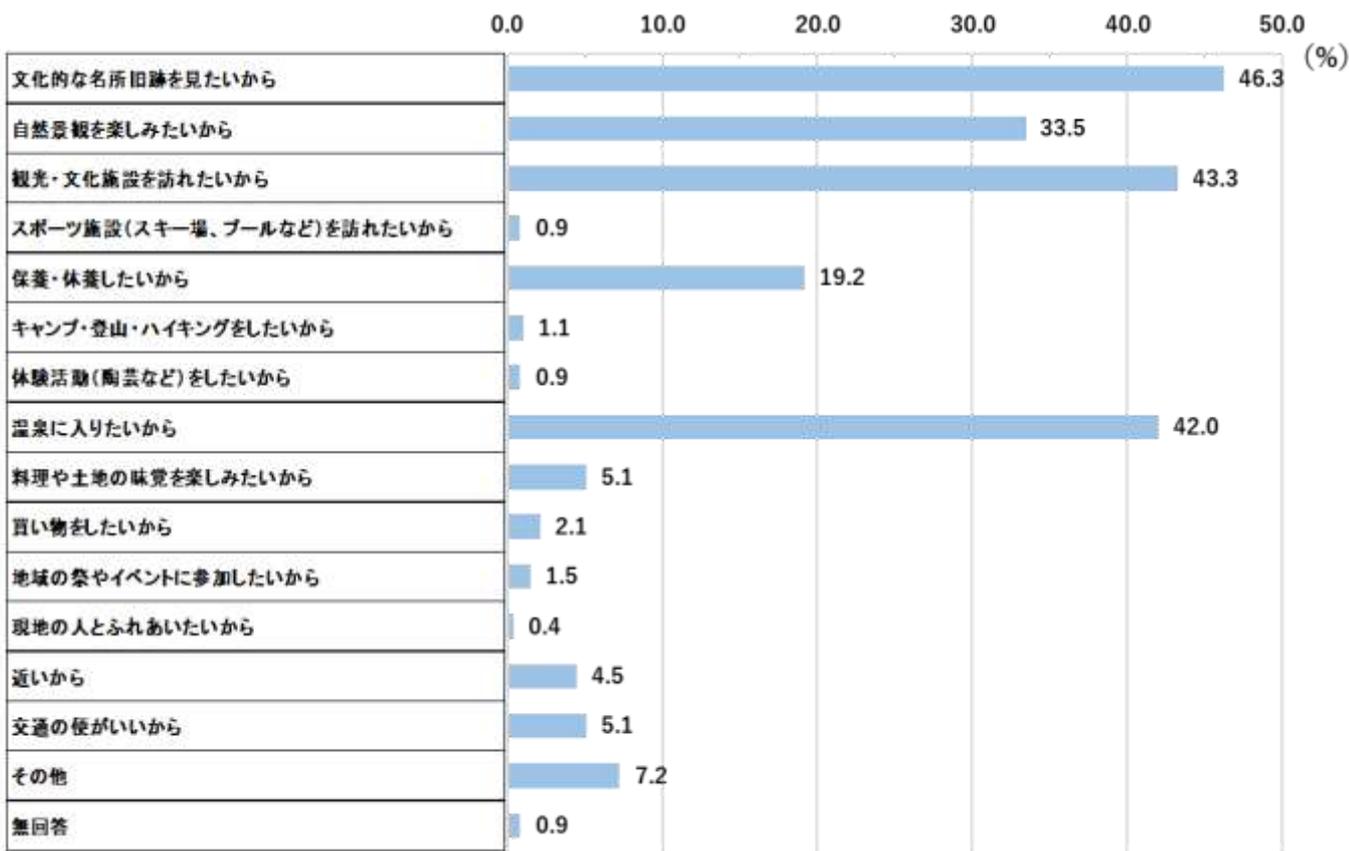


同行者の関係 (n=469)



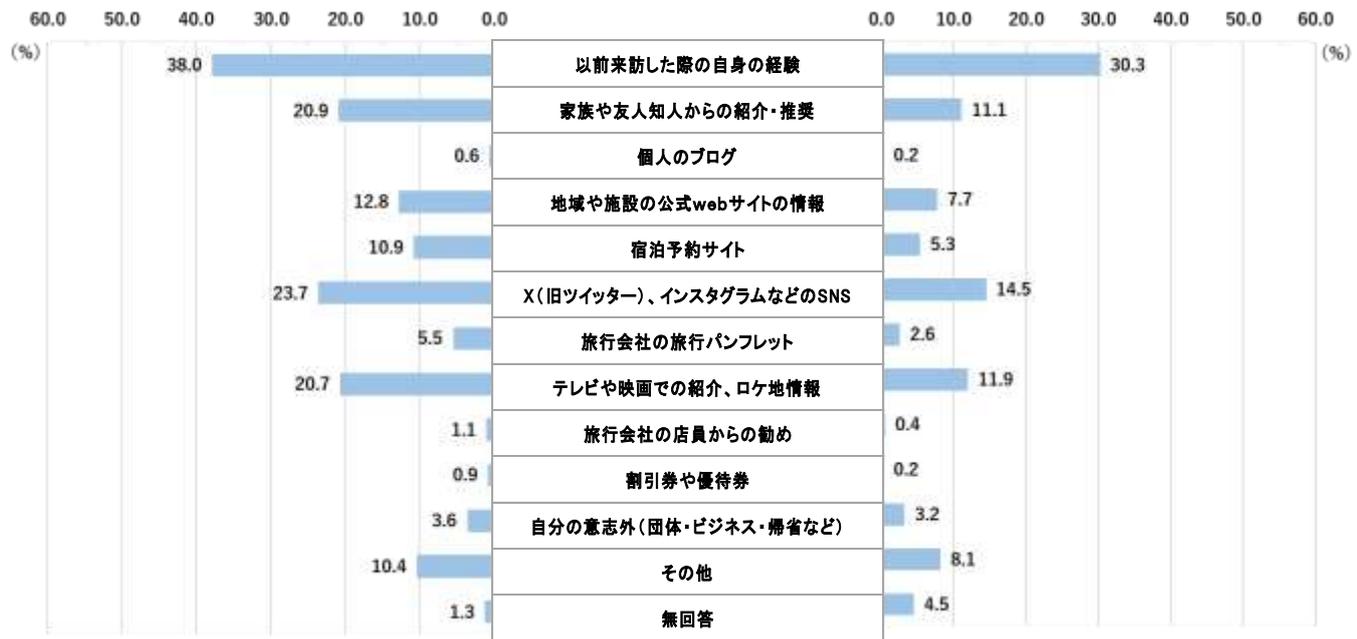
旅行先に選んだ理由は「文化的な名所旧跡を見たいから」が46.3%で最も多く、次いで「観光・文化施設を訪れたいから」が43.3%であった。旅行先に選んだ情報源は「以前来訪した際の自身の経験」が38.0%で最も多く、“決め手”となった情報源も「以前来訪した際の自身の経験」が30.3%で最も多かった。

旅行先に選んだ理由（複数回答）（n=469）



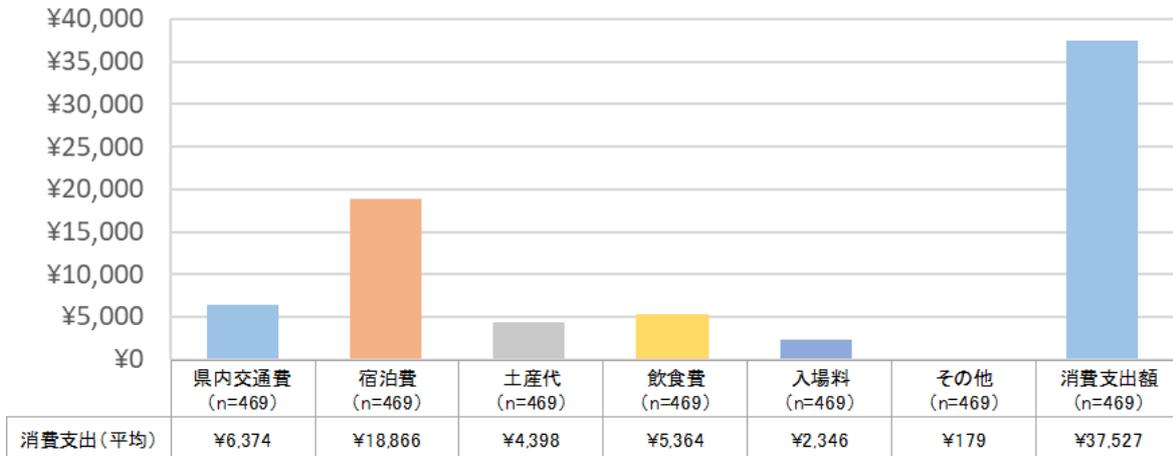
旅行先に選んだ情報源（複数回答）（n=469）

“決め手”となった情報源（単一回答）（n=469）

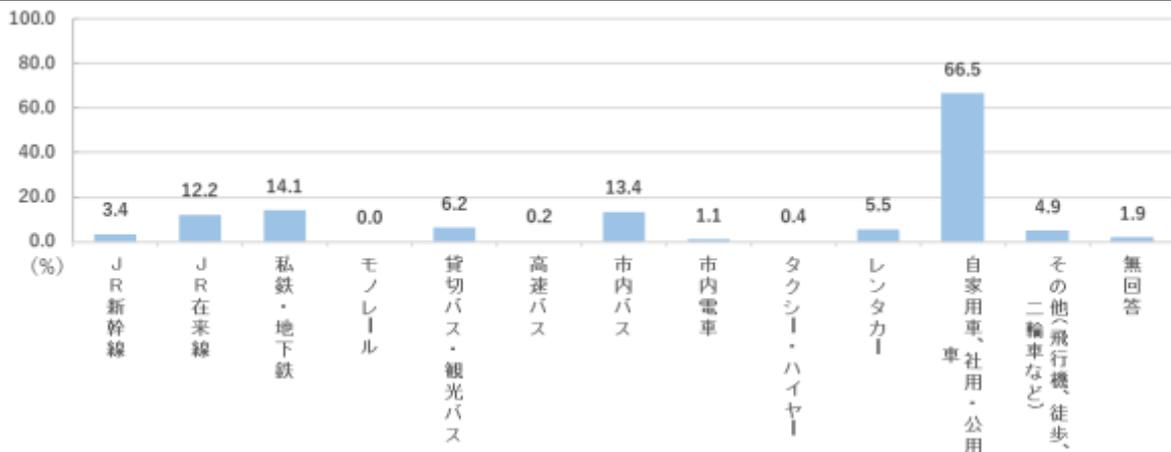


消費支出の平均は、総額で 37,527 円であった。内訳は、「宿泊費」が 18,866 円で最も多く、次いで「県内交通費」が 6,374 円であった。利用交通機関は、「自家用車、社用・公用車」が 66.5%で最も多かった。立ち寄り観光施設は、「鬼怒川温泉」が 95 人と最も多く、次いで「二社一寺」が 90 人であった。

消費支出（平均）



利用交通機関（複数回答）（n=469）



立ち寄り観光施設（n=469）※（ ）内は施設に立ち寄った人数

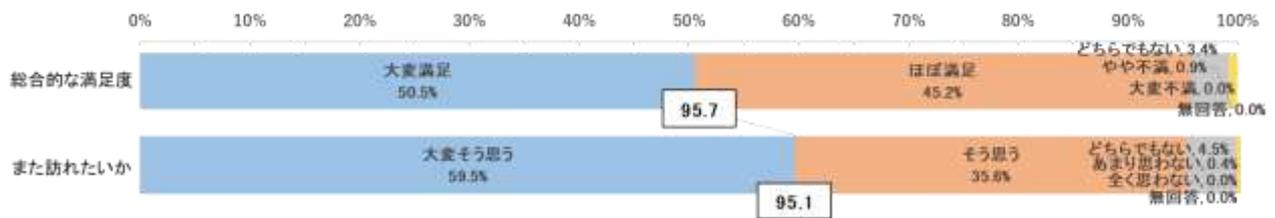
日光	平家の里(4)	八方ヶ原(1)
鬼怒川温泉(95)	龍王峡(3)	県央
二社一寺(90)	足尾銅山観光(3)	大谷資料館(6)
中禅寺湖(56)	日光街道ニッコ本陣(3)	ろまんちっく村(1)
華厳ノ滝(17)	湯西川温泉(3)	宇都宮動物園(1)
日光湯元温泉(8)	湯滝・湯の湖(2)	県南
EDO WONDERLAND日光江戸村(8)	霧降の滝(2)	あしかがフラワーパーク(4)
東武ワールドスクウェア(7)	日光自然博物館(1)	佐野プレミアム・アウトレット(3)
戦場ヶ原・小田代原(7)	湯西川温泉(5)	名草ふるさと交流館(1)
二荒山神社中宮祠(7)	那須	佐野厄よけ大師(1)
明智平(6)	那須どうぶつ王国(5)	岩下の新生姜ミュージアム(1)
戦場ヶ原・小田代原(10)	那須ガーデンアウトレット(3)	県東
川治温泉(4)	ハンターマウンテン塩原(1)	SLキューロク館(1)
おさるランド&アニタウン日光さる軍団(4)	那須オルゴール美術館(1)	

※対象者が現在いる地点（調査地点）は立ち寄り観光施設にカウントしない。

華厳の滝(2)、二社一寺参拝者(1)、東武ワールドスクウェア(1)

調査地域の総合的な満足度は、「大変満足」と「ほぼ満足」をあわせた【満足層】が95.7%であった。また訪れたいかは「大変そう思う」と「そう思う」をあわせた【再来訪意向層】が95.1%であった。

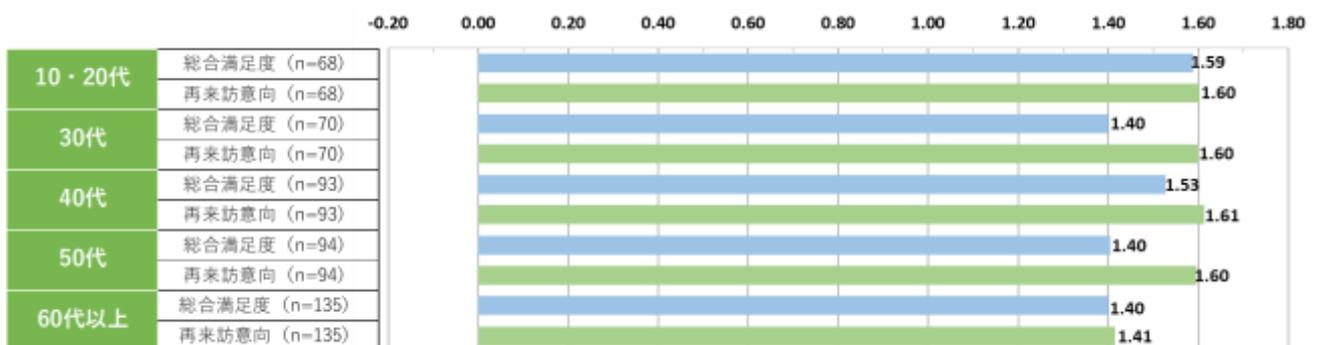
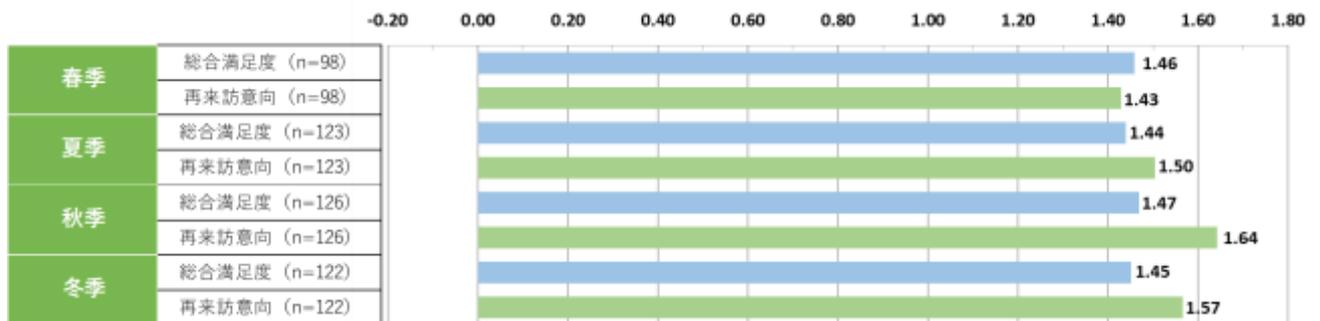
調査地域の総合満足度／再来訪意向 (n=469)



調査地域の総合満足度／再来訪意向 (季節別・年代別)

総合満足度を季節別にみると、「秋季」が1.47で最も高く、「夏季」が1.44で最も低かった。再来訪意向については、「秋季」が1.64で最も高く、「春季」が1.43で最も低かった。

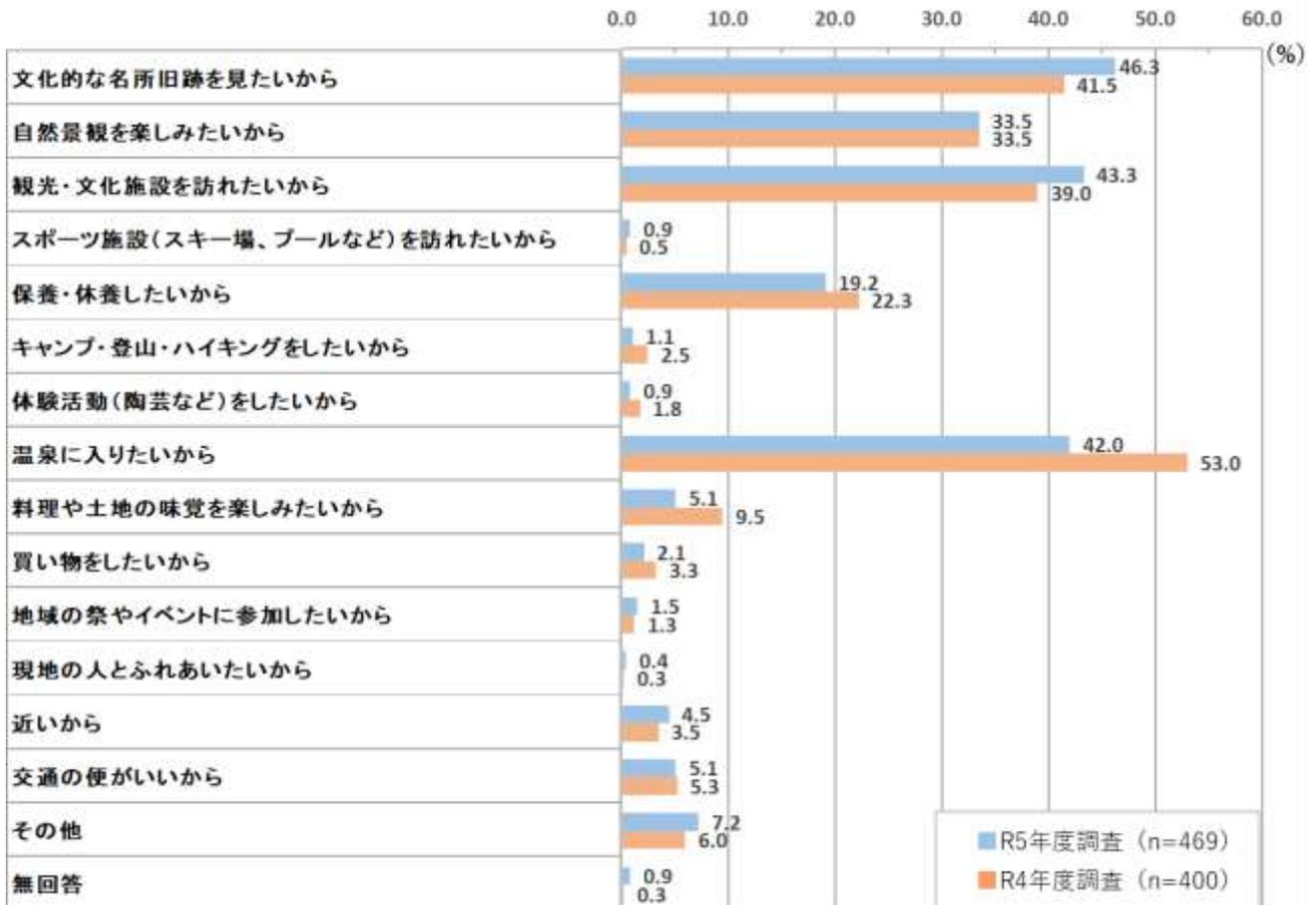
年代別にみると、総合満足度は「10代・20代」が1.59で最も高く、「30代」、「50代」、「60代以上」が1.40で最も低かった。再来訪意向については「40代」が1.61で最も高く、「60代以上」が1.41で最も低かった。



② 過去調査との比較

旅行先に選んだ理由は、「文化的な名所旧跡を見たいから」が最も多く、令和4（2022）年度調査では41.5%、令和5（2023）年度調査では46.3%と、4.8ポイント増加した。一方で、「温泉に入りたいたから」は、令和4（2022）年度調査では53.0%、令和5（2023）年度調査では42.0%と、11ポイント減少した。

旅行先に選んだ理由（複数回答）



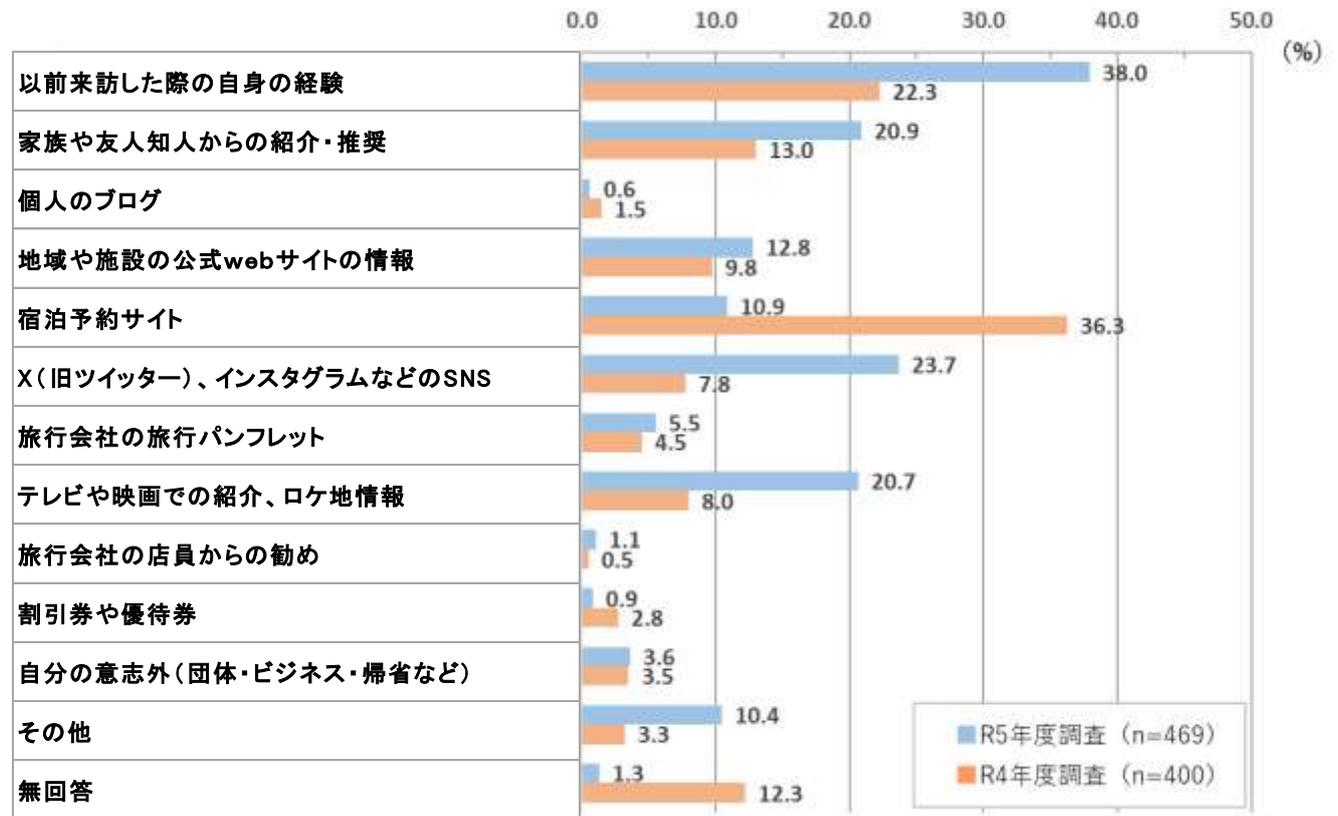
調査地域周辺への来訪回数は、「初めて」が令和4（2022）年度調査では25.3%、令和5（2023）年度調査では33.3%と、8.0ポイント増加した。一方、「5回目以上」は令和4（2022）年度調査で28.5%であったが、令和5（2023）年度調査では25.4%と3.1ポイント減少した。

調査地域周辺への来訪回数 ※周辺住民を除く



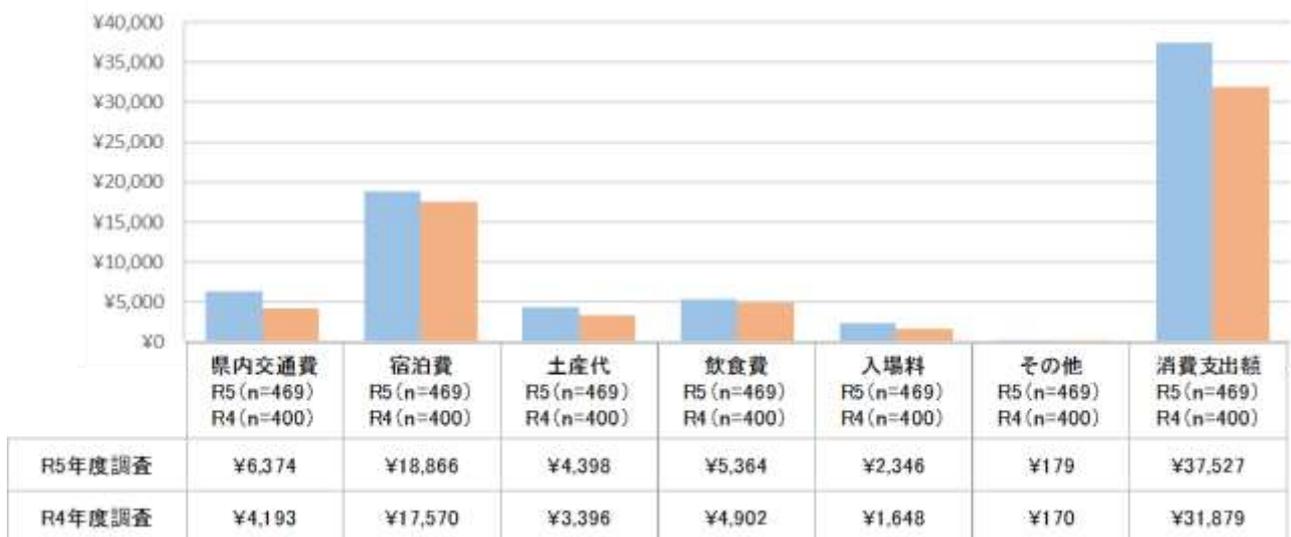
旅行先に選んだ情報源は、「以前来訪した際の自身の経験」が最も多く、令和4（2022）年度調査では22.3%、令和5（2023）年度調査では38.0%と15.7ポイント増加した。また、次いで多かった「X（旧ツイッター）、インスタグラムなどのSNS」は令和4（2022）年度調査では7.8%であったが、令和5（2023）年度調査では23.7%と15.9ポイント増加した。

旅行先に選んだ情報源（複数回答）



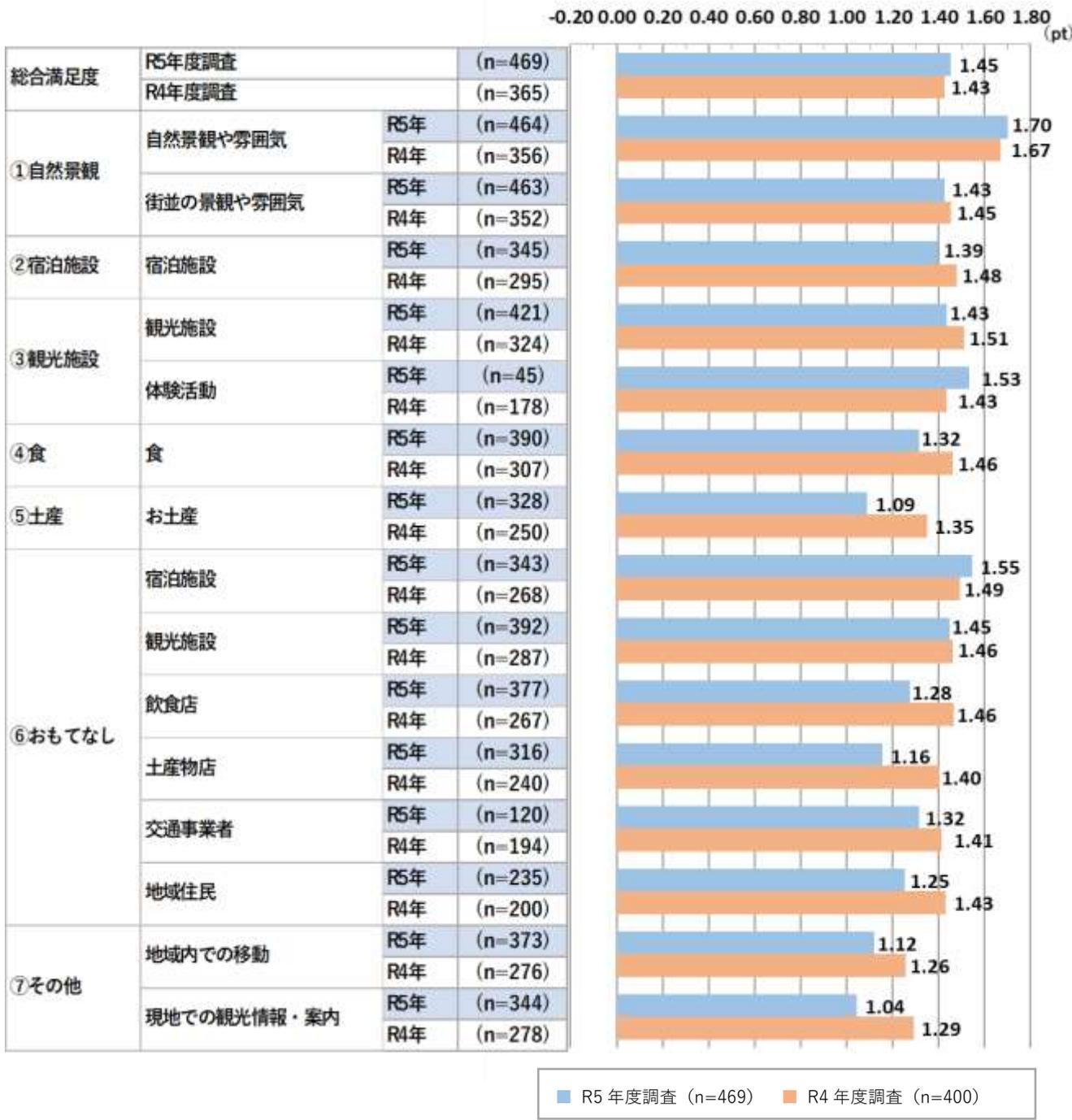
消費支出の総額は、令和4（2022）年度調査では31,879円だったが、令和5（2023）年度調査では37,527円に増加した。

消費支出（総額）



総合満足度は、令和4（2022）年度調査が1.43、令和5（2023）年度調査が1.45であった。満足度を項目別にみると、令和4（2022）年度調査、令和5（2023）年度調査ともに「自然景観 自然景観や雰囲気」が最も高くなっている。

項目別満足度（加重平均値）



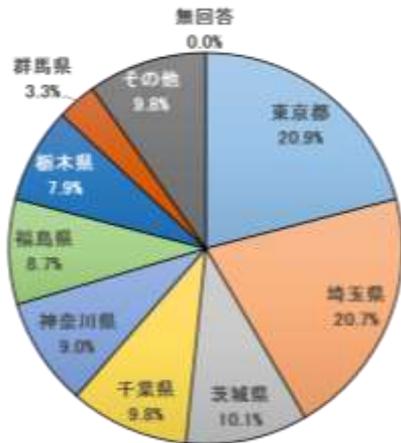
## ii. 那須エリア

### ① 令和5（2023）年度調査結果

宿泊客（那須エリア） サンプル数：368

お住まいは「東京都」が最も多く 20.9%、次いで「埼玉県」が 20.7%、「茨城県」が 10.1%であった。年代は、男女ともに「60代以上」が最も多く、男性では 40.4%、女性では 35.2%であった。調査地域周辺への来訪回数は、「5回目以上」のリピーターが 51.9%で最も多かった。同行者数は「2人」が 49.3%で最も多く、同行者の関係は「夫婦旅行」が 32.6%で最も多かった。

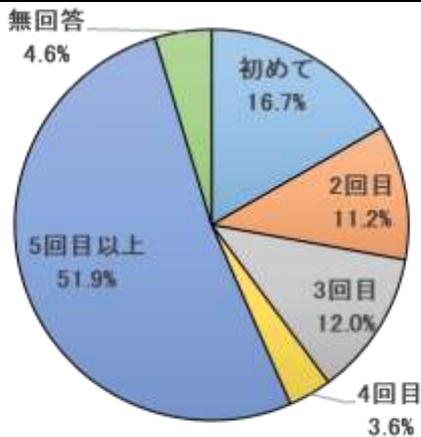
お住まい (n=368)



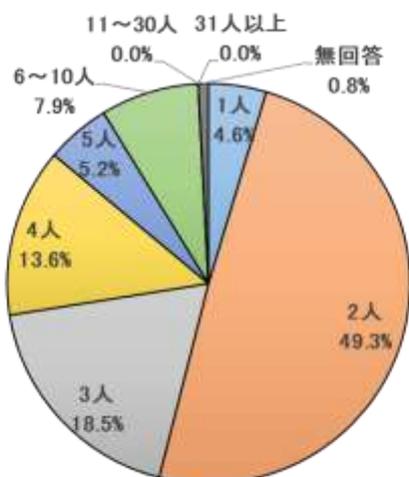
性別・年代 (n=368)



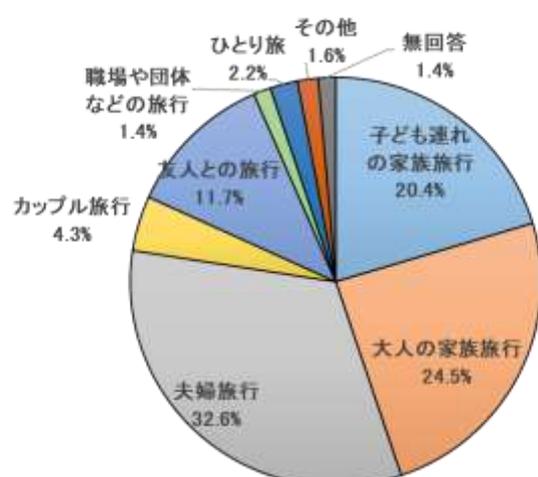
調査地域周辺への来訪回数 (n=366)



同行者数 ※回答者を含む (n=368)

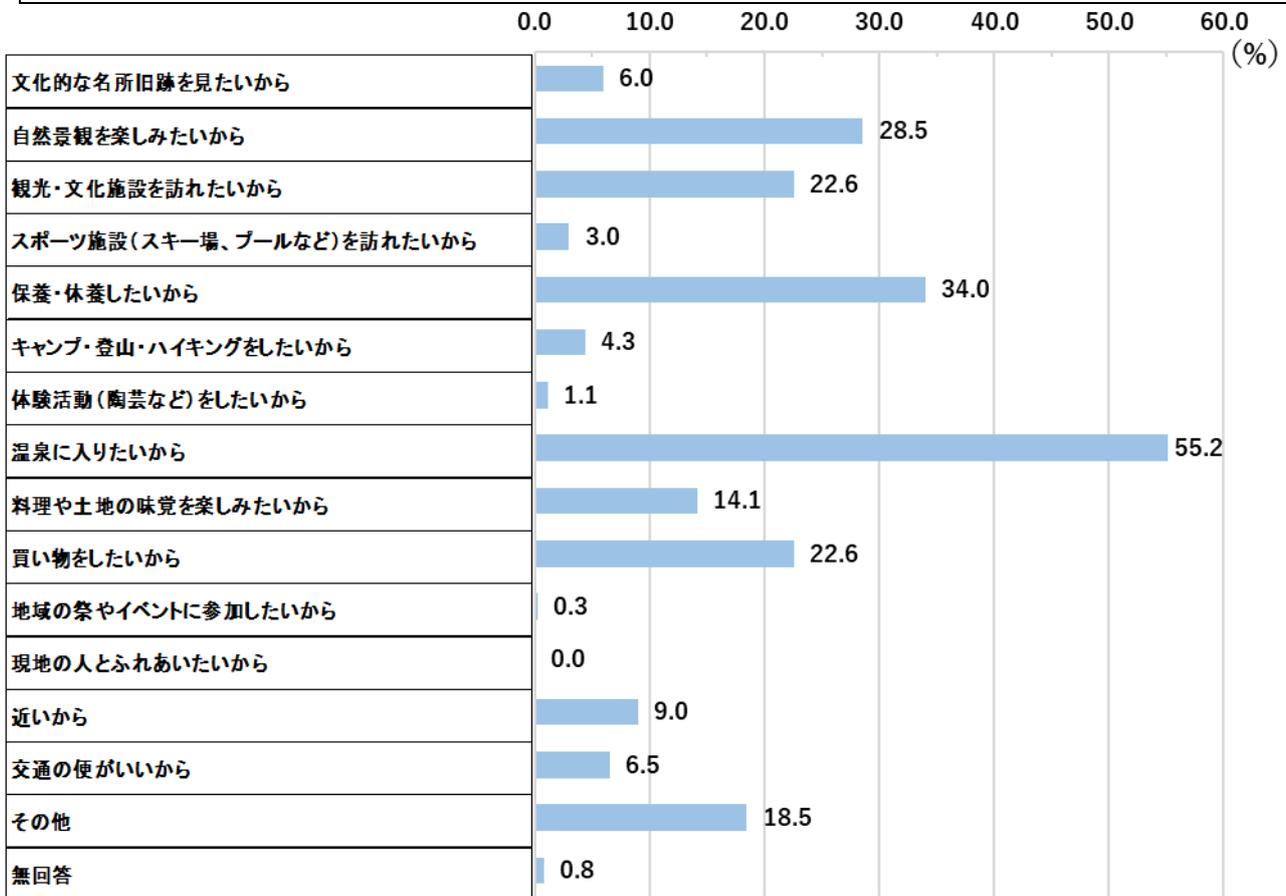


同行者の関係 (n=368)

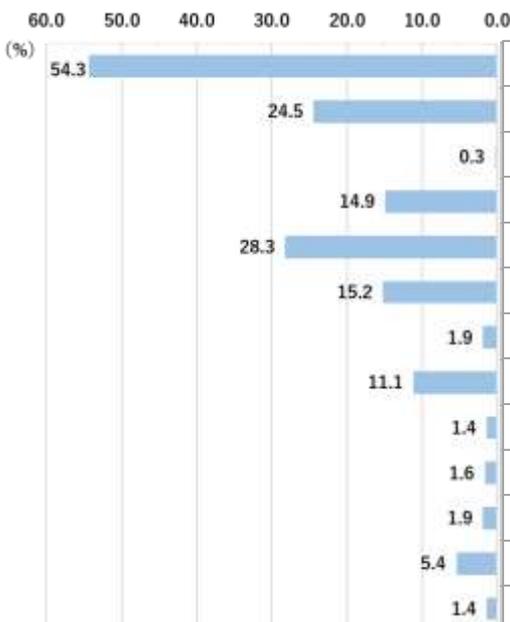


旅行先に選んだ理由は「温泉に入りたいから」が55.2%で最も多く、次いで「保養・休養したいから」が34.0%であった。旅行先に選んだ情報源は「以前来訪した際の自身の経験」が54.3%で最も多く、“決め手”となった情報源も「以前来訪した際の自身の経験」が42.4%で最も多かった。

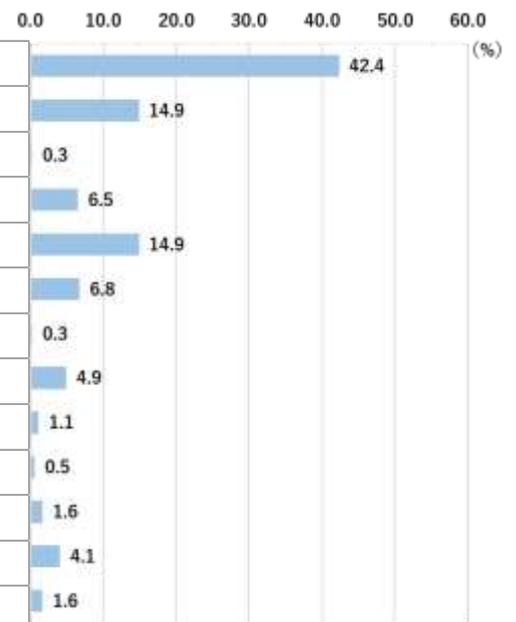
旅行先に選んだ理由（複数回答）（n=368）



旅行先に選んだ情報源  
（複数回答）（n=368）

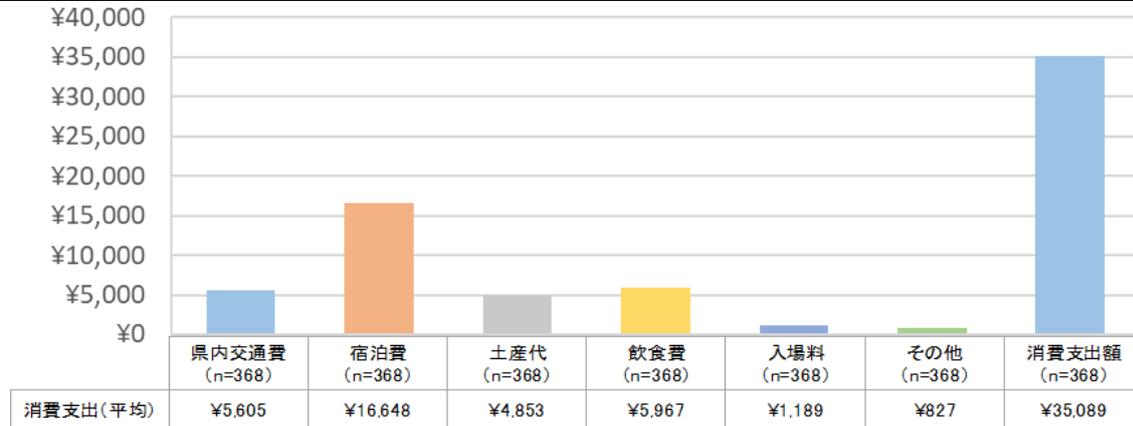


“決め手”となった情報源  
（単一回答）（n=368）

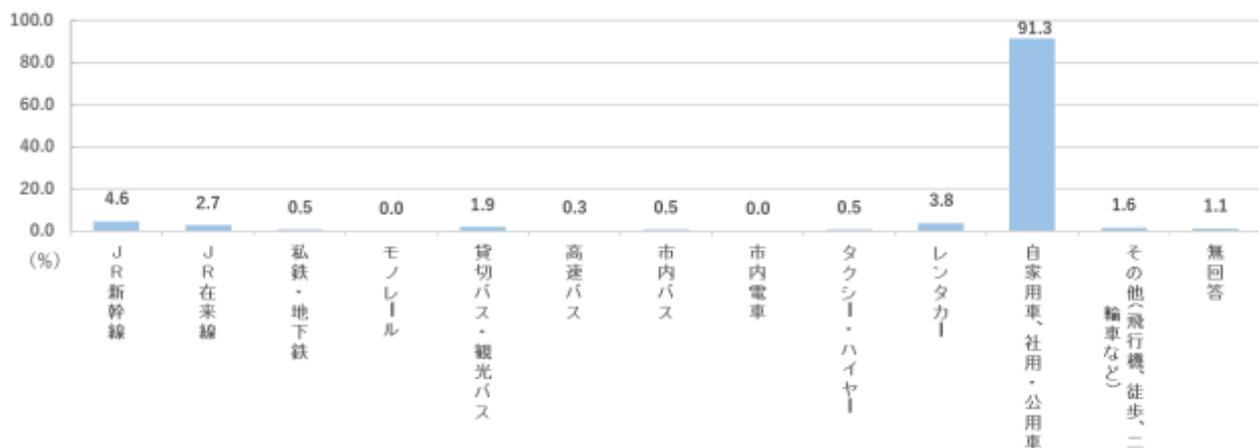


消費支出の平均は、総額で 35,089 円であった。内訳は、「宿泊費」が 16,648 円で最も多く、次いで「飲食費」が 5,967 円であった。利用交通機関は、「自家用車、社用・公用車」が 91.3%であった。立ち寄り観光施設は、「那須ガーデンアウトレット」が 21 人で最も多く、次いで「那須どうぶつ王国」が 18 人であった。

消費支出（平均）



利用交通機関（複数回答）（n=368）



立ち寄り観光施設（n=368）※（ ）内は施設に立ち寄った人数

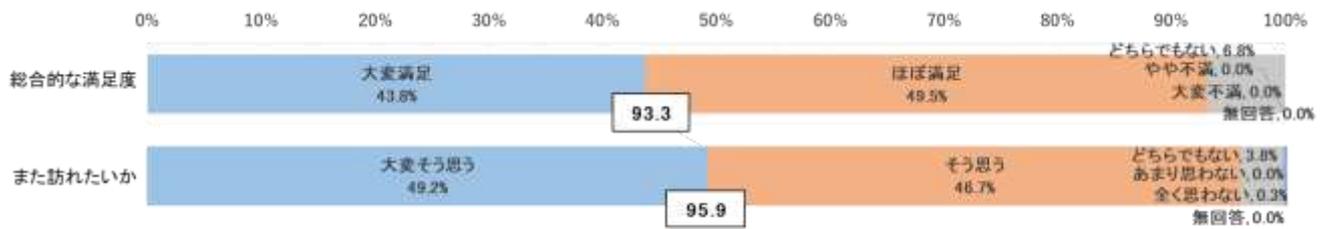
那須	板室温泉郷(2)	二社一寺(3)
那須ガーデンアウトレット(21)	ホテルサンパレー那須(2)	東武ワールドスクウェア(3)
那須どうぶつ王国(18)	雲巖寺(1)	二荒山神社中宮祠(2)
千本松牧場(16)	栃木県なかがわ水遊園(1)	上三依水生植物園(1)
那須ハイランドパーク(15)	矢板カントリークラブ(1)	華巖ノ滝(1)
南ヶ丘牧場(12)	道の駅「湧水の郷しおや」(1)	中禅寺湖(1)
もみじ谷大吊橋(10)	那須フラワーワールド(1)	県央
那須スタンドグラス美術館(6)	那須高原友愛の森(1)	大谷資料館(4)
トリックアートの館(5)	藤城清治美術館(1)	ろまんちっく村(1)
塩原温泉湯っ歩の里(5)	宝石探しトレジャーストーンパーク(1)	県南
那須サファリパーク(3)	那須ロープウェイ(1)	佐野厄よけ大師(1)
ホテルエピナール那須(3)	日光	佐野プレミアム・アウトレット(1)
那須高原りんどう湖ファミリー牧場(2)	鬼怒川温泉(8)	

※対象者が現在いる地点（調査地点）は立ち寄り観光施設にカウントしない。

那須ガーデンアウトレット（2）、アグリパル塩原（1）

調査地域の総合的な満足度は、「大変満足」と「ほぼ満足」をあわせた【満足層】が93.3%であった。また訪れたいかは、「大変そう思う」と「そう思う」をあわせた【再来訪意向層】が95.9%であった。

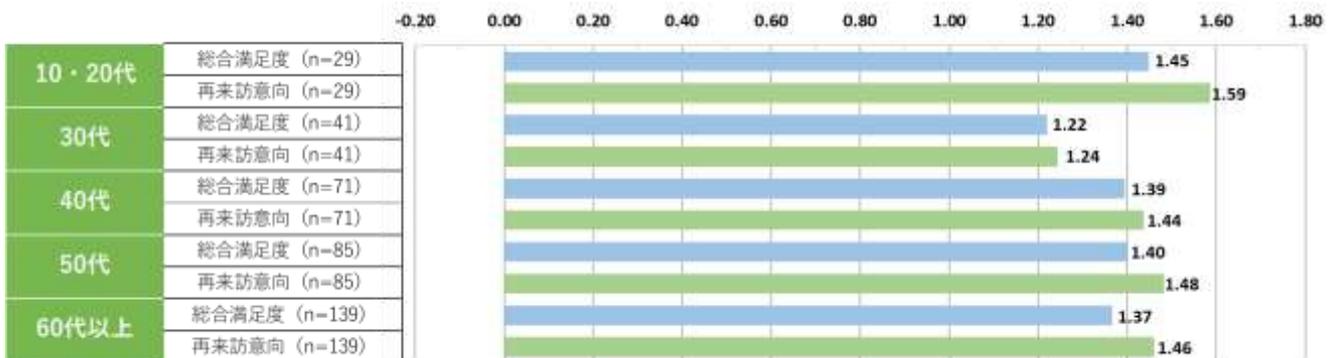
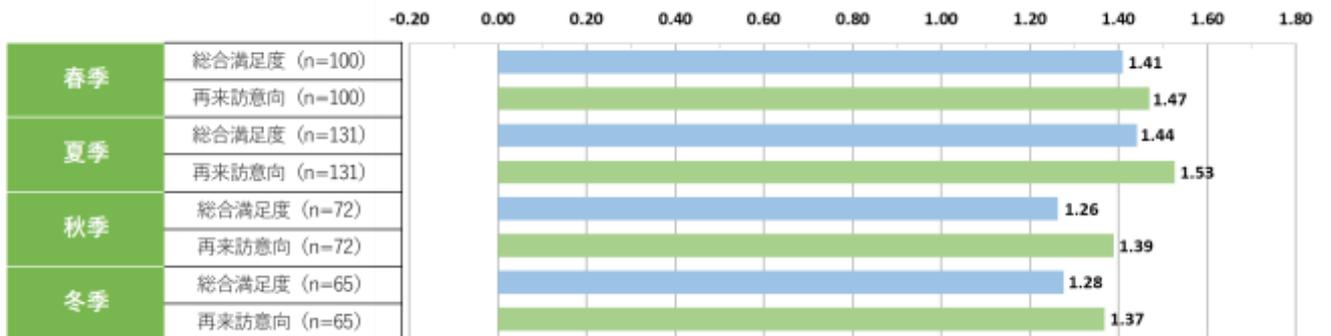
調査地域の総合満足度／再来訪意向 (n=368)



調査地域の総合満足度／再来訪意向 (季節別・年代別)

総合満足度を季節別にみると、「夏季」が1.44で最も高く、「秋季」が1.26で最も低かった。再来訪意向については「夏季」が1.53で最も高く、「冬季」が1.37で最も低かった。

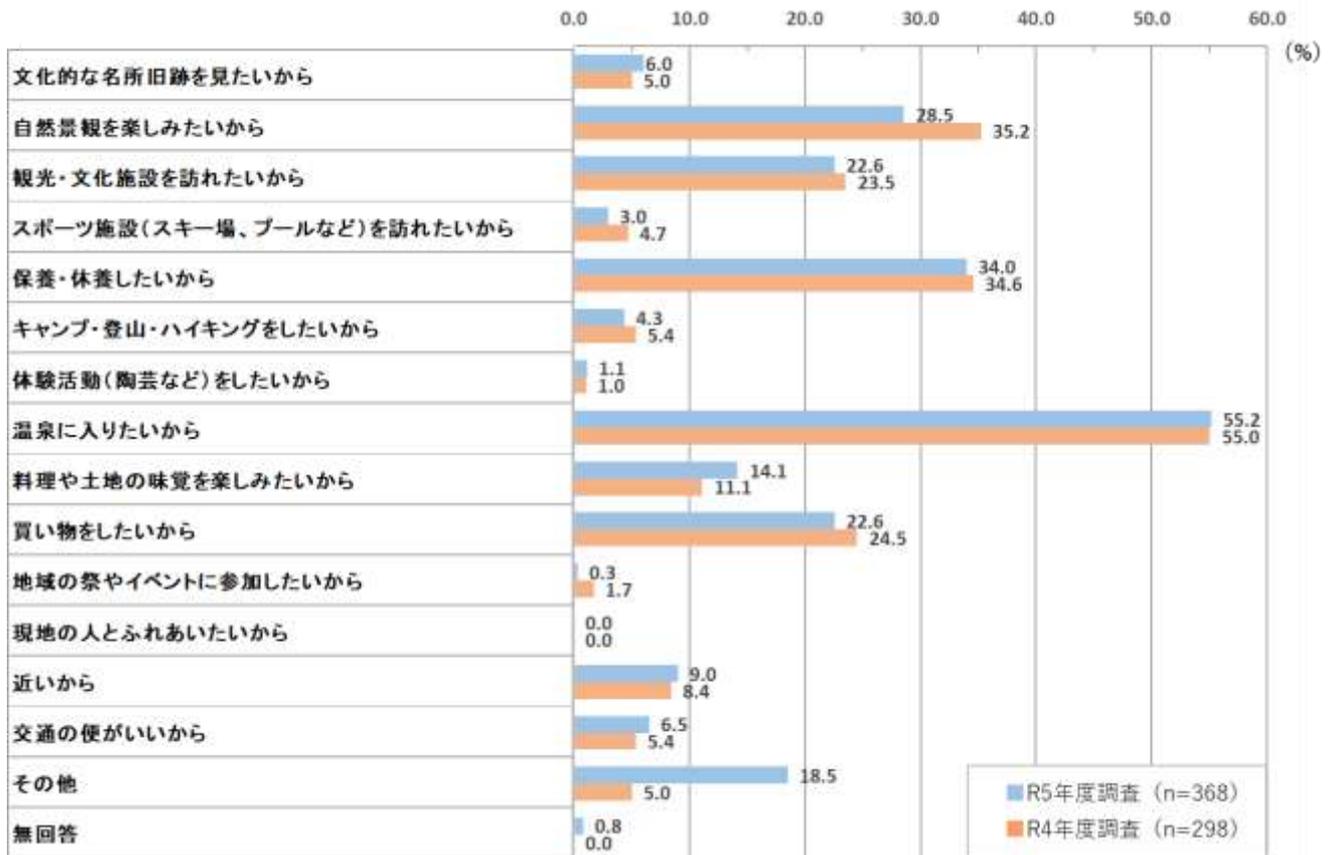
年代別にみると、総合満足度は「10代・20代」が1.45で最も高く、「30代」が1.22で最も低かった。再来訪意向については「10代・20代」が1.59で最も高く、「30代」が1.24で最も低かった。



② 過去調査との比較

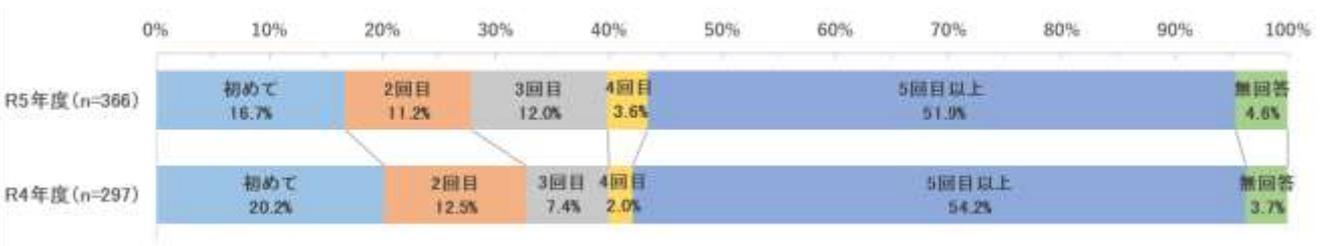
旅行先に選んだ理由は、「温泉に入りたいから」が最も多く、令和4（2022）年度調査では55.0%、令和5（2023）年度調査では55.2%と大差はみられなかった。次いで多かった「保養・休養したいから」は令和4（2022）年度調査では34.6%、令和5（2023）年度調査では34.0%と、こちらも大差はみられなかった。「自然景観を楽しみたいから」は令和4（2022）年度調査では35.2%、令和5（2023）年度調査では28.5%と6.7ポイント減少した。

旅行先に選んだ理由（複数回答）



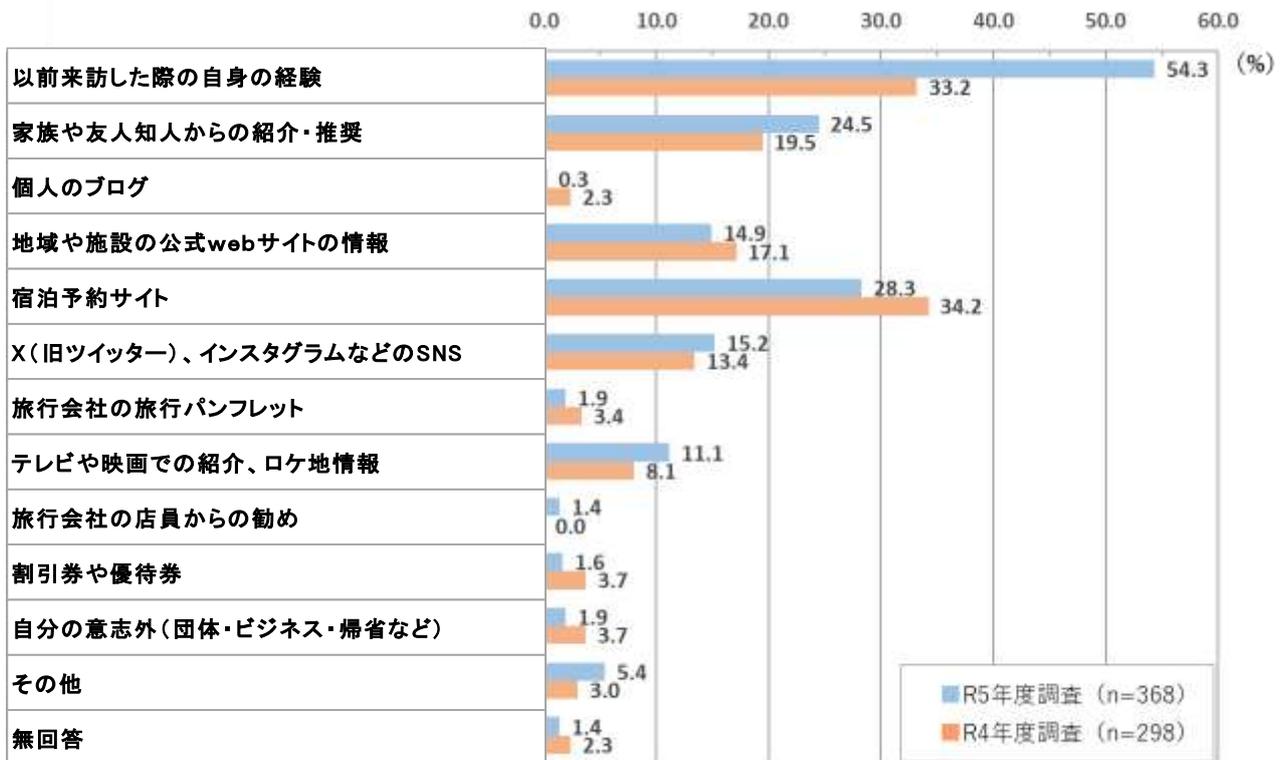
調査地域周辺への来訪回数は、「初めて」が令和4（2022）年度調査では20.2%、令和5（2023）年度調査では16.7%と3.5ポイント減少した。また、「5回目以上」は令和4（2022）年度調査では54.2%、令和5（2023）年度調査では51.9%と2.3ポイント減少した。

調査地域周辺への来訪回数 ※周辺住民を除く



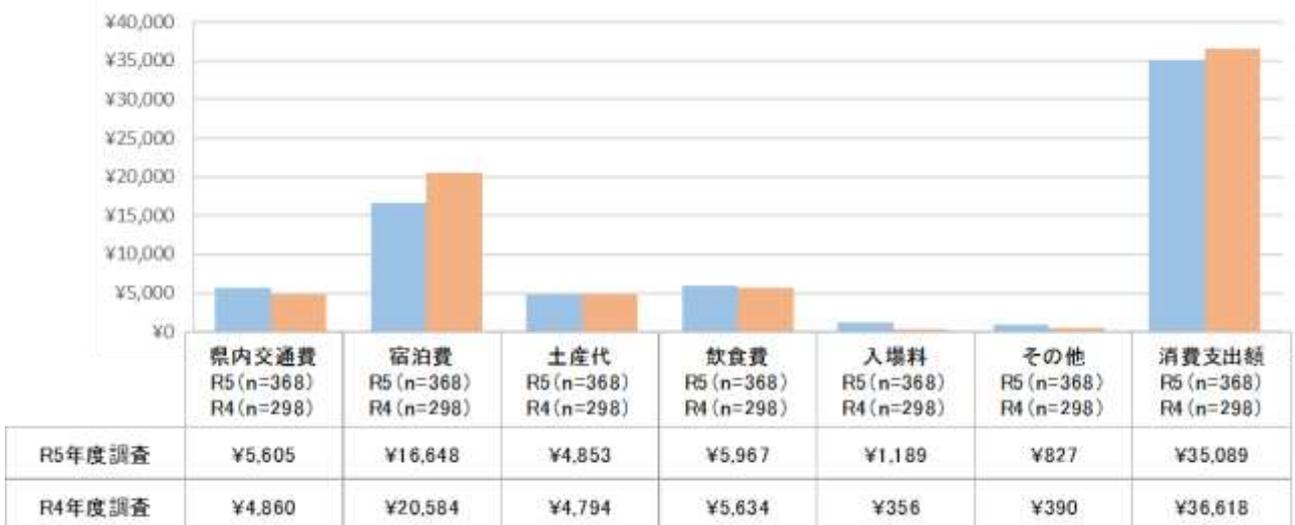
旅行先に選んだ情報源は、最も多かった「以前来訪した際の自身の経験」が、令和4（2022）年度調査では33.2%、令和5（2023）年度調査では54.3%と21.1ポイント増加した。一方、次いで多かった「宿泊予約サイト」は、令和4（2022）年度調査で34.2%だったが、令和5（2023）年度調査では28.3%と5.9ポイント減少した。

旅行先に選んだ情報源（複数回答）



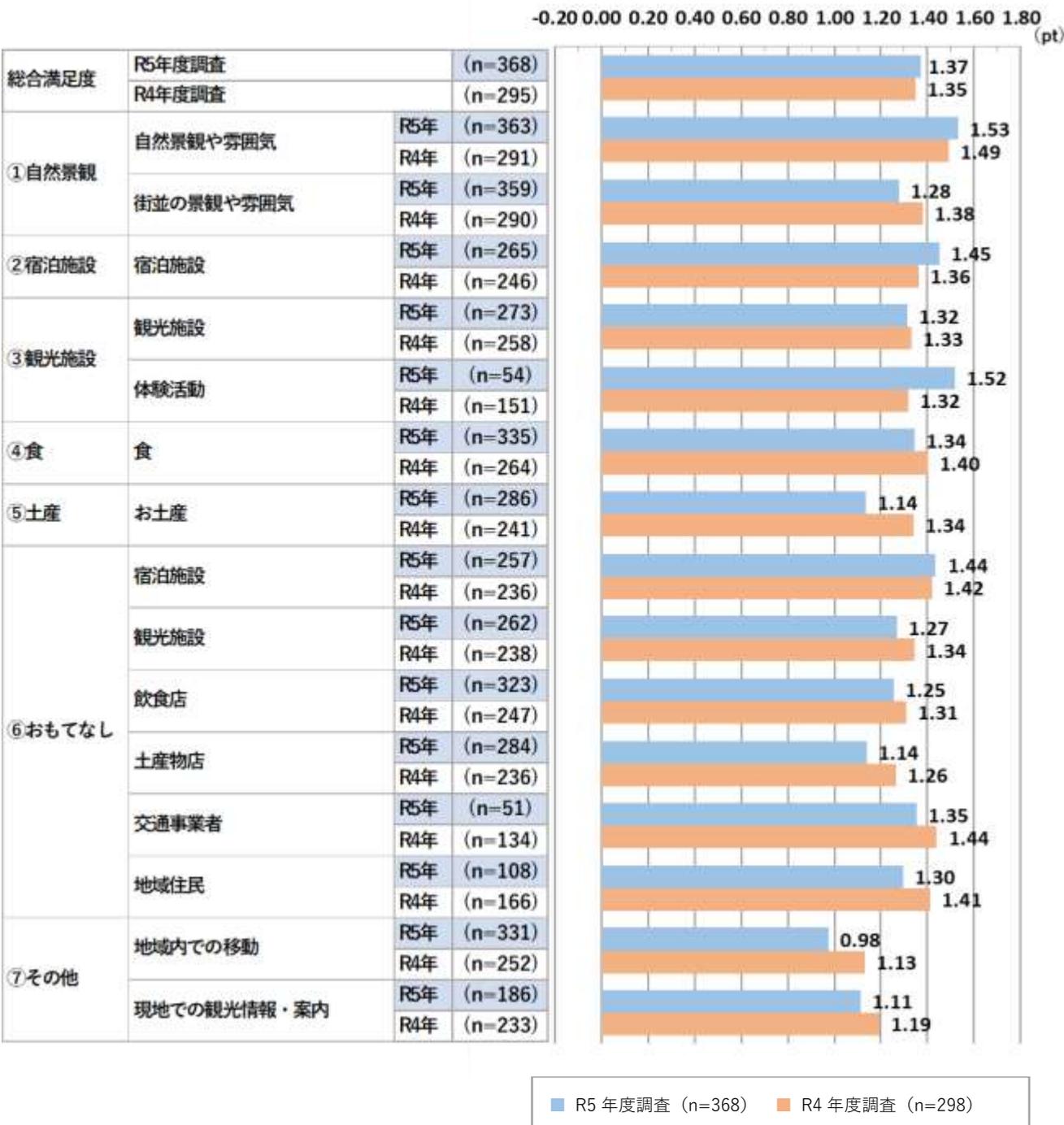
消費支出の総額は、令和4（2022）年度調査では36,618円であったが、令和5（2023）年度調査では35,089円に減少した。

消費支出（総額）



総合満足度は、令和4（2022）年度調査で1.35、令和5（2023）年度調査では1.37と増加した。満足度を項目別にみると、令和4（2022）年度調査、令和5（2023）年度調査ともに「自然景観 自然景観や雰囲気」が最も高く、令和4（2022）年度調査では1.49、令和5（2023）年度調査では1.53であった。

項目別満足度（加重平均値）



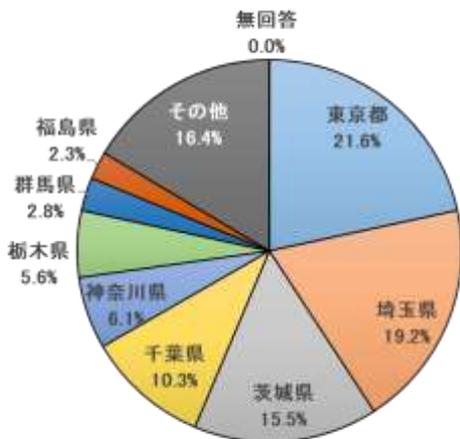
### iii. 県央エリア

#### ① 令和5（2023）年度調査結果

宿泊客（県央エリア） サンプル数：213

お住まいは「東京都」が最も多く 21.6%、次いで「埼玉県」が 19.2%、「茨城県」が 15.5%であった。  
年代は、男女とも「60代以上」が最も多く、男性では 33.0%、女性では 31.2%となっている。  
調査地域周辺への来訪回数は、「初めて」が 55.7%で最も多かった。  
同行者数は「2人」が 51.2%で最も多く、同行者の関係は「夫婦旅行」が 33.3%で最も多かった。

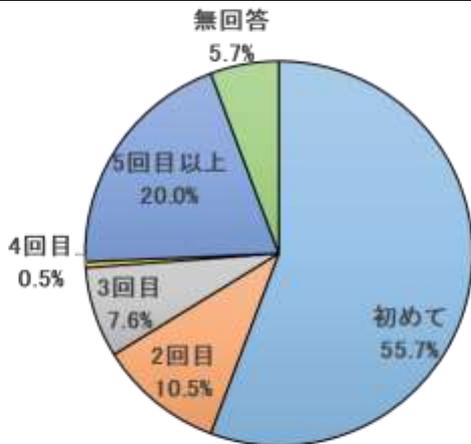
お住まい (n=213)



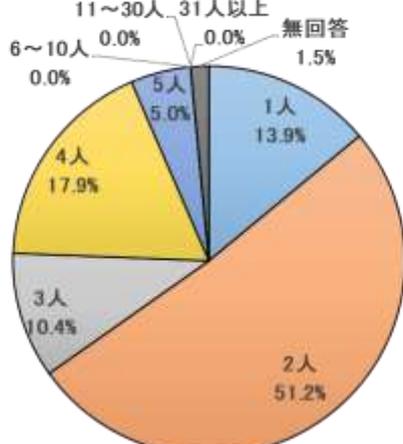
性別・年代 (n=213)



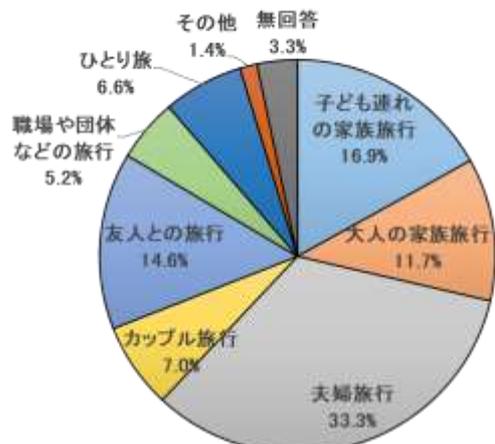
調査地域周辺への来訪回数 (n=210)



同行者数 ※回答者を含む (n=213)

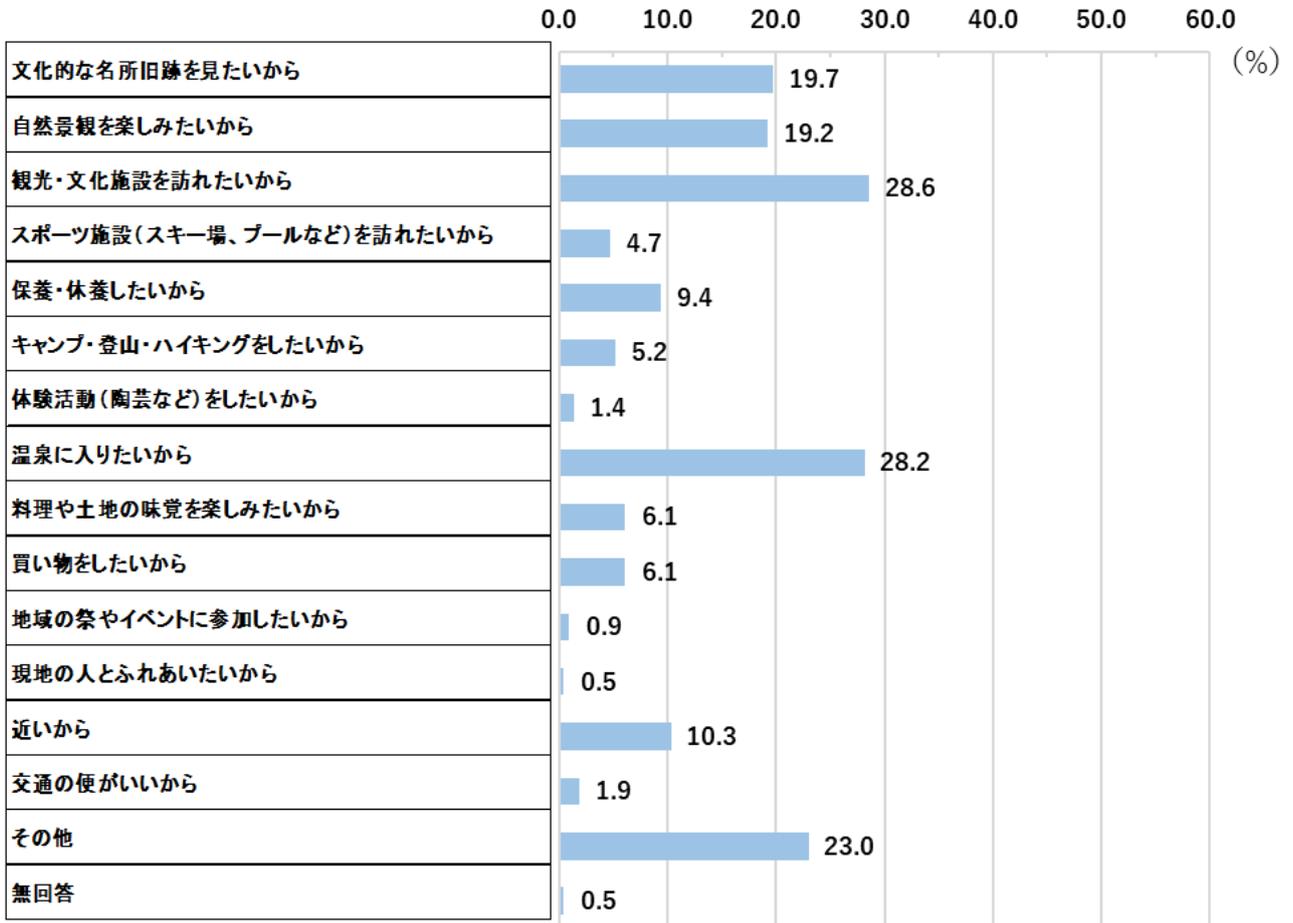


同行者の関係 (n=213)

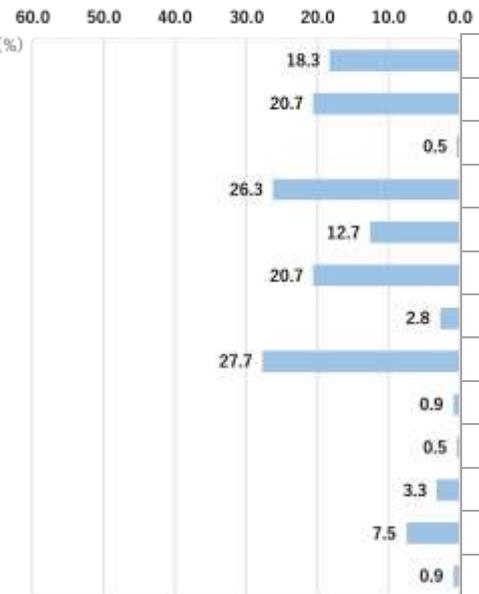


旅行先に選んだ理由は「観光・文化施設を訪れたいから」が28.6%で最も多く、次いで「温泉に入りたいから」が28.2%であった。旅行先に選んだ情報源は「テレビや映画での紹介、ロケ地情報」が27.7%で最も多く、“決め手”となった情報源は「地域や施設の公式 web サイトの情報」が18.8%で最も多かった。

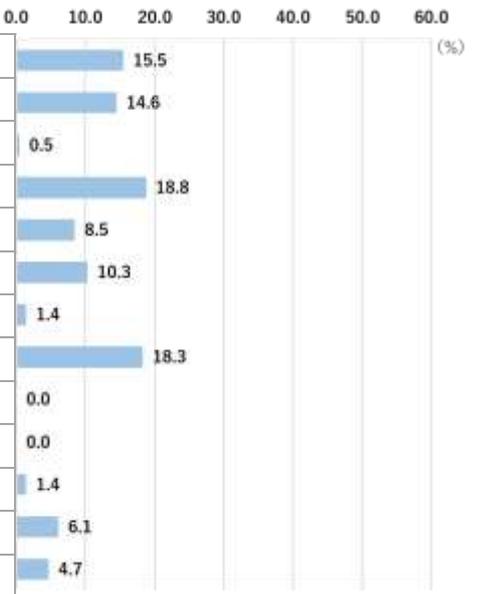
旅行先に選んだ理由（複数回答）（n=213）



旅行先に選んだ情報源（複数回答）（n=213）



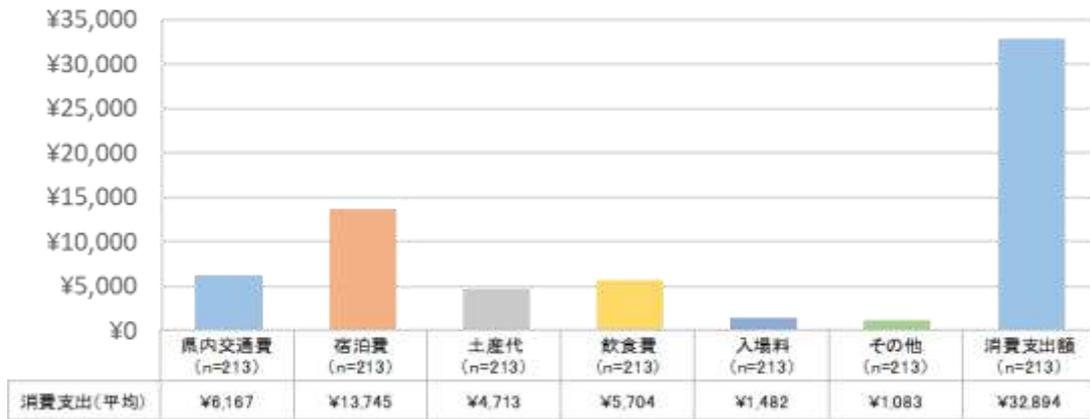
“決め手”となった情報源（単一回答）（n=213）



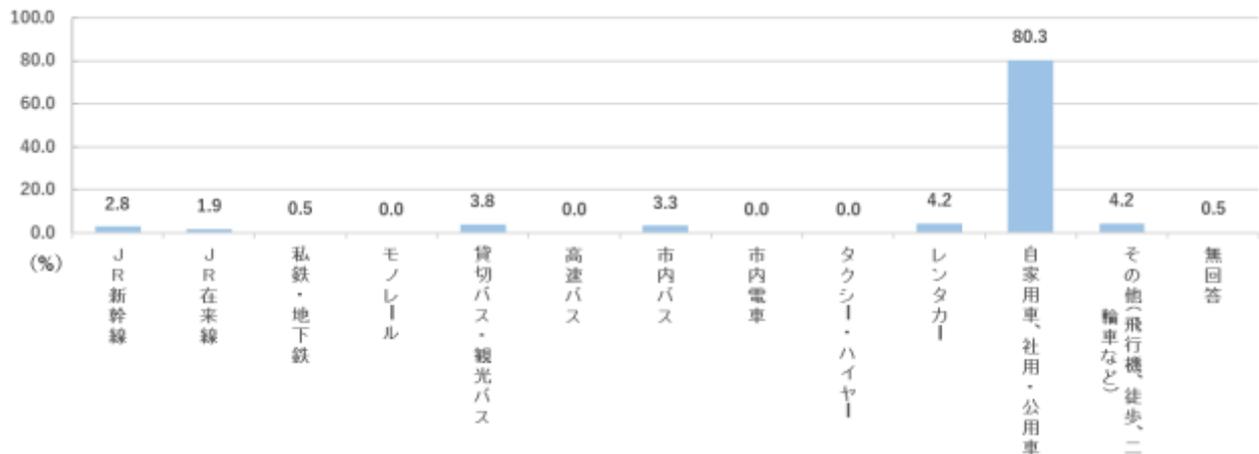
消費支出の平均は、総額で 32,894 円であった。内訳は、「宿泊費」が 13,745 円で最も多く、次いで「県内交通費」が 6,167 円であった。利用交通機関は、「自家用車、社用・公用車」が 80.3%で最も多かった。

立ち寄り観光施設は、「鬼怒川温泉」が 14 人と最も多く、次いで「二社一寺」が 13 人であった。

消費支出（平均）



利用交通機関（複数回答）（n=213）

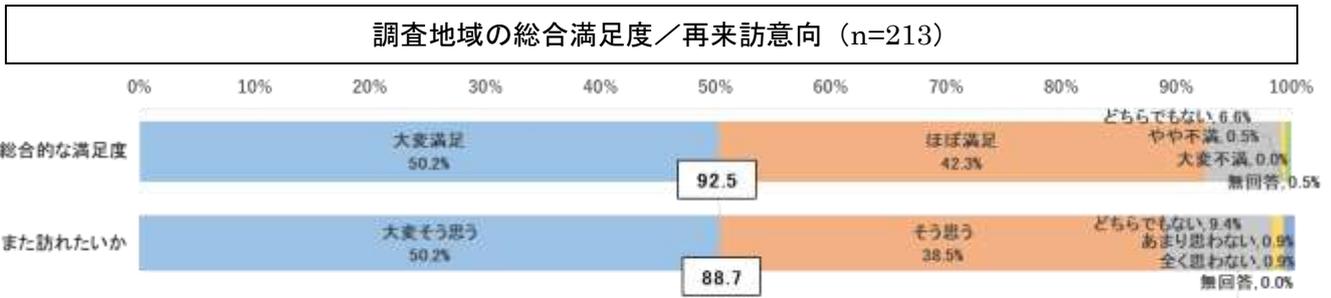


立ち寄り観光施設（n=213）※（ ）内は施設に立ち寄った人数

県央	那須	県南
ろまんちっく村(4)	栃木県ながわ水遊園(5)	あしかがフラワーパーク(3)
大谷資料館(2)	サンタヒルズキャンプ場(4)	史跡足利学校(1)
道の駅きつねがわ(3)	馬頭温泉郷(2)	岩下の新生姜ミュージアム(1)
おもちゃ博物館(1)	ハンターマウンテン塩原(1)	鏝阿寺(1)
亀の井ホテル喜連川(1)	那須ハイランドパーク(1)	道の駅どまんなかたぬま(1)
日光	馬頭広重美術館(1)	渡良瀬遊水地(藤岡渡良瀬運動公園)(1)
鬼怒川温泉(14)	馬頭ゴルフ倶楽部(1)	道の駅 しもつけ(1)
二社一寺(13)	道の駅那須与一の郷(1)	佐野プレミアム・アウトレット(1)
中禅寺湖(4)	那須ガーデンアウトレット(1)	県東
二荒山神社中宮祠(4)	板室温泉郷(1)	道の駅にのみや(1)
華厳ノ滝(2)	烏山城カントリークラブ(1)	道の駅ましこ(1)
足尾銅山観光(2)	道の駅たかねざわ元気あつぷむら(1)	益子焼(1)
EDO WONDERLAND日光江戸村(2)	南ヶ丘牧場(1)	SLキューロク館(1)
川治温泉(1)	那須どうぶつ王国(1)	

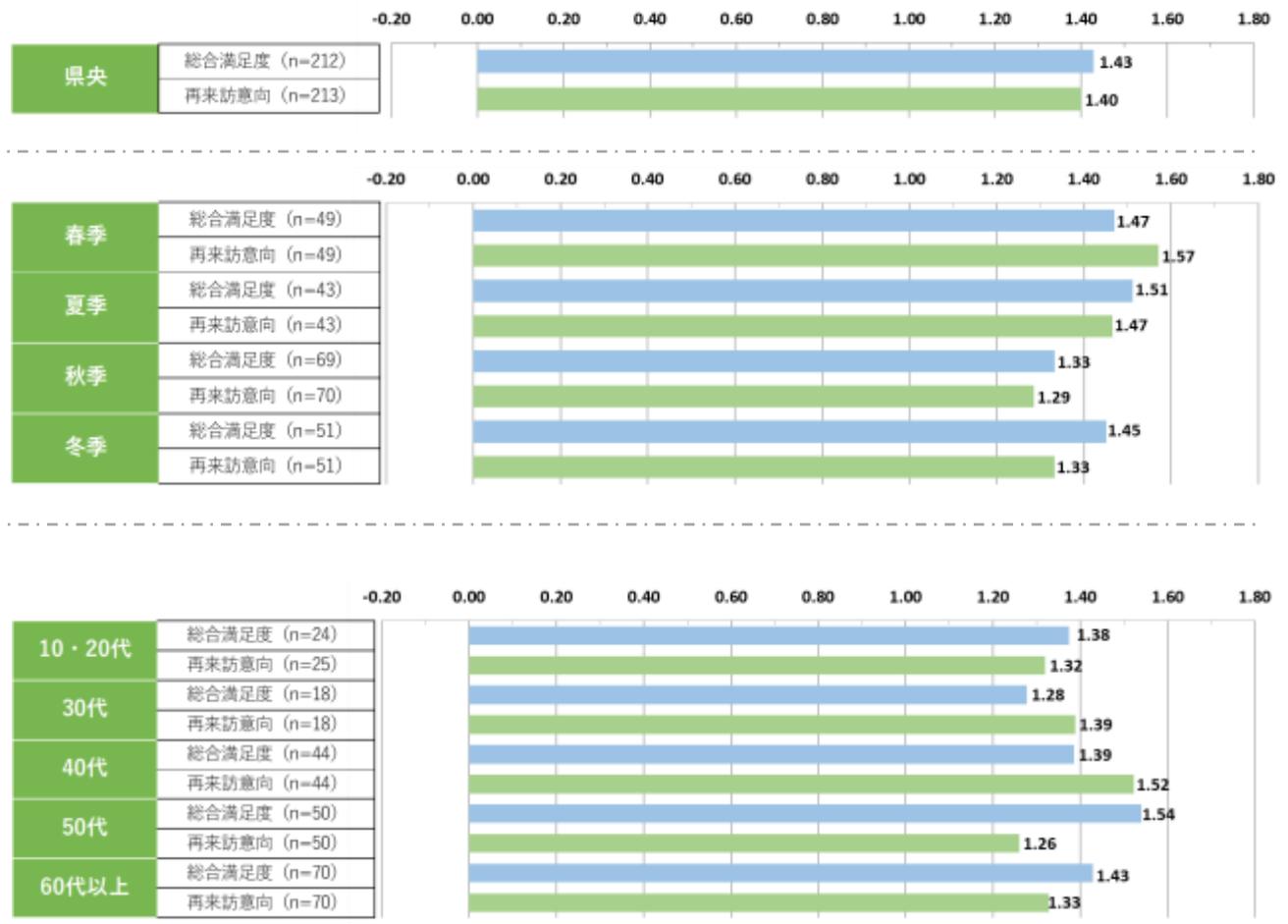
※対象者が現在いる地点（調査地点）は立ち寄り観光施設にカウントしない。

大谷資料館（7）



**調査地域の総合満足度／再来訪意向 (季節別・年代別)**

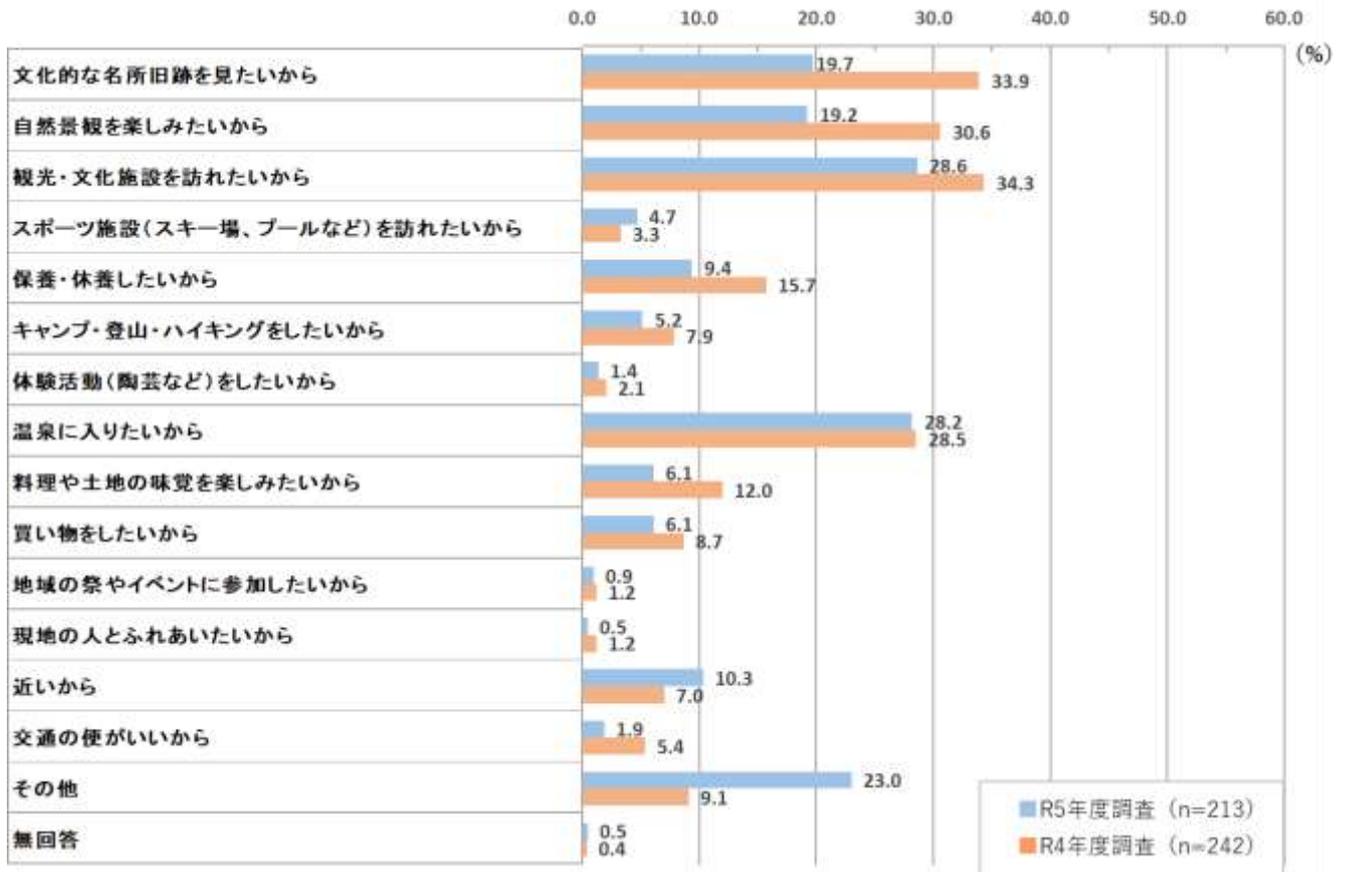
総合満足度を季節別にみると、「夏季」が1.51で最も高く、「秋季」が1.33で最も低かった。再来訪意向についても、「春季」が1.57で最も高く、「秋季」が1.29で最も低かった。  
年代別にみると、総合満足度は「50代」が1.54で最も高く、「30代」が1.28で最も低かった。再来訪意向については、「40代」が1.52で最も高く、「50代」が1.26で最も低かった。



② 過去調査との比較

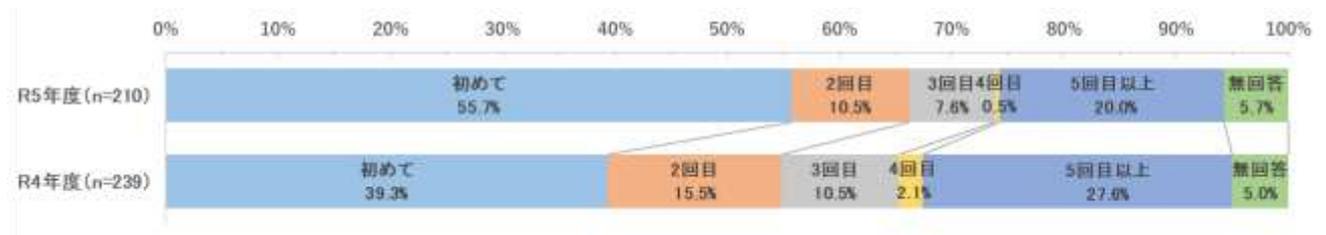
旅行先に選んだ理由は、「観光・文化施設を訪れたいから」が最も多く、令和4（2022）年度では34.3%、令和5年（2023）年度では28.6%と5.7ポイント減少した。また、次いで多かった「温泉に入りたいから」は令和4（2022）年度調査では28.5%、令和5（2023）年度調査では28.2%と大差はみられなかった。

旅行先に選んだ理由（複数回答）



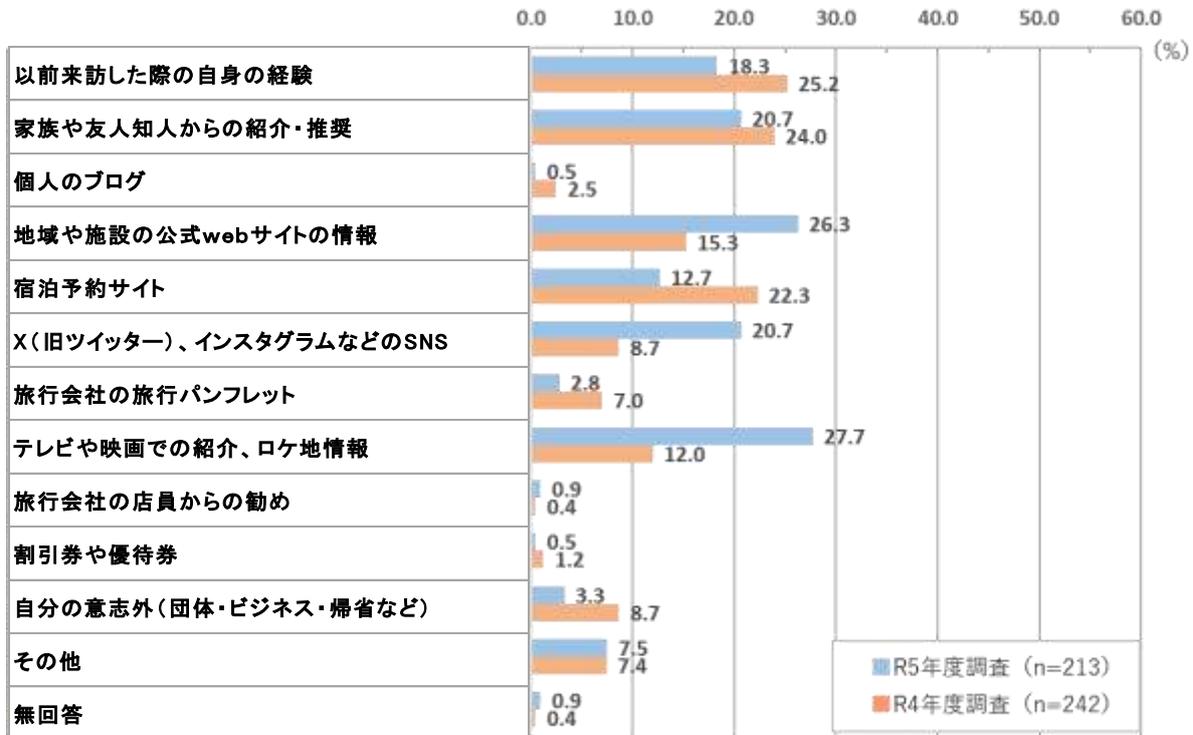
調査地域周辺への来訪回数は、「初めて」が令和4（2022）年度調査では39.3%、令和5（2023）年度調査では55.7%と16.4ポイント増加した。一方、「5回目以上」は令和4（2022）年度調査で27.6%であったが、令和5（2023）年度調査では20.0%と7.6ポイント減少した。

調査地域周辺への来訪回数 ※周辺住民を除く



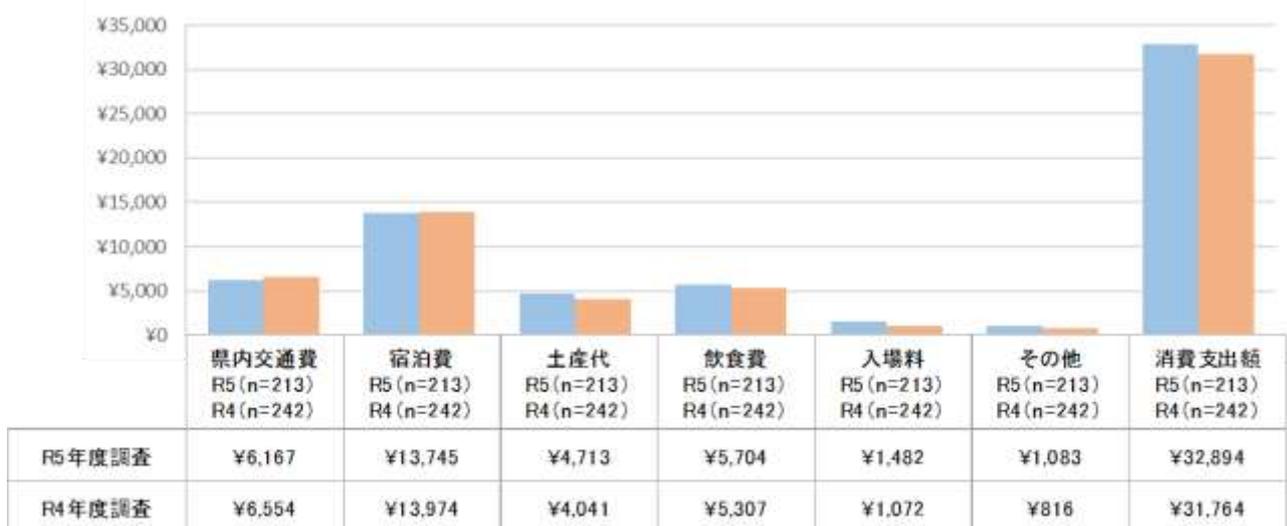
旅行先に選んだ情報源は、「テレビや映画での紹介、ロケ地情報」が最も多く、令和4（2022）年度調査では12.0%、令和5（2023）年度調査では27.7%と15.7ポイント増加した。  
また、「地域や施設の公式webサイトの情報」は令和4（2022）年度調査では15.3%、令和5（2023）年度調査では26.3%と11.0ポイント増加した。

旅行先に選んだ情報源（複数回答）



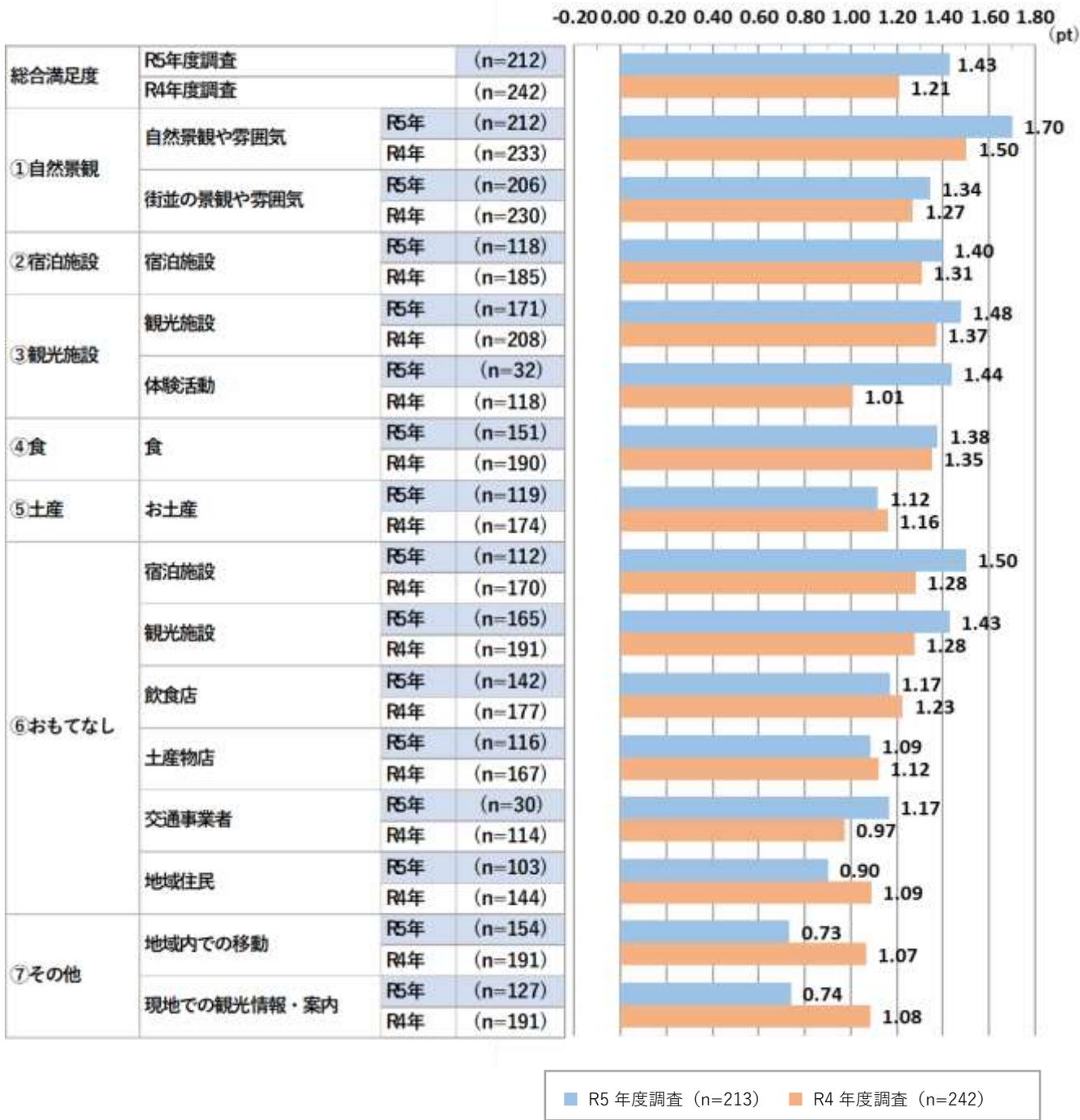
消費支出の総額は、令和4（2022）年度調査では31,764円であったが、令和5（2023）年度調査では32,894円に増加した。

消費支出（総額）



総合満足度は、令和4（2022）年度調査では1.21、令和5（2023）年度調査では1.43と0.22ポイント増加した。満足度を項目別にみると、令和4（2022）年度調査、令和5（2023）年度調査ともに「自然景観 自然景観や雰囲気」が最も高く、令和4（2022）年度調査は1.50、令和5（2023）年度調査では1.70と増加した。

項目別満足度（加重平均値）



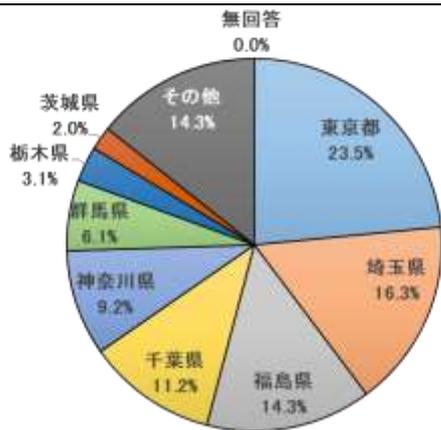
iv. 県南エリア

① 令和5（2023）年度調査結果

宿泊客（県南エリア） サンプル数：98

お住まいは「東京都」が最も多く 23.5%、次いで「埼玉県」が 16.3%、「福島県」が 14.3%であった。年代は、男性では「40代以上」が最も多く 33.9%、女性では「40代」が 25.7%で最も多かった。調査地域周辺への来訪回数は、「初めて」が 45.4%で最も多かった。同行者数は「2人」が 50.0%で最も多く、同行者の関係は「夫婦旅行」が 26.5%で最も多かった。

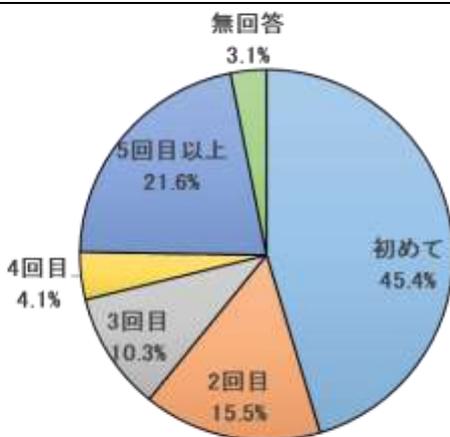
お住まい（n=98）



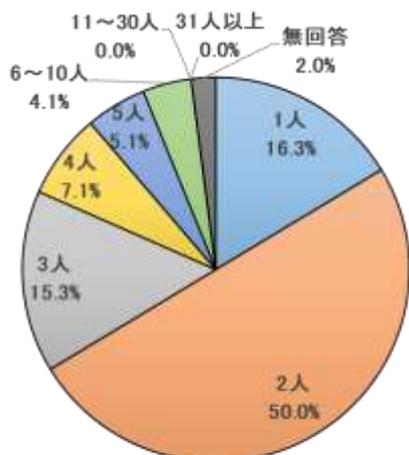
性別・年代（n=98）



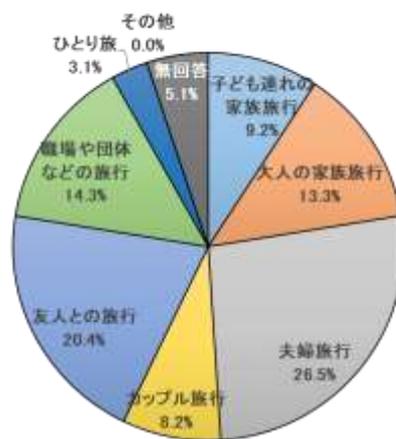
調査地域周辺への来訪回数（n=97）



同行者数 ※回答者を含む（n=98）

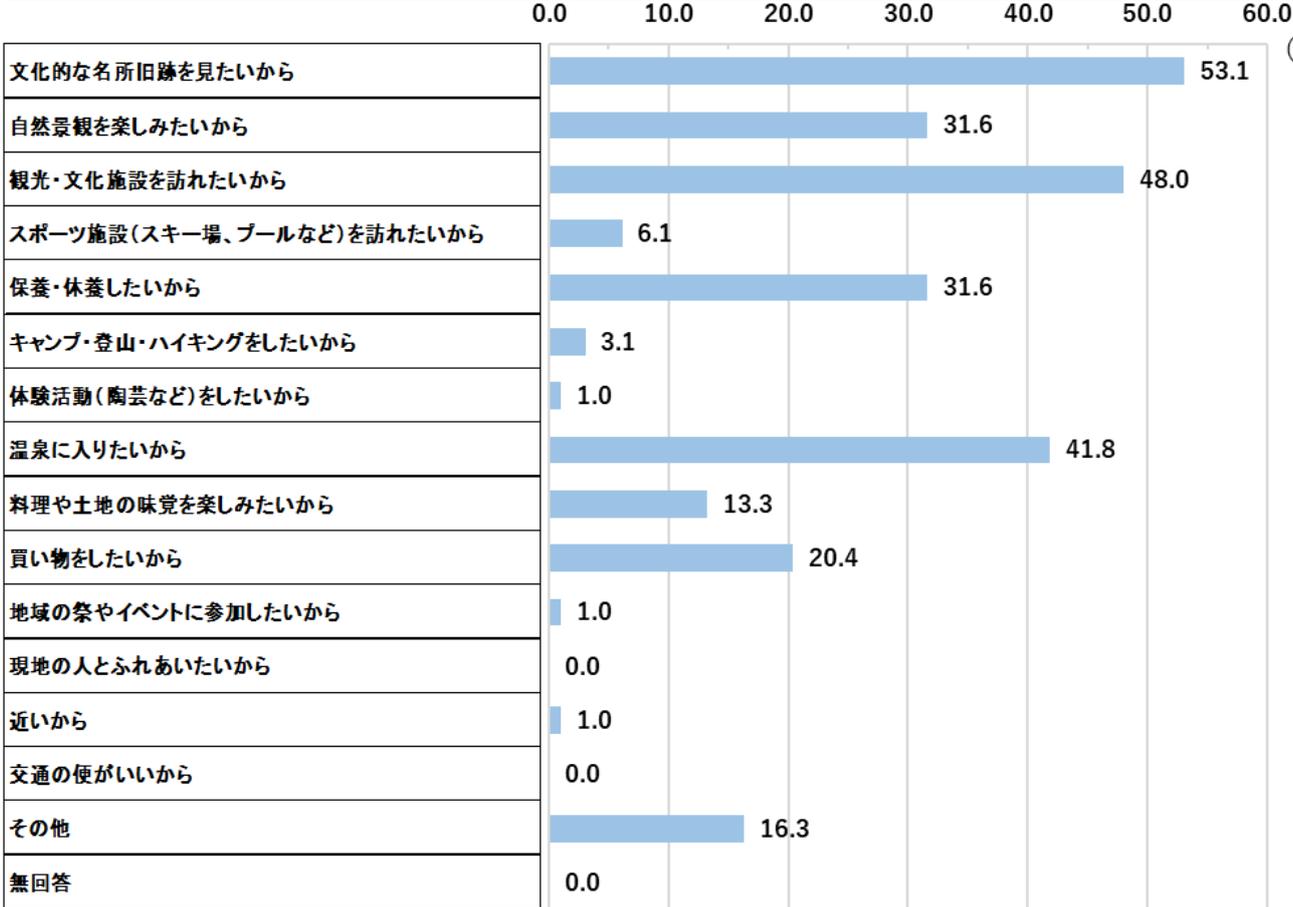


同行者の関係（n=98）



旅行先に選んだ理由は「文化的な名所旧跡を見たいから」が53.1%で最も多く、次いで「観光・文化施設を訪れたいから」が48.0%であった。旅行先に選んだ情報源は「家族や友人知人からの紹介・推奨」が53.1%で最も多く、“決め手”となった情報源は「以前来訪した際の自身の経験」が最も多く、23.5%であった。

旅行先に選んだ理由（複数回答）（n=98）



旅行先に選んだ情報源（複数回答）（n=98）

“決め手”となった情報源（単一回答）（n=98）

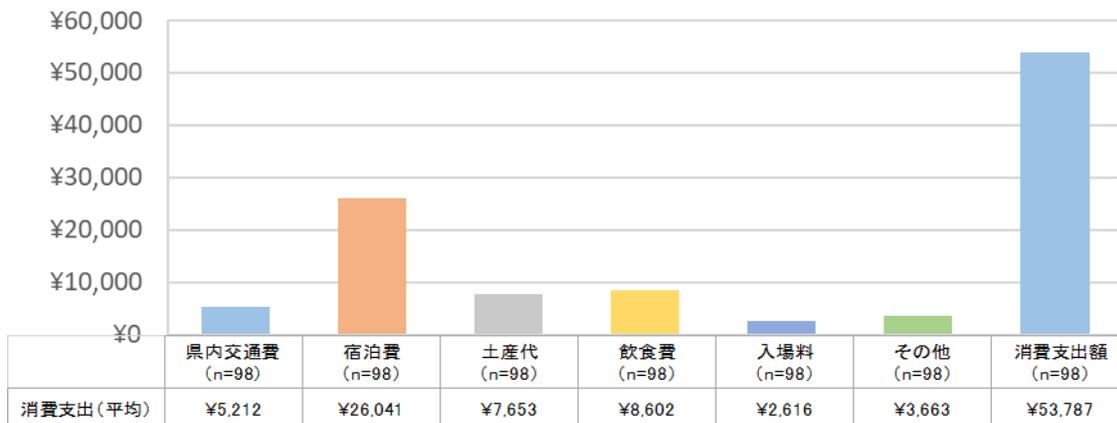


第2章 観光客調査 調査結果

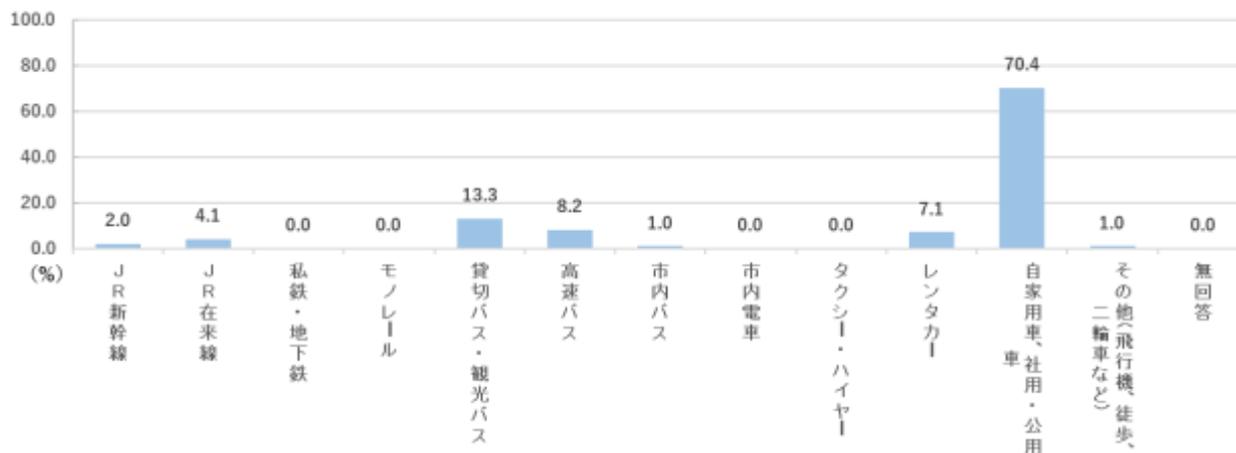
2. 宿泊客 (2)エリア別 iv. 県南エリア

消費支出の平均は、総額で 53,787 円であった。内訳は、「宿泊費」が 26,041 円で最も多く、次いで「飲食費」が 8,602 円であった。利用交通機関は、「自家用車、社用・公用車」が 70.4%で最も多かった。  
立ち寄り観光施設は、「二社一寺」が 12 人で最も多く、次いで「鬼怒川温泉」が 6 人であった。

消費支出（平均）



利用交通機関（複数回答）(n=98)

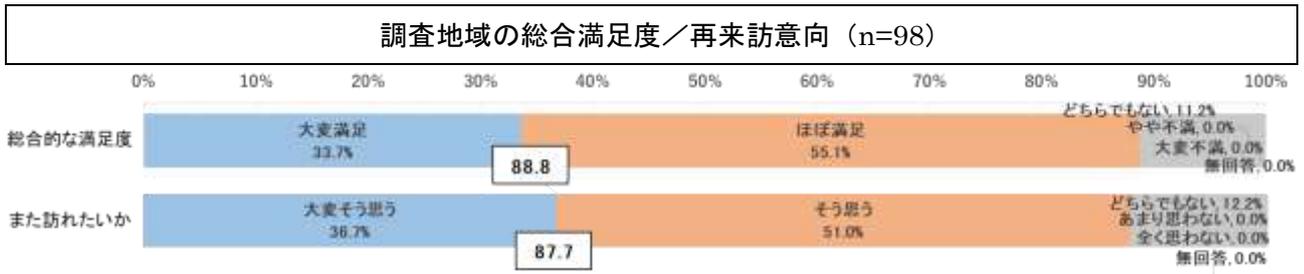


立ち寄り観光施設 (n=98) ※ ( ) 内は施設に立ち寄った人数

県南	鬼怒川温泉(6)	那須
佐野プレミアム・アウトレット(5)	EDO WONDERLAND日光江戸村(4)	那須どうぶつ王国(2)
あしががフラワーパーク(4)	東武ワールドスクウェア(3)	那須ガーデンアウトレット(1)
道の駅 しもつけ(1)	華厳ノ滝(3)	那須アルパカ牧場(1)
道の駅みかも(1)	道の駅思川(1)	栃木県なかがわ水遊園(1)
織姫公園(1)	川治温泉(1)	南ヶ丘牧場(1)
日光	戦場ヶ原・小田代原(1)	県東
二社一寺(12)		モビリティリゾートもてぎ(1)

※対象者が現在いる地点（調査地点）は立ち寄り観光施設にカウントしない。  
佐野プレミアム・アウトレット (1)

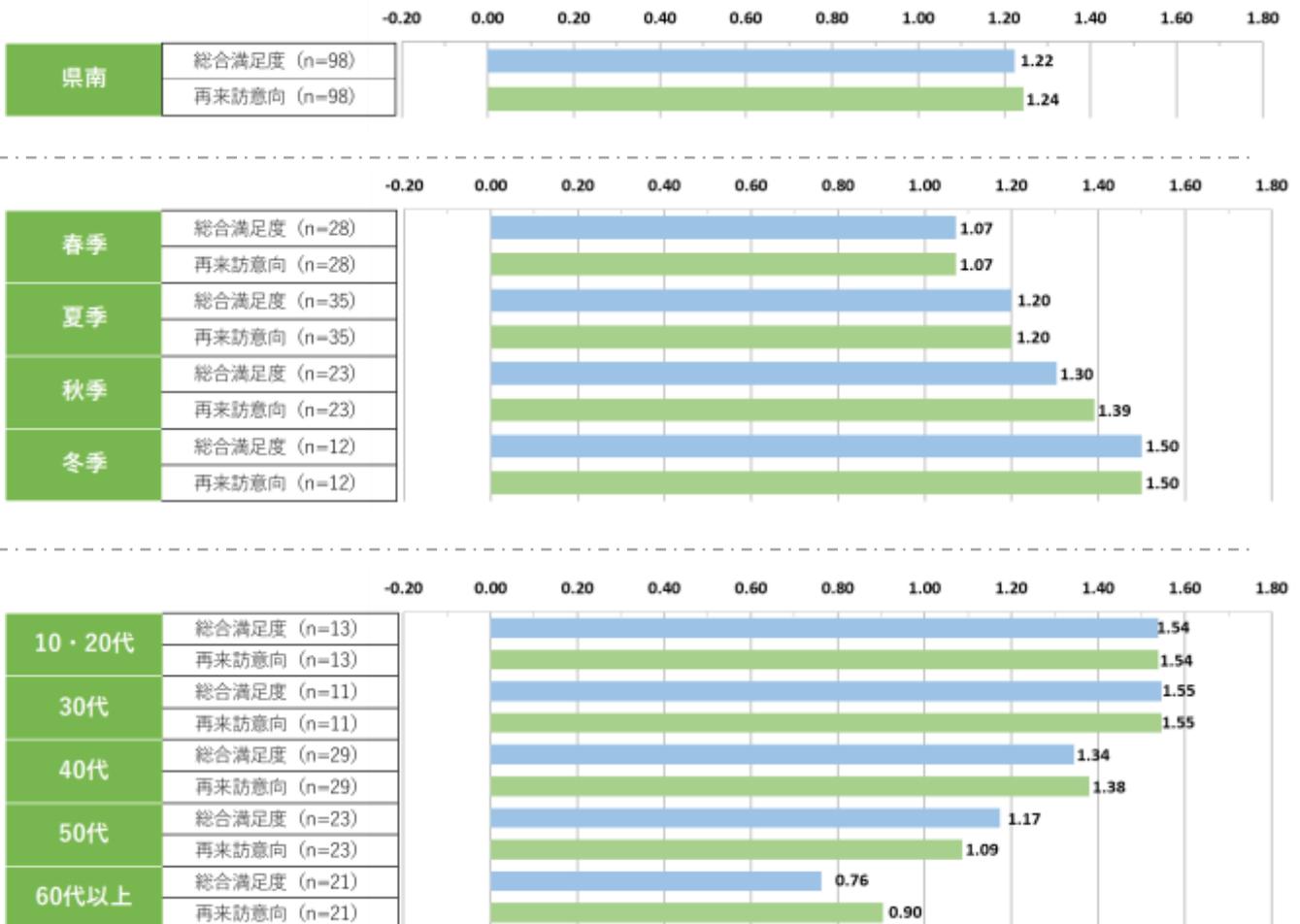
調査地域の総合的な満足度は、「大変満足」と「ほぼ満足」をあわせた【満足層】が88.8%であった。また訪れたいかは、「大変そう思う」と「そう思う」をあわせた【再来訪意向層】が87.7%であった。



調査地域の総合満足度／再来訪意向 (季節別・年代別)

総合満足度を季節別にみると、「冬季」が1.50で最も高く、「春季」が1.07で最も低かった。再来訪意向については、「冬季」が1.50で最も高く、「春季」が1.07で最も低かった。

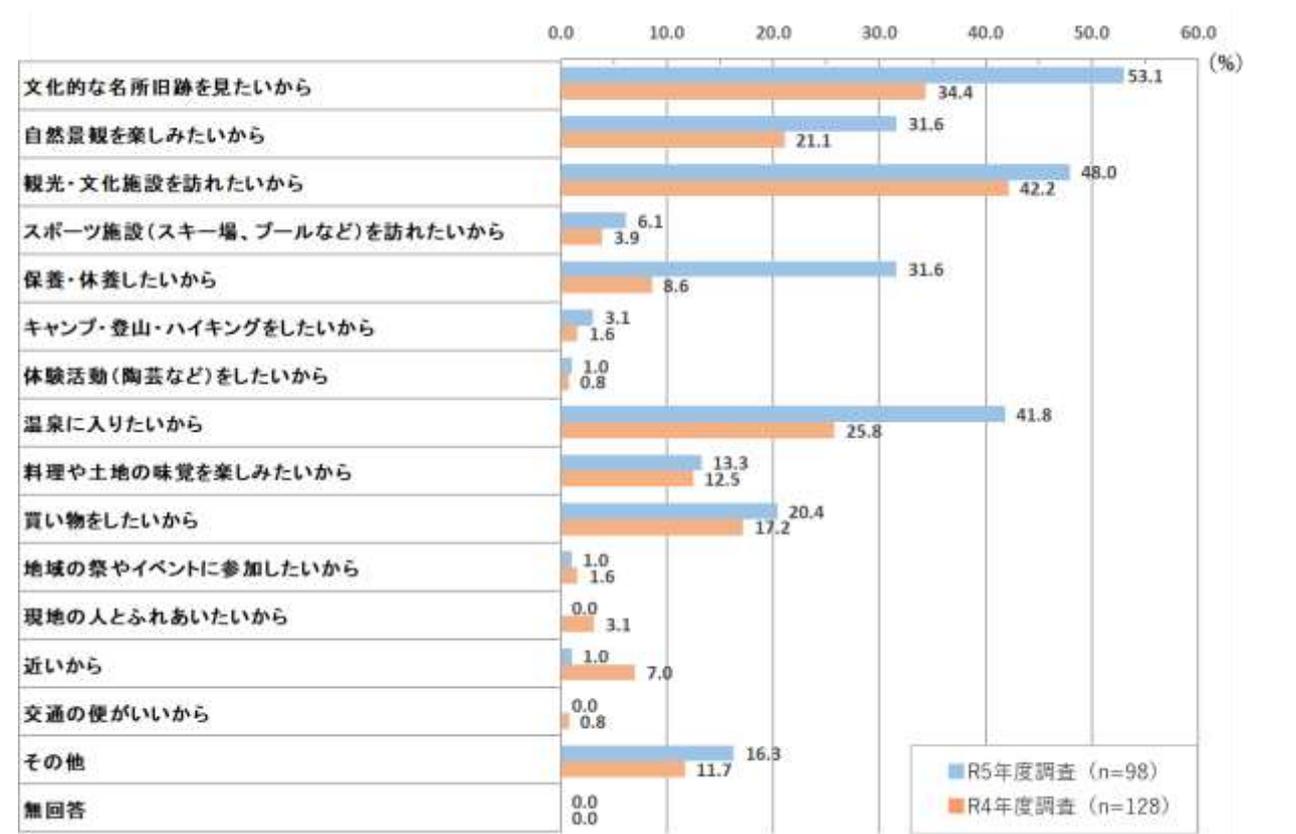
年代別にみると、総合満足度は「30代」が1.55で最も高く、「60代以上」が0.76で最も低かった。また、再来訪意向についても、「30代」が1.55と最も高く、「60代以上」が0.90で最も低かった。



②過去調査との比較

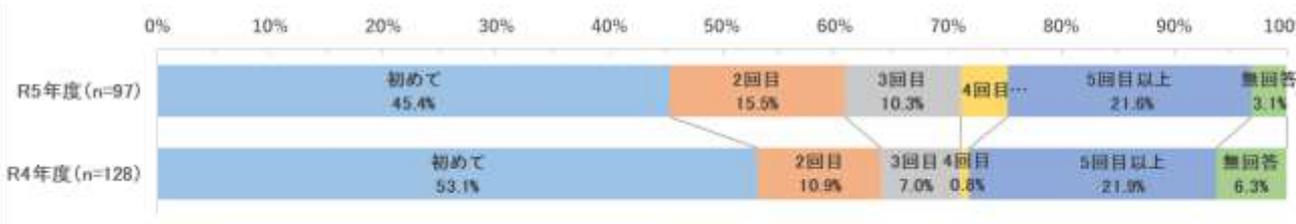
旅行先に選んだ理由は、「文化的な名所旧跡を見たいから」が最も多く、令和4（2022）年度調査では34.4%、令和5（2023）年度調査では53.1%と18.7ポイント増加した。また、次いで多かった「観光・文化施設を訪れたいから」は、令和4（2022）年度調査では42.2%、令和5（2023）年度調査では48.0%と5.8ポイント増加した。

旅行先に選んだ理由（複数回答）



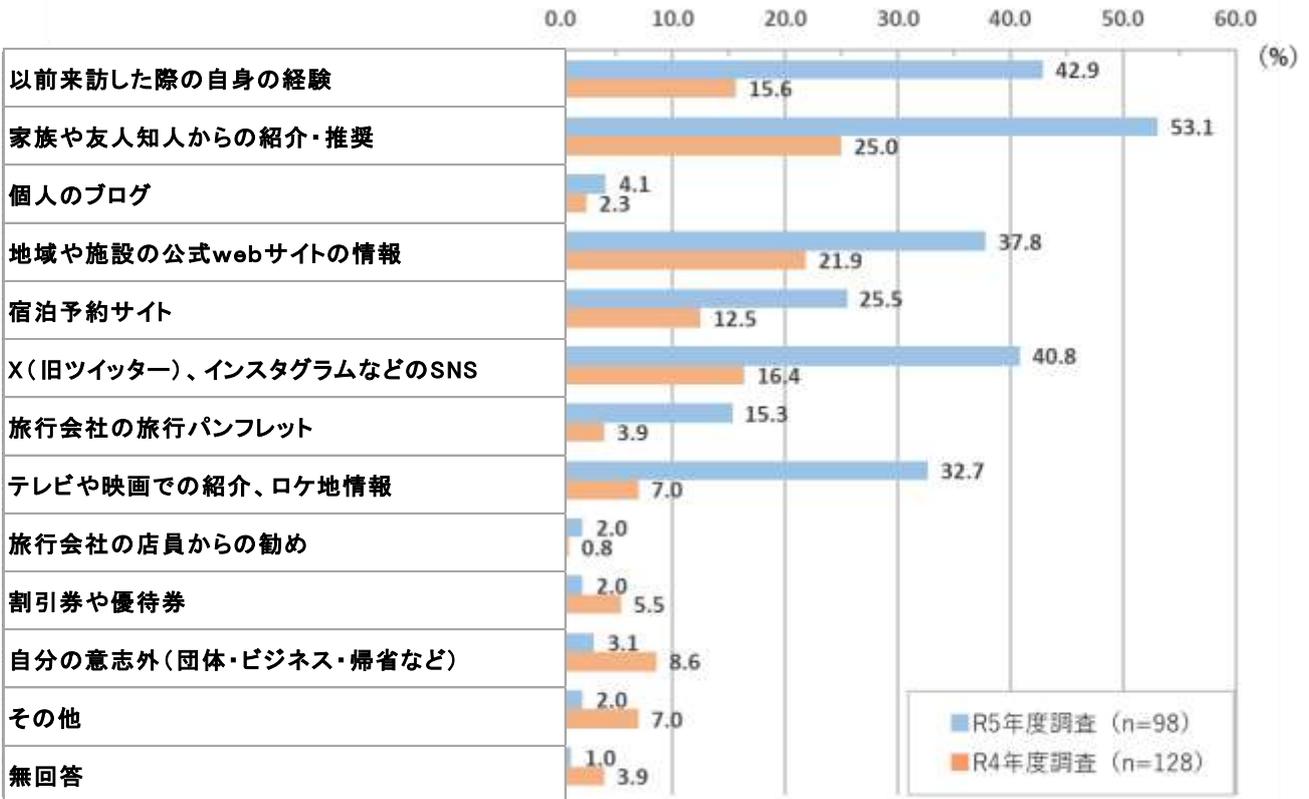
調査地域周辺への来訪回数は、「初めて」が令和4（2022）年度調査では53.1%、令和5（2023）年度調査では45.4%と7.7ポイント減少した。また、「5回目以上」は令和4（2022）年度調査では21.9%、令和5（2023）年度調査では21.6%と0.3ポイント減少した。

調査地域周辺への来訪回数 ※周辺住民を除く



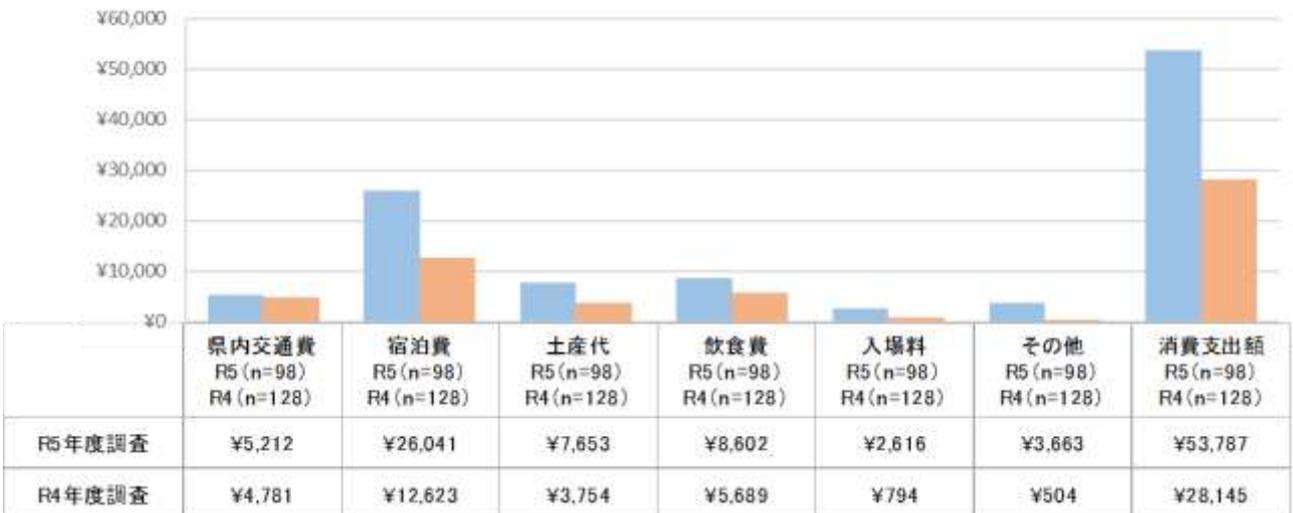
旅行先に選んだ情報源は、「家族や友人知人からの紹介・推奨」が最も多く、令和4（2022）年度調査では25.0%、令和5（2023）年度調査では53.1%と28.1ポイント増加した。また、次いで多かった「以前来訪した際の自信の経験」は、令和4（2022）年度調査では15.6%、令和5（2023）年度調査では42.9%と27.3ポイント増加した。

旅行先に選んだ情報源（複数回答）



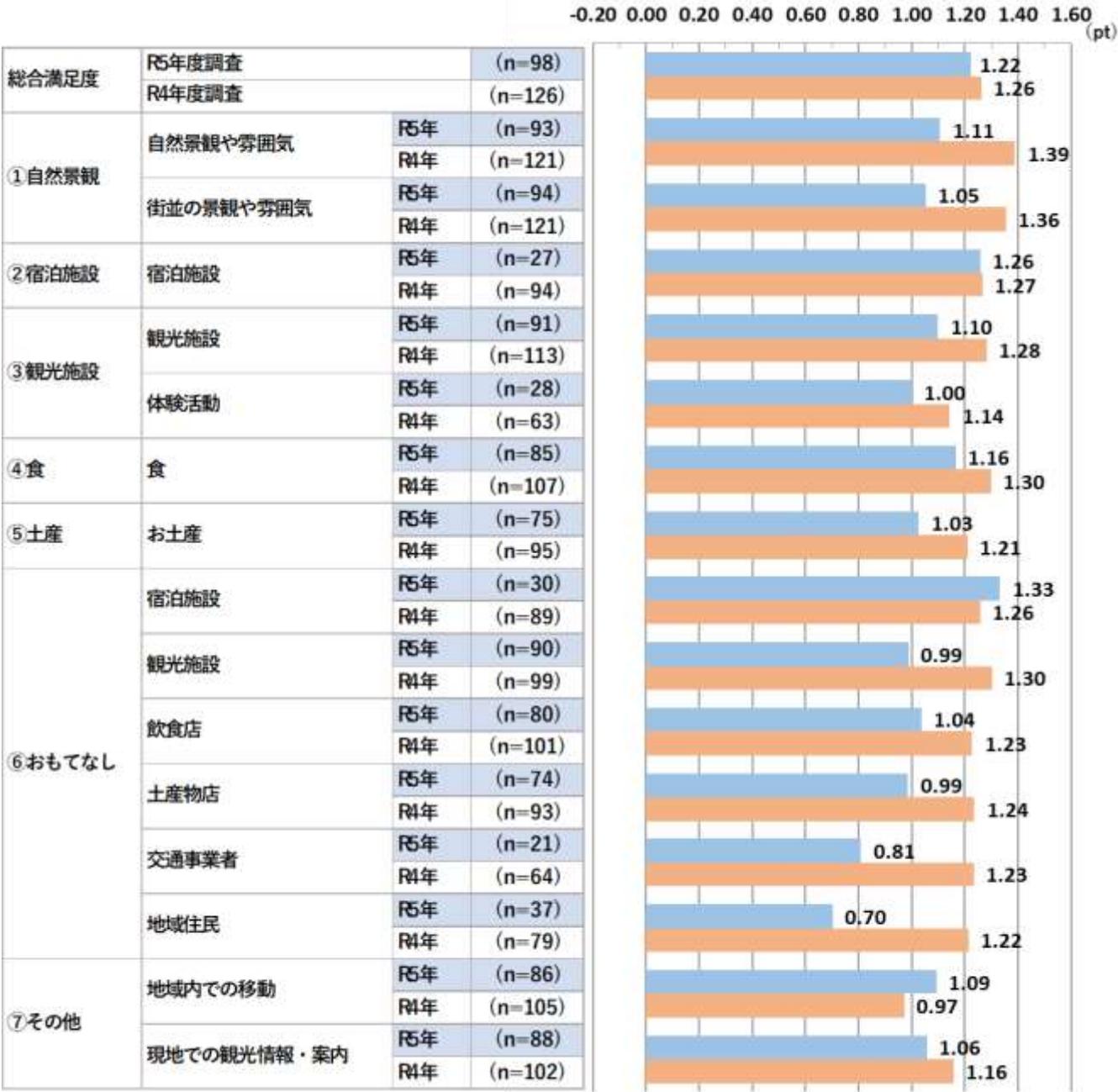
消費支出の総額は、令和4（2022）年度調査の28,145円から、令和5（2023）年度調査の53,787円に増加した。

消費支出（総額）



総合満足度は、令和5（2023）年度調査では1.22と、令和4（2022）年度調査の1.26から微減であった。満足度を項目別にみると、「おもてなし 宿泊施設」が最も高く、令和4（2022）年度調査では1.26、令和5（2023）年度調査では1.33と微増であった。

項目別満足度（加重平均値）



■ R5年度調査 (n=98) ■ R4年度調査 (n=128)

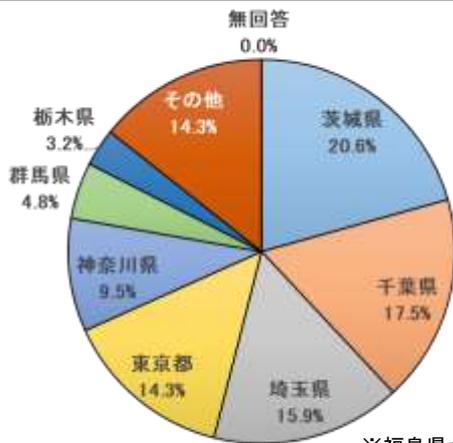
v. 関東エリア

① 令和5（2023）年度調査結果

宿泊客（関東エリア） サンプル数：63

お住まいは「茨城県」が最も多く 20.6%、次いで「千葉県」が 17.5%、「埼玉県」が 15.9%であった。年代は、男女ともに「60代以上」が最も多く、男性では 44.8%、女性では 32.4%であった。調査地域周辺への来訪回数は、「5回目以上」が 52.4%で最も多かった。同行者数は「2人」が 52.4%で最も多く、同行者の関係は「夫婦旅行」が 42.9%で最も多かった。

お住まい (n=63)

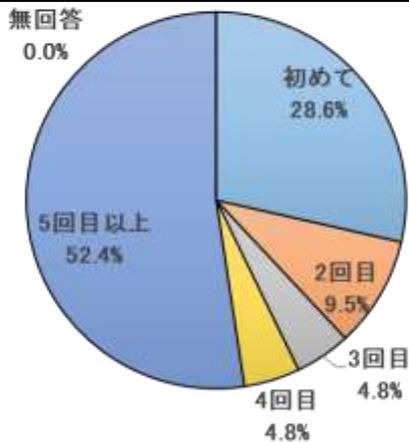


※福島県からの来訪は無かった。

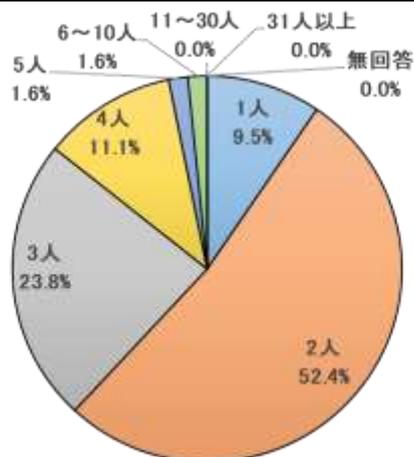
性別・年代 (n=63)



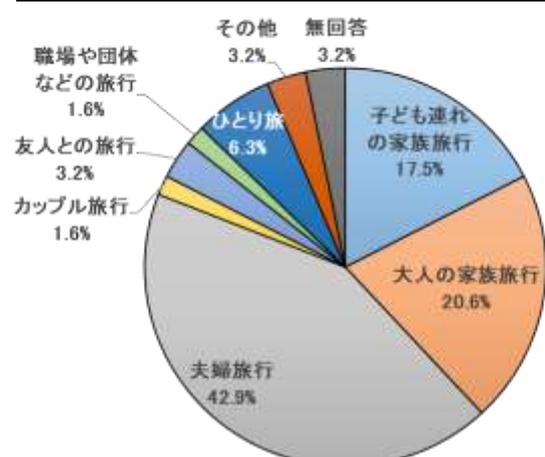
調査地域周辺への来訪回数 (n=63)



同行者数 ※回答者を含む (n=63)

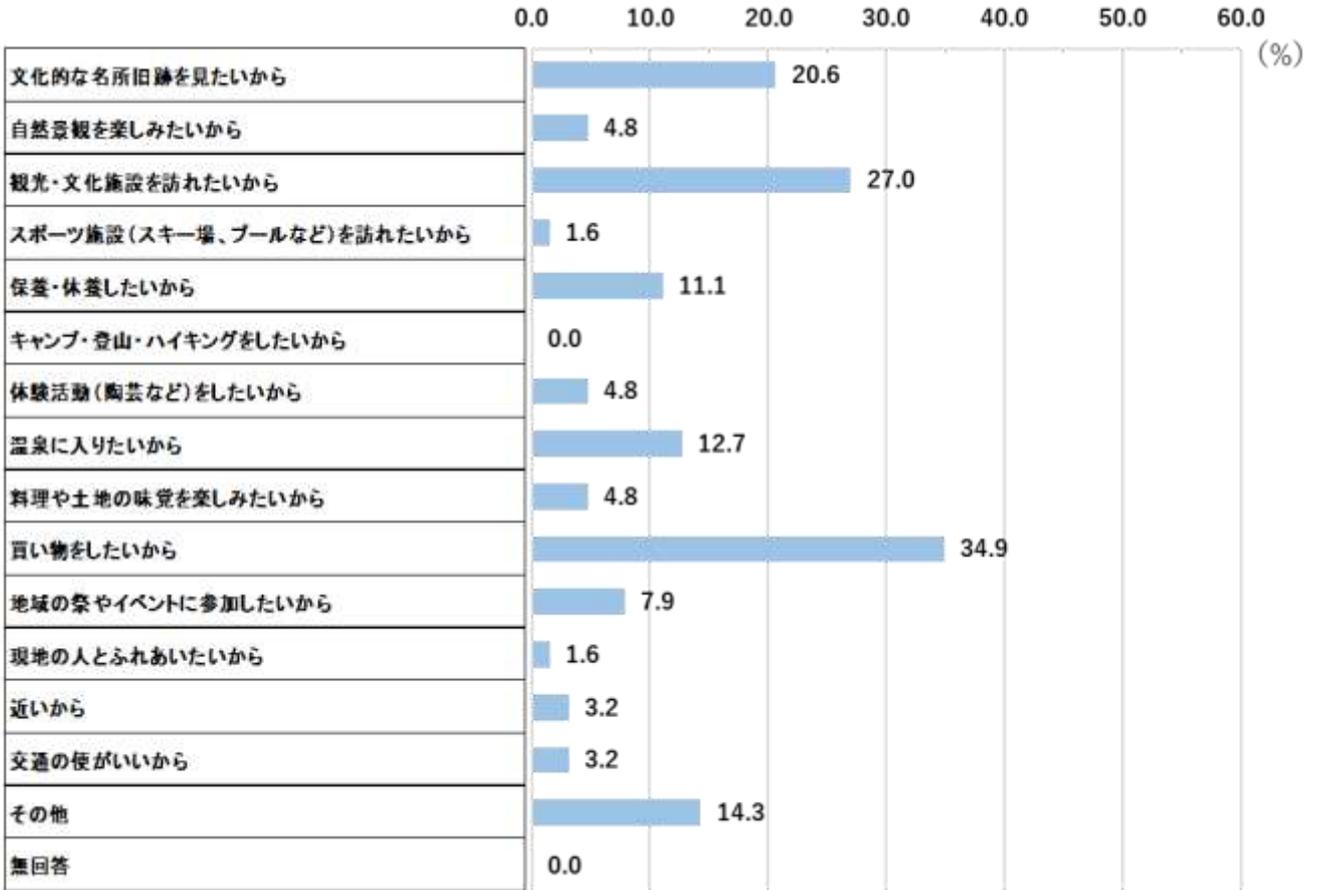


同行者の関係 (n=63)



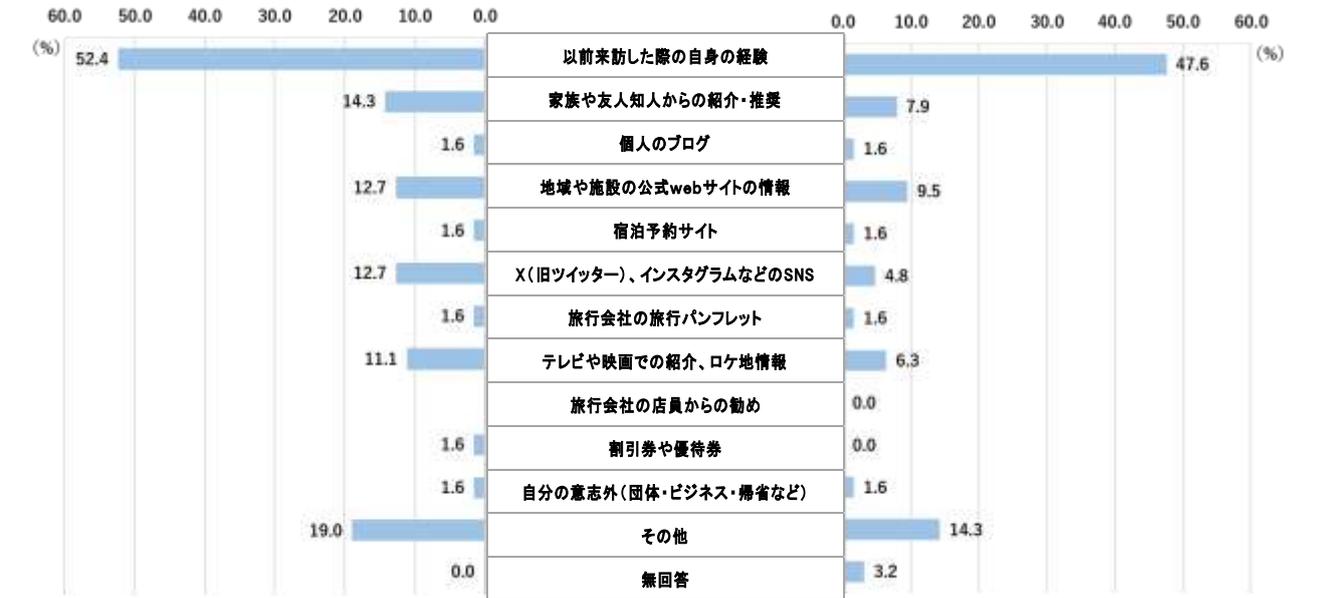
旅行先に選んだ理由は「買い物をしたいから」が34.9%で最も多く、次いで「観光・文化施設を訪れたいから」が27.0%であった。旅行先に選んだ情報源は「以前来訪した際の自身の経験」が52.4%で最も多く、「決め手」となった情報源も「以前来訪した際の自身の経験」が47.6%で最も多かった。

旅行先に選んだ理由（複数回答）（n=63）



旅行先に選んだ情報源（複数回答）（n=63）

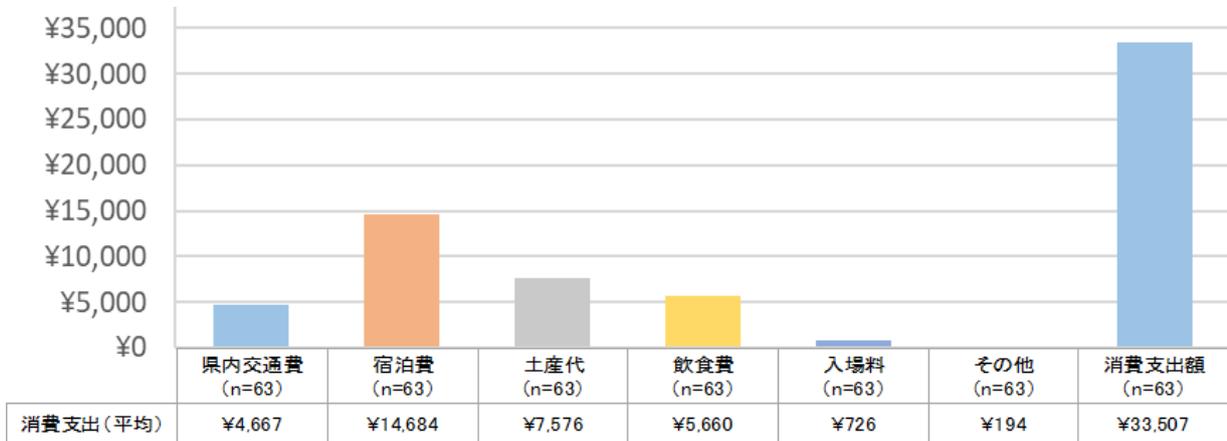
“決め手”となった情報源（単一回答）（n=63）



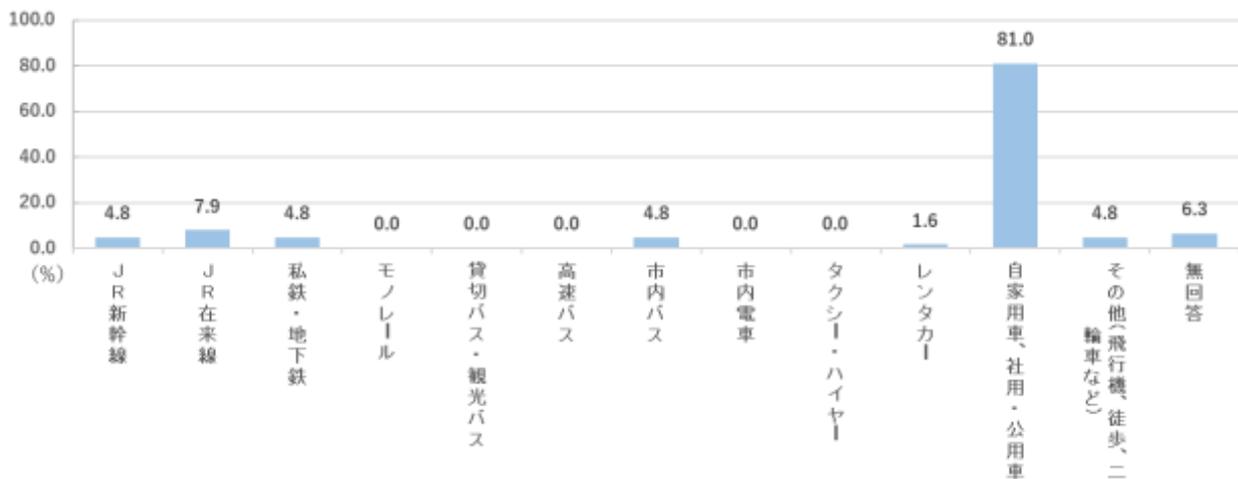
消費支出の平均は、総額で 33,507 円であった。内訳は、「宿泊費」が 14,684 円で最も多く、次いで「土産代」が 7,576 円であった。利用交通機関は、「自家用車、社用・公用車」が 81.0%で最も多かった。

立ち寄り観光施設は、「道の駅ましこ」が 4 人で最も多く、次いで「モビリティリゾートもてぎ」が 3 人であった。

消費支出（平均）



利用交通機関（複数回答）（n=63）



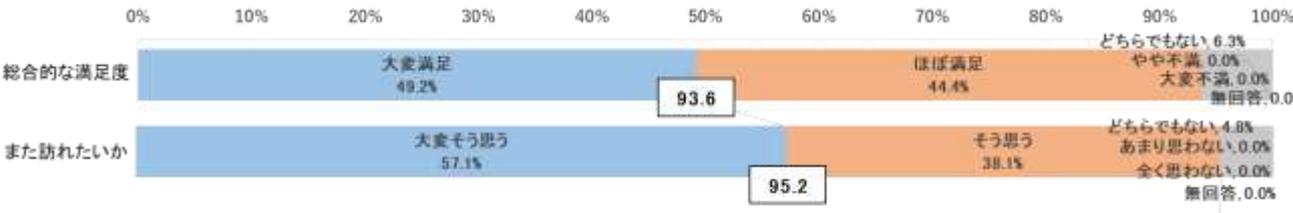
立ち寄り観光施設（n=63）※（ ）内は施設に立ち寄った人数

県東	鬼怒川温泉(1)	県央
道の駅ましこ(4)	川治温泉(1)	宇都宮動物園(1)
モビリティリゾートもてぎ(3)	湯西川温泉(1)	おもちゃ博物館(1)
道の駅サシバの里いちかい(1)	那須	県南
日光	那須高原友愛の森(2)	佐野プレミアム・アウトレット(2)
二社一寺(2)	もみじ谷大吊橋(1)	

※対象者が現在いる地点（調査地点）と立ち寄り観光施設に重複はなかった。

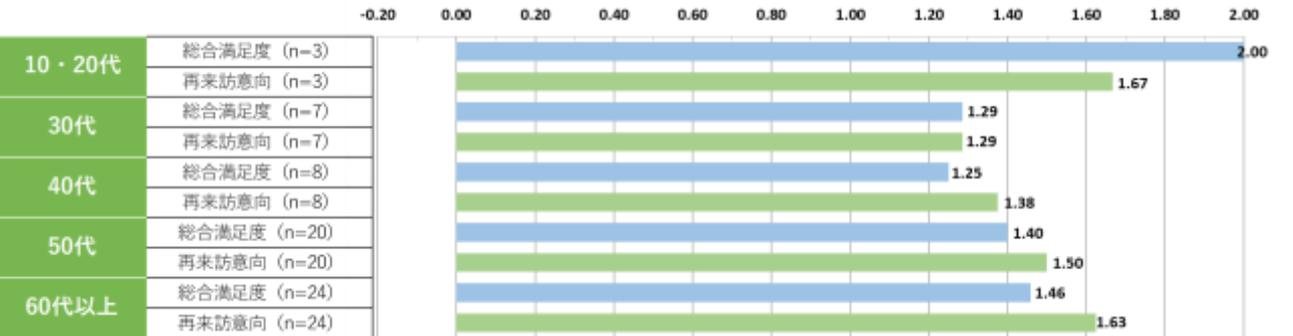
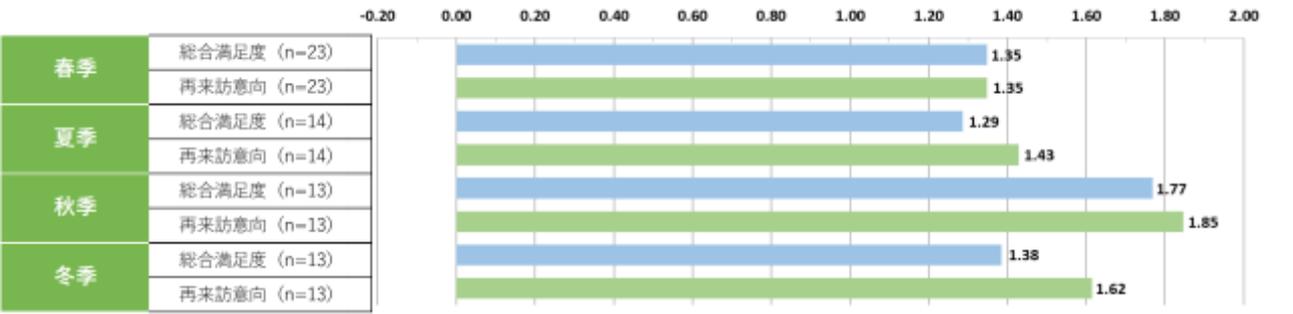
調査地域の総合的な満足度は、「大変満足」と「ほぼ満足」をあわせた【満足層】が93.6%となった。また訪れたいかについては、「大変そう思う」と「そう思う」をあわせた【再来訪意向層】が95.2%であった。

調査地域の総合満足度／再来訪意向 (n=63)



調査地域の総合満足度／再来訪意向 (季節別・年代別)

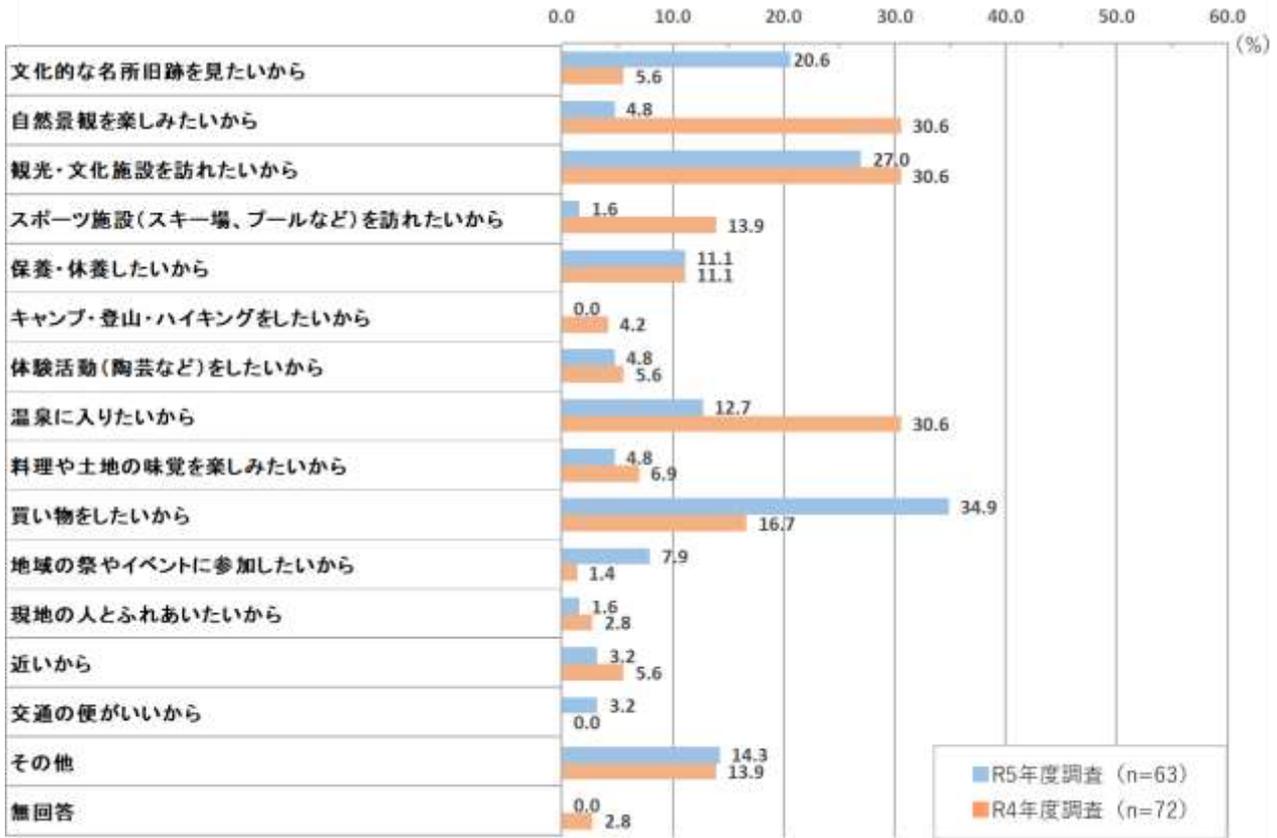
総合満足度を季節別にみると、「秋季」が1.77で最も高く、「夏季」が1.29で最も低かった。また、再来訪意向については「秋季」が1.85で最も高く、「春季」が1.35で最も低かった。  
年代別にみると、総合満足度は「10・20代」が2.00で最も高く、「40代」が1.25で最も低かった。再来訪意向については「10・20代」が1.67で最も高く、「30代」が1.29で最も低かった。



②過去調査との比較

旅行先に選んだ理由は、「買い物をしたいから」が令和4（2022）年度調査では16.7%、令和5（2023）年度調査では34.9%と18.2ポイント増加した。一方、「自然景観を楽しみたいから」は、令和4（2022）年度調査で30.6%であったが、令和5（2023）年度調査では4.8%と大幅に減少した。

旅行先に選んだ理由（複数回答）



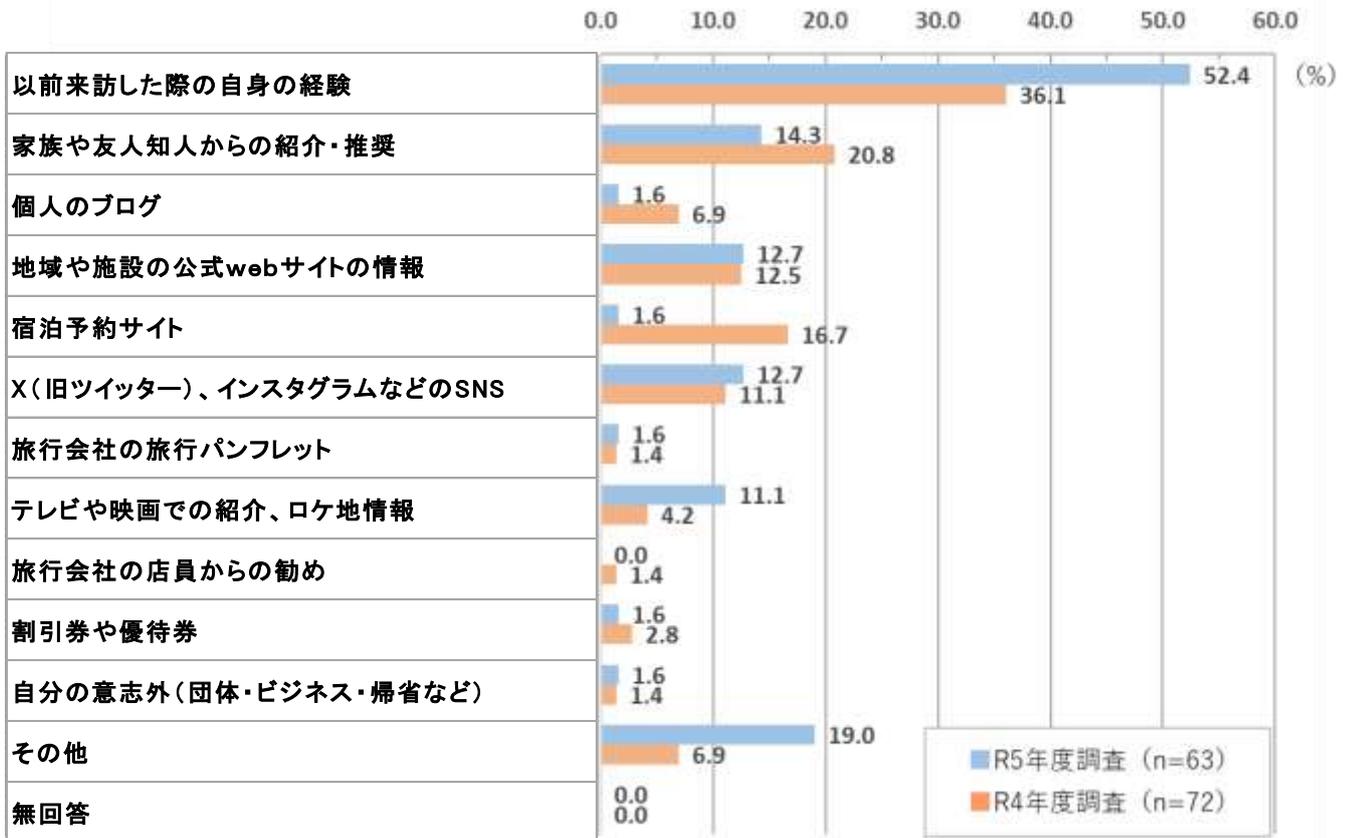
調査地域周辺への来訪回数は、「初めて」が令和4（2022）年度調査では31.9%であったが、令和5（2023）年度調査では28.6%と3.3ポイント減少した。一方、「5回目以上」は令和4（2022）年度調査では42.0%、令和5（2023）年度調査では52.4%と10.4ポイント増加した。

調査地域周辺への来訪回数 ※周辺住民を除く



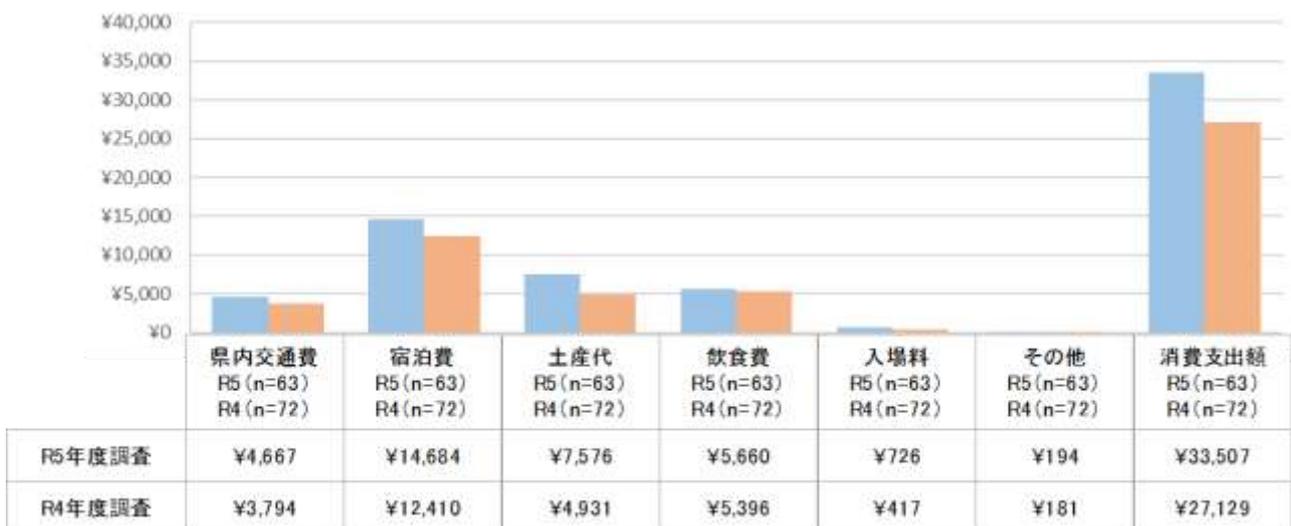
旅行先に選んだ情報源は、「以前来訪した際の自身の経験」が最も多く、令和4（2022）年度調査では36.1%、令和5（2023）年度調査では52.4%と16.3ポイント増加した。  
一方、その他を除いて次に多かった「家族や友人知人からの紹介・推奨」は、令和4（2022）年度調査では20.8%、令和5（2023）年度調査では14.3%と6.5ポイント減少した。

旅行先に選んだ情報源（複数回答）



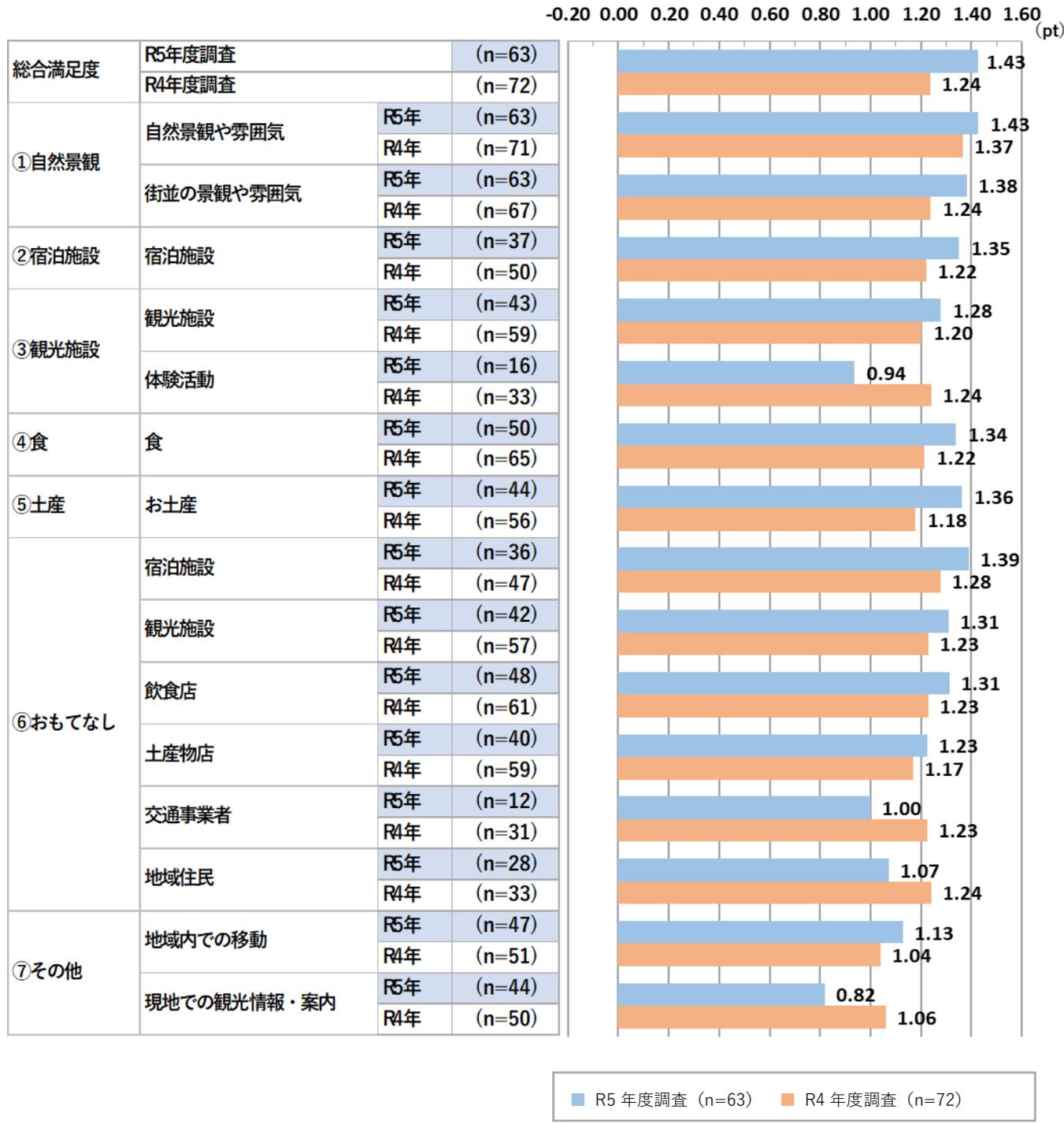
消費支出の総額は、令和4（2022）年度調査では27,129円であったが、令和5（2023）年度調査では33,507円に増加した。

消費支出（総額）



総合満足度は、令和4（2022）年度調査では1.24、令和5（2023）年度調査では1.43と0.19ポイント増加した。満足度を項目別にみると、令和4（2022）年度調査、令和5（2023）年度調査ともに「自然景観 自然景観や雰囲気」が最も高く、令和4（2022）年度調査では1.37、令和5（2023）年度調査では1.43であった。

項目別満足度（加重平均値）



## 参考資料 調査票

# 令和5(2023)年度 栃木県観光動態調査

ようこそ栃木県へお越しくださいました。今回のご来訪を心から歓迎いたします。  
 本調査は、県内の観光地をより一層満足いただけるものとしていくために、観光客の皆様の声をお聞かせ  
 いただくアンケート調査です。  
 お手数ではございますが、ご協力をお願い申し上げます。

調査実施者：栃木県産業労働観光部観光交流課（電話028-623-3210）

※2人以上でいらしている場合には、どなたかお一人が代表してご記入ください。  
 ※  欄は具体的にご記入ください。その他は、該当する項目を選択してください。

## 問1. あなたのお住まい(都道府県・市町村)、性別、年代をお答えください。

お住まい	<input type="text"/> 都・道・府・県	<input type="text"/> 市・町・村	性別	1. 男性 2. 女性
年代	1. 10歳未満 2. 10代 3. 20代 4. 30代 5. 40代	6. 50代 7. 60代 8. 70代 9. 80以上		

## 問2. 今回の旅行の栃木県内での滞在時間や宿泊数をお答えください。

・日帰りの方 → 栃木県での滞在時間  時間

・宿泊の方 → 全宿泊数  泊

うち 栃木県内での宿泊数  泊

↓

	宿泊地域	宿泊施設 (宿泊施設の種類は 下表から選択)
一泊目	<input type="text"/>	<input type="text"/>
二泊目	<input type="text"/>	<input type="text"/>

**【表】 宿泊施設の種類**

①実家や知人・親戚宅	②旅館	③ホテル	④ペンション・民宿
⑤保養所・研修所	⑥キャンプ場	⑦(キャンプ場以外の)車中泊・交通機関内での宿泊	
⑧別荘・リゾートマンション	⑨会員制の宿泊施設	⑩その他	

## 問3. 今回の旅行の主要な目的は何ですか。該当するものに○をつけてください。※1つだけ

1. ビジネス	2. 観光
3. 帰省・知人訪問	4. (1~3のどれでもない) その他

## 問4. 現在いらっしゃる地域を旅行先に選んだ理由は何ですか。該当するものに○をつけてください。※いくつでも

- |                       |                              |
|-----------------------|------------------------------|
| 1. 文化的な名所旧跡を見たいから     | 2. 自然景観を楽しみたいから              |
| 3. 観光・文化施設を訪れたいから     | 4. スポーツ施設(スキー場、プールなど)を訪れたいから |
| 5. 保養・休養したいから         | 6. キャンプ・登山・ハイキングをしたいから       |
| 7. 体験活動(陶芸など)がしたいから   | 8. 温泉に入りたいから                 |
| 9. 料理や土地の味覚を楽しみたいから   | 10. 買い物がしたいから                |
| 11. 地域の祭やイベントに参加したいから | 12. 現地の人とふれあいたいから            |
| 13. 近いから              | 14. 交通の便がいいから                |
| 15. その他 ( )           |                              |

問5. 今回の旅行の同行者の人数、ご関係についてお答えください。

同行者  人（※自分を含む）

（該当するものに○をつけてください。※1つだけ）

1. 子ども連れの家族旅行    2. 大人の家族旅行    3. 夫婦旅行    4. カップル旅行  
5. 友人との旅行    6. 職場や団体などの旅行    7. ひとり旅    8. その他

問6. 栃木県への来訪回数、現在いらっしゃる地域への来訪回数についてお答えください。

該当するものに○をつけてください。※1つだけ

（1）栃木県への来訪回数（※栃木県民の方は回答不要です。）

1. 初めて    2. 2回目    3. 3回目    4. 4回目    5. 5回目以上

（2）現在地周辺への来訪回数（※周辺住民の方は回答不要です。）

1. 初めて    2. 2回目    3. 3回目    4. 4回目    5. 5回目以上

問7. 今回の旅行で訪れた栃木県内の観光地と移動に用いた交通機関をご記入ください。これから訪問する観光地についても予定をご記入ください。

※観光地は「栃木県観光マップ」を参考にご記入ください。また、交通機関は下表より番号をお選びください。

○居住地から調査地点まで

○調査地点から居住地まで

**【表】交通機関**

① J R新幹線	② J R在来線	③ 私鉄・地下鉄	④ モノレール	⑤ 貸切バス・観光バス
⑥ 高速バス	⑦ 市内バス	⑧ 市内電車	⑨ タクシー・ハイヤー	
⑩ レンタカー	⑪ 自家用車、社用・公用車	⑫ その他（飛行機、徒歩、二輪車など）		

問8. 今回の旅行で、栃木県の前に立ち寄った（又は後に立ち寄る予定の）都道府県があればご記入ください。

※交通機関は上表から選択

問9. 今回の旅行の一人当たりの費用(これから使う予定も含めて)を下欄の項目別にご記入ください。

※ 交通費は高速料金やガソリン代や駐車場代を含め、栃木県内分・栃木県外分を分けて記入してください。

※ 今回の旅行がパック旅行である場合、費用が栃木県内分のみか、栃木県外分を含むかを選択してください。

	使用費用	
	栃木県内分	栃木県外分
①交通費	円	円
②宿泊費	円	
③土産代	円	
④飲食費	円	
⑤入場料	円	
⑥その他	円	
⑦パック料金	円	

問10. 現在いらっしゃる地域を選んだ際の情報源は何ですか。該当するものに○をつけてください。※いくつでも

1. 以前来訪した際の自身の経験	2. 家族や友人知人からの紹介・推奨
3. 個人のブログ	4. 地域や施設の公式webサイトの情報
5. 宿泊予約サイト	6. ツイッター、インスタグラムなどのSNS
7. 旅行会社の旅行パンフレット	8. テレビや映画での紹介、ロケ地情報
9. 旅行会社の店員からの勧め	10. 割引券や優待券
11. 自分の意志外(団体・ビジネス・帰省など)	12. その他( )

問11. 問10の中で、選んだ“決め手”となったものを1つだけ選んで  内に記入してください。

問12. 実際に訪問されて、現在いらっしゃる地域の以下の項目の満足度はいかがでしたか。※それぞれ1つだけ

	大変良かった	まあまあ良かった	どちらでもない	やや悪かった	非常に悪かった	利用していない 該当しない
①自然景観や雰囲気	5	4	3	2	1	0
②街並みの景観や雰囲気	5	4	3	2	1	0
③宿泊施設	5	4	3	2	1	0
④観光施設	5	4	3	2	1	0
⑤体験活動	5	4	3	2	1	0
⑥食	5	4	3	2	1	0

		大変良かった	まあまあ良かった	どちらでもない	やや悪かった	非常に悪かった	利用していない 該当しない
⑦お土産		5	4	3	2	1	0
⑧おもてなし	宿泊施設	5	4	3	2	1	0
	観光施設	5	4	3	2	1	0
	飲食店	5	4	3	2	1	0
	土産物店	5	4	3	2	1	0
	交通事業者（バス・タクシー等）	5	4	3	2	1	0
	地域住民	5	4	3	2	1	0
⑨地域内での移動		5	4	3	2	1	0
⑩現地での観光情報・案内		5	4	3	2	1	0

問13. 実際に訪問されて、現在いらっしゃる地域の総合的な満足度はいかがでしたか。※1つだけ

大変満足	ほぼ満足	どちらでもない	やや不満	大変不満
5	4	3	2	1

問14. 現在いらっしゃる地域へまた訪れたいと思いますか。※1つだけ

大変そう思う	そう思う	どちらでもない	あまり思わない	全く思わない
5	4	3	2	1

問15. 以下の項目のうち、12都県と比べて、栃木県の魅力が1位だと感じるものを教えてください。※いくつでも

（宮城県、福島県、茨城県、群馬県、埼玉県、東京都、千葉県、神奈川県、山梨県、静岡県、長野県、新潟県）

1. 魅力的な観光スポット・イベントがある	2. 魅力的な宿泊施設がある
3. 魅力的な温泉がある	4. 魅力的な食べ物がある（宿泊時の食事を除く）
5. 魅力的な自然・景観がある	6. 街歩きが楽しめる
7. 買い物が楽しめる	8. スポーツが楽しめる（ゴルフ、テニス、スキーなど）
9. アウトドアが楽しめる （登山、釣り、自転車、川遊びなど）	10. 各種体験が楽しめる （農業体験、フルーツ狩り、手作りなど）
11. 魅力的なレジャー施設がある （遊園地、テーマパークなど）	

（回答終了日時： 月 日 時 分）

☆☆ アンケートは以上です。御協力ありがとうございました。☆☆